

令和5年度

主要施策成果報告書

豊橋市

地方自治法第233条第5項の規定により、令和5年度一般会計および特別会計における主要な施策の成果について、その概要を次のとおり報告いたします。

目 次

I 決算の概要	
1. 概 況	3
2. 各会計決算集計表	6
3. 各基金年度末現在高	8
4. 各会計地方債年度末現在高	9
5. 職員の状況	10
6. 財政指標の状況（普通会計）	10
7. 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく指標	10
II 一般会計	
1. 歳入の状況	12
2. 歳出の状況	20
3. 主要な施策の成果	45
総 務 費	45
民 生 費	106
衛 生 費	156
労 働 費	199
農 林 水 産 業 費	205
商 工 費	224
土 木 費	241
消 防 費	282
教 育 費	289
災 害 復 旧 費	351
III 特別会計	
競 輪 事 業	356
国民健康保険事業	358
総合動植物公園事業	361
公共駐車場事業	364
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	365
後期高齢者医療	366

(注) 各項目の数値は表示単位未満を四捨五入で処理しているため、合計と内訳の数値が一致しない場合があります。

I 決算の概要

1. 概況

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けの変更に加え、高水準の賃上げや企業の高い投資意欲により、経済が自律的に循環する環境が整ってきたものの、継続する物価高は国民生活を圧迫し続けた。こうしたなか、国は「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を実施し、足元の物価高から国民生活・事業活動を守り経済の底上げを図った。

本市においては、物価高騰対策や6月の台風2号に伴う大雨被害の復旧等に対して補正予算を編成して対応するとともに、第6次豊橋市総合計画に掲げる「目指すまちの姿」の実現に向け「分野別計画」における諸施策及び重要課題である人口減少対策に取り組む「まちづくり戦略」を着実に推進した。

(1) 重点的に取り組んだ主な内容

○ 豊かな人間性を備え、未来を創る人が育つまち

乳幼児期の教育・保育の充実のため、第2子以降の0歳児から2歳児に本市が独自で行う保育料の無償化を低所得世帯の第1子まで拡充するとともに、休日保育等では、市民税非課税世帯や同日における2人目以降の利用料を無償とするなど、子育て世帯の経済的負担の軽減を図った。

また、学校教育の推進・充実では、学校や教室へ通いづらさを感じる児童生徒が安心できる居場所として「エールーム」を新たに中学校2校に開設し、きめ細かな支援による個に応じた学びの環境を充実させた。

○ 活力みなぎり、はつらつと働けるまち

急速に変化する社会経済環境に対応できる主体性のある産業人材の育成の必要性が高まっているため、事業所や個人のニーズ調査等を実施・分析し、リスクリングを中心とした新たな学びの仕組みの構築に取り組んだ。

農業分野では、豊橋産農産物を活用した新商品の開発や地産地消にこだわったマルシェの開催等に対する新たな助成制度を創設するとともに、豊橋産農産物を使用したメニューを提供する飲食店等を巡るスタンプラリーを開催し、地産地消を推進した。

○ 命の安全、心の安心が確保されたまち

防災・減災対策として、家庭における家具転倒防止に対する新たな助成制度を創設したほか、3次元で可視化した洪水の浸水シミュレーションを活用し、災害リスクや課題などを話し合う防災まちづくりワークショップを開催することにより、地域における防災力の向上を図った。

消防体制の充実として、地域防災の中核を担う消防団において、訓練の効率化や行事の見直しにより、消防団員の負担軽減を図るとともに、処遇の改善を行った。

動物愛護管理の推進では、拠点となる「豊橋市動物愛護センター（仮称）」整備のため、整備基本計画に基づき、整備予定地を取得するとともに、実施設計を行った。

○ みんなで支え合い、笑顔で健やかに暮らせるまち

安心して出産・子育てができるように、妊娠期から出産・子育てまでの多様なニーズに即した伴走型の相談支援と出産・子育て応援給付金による経済的支援を一体的に実施した。

健康づくりの推進としては、帯状疱疹予防のため、比較的発症率が高い50歳以上の方を対象に、本市独自で助成を開始した。

○ 互いを尊重し合い、心豊かに暮らせるまち

美術博物館の充実において、来館者の鑑賞環境や利便性、資料の保存環境向上のための改修工事を完了し、コレクション展示等を一新するとともに、リニューアルオープンを記念した企画展を開催した。

また、芸術・文化スポーツにおいては、2026年開催のアジア競技大会に向け、総合体育館の施設機能向上を図るための基本及び実施設計を行った。

○ 魅力にあふれ、いきいきとにぎわいあるまち

まちなかの活性化では、豊橋駅前大通二丁目地区の市街地再開発事業に対し支援を行い、西棟の建築工事等を推進した。また、駅前大通りを誰もが滞留しやすく、歩いて楽しい通りとするため、

産学官金民で組織する「豊橋まちなか未来会議」と連携し、駅前大通りにおいて歩道空間を活用した実証実験を行うとともに、めざす姿を描いた基本計画を作成した。

総合動植物公園においては、動物の展示効果と飼育環境の向上を図るとともに、飼育動物の繁殖に取り組むため、屋外放飼場を備えたサーバル舎を整備した。また、快適な園内環境の創出と動物教育プログラムの推進のため、講義室機能を備えた休憩所兼講義室「ひだまり交流館」をゾウが見える丘に整備した。

○ 自然と共生し、地球環境を大切にすまち

脱炭素社会の実現に向け、ニーズが高まりつつある電気自動車等の普及を促進するため、次世代自動車購入費等への助成を拡充した。

また、吉本興業グループと連携した環境関連イベントを開催したほか、様々な手段により環境に配慮した取組みを積極的に発信し、市民のごみ減量やリサイクルへの意識醸成を図った。

自然環境の保全では、在来種を守るため、生息数が年々増加傾向にある特定外来生物の駆除を強化するとともに、豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、市民団体や専門家と連携し、外来生物に対する正しい理解の促進に努めた。

○ 暮らしの基盤が整った、便利で快適なまち

幹線道路の整備では、「豊橋新城スマートIC（仮称）」の早期開通に向け、用地取得を進めるとともに、橋梁下部工事等に着手した。また、北部地域の活性化では、新たな産業用地の確保に向け、候補地の検討を行うとともに、地域住民と対話を重ねながらまちづくりの指針となる「豊橋新城スマートIC（仮称）周辺土地利用構想」を策定した。

公共交通の維持・活性化では、路線バスのキャッシュレス化に向け、国や愛知県、関係自治体と連携し、交通事業者の交通系ICカード導入経費に対し助成した。

○ その他

第6次総合計画の目指すまちづくりの推進では、自分の住むまちに対する愛着度の向上を図るため、本市出身の絵本作家と共同で本市の魅力を盛り込んだ絵本を制作した。

また、行政のデジタル化を推進するため、原動力となる職員デジタル人材の育成に取り組むとともに、AIなどのデジタル技術を活用し、業務の改革を図った。

(2) 一般会計の決算

歳入 1,477 億 7,383 万円に対し、歳出は 1,444 億 2,983 万円で、歳入歳出の差引額（形式収支）は 33 億 4,399 万円となった。このうち翌年度へ繰り越すべき財源 4 億 9,389 万円を差し引いた実質収支は 28 億 5,010 万円となり、前年度と比較して 12 億 9,394 万円減少した。また、14 億 3,000 万円を財政調整基金へ繰り入れることとした。

○ 歳入の状況

市税決算額は 661 億 4,289 万円で、前年度と比較して 1.3%、8 億 2,137 万円の増となった。市税のうち個人市民税は、給与所得や株式に係る譲渡所得の増により 2.3%の増となった。固定資産税及び都市計画税では、家屋の新增築分による増などにより、それぞれ 0.5%、1.3%の増となった。

また、交付金等については、地方消費税交付金が 1.1%、9,846 万円減の 91 億 8,769 万円となった一方で、株式等譲渡所得割交付金が 71.7%、2 億 2,432 万円増の 5 億 3,713 万円となったほか、法人事業税交付金が 8.4%、9,431 万円増の 12 億 1,855 万円となった。

地方交付税は、普通交付税が 3 年連続の交付となったが、前年度と比較して 30.0%、2 億 9,617 万円減の 6 億 8,954 万円の交付、特別交付税は 19.5%、1 億 450 万円増の 6 億 3,968 万円の交付となった。

国庫支出金は、住民税非課税世帯支援給付金給付事業の皆増や法人保育所・認定こども園整備事業が増となったものの、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業や新型コロナウイルスワクチン接種事業の減などにより、前年度と比較して 1.2%、3 億 7,674 万円減の 303 億 4,556 万円となった。

県支出金は、訓練等給付事業や介護保険施設等整備助成事業の増があったものの、新型コロナウイルス感染症対策事業の減や愛知県子育て世帯臨時特別給付金給付事業の皆減などにより、前年度と比較して 12.0%、15 億 2,425 万円減の 111 億 4,480 万円となった。

繰入金は、豊橋市立野依小学校等環境整備基金繰入及び新型コロナウイルス感染症対策基金繰入

が皆減となったものの、森林環境譲与税基金繰入の皆増や財政調整基金繰入の増などにより、前年度と比較して2.2倍、19億1,171万円増の35億6,059万円となった。

諸収入は、学校給食費収入や保留地処分金収入などの減があったものの、競輪事業特別会計益金繰入の増やシステム標準化事業費助成金収入の皆増などにより、前年度と比較して4.0%、1億8,518万円増の48億6,759万円となった。

市債は、公営住宅建設事業の減があったものの、リニューアルに伴う美術博物館整備事業の皆増やごみ処理施設整備事業の増などにより前年度と比較して35.4%、23億1,260万円増の88億4,610万円となった。

○ 歳出の状況

人件費は210億4,984万円で、職員数の増加や単価改定に伴う委員等報酬の増、支給率引上げによる期末勤勉手当の増があったものの、定年延長制度開始による退職手当支給者の減などにより、前年度と比較して1.3%、2億8,657万円の減となった。

物件費は211億489万円で、住民記録システム標準化に伴う台帳記録事務費の増があった一方、新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴う予防接種事業や感染症予防対策事業の減などにより、前年度と比較して2.3%、4億9,943万円の減となった。

扶助費は393億9,885万円で、感染症予防対策事業や児童手当給付事業などが減となったものの、子ども・子育て給付事業や訓練等給付事業の増などにより、前年度と比較して4.4%、16億6,785万円の増となった。

補助費等は134億6,050万円で、住民税非課税世帯支援給付金給付事業の皆増があった一方、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業の皆減や感染症予防対策事業の減などにより、前年度と比較して4.8%、6億7,838万円の減となった。

普通建設事業費は216億6,902万円で、西口住宅建替事業の減や豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業の皆減があったものの、法人保育所・認定こども園整備費補助金やリニューアルに伴う美術博物館整備事業の増などにより、前年度と比較して20.6%、36億9,861万円の増となった。

災害復旧事業費は4億5,988万円で、河川災害応急復旧費の皆増や道路橋梁災害応急復旧費などの増により、前年度と比較して20.5倍、4億3,741万円の増となった。

公債費は100億58万円で、前年度と比較して3.4%、3億2,616万円の増となった。

繰出金は140億220万円で、病院事業で減となったものの、後期高齢者医療や総合動植物公園事業などで増となったことにより、前年度と比較して1.1%、1億5,852万円の増となった。

以上のことから、歳出合計では前年度対比4.5%、61億7,535万円の増となった。

なお、歳出予算総額1,617億3,231万円と歳出決算額との差額173億248万円から翌年度繰越額75億1,328万円を除いた不用額は、負担金、補助及び交付金の25億8,785万円、委託料の23億9,382万円をはじめとして、一般会計全体で97億8,920万円となった。

(3) 特別会計の決算

決算規模は6会計の合計で歳入736億9,019万円、歳出710億4,711万円で、歳入歳出の差引額は26億4,308万円となった。なお、公共駐車場事業における翌年度へ繰り越すべき財源3,400万円を差し引いた特別会計全体の実質収支は26億908万円となった。

(4) 財政指標

経常収支比率は、経常一般財源収入が増加したものの、扶助費や公債費など経常経費充当一般財源が増加したため、前年度の89.4%から90.0%へと0.6ポイント増加した。

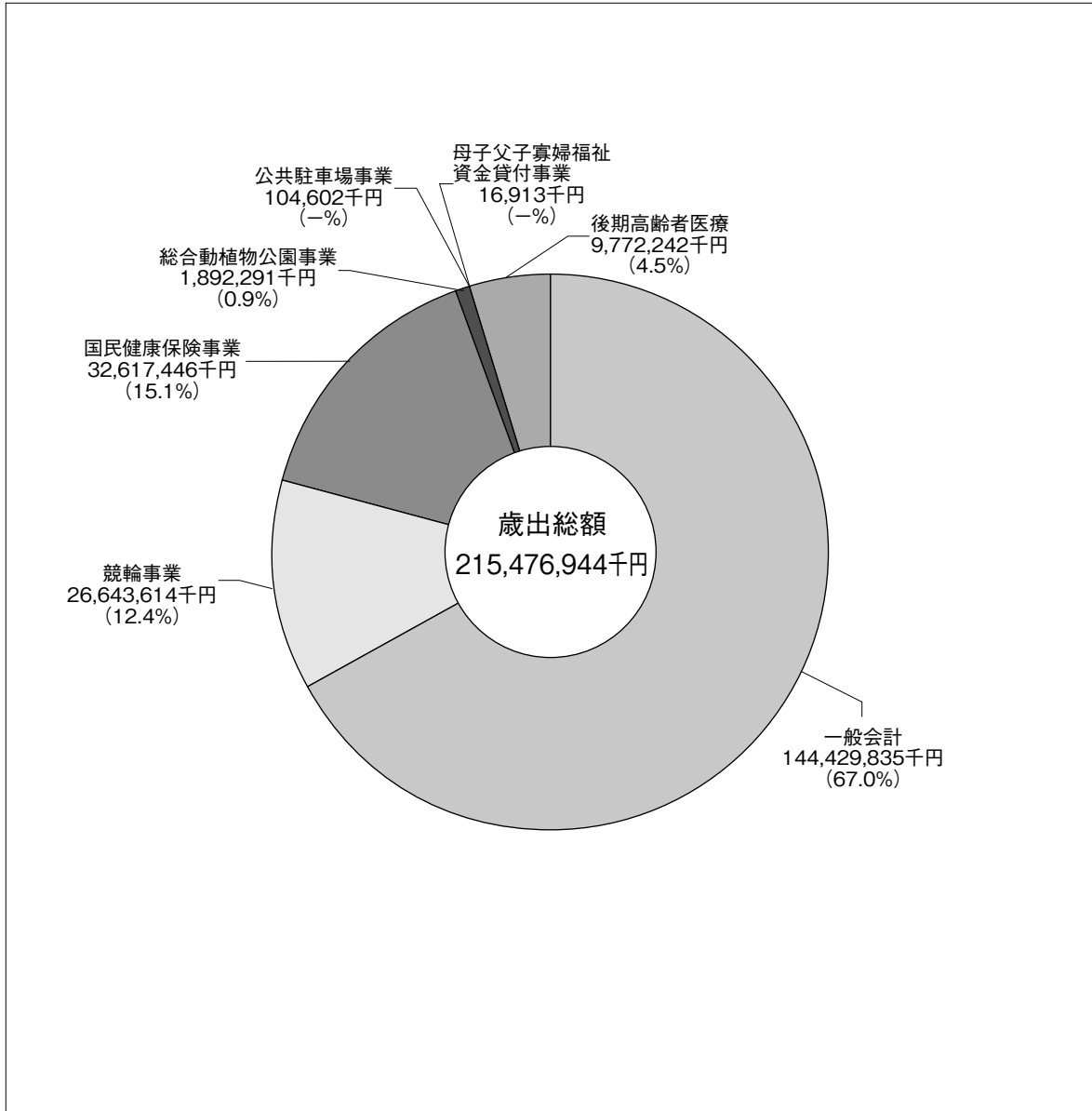
また、実質公債費比率は、標準財政規模が増加したものの、市債の元金償還金の増加などにより前年度の4.4%から5.1%へと0.7ポイント増加した。将来負担比率は、市債現在高の減に加え、標準財政規模の増などにより、前年度の27.8%から27.1%へと0.7ポイント改善した。いずれも早期健全化基準等を大きく下回っているものの、引き続き、歳出の見直しと財源確保に取り組むとともに、将来負担の適正化を見据えた財政運営に努める。

2. 各会計決算集計表

単位：千円

会 計 名	最終予算額	決 算 額			翌年度に 繰越す べき財源	翌年度繰 上充用額	実 質 収 支 額 (差引純繰越額)	
		歳 入	歳 出	差引額				
一 般 会 計	161,732,314	147,773,830	144,429,835	3,343,995	493,894	0	2,850,101	
特 別 会 計	競 輪 事 業	26,871,000	27,315,185	26,643,614	671,571	0	0	671,571
	国民健康保険事業	33,264,000	34,517,065	32,617,446	1,899,619	0	0	1,899,619
	総合動植物公園事業	1,968,500	1,892,291	1,892,291	0	0	0	0
	公共駐車場事業	145,000	161,126	104,602	56,524	34,000	0	22,524
	母子父子寡婦福祉資金 貸付事業	25,000	26,573	16,913	9,660	0	0	9,660
	後期高齢者医療	10,040,000	9,777,949	9,772,242	5,707	0	0	5,707
小 計	72,313,500	73,690,190	71,047,109	2,643,081	34,000	0	2,609,081	
合 計	234,045,814	221,464,019	215,476,944	5,987,076	527,894	0	5,459,182	

各会計決算集計表（歳出）



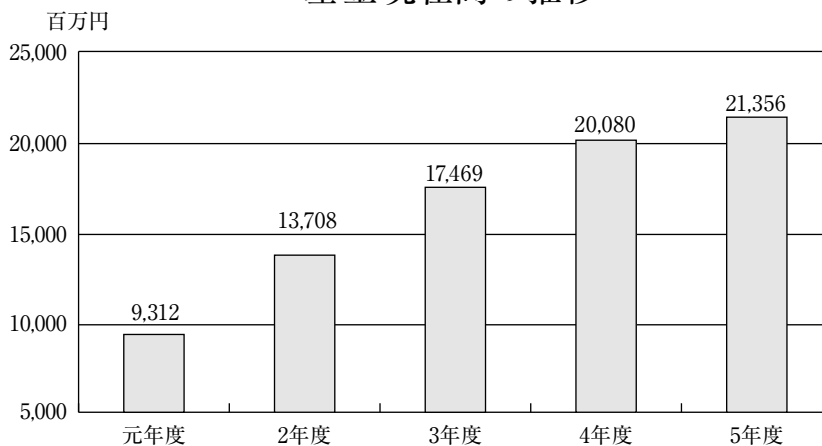
3. 各基金年度末現在高

単位：千円

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一 般 会 計	財 政 調 整 基 金	5,261,195	5,298,163	7,673,704	9,149,359	8,168,967
	減 債 基 金	355,273	347,475	339,741	332,303	603,244
	職 員 退 職 手 当 基 金	—	—	—	—	726,400
	新型コロナウイルス感染症対策基金	—	215,130	110,000	0	0
	ふ る さ と 基 金	43,934	79,820	82,967	108,007	147,722
	公 共 施 設 等 整 備 基 金	532,479	866,188	1,120,838	1,531,457	2,183,042
	文 化 振 興 基 金	38,380	38,621	38,637	38,677	38,729
	丸 山 薫 現 代 詩 振 興 基 金	10,000	10,005	9,357	8,841	8,175
	体 育 振 興 基 金	38,630	38,630	38,630	38,630	38,630
	市 民 協 働 推 進 基 金	17,104	16,877	16,643	16,701	18,093
	福 祉 振 興 基 金	222,752	229,858	230,158	230,458	233,058
	河 原 福 祉 基 金	48,817	42,976	40,375	25,084	20,559
	高 齢 者 福 祉 ・ 医 療 振 興 基 金	—	—	224,377	212,168	211,440
	環 境 活 動 振 興 基 金	2,233	1,715	3,257	2,063	6,577
	森 林 環 境 譲 与 税 基 金	15,389	49,961	81,601	113,856	9,632
	未 来 産 業 支 援 基 金	—	2,609,770	2,607,398	2,510,847	2,358,596
	つ づ じ が 丘 校 区 地 域 振 興 基 金	176,850	176,924	177,058	171,958	101,755
	地 域 公 共 交 通 活 性 化 基 金	3,102	3,258	3,414	3,574	3,737
	教 育 振 興 基 金	28,603	28,812	28,919	29,022	29,150
	豊 橋 市 立 野 依 小 学 校 等 環 境 整 備 基 金	—	—	171,003	20,284	20,475
	小 ・ 中 学 校 読 書 活 動 振 興 基 金	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	司 文 庫 基 金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	星 野 眞 吾 ・ 高 畑 郁 子 美 術 振 興 基 金	411,796	415,904	406,618	408,411	580,565
	美 術 博 物 館 資 料 取 得 等 基 金	—	—	—	70,000	55,459
特 別 会 計	競 輪 事 業 財 政 調 整 基 金	586,990	587,235	587,678	588,641	590,010
	競 輪 事 業 施 設 等 整 備 基 金	352,486	1,107,981	1,923,651	2,867,314	3,573,375
	国 民 健 康 保 険 事 業 財 政 調 整 基 金	837	500,973	501,352	501,951	503,075
	豊 橋 総 合 動 植 物 公 園 整 備 基 金	40,905	49,767	65,275	76,998	89,559
	公 共 駐 車 場 事 業 基 金	394,625	249,774	244,018	281,458	294,463
土 地 開 発 基 金	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	
収 入 印 紙 購 入 基 金	—	12,000	12,000	12,000	12,000	
合 計	9,312,379	13,707,816	17,468,670	20,080,061	21,356,489	

※年度末現在高については出納整理期間における収入、支出を含んだ数値を記載している。また、会計等については、令和5年度に経理した区分である。

基金現在高の推移



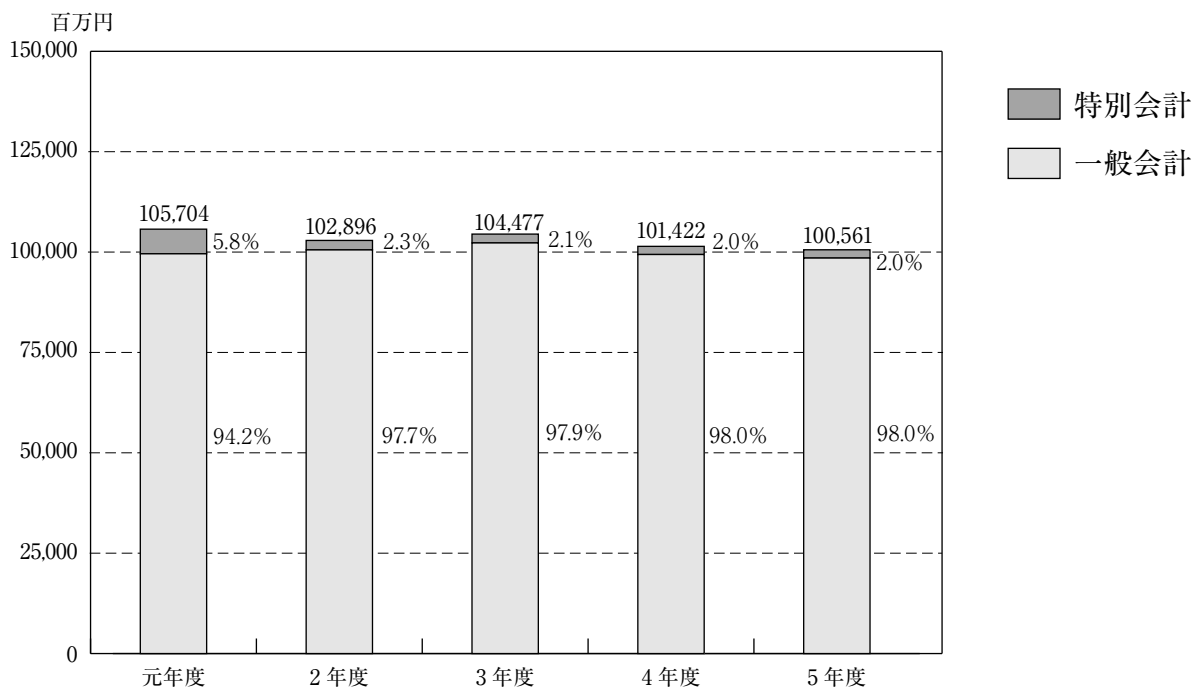
4. 各会計地方債年度末現在高

単位：千円

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一 般 会 計		99,565,585	100,534,827	102,272,793	99,393,080	98,507,851
特 別 会 計	総合動植物公園事業	2,006,311	2,297,443	2,153,987	1,989,483	2,022,807
	地域下水道事業	4,060,015	—	—	—	—
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	71,924	63,698	50,094	39,927	29,896
小 計		6,138,250	2,361,141	2,204,081	2,029,410	2,052,703
合 計		105,703,835	102,895,968	104,476,874	101,422,490	100,560,554

※地域下水道事業特別会計は、令和2年度より企業会計（下水道事業会計）へ移行

地方債現在高の推移



5. 職員の状況

単位：人

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般会計	2,156	2,166	2,179	2,198	2,234
特別会計	114	107	110	112	113
合計	2,270	2,273	2,289	2,310	2,347

職員数は4月1日現在

6. 財政指標の状況（普通会計）

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
経常収支比率（%）	88.5	87.6	87.2	89.4	90.0	
自主財源比率（%）	60.6	45.1	51.4	54.8	55.7	
財政力指数	単年度	0.998	1.012	0.974	0.983	0.988
	3か年平均	0.993	1.000	0.995	0.990	0.982

7. 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく指標

〔健全化判断比率〕

単位：%

区 分	早期健全化基準 (本市における基準)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実質赤字比率	11.25以下	実質赤字額なし (5.02)	実質赤字額なし (6.40)	実質赤字額なし (6.96)	実質赤字額なし (5.58)	実質赤字額なし (3.76)
連結実質赤字比率	16.25以下	実質赤字額なし (25.32)	実質赤字額なし (27.27)	実質赤字額なし (33.64)	実質赤字額なし (34.66)	実質赤字額なし (31.26)
実質公債費比率	25.0以下	3.7	3.8	3.8	4.4	5.1
将来負担比率	350.0以下	50.8	42.4	33.3	27.8	27.1

() は黒字比率を記載

〔資金不足比率〕

単位：%

区 分	経営健全化基準	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
水道事業会計	20.0以下	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし
下水道事業会計		資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし
病院事業会計		資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし
総合動植物公園事業特別会計		資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし
地域下水道事業特別会計		資金不足額なし	—	—	—	—

Ⅱ 一 般 会 計

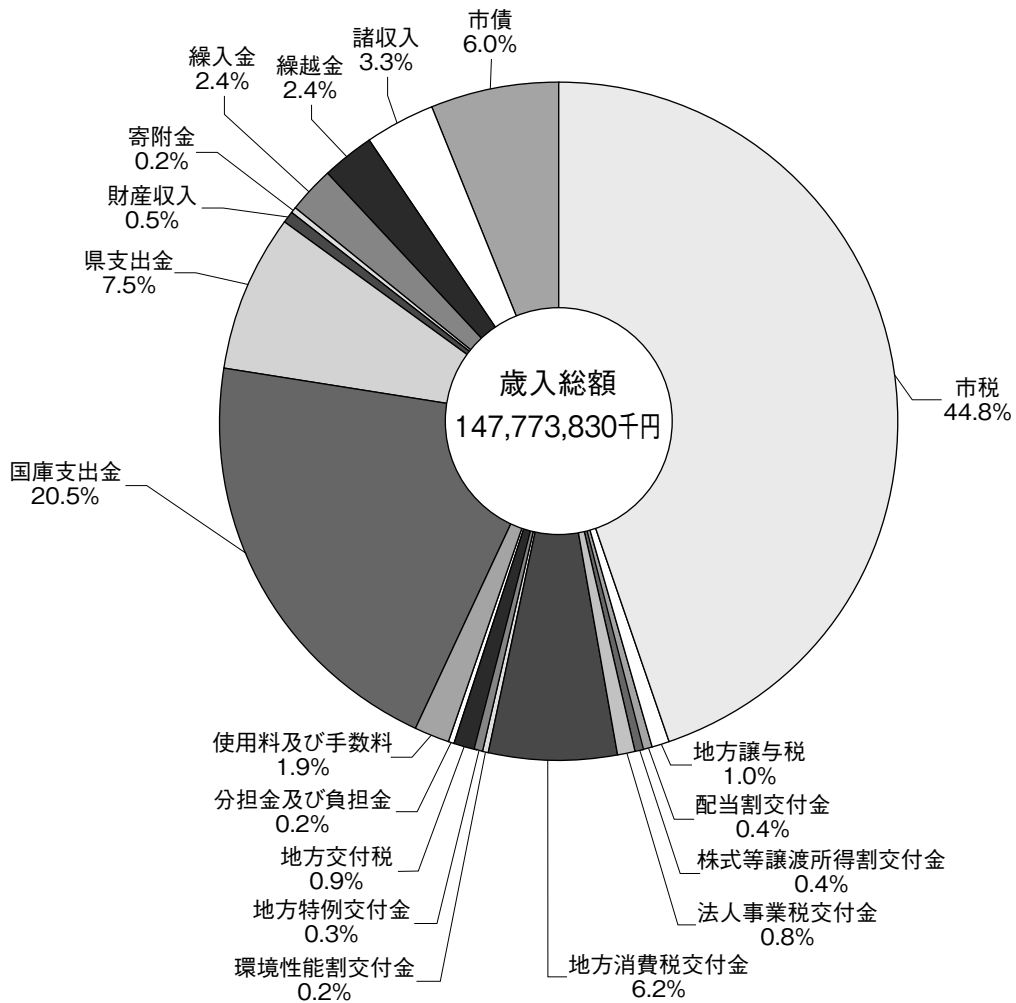
1. 歳入の状況

一般会計款別決算状況（歳入）

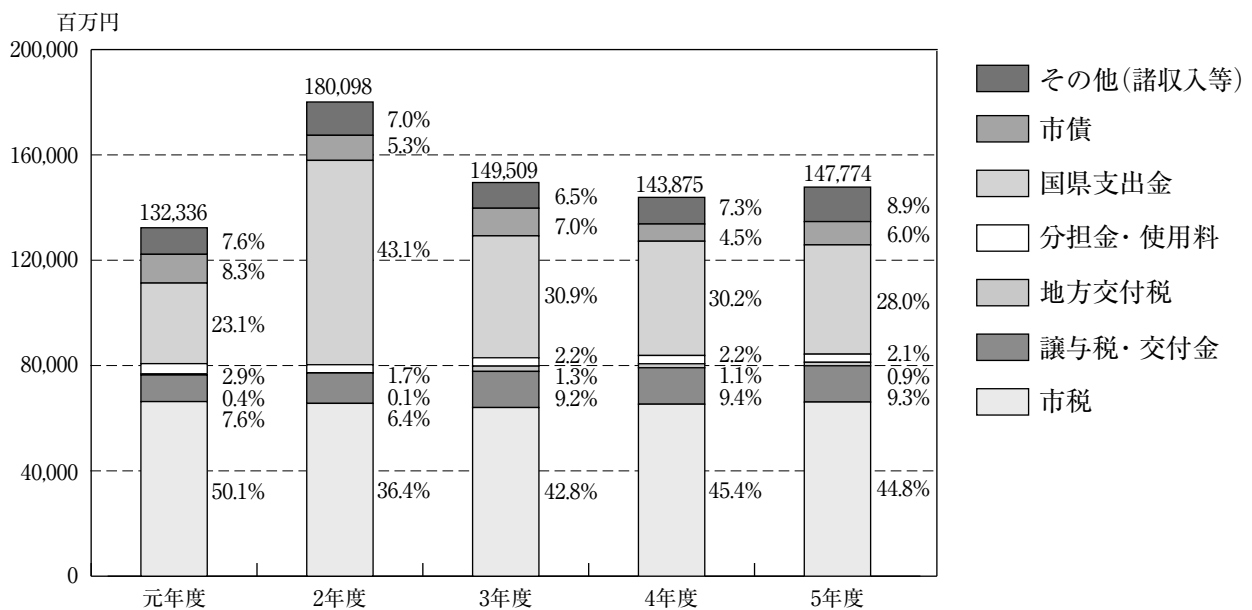
単位：千円、%

区 分	令和4年度			令和5年度		
	決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率
1 市 税	65,321,527	45.4	2.0	66,142,894	44.8	1.3
2 地 方 譲 与 税	1,384,839	1.0	0.5	1,417,046	1.0	2.3
3 利 子 割 交 付 金	25,944	—	△ 32.5	25,167	—	△ 3.0
4 配 当 割 交 付 金	454,994	0.3	△ 3.5	522,157	0.4	14.8
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	312,814	0.2	△ 41.8	537,133	0.4	71.7
6 法 人 事 業 税 交 付 金	1,124,248	0.8	45.1	1,218,553	0.8	8.4
7 地 方 消 費 税 交 付 金	9,286,144	6.5	4.0	9,187,687	6.2	△ 1.1
8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	17	—	△ 12.8	2,458	—	144.6倍
9 環 境 性 能 割 交 付 金	284,939	0.2	21.5	307,748	0.2	8.0
10 国 有 提 供 施 設 等 金 所 在 市 助 成 交 付 金	3,950	—	2.2	3,999	—	1.2
11 地 方 特 例 交 付 金	512,306	0.4	△ 59.8	496,179	0.3	△ 3.1
12 地 方 交 付 税	1,520,893	1.1	△ 24.1	1,329,223	0.9	△ 12.6
13 交 通 安 全 対 策 金 特 別 交 付 金	63,563	—	△ 12.2	53,031	—	△ 16.6
14 分 担 金 及 び 負 担 金	328,877	0.2	△ 16.1	271,206	0.2	△ 17.5
15 使 用 料 及 び 手 数 料	2,808,979	2.0	1.0	2,822,247	1.9	0.5
16 国 庫 支 出 金	30,722,296	21.4	△ 13.8	30,345,559	20.5	△ 1.2
17 県 支 出 金	12,669,053	8.8	18.9	11,144,804	7.5	△ 12.0
18 財 産 収 入	554,683	0.4	45.1	778,462	0.5	40.3
19 寄 附 金	236,515	0.2	△ 53.0	353,899	0.2	49.6
20 繰 入 金	1,648,885	1.1	7.6倍	3,560,592	2.4	2.2倍
21 繰 越 金	3,393,213	2.4	20.7	3,540,100	2.4	4.3
22 諸 収 入	4,682,406	3.3	△ 20.0	4,867,585	3.3	4.0
23 市 債	6,533,500	4.5	△ 37.7	8,846,100	6.0	35.4
合 計	143,874,584	100	△ 3.8	147,773,830	100	2.7

一般会計款別決算状況（歳入）



款別決算状況の推移

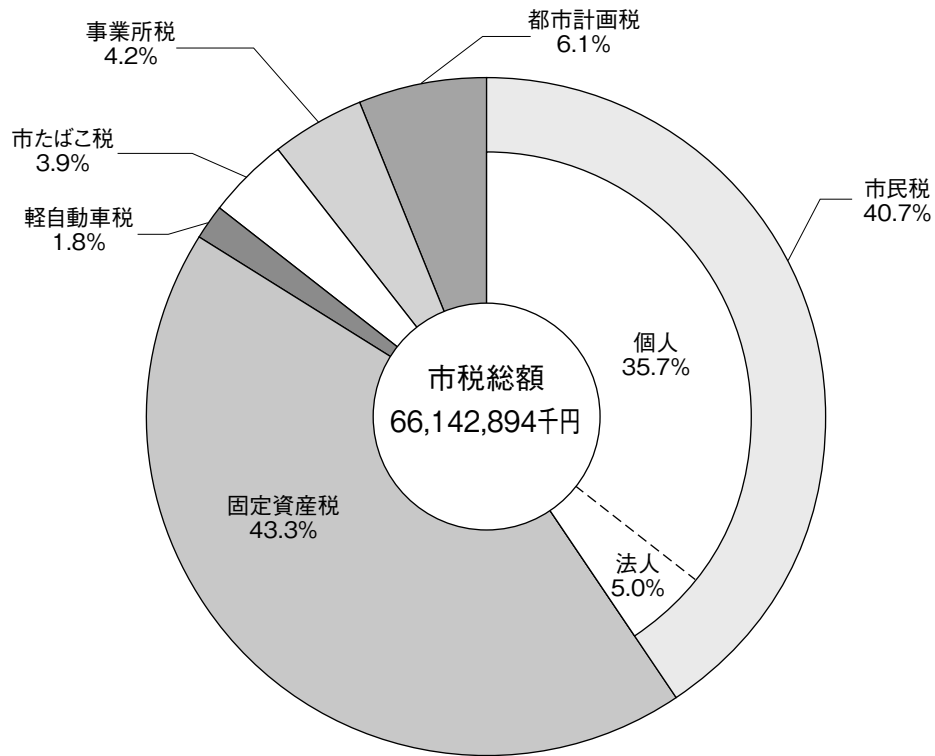


市 税 決 算 状 況

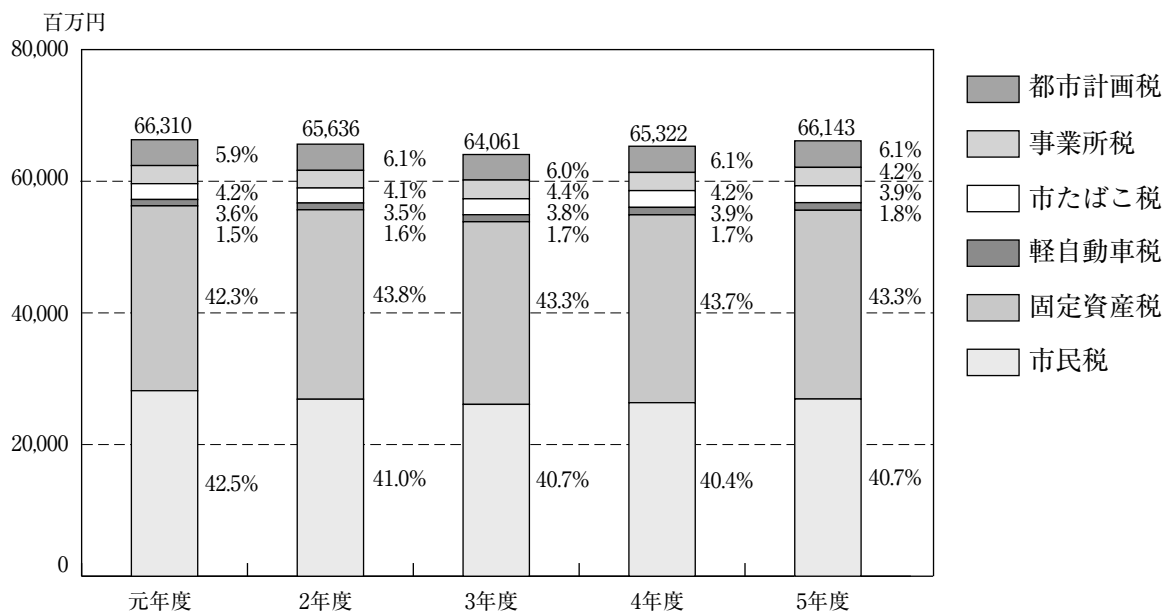
単位：千円、%

区 分	令和4年度			令和5年度		
	決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率
1 市 民 税	26,362,395	40.4	1.0	26,923,697	40.7	2.1
(1) 個 人	23,081,551	35.3	1.2	23,600,891	35.7	2.3
(2) 法 人	3,280,844	5.0	△ 0.4	3,322,806	5.0	1.3
2 固 定 資 産 税	28,536,400	43.7	2.9	28,667,016	43.3	0.5
3 軽 自 動 車 税	1,134,722	1.7	5.9	1,160,921	1.8	2.3
4 市 た ば こ 税	2,545,922	3.9	5.4	2,561,298	3.9	0.6
5 事 業 所 税	2,762,200	4.2	△ 3.1	2,795,870	4.2	1.2
6 都 市 計 画 税	3,979,738	6.1	2.7	4,032,721	6.1	1.3
7 鉦 産 税	150	—	4.6	136	—	△ 9.0
8 入 湯 税	—	—	—	1,234	—	皆増
合 計	65,321,527	100	2.0	66,142,894	100	1.3

市税決算状況



市税決算状況の推移



目的税（入湯税、事業所税及び都市計画税）の充当状況

・入湯税

単位：千円

区 分	主 な 事 業	決算額	財 源 内 訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	入湯税
観 光 振 興	・まつり・イベント支援事業 ・観光プロモーション推進事業 など	255,108	1,784	0	24,327	228,997	1,234
合 計		255,108	1,784	0	24,327	228,997	1,234

・事業所税及び都市計画税

単位：千円

区 分	主 な 事 業	決算額	財 源 内 訳					
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	事業所税	都市計画税
保育所、社会福祉施設等整備	・法人保育所認定こども園整備費補助金 ・保健所・保健センター管理運営事業 など	2,297,484	1,387,496	519,300	0	390,688	144,339	0
火 葬 場 整 備	・斎場管理運営事業	44,584	0	0	0	44,584	16,472	0
廃棄物処理施設等整備	・ごみ焼却処理事業 ・豊橋田原ごみ処理施設整備事業 など	1,896,350	61,690	274,000	3	1,560,657	502,269	698,121
道路・橋梁、河川等整備	・道路舗装事業 ・交通安全施設改良事業 など	2,097,378	346,896	871,900	115,510	763,072	247,315	94,000
公 園 整 備	・公園修繕事業 など	613,231	73,581	175,100	0	364,550	25,108	297,000
市 街 地 整 備	・牟呂坂津土地区画整理事業 ・牛川西部土地区画整理推進事業 ・柳生川南部土地区画整理推進事業 など	2,336,863	1,275,488	663,600	11,310	386,465	1,001	383,900
下 水 道 整 備	・雨水処理等負担金 ・下水道建設改良事業出資金	1,506,774	0	0	0	1,506,774	121,074	1,385,700
消 防 ・ 防 災 施設等整備	・消防署所施設管理事業 など	102,946	5,846	68,900	0	28,200	10,419	0
教 育 ・ 文 化 施設整備	・穂の国とよはし芸術劇場管理事業 ・美術博物館整備事業 など	1,853,686	18,968	992,100	4,000	838,618	309,826	0
公 債 費	・都市計画事業債等に係る元利償還金	4,633,684	0	0	0	4,633,684	1,278,255	1,174,000
徴 税 費	・課税事務費 など	1,165,448	631,294	0	41,694	492,460	139,794	0
合 計		18,548,429	3,801,259	3,564,900	172,517	11,009,753	2,795,870	4,032,721

森林環境譲与税の充当状況

単位：千円

区 分	主 な 事 業	決算額	財 源 内 訳					
			国県支出金	地方債	その他	一般財源		
						森林環境譲与税基金繰入金	森林環境譲与税	
間 伐 等 の 森 林 整 備 関 係	・ 森林環境整備推進事業費	10,688	0	0	0	0	10,688	10,688
人 材 の 育 成 ・ 担 い 手 の 確 保	・ 森林管理事業費	251	0	0	0	0	251	251
木 材 利 用 ・ 普 及 啓 発	・ 観光施設維持管理事業費 ・ 小学校環境整備事業費 ・ 中学校環境整備事業費 ・ 公立保育所整備事業費	141,401	0	0	113,756	113,756	27,645	27,645
基 金 積 立	・ 森林環境譲与税基金積立金	9,533	0	0	238	0	9,295	9,295
合 計		161,872	0	0	113,994	113,756	47,878	47,878

地方消費税交付金（消費税率引上げ分）の充当状況

消費税率が引き上げられたことに伴う地方消費税交付金の増収分の充当状況については、次のとおりです。

（歳入） 7款1項1目 地方消費税交付金

決算額 9,187,687 千円

うち、社会保障財源分 5,161,052 千円

（歳出） 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

単位：千円

区 分	主 な 事 業	決 算 額	財 源 内 訳			
			国県支出金	そ の 他	一 般 財 源	うち、 引上げ分の 地方消費税
社会福祉	障害者福祉事業	13,684,881	9,078,168	1,029	4,605,684	882,656
	高齢者福祉事業	989,227	345,831	365	643,031	123,234
	児童福祉事業	21,536,931	11,954,236	719,523	8,863,172	1,698,582
	母子父子福祉事業	1,328,649	473,789	21	854,839	163,826
	生活保護事業	4,412,418	3,268,640	83,333	1,060,445	203,229
小 計		41,952,106	25,120,664	804,271	16,027,171	3,071,527
社会保険	国民健康保険事業	2,186,020	1,247,342	0	938,678	179,893
	介護保険事業	2,768,160	0	0	2,768,160	530,504
	高齢者医療事業	4,625,242	714,913	0	3,910,329	749,395
小 計		9,579,422	1,962,255	0	7,617,167	1,459,792
保健衛生	病院事業	1,317,460	0	0	1,317,460	252,484
	疾病予防対策事業	2,981,330	1,027,652	6,458	1,947,220	373,175
	医療提供体制確保事業	37,665	0	16,406	21,259	4,074
小 計		4,336,455	1,027,652	22,864	3,285,939	629,733
合 計		55,867,983	28,110,571	827,135	26,930,277	5,161,052

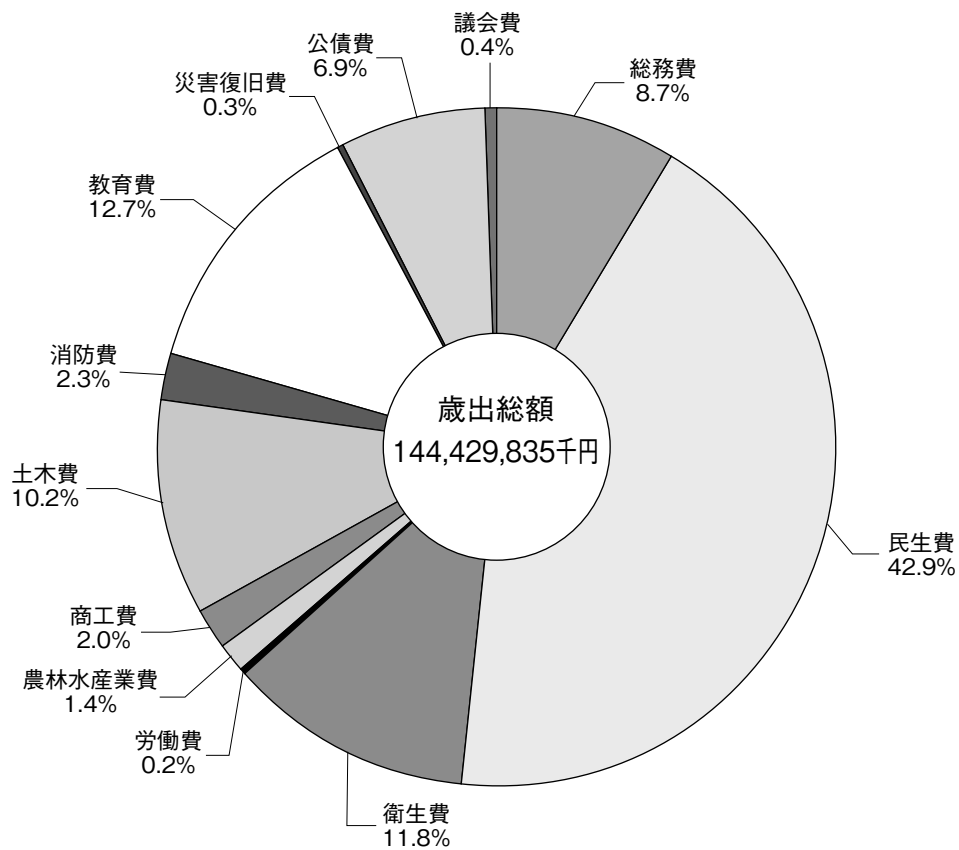
2. 歳出の状況

一般会計款別決算状況（歳出）

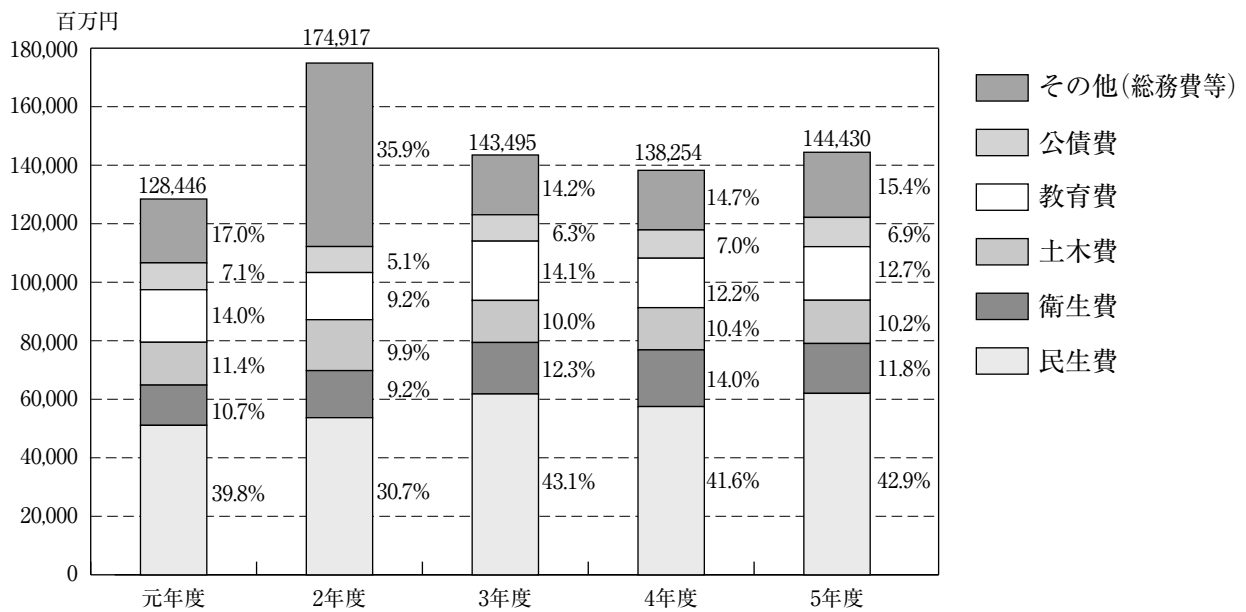
単位：千円、%

区 分	令和4年度			令和5年度		
	決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率
1 議 会 費	616,273	0.4	△ 3.1	626,820	0.4	1.7
2 総 務 費	11,416,865	8.3	5.6	12,563,332	8.7	10.0
3 民 生 費	57,508,096	41.6	△ 7.0	62,018,322	42.9	7.8
4 衛 生 費	19,367,790	14.0	10.0	17,053,797	11.8	△ 11.9
5 労 働 費	285,248	0.2	31.0	261,355	0.2	△ 8.4
6 農 林 水 産 業 費	1,796,197	1.3	△ 1.7	2,021,135	1.4	12.5
7 商 工 費	2,772,191	2.0	△ 15.7	2,947,109	2.0	6.3
8 土 木 費	14,439,745	10.4	0.4	14,774,365	10.2	2.3
9 消 防 費	3,462,095	2.5	△ 4.8	3,385,493	2.3	△ 2.2
10 教 育 費	16,893,095	12.2	△ 16.6	18,317,647	12.7	8.4
11 災 害 復 旧 費	22,468	—	3.3倍	459,881	0.3	20.5倍
12 公 債 費	9,674,423	7.0	7.2	10,000,578	6.9	3.4
合 計	138,254,484	100	△ 3.7	144,429,835	100	4.5

一般会計款別決算状況（歳出）



款別決算状況の推移

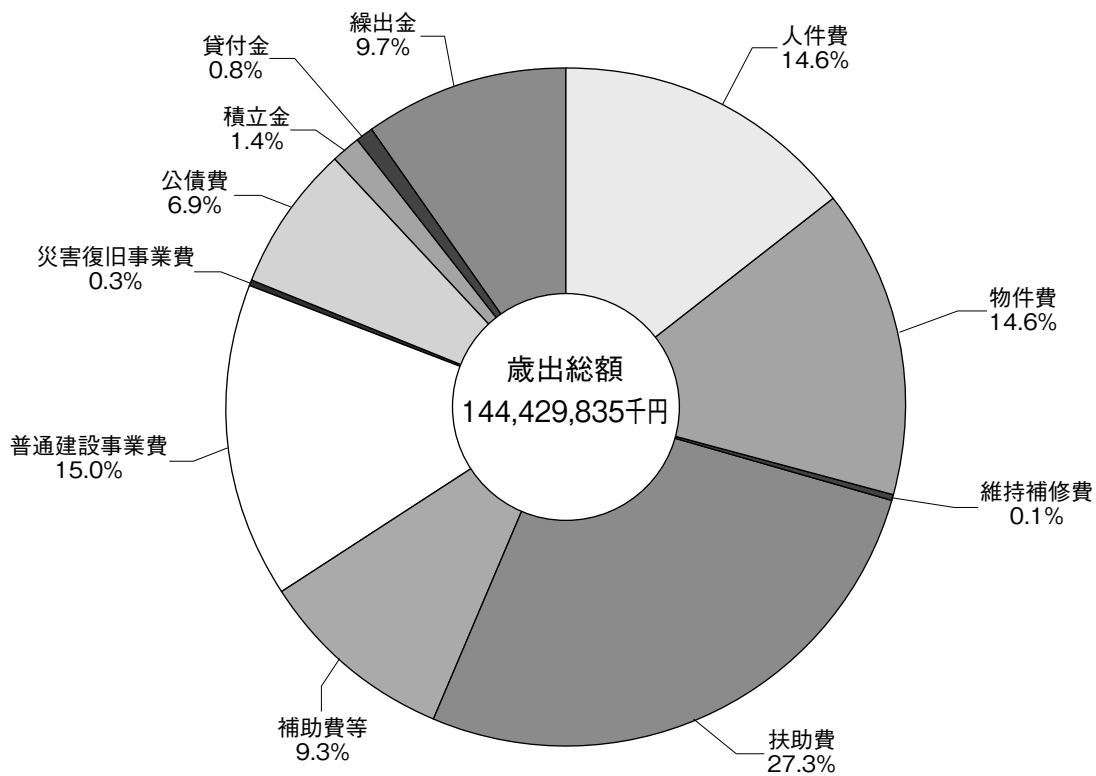


一般会計性質別決算状況（歳出）

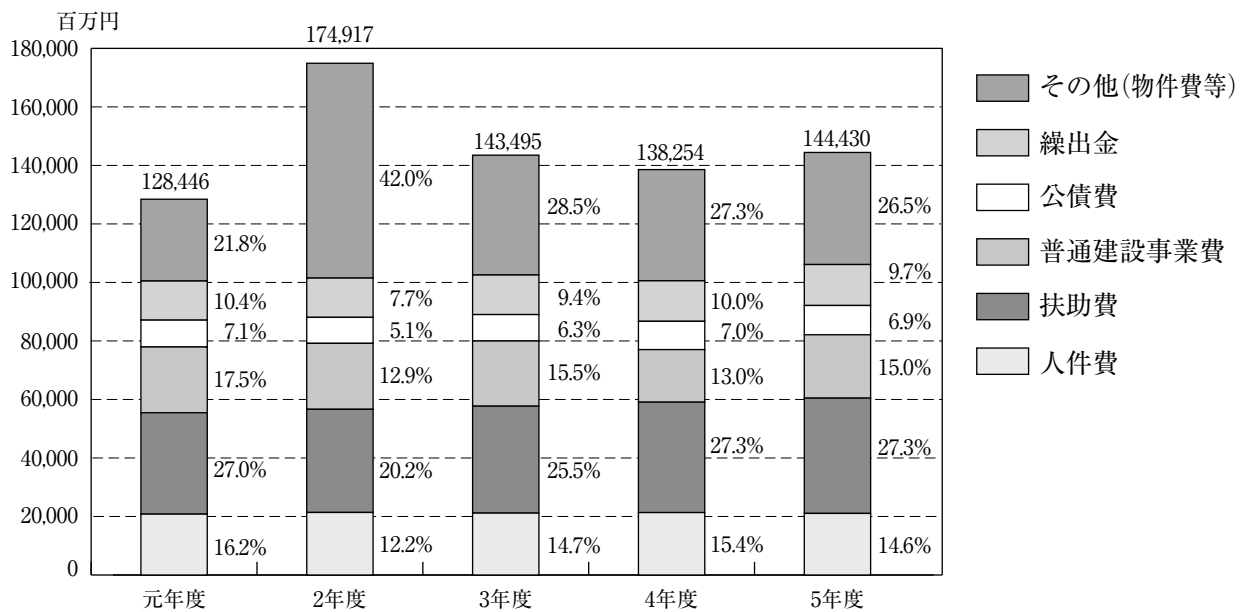
単位：千円、%

区 分	令和4年度			令和5年度			
	決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率	
1 人 件 費	21,336,408	15.4	0.9	21,049,842	14.6	△ 1.3	
2 物 件 費	21,604,322	15.6	5.0	21,104,892	14.6	△ 2.3	
3 維 持 補 修 費	103,939	0.1	13.2	107,493	0.1	3.4	
4 扶 助 費	37,731,000	27.3	3.3	39,398,851	27.3	4.4	
5 補 助 費 等	14,138,879	10.2	△ 20.9	13,460,497	9.3	△ 4.8	
6 普 通 建 設 事 業 費	17,970,409	13.0	△ 19.4	21,669,016	15.0	20.6	
内 訳	補 助 事 業 費	8,846,632	6.4	△ 6.6	9,646,704	6.7	9.0
	単 独 事 業 費	8,677,322	6.3	△ 29.5	11,438,598	7.9	31.8
	県 営 事 業 負 担 金	446,456	0.3	△ 13.5	583,714	0.4	30.7
7 災 害 復 旧 事 業 費	22,468	—	3.3倍	459,881	0.3	20.5倍	
8 公 債 費	9,674,423	7.0	7.2	10,000,578	6.9	3.4	
9 積 立 金	638,154	0.5	△ 17.6	2,017,783	1.4	3.2倍	
10 投 資 及 び 出 資 金	300	—	0.0	300	—	0.0	
11 貸 付 金	1,190,500	0.9	△ 26.6	1,158,500	0.8	△ 2.7	
12 繰 出 金	13,843,683	10.0	2.3	14,002,202	9.7	1.1	
合 計	138,254,484	100	△ 3.7	144,429,835	100	4.5	

一般会計性質別決算状況（歳出）



性質別決算状況の推移

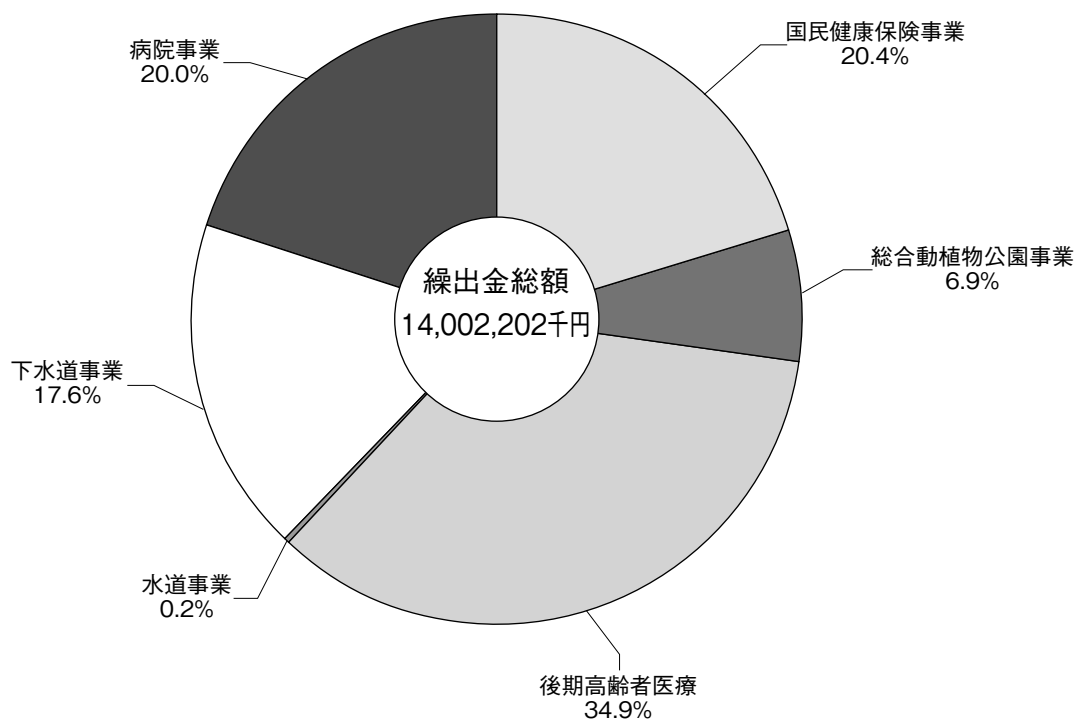


他会計への繰出金決算状況

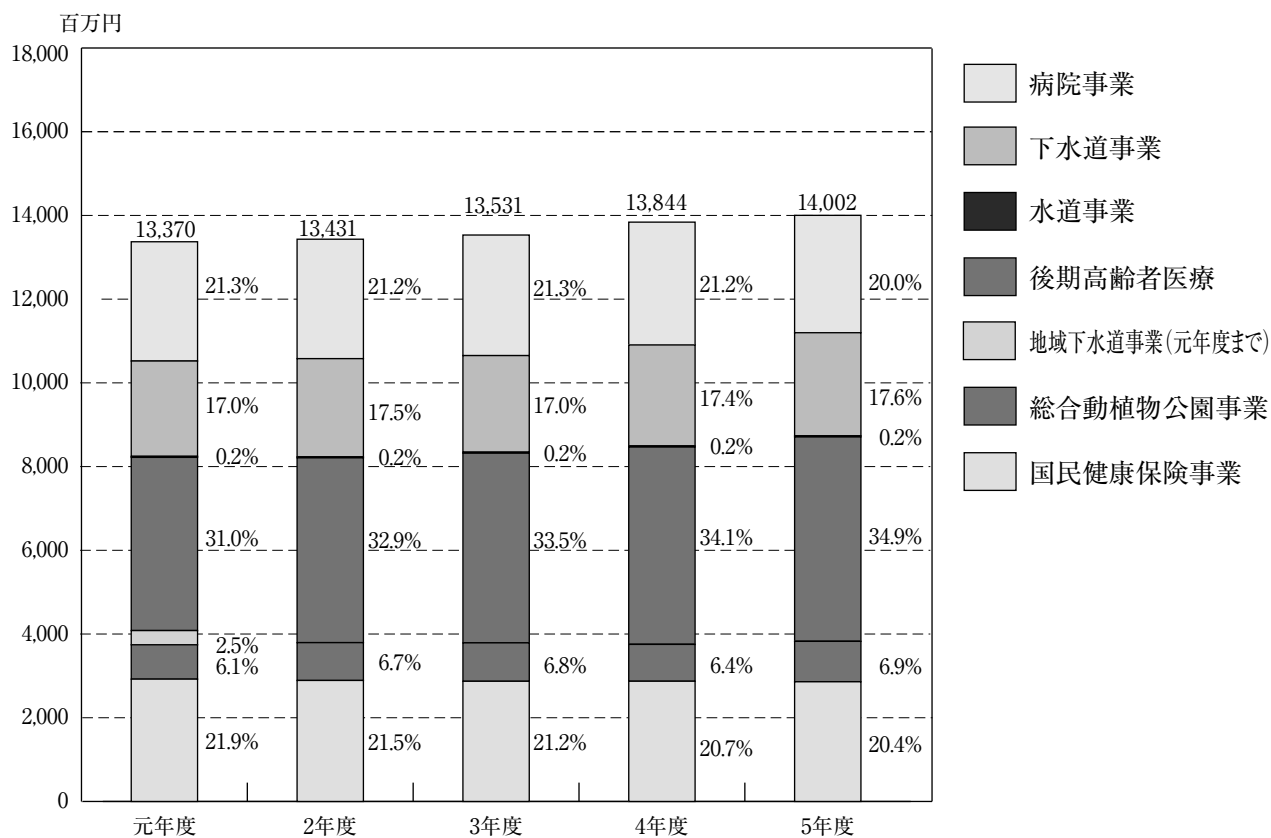
単位：千円、%

区 分		令和4年度			令和5年度		
		決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率
特別会計	国民健康保険事業	2,871,607	20.7	0.0	2,858,979	20.4	△ 0.4
	総合動植物公園事業	879,653	6.4	△ 4.2	966,182	6.9	9.8
	公共駐車場事業	1,901	—	皆増	—	—	皆減
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	2,570	—	27.9倍	113	—	△ 95.6
	後期高齢者医療	4,714,591	34.1	4.1	4,882,598	34.9	3.6
	小 計	8,470,322	61.2	1.8	8,707,872	62.2	2.8
企業会計	水道事業	25,617	0.2	3.3	28,347	0.2	10.7
	児童手当費負担金	6,938	0.1	9.5	6,352	—	△ 8.4
	消火栓設置等負担金	18,679	0.1	1.2	21,995	0.2	17.8
	下水道事業	2,413,387	17.4	4.6	2,462,232	17.6	2.0
	雨水処理等負担金	1,766,537	12.8	6.1	1,818,698	13.0	3.0
	児童手当費負担金	6,824	—	0.0	7,772	0.1	13.9
	下水道建設改良事業出資金	67,133	0.5	△ 23.6	37,585	0.3	△ 44.0
	バイオマス活用センター負担金	351,545	2.5	3.8	375,530	2.7	6.8
	分流式下水道等負担金	221,348	1.6	6.2	222,646	1.6	0.6
	病院事業	2,934,358	21.2	1.9	2,803,751	20.0	△ 4.5
	病院運営事業費負担金	583,398	4.2	4.3	525,193	3.8	△ 10.0
	救命救急センター運営費負担金	420,017	3.0	11.0	450,640	3.2	7.3
	空床確保費負担金	217,857	1.6	4.1	224,196	1.6	2.9
	保健衛生行政経費負担金	110,978	0.8	6.6	117,431	0.8	5.8
企業債償還金等負担金	1,557,017	11.2	0.0	1,445,065	10.3	△ 7.2	
児童手当費負担金	45,092	0.3	△ 9.8	41,226	0.3	△ 8.6	
小 計	5,373,362	38.8	3.1	5,294,330	37.8	△ 1.5	
合 計	13,843,683	100	2.3	14,002,202	100	1.1	

繰出金決算状況



繰出金決算状況の推移



新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
1 款 議会費	29,040	24,000	24,000	0	5,040
①議会運営事務費	29,040	24,000	24,000	0	5,040
2 款 総務費	53,226,939	44,547,000	37,767,000	0	8,679,939
①新型コロナウイルス感染症対策基金 積立金	0	0	0	0	0
②職員採用事務費	75,800	63,000	63,000	0	12,800
③庁舎管理事務費	35,970,000	29,963,000	29,963,000	0	6,007,000
④未来創生戦略事業費	0	0	0	0	0
⑤行政情報管理システム管理運営事業費	399,410	332,000	332,000	0	67,410
⑥ICT利活用推進事業費	17,173	14,000	14,000	0	3,173
⑦個人市民税課税事務費	1,104,616	919,000	919,000	0	185,616
⑧穂の国とよはし芸術劇場管理事業費	0	0	0	0	0
⑨アイプラザ豊橋管理事業費	0	0	0	0	0
⑩総合運動場管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑪地区体育館管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑫トレーニングセンター管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑬岩田総合球技場管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑭運動広場管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑮総合体育館管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑯万場調整池庭球場管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑰屋内プール・アイスアリーナ管理運 営事業費	0	0	0	0	0
⑱スポーツを活用したまちづくり事業費	484,000	403,000	403,000	0	81,000
⑲スポーツによる共生・交流促進事業費	100,000	83,000	83,000	0	17,000
⑳自治連合会活動事業費	394,020	328,000	328,000	0	66,020

対策の決算状況

単位：円

区 分	実績及び成果	
	令和4年度	令和5年度
Web会議システム導入	29,040円	29,040円
新型コロナウイルス感染症対策基金積立金	256,057円	—
採用試験における感染防止対策	採用試験会場の増設 採用試験会場の消毒委託 40,000円 19,800	採用試験会場の増設 採用試験会場の消毒委託 56,000円 19,800
市役所内の感染症対策環境整備 空調設備修繕 市役所内サテライトオフィス整備 地下駐車場換気システム修繕	空調機フィルターの購入 1,313,400円 58台 54,527,000 地下1階LAN工事 13台 3,520,000	74台 — — 35,970,000円
豊橋市新型コロナ通知システムの運用	781,000円	—
チャットサービス利用料 テレワーク用PC賃借料 Web会議システム利用料 無線化機器 庁内無線化等ネットワーク再編プロジェクト管理等委託	140ライセンス 646,800円 75台 1,752,960 — 10,483,961 4,895,000	490ライセンス 188,650円 80台 146,080 — — 64,680
テレワーク用スマートフォン導入 Web会議システム導入 テレワーク用PC購入 チャットサービス利用料 Web会議用PC賃借料 テレワーク用PCソフトウェア利用料	6台 206,076円 — 1,334,340 285台 25,337,697 350ライセンス 1,617,000 — 296,452 381,150	6台 17,173円 — — — — —
住民税申告における感染防止対策	HP上で申告書作成機能の提供、申告時の順番待ち受付システムの利用拡大	HP上で申告書作成機能の提供、申告時の順番待ち受付システムの利用継続
指定管理者支援補助金	855,000円	—
指定管理者支援補助金	113,000円	—
指定管理者支援補助金	67,000円	—
指定管理者支援補助金	310,000円	—
指定管理者支援補助金 空調設備修繕	1台 41,000円 944,900	—
指定管理者支援補助金	37,000円	—
指定管理者支援補助金	17,000円	—
指定管理者支援補助金	348,000円	—
指定管理者支援補助金	10,000円	—
指定管理者支援補助金	614,000円	—
スポーツ合宿等支援事業補助金	20件 1,089,855円	11件 484,000円
アスリートによるオンライン講座開催	1回 2,845人	1回 714人
デジタル支援講座開催	10回 121人	10回 150人

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
②①校区市民館管理運営事業費	2,707,554	2,258,000	2,258,000	0	449,554
②②市民センター管理運営事業費	0	0	0	0	0
②③外国人相談事業費	610,500	508,000	508,000	0	102,500
②④多文化共生事業費	0	0	0	0	0
②⑤相談支援事業費	8,543,920	8,187,000	1,780,000	0	356,920
②⑥男女共同参画センター管理運営事業費	0	0	0	0	0
②⑦防災備蓄品等整備事業費	1,478,400	373,000	0	0	1,105,400
②⑧危機管理対策事業費	1,183,270	985,000	985,000	0	198,270
②⑨市民相談事業費	43,560	36,000	36,000	0	7,560
②⑩東三河広域連合消費生活事業負担金	0	0	0	0	0
②⑪その他	114,716	95,000	95,000	0	19,716
3 款 民生費	79,791,477	78,710,000	2,801,000	339,000	742,477
①障害福祉サービス支給決定事務費	0	0	0	0	0
②障害福祉サービス継続支援事業補助金	1,470,000	1,388,000	408,000	0	82,000
③障害者福祉会館管理運営事業費	0	0	0	0	0
④住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費	0	0	0	0	0
⑤アクティブシニア活動促進事業費	339,000	0	0	339,000	0
⑥老人福祉センター等施設管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑦特別養護老人ホーム管理運営事業費	108,900	90,000	90,000	0	18,900
⑧介護サービス提供体制確保事業補助金	65,121,000	65,121,000	0	0	0
⑨介護保険施設等整備事業補助金	6,820,000	6,820,000	0	0	0
⑩認定調査事務費	0	0	0	0	0
⑪切れ目のない子育て支援事業費	0	0	0	0	0
⑫児童相談支援事業費	0	0	0	0	0
⑬公立保育所等管理運営事業費	877,539	805,000	338,000	0	72,539

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果	
	令和4年度	令和5年度
I C T環境整備	50館 3,782,298円	50館 2,707,554円
指定管理者支援補助金 窓枠手すり設置 空調設備修繕	5台 48,000円 550,000 159,500	—
多言語通訳タブレット導入	1台 654,500円	1台 610,500円
就労のための日本語教室開催	80回 延 544人	—
生理用品の配布 女性のつながりサポート事業	1,800袋 724,200円 SNSやまちかど保健室での相談・訪問支援等	— SNSやまちかど保健室での相談・訪問支援等
空調設備修繕 I C T環境整備	1台 1,364,000円 452,980	—
感染症対策ウェットタオル購入	1,519,848円	1,478,400円
避難所の感染防止用品購入	—	感染症防護対策キットの購入 1,183,270円
相談用タブレット購入 Web会議システム導入	76,560円 25,256	— 43,560円
オンライン消費生活相談等事業負担金	294,680円	—
市有施設の感染症対策環境整備	消毒液等の消耗品購入 193,246円	消毒液等の消耗品購入 114,716円
—	—	—
O C Rソフト導入	85,910円	—
障害福祉サービス継続支援事業補助金	18事業所 5,925,000円	8事業所 1,470,000円
指定管理者支援補助金	63,000円	—
職員人件費 給付世帯数 事務費	時間外勤務手当等 9,956世帯 1,205,701円 995,600,000 38,141,070	—
補助金	—	34団体 339,000円
空調設備修繕	11台 316,800円	—
感染症対策環境整備 リモート面会の実施	消毒液等の購入 314件 104,657円 54,120	消毒液等の購入 — 108,900円
緊急時介護人材確保・職場環境復旧等支援件数	121事業所 207,202,000円	53事業所 65,121,000円
新型コロナウイルス感染拡大防止対策費補助金	1事業所 2,695,000円	1事業所 6,820,000円
訪問調査モバイル端末の導入	7,923,311円	—
子育て応援事業	会場分散型による子育て応援フェスの開催	—
支援対象児童等見守り強化事業 W e b会議用タブレット導入	タブレット利用料 3,536,710円 132,684	—
感染症対策環境整備 空調設備修繕 一時預かり事業の体制強化	消毒液、非接触体温計等の購入 1園 会計年度任用職員(日額等) 790,466円 8,701,000 2,973,413	消毒液、非接触体温計等の購入 — — 877,539円

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
⑭法人保育所・認定こども園通常保育 事業費	4,251,000	3,895,000	1,770,000	0	356,000
⑮子育て環境総合支援事業費	0	0	0	0	0
⑯交通児童館管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑰こども未来館施設管理事業費	0	0	0	0	0
⑱ミラまちこども館管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑲法人保育所等地域子ども・子育て支援事業費	430,000	355,000	69,000	0	75,000
⑳ひとり親家庭等自立支援事業費	221,710	110,000	0	0	111,710
㉑子どもの未来応援事業費	0	0	0	0	0
㉒子育て世帯への臨時特別給付金給付 事業費	0	0	0	0	0
㉓豊橋市子育て世帯への臨時特別給付 金給付事業費	0	0	0	0	0
㉔生活保護扶助事業費	0	0	0	0	0
㉕生活困窮者自立支援事業費	0	0	0	0	0
㉖新型コロナウイルス感染症生活困窮 者自立支援金給付事業費	0	0	0	0	0
㉗その他	152,328	126,000	126,000	0	26,328
4 款 衛生費	1,157,257,176	1,085,857,060	3,282,000	0	71,400,116
①予防接種事業費	860,282,653	860,155,578	441,000	0	127,075
②感染症予防対策事業費	226,971,877	171,202,928	0	0	55,768,949
③結核・感染症医療給付事業費	61,934,001	47,001,402	0	0	14,932,599

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果	
	令和4年度	令和5年度
感染症対策物品等購入補助金 ICT化・翻訳機導入補助金 届出保育施設職員応援金	62施設 12 11 28,053,000円 7,568,000 2,268,000	15施設 — — 4,251,000円
児童福祉施設等感染症防止対策相談支援	医師によるオンライン相談支援 320,830円	—
指定管理者支援補助金 トイレ洋式化工事 感染症対策環境整備	2基 消毒液等の購入 126,000円 693,000 178,730	—
指定管理者支援補助金	230,000円	—
子育て支援情報発信用タブレット導入	タブレット利用料 64,998円	—
地域子育て支援センターの感染症対策環境整備 感染症対策費補助金	消毒液等の購入 8施設 720,000円 1,537,000	消毒液等の購入 1施設 180,000円 250,000
ひとり親家庭等学習・生活支援事業	ネットワーク環境整備 205,602円	ネットワーク環境整備 221,710円
フードバンク活動支援事業補助金	1団体 300,000円	—
給付人数 事務費	186人 18,600,000円 18,370	—
給付人数	2人 200,000円	—
保護施設等衛生管理体制確保支援事業費	1件 30,000円	0件 0円
学習・生活支援人数 就労準備支援人数	96人 324,707円 5 67,332	0人 0円 0 0
職員人件費 給付世帯数 事務費	時間外勤務手当 1,623,077円 延 186世帯 56,240,000 事務費 808,439	—
市有施設等の感染症対策環境整備	消毒液等の消耗品購入 1,448,787円	消毒液等の消耗品購入 152,328円
新型コロナウイルス（臨時） 集団接種運営事務費 集団接種に係る路線バスの増便 集団接種タクシー移動支援補助金 集団接種医師派遣協力金 コールセンターの体制強化 外国人ワクチン接種支援事業費 新型コロナウイルスワクチン接種準備費 インフルエンザワクチン接種 風しん（追加対策）ワクチン接種	接種人数 延 387,243人 集団接種の運営 69,025,974円 集団接種会場へ往來するバスを増便 6,512,285 87件 52,200 0 0 ワクチン接種円滑化を図るためコールセンターの体制を確保 外国人の相談等支援するため窓口体制を確保 4・5回目接種、12歳以上の未成年や乳幼児接種に向けて体制を準備 接種人数 67,116人 接種人数 349	接種人数 延 125,910人 集団接種の運営 10,611,585円 — 10件 6,300 — 外国人の相談等支援するため窓口体制を確保 — — 接種人数 52人
自宅療養者等医療提供事業補助金 自宅療養者配食サービスの提供 受診・相談センターの運営 療養生活サポートセンターの運営 医療機関におけるPCR検査等の実施 高齢者入所施設等職員へのスクリーニング検査の実施 パルスオキシメーターによる健康観察強化 自宅療養者への健康観察体制強化 自宅療養者の受診等搬送支援	1,105件 1,103,124,000円 提供食数 延 17,565食 受診・相談センターを運営 療養生活サポートセンターを運営 PCR検査センターの運営やPCR検査を実施 高齢者入所施設等職員へスクリーニング検査を実施 パルスオキシメーターによる自宅療養者の健康観察を実施 自宅療養者への健康観察体制を強化 自宅療養者の受診等搬送支援を実施	414件 11,094,000円 提供食数 延 30食 受診・相談センターを運営 療養生活サポートセンターを運営 PCR検査センターの運営やPCR検査を実施 高齢者入所施設等職員へスクリーニング検査を実施 パルスオキシメーターによる自宅療養者の健康観察を実施 自宅療養者への健康観察体制を確保 自宅療養者の受診等搬送支援を実施
医療給付費	24件 171,212,675円	21件 61,934,001円

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
④妊産婦保健事業費	9,000	8,000	4,000	0	1,000
⑤乳幼児保健事業費	0	0	0	0	0
⑥不妊不育対策事業費	0	0	0	0	0
⑦看護専門学校管理運営事業費	1,756,920	1,463,000	1,463,000	0	293,920
⑧愛知県医療従事者応援金負担金	33,000	27,000	27,000	0	6,000
⑨新型コロナウイルス感染症回復患者 転院受入協力金	0	0	0	0	0
⑩新型コロナウイルス感染症自宅療養 者支援事業費	0	0	0	0	0
⑪営業施設等指導事業費	0	0	0	0	0
⑫試験検査事業費	0	0	0	0	0
⑬その他	6,269,725	5,999,152	1,347,000	0	270,573
5 款 労働費	0	0	0	0	0
①雇用確保安定事業費	0	0	0	0	0
6 款 農林水産業費	848,716	706,000	706,000	0	142,716
①農業団体等利子補給補助金	848,716	706,000	706,000	0	142,716
②農産物ブランド化推進事業費	0	0	0	0	0
③道の駅食農拠点推進事務費	0	0	0	0	0
7 款 商工費	95,677,900	40,001,000	40,001,000	44,000,000	11,676,900
①新ビジネスチャレンジ応援補助金	0	0	0	0	0
②プレミアム付電子商品券事業補助金	0	0	0	0	0
③制度融資資金預託金	44,000,000	0	0	44,000,000	0
④制度融資関係事業費	51,677,900	40,001,000	40,001,000	0	11,676,900
⑤観光宿泊プラン販売支援補助金	0	0	0	0	0
8 款 土木費	38,982,458	32,471,000	32,471,000	0	6,511,458
①豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営 事業費	0	0	0	0	0
②公共駐車場事業特別会計繰出金	0	0	0	0	0

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果			
	令和4年度		令和5年度	
里帰り困難妊産婦育児等支援事業 分娩前ウイルス検査費補助金 感染妊産婦寄り添い支援事業	利用日数 補助交付者数 利用者数	延 212日 30人 10	— —	1人
離乳食教室の開催	7回	130,080円	—	
特定不妊治療費補助金	補助交付件数	延 214件	—	
多職種連携ハイブリッドシミュレータ等賃借料 空調設備修繕	4台 3	934,120円 32,780,000	4台 —	1,756,920円
愛知県が実施する医療従事者応援金負担金	2件	2,366,000円	1件	33,000円
転院受入協力金	9件	3,264,000円	0件	0円
医師往診体制強化協力金 薬剤師往診体制強化協力金 診療体制確保協力金	12件 12 0	32,670,000円 23,914,800 0	0件 0 0	0円 0 0
飲食店等における換気の見える化事業の実施	空気環境測定の実施施設数	6施設	—	
試験検査事業費	PCR検査用安全キャビネットの定期メンテナンス リアルタイムPCR機器の保守		—	
感染症対策に係る人件費 市有施設の感染症防止対策	時間外勤務手当等 消毒液等の消耗品購入	50,318,297円 125,631	時間外勤務手当等 —	6,269,725円
雇用維持助成金 雇用調整助成金申請等手数料補助金	6件 11	1,321,000円 973,000	—	
新型コロナウイルス対策資金利子補給補助金	51件	1,358,071円	51件	848,716円
豊橋産農産物販売促進事業補助金	1団体	1,800,000円	—	
指定管理者支援補助金		0円	—	
新ビジネスチャレンジ応援補助金	11事業者	1,764,000円	—	
プレミアム付電子商品券	販売セット数 流通額	99,713セット 498,565,000円	—	
経営安定資金融資件数	14件	68,200,000円	4件	15,500,000円
信用保証料補助金 経営安定資金特別対策補助金	735件 200	78,256,200円 14,440,900	425件 429	24,144,600円 27,533,300
観光宿泊プラン販売支援補助金	21件	6,676,000円	—	
指定管理者支援補助金		0円	—	
指定管理者支援補助金		0円	—	

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
③総合動植物公園事業特別会計繰出金	0	0	0	0	0
④共回事務費（都市計画総務費）	694,698	578,000	578,000	0	116,698
⑤共回事務費（公園・緑地づくり費）	749,760	624,000	624,000	0	125,760
⑥公共交通活性化事業費	0	0	0	0	0
⑦公共交通対策事業費	37,538,000	31,269,000	31,269,000	0	6,269,000
9 款 消防費	3,583,220	2,983,000	2,983,000	0	600,220
①消防署所施設管理事業費	0	0	0	0	0
②救急高度化事業費	3,223,220	2,684,000	2,684,000	0	539,220
③その他	360,000	299,000	299,000	0	61,000
10 款 教育費	125,389,045	112,165,000	65,710,000	0	13,224,045
①教育活動支援事業費	0	0	0	0	0
②コンピュータ活用事業費	15,613,296	13,090,000	13,090,000	0	2,523,296
③くすのき特別支援学校管理事業費	23,680,800	21,703,000	9,863,000	0	1,977,800
④くすのき特別支援学校教育活動事業費	4,134,241	3,665,000	1,820,000	0	469,241
⑤市立高等学校管理事業費	371,723	0	0	0	371,723
⑥家政高等専修学校管理事業費	0	0	0	0	0
⑦自然史博物館施設管理事業費	0	0	0	0	0
⑧視聴覚教育センター施設管理事業費	17,039	14,000	14,000	0	3,039
⑨小学校校舎等改修事業費	0	0	0	0	0
⑩中学校校舎等改修事業費	0	0	0	0	0

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果			
	令和4年度		令和5年度	
空調設備修繕 トイレ洋式化工事 空気清浄機等購入	2台 21基 16台	2,024,000円 20,999,736 4,685,520	—	
屋外広告物等台帳管理システム導入 台帳管理システム費	—	3,344,000円	—	694,698円
台帳管理システム費	—	—	—	749,760円
MaaS環境整備事業費補助金	1事業者	417,500円	—	
路線バス事業者感染症対策助成金 鉄軌道事業者感染症対策助成金 タクシー事業者運行維持助成金 鉄軌道施設安全対策事業費補助金	75系統 46両 4事業者 1	53,330,000円 30,400,000 15,550,000 26,299,691	75系統 — — —	37,538,000円
空調設備修繕	5台	1,885,400円	—	
救急活動における感染症対策強化	感染防止衣の購入 高圧蒸気滅菌器 7台 —	7,150,000円 2,718,100 —	感染防止衣等の購入 — 感染性廃棄物収集運搬・処理業務委託料 0	3,223,220円
感染症対策に係る人件費	特殊勤務手当	6,271,200円	特殊勤務手当	360,000円
新入学児童学級対応等支援事業費 小中学校修学旅行キャンセル料補助金	謝礼等 10校	95,711,580円 195,614	—	
学習用コンピュータ・タブレット費 コンピュータネットワークシステム費	タブレット端末運用保守委託料 ネットワーク環境整備	25,396,800円 15,630,808	— ネットワーク環境整備	15,613,296円
スクールバスの増便 体育館網戸設置工事	6路線 69,300	59,202,000円 69,300	6路線 —	23,680,800円
スクールバス増便分添乗員報酬 感染症対策環境整備 学習用コンピュータ・タブレット費 コンピュータネットワークシステム費	会計年度任用職員(日額等) 消毒液等の消耗品及び備品購入 タブレット端末運用保守委託料 ネットワーク環境整備	5,384,400円 4,165,552 343,200 102,624	会計年度任用職員(日額等) 消毒液等の消耗品及び備品購入 — ネットワーク環境整備	1,959,300円 2,072,317 — 102,624
Web出願システム費	—	—	入学願書等のWeb申請の導入	371,723円
体育館網戸設置工事	—	234,960円	—	
空調設備修繕 感染症対策環境整備	1台 館内Wi-Fi整備	2,255,000円 1,867,800	—	
空調設備修繕 感染症対策環境整備	3台 消毒液等の消耗品購入	14,465,000円 36,164	— 消毒液等の消耗品購入	17,039円
空調設備修繕 トイレ洋式化工事 体育館網戸設置工事 無線アクセスポイント機器購入 階段昇降機購入	7校 33 49 52 2	26,614,500円 56,267,083 11,483,032 33,753,280 2,112,000	—	
体育館網戸設置工事 無線アクセスポイント機器購入 階段昇降機購入	16校 22 2	2,991,164円 25,463,240 2,112,000	—	

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
⑪生涯学習市民大学事業費	30,000	0	0	0	30,000
⑫生涯学習活動事業費	97,900	0	0	0	97,900
⑬地区市民館管理運営事業費	3,289,198	2,739,000	2,739,000	0	550,198
⑭青少年センター管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑮少年自然の家管理運営事業費	536,800	447,000	447,000	0	89,800
⑯野外教育センター管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑰公営児童クラブ運営事業費	4,028,200	3,803,000	1,119,000	0	225,200
⑱民営児童クラブ運営事業費	6,909,000	6,909,000	2,303,000	0	0
⑲郷土・司文庫等図書業務費	1,000,000	833,000	833,000	0	167,000
⑳美術博物館展覧会事業費	396,000	329,000	329,000	0	67,000
㉑二川宿本陣資料館展覧会事業費	396,000	329,000	329,000	0	67,000
㉒学校健康診断事業費	2,301,222	1,916,000	1,916,000	0	385,222
㉓その他	62,587,626	56,388,000	30,908,000	0	6,199,626
一般会計 合計	1,554,785,971	1,397,464,060	185,745,000	44,339,000	112,982,911

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果			
	令和4年度		令和5年度	
ウェブキャスト講座の拡充	—		30,000円	
ウェブキャスト講座の拡充	—		97,900円	
ウェブキャスト環境整備 空調設備修繕	21館 7	1,530,776円 30,302,800	21館 2	1,677,698円 1,611,500
空調設備修繕 トイレ洋式化工事	1台 2基	440,000円 707,608	—	
トイレ洋式化工事	—		2基	536,800円
トイレ洋式化工事	8基	3,213,100円	—	
感染症対策環境整備 蛇口・トイレ洋式化工事	58クラブ 16	5,783,170円 9,395,100	14クラブ 12	356,400円 3,671,800
感染症対策費補助金 ICT化推進事業費補助金	32クラブ 32	20,628,000円 2,724,000	12クラブ	— 6,909,000円
図書館デジタルアーカイブ業務委託	19点	2,500,000円	250点	1,000,000円
ポケット学芸員の導入	198,000円		396,000円	
ポケット学芸員の導入	388,942円		396,000円	
市立学校児童生徒心電図検査等業務委託料	77校	2,387,154円	77校	2,301,222円
市有施設の感染症対策環境整備	消毒液等の消耗品及び備品購入	122,933,440円	消毒液等の消耗品及び備品購入	62,587,626円

物 価 高 騰 対 策

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
2 款 総務費	37,045,000	0	0	0	37,045,000
①市民文化会館管理事業費	23,000	0	0	0	23,000
②西川芸能練習場管理事業費	0	0	0	0	0
③三の丸会館管理事業費	0	0	0	0	0
④ライフポートとよはし管理事業費	3,733,000	0	0	0	3,733,000
⑤公会堂管理事業費	404,000	0	0	0	404,000
⑥穂の国とよはし芸術劇場管理事業費	9,823,000	0	0	0	9,823,000
⑦アイプラザ豊橋管理事業費	2,356,000	0	0	0	2,356,000
⑧総合運動場管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑨地区体育館管理運営事業費	4,744,584	0	0	0	4,744,584
⑩トレーニングセンター管理運営事業費	669,108	0	0	0	669,108
⑪岩田総合球技場管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑫運動広場管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑬総合体育館管理運営事業費	5,393,416	0	0	0	5,393,416
⑭万場調整池庭球場管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑮屋内プール・アイスアリーナ管理運 営事業費	9,468,892	0	0	0	9,468,892
⑯市民センター管理運営事業費	430,000	0	0	0	430,000
3 款 民生費	3,310,291,038	2,886,203,818	2,779,868,818	0	424,087,220
①地域福祉センター管理運営事業費	0	0	0	0	0
②総合福祉センター管理運営事業費	1,513,000	0	0	0	1,513,000
③障害福祉サービス事業所等光熱費高 騰対策支援金	439,000	405,000	405,000	0	34,000
④障害者福祉会館管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑤住民税非課税世帯等支援給付金給付 事業費	944,817,003	944,678,003	944,678,003	0	139,000
⑥住民税非課税世帯支援給付金給付事 業費	2,120,591,929	1,724,629,929	1,724,629,929	0	395,962,000
⑦住民税均等割のみ課税世帯支援給付 金給付事業費	60,625,733	60,625,733	60,625,733	0	0
⑧電力・ガス・食料品等価格高騰緊急 支援給付金給付事業費	0	0	0	0	0

の 決 算 状 況

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果	
	令和4年度	令和5年度
指定管理者支援補助金	2,146,000円	23,000円
指定管理者支援補助金	0円	—
指定管理者支援補助金	120,000円	—
指定管理者支援補助金	11,086,000円	3,733,000円
指定管理者支援補助金	0円	404,000円
指定管理者支援補助金	11,872,000円	9,823,000円
指定管理者支援補助金	10,021,000円	2,356,000円
指定管理者支援補助金	2,659,000円	0円
指定管理者支援補助金	7,270,000円	4,744,584円
指定管理者支援補助金	955,000円	669,108円
指定管理者支援補助金	1,715,000円	—
指定管理者支援補助金	690,000円	0円
指定管理者支援補助金	8,163,000円	5,393,416円
指定管理者支援補助金	112,000円	—
指定管理者支援補助金	14,416,000円	9,468,892円
指定管理者支援補助金	1,049,000円	430,000円
光熱費高騰対策支援補助金 指定管理者支援補助金	1施設 3 639,366円 222,000	0施設 0 0円 0
指定管理者支援補助金	4,686,000円	1,513,000円
障害福祉サービス事業所等光熱費高騰対策支援金	30事業所	49事業所
指定管理者支援補助金	1,180,000円	439,000円
指定管理者支援補助金	692,000円	0円
給付世帯数 事務費	—	29,810世帯 894,300,000円 50,517,003
給付世帯数 事務費	—	29,851世帯 2,089,570,000円 31,021,929
給付世帯数 事務費	—	598世帯 59,800,000円 825,733
職員人件費 給付世帯数 事務費	時間外勤務手当等 30,243世帯 862,949円 1,512,150,000 53,394,995	—

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
⑨ 東部老人会館運営費補助金	0	0	0	0	0
⑩ 介護サービス事業所光熱費高騰対策事業費	3,240,480	2,720,000	2,720,000	0	520,480
⑪ 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費	0	0	0	0	0
⑫ 愛知県子育て世帯臨時特別給付金給付事業費	0	0	0	0	0
⑬ 豊橋市子育て世帯臨時特別給付金給付事業費	1,180,000	0	0	0	1,180,000
⑭ 法人保育所・認定こども園通常保育事業費	172,563,740	151,598,000	45,263,000	0	20,965,740
⑮ 私立幼稚園運営費補助金	255,000	191,000	191,000	0	64,000
⑯ 交通児童館管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑰ こども未来館施設管理事業費	3,709,000	0	0	0	3,709,000
⑱ 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費（ひとり親家庭等支援費）	0	0	0	0	0
⑲ その他	1,356,153	1,356,153	1,356,153	0	0
4 款 衛生費	283,267,153	232,602,000	31,889,000	0	50,665,153
① 余熱利用施設管理運営事業費	4,668,000	0	0	0	4,668,000
② 出産・子育て応援給付金給付事業費	277,442,771	231,496,479	31,889,000	0	45,946,292
③ その他	1,156,382	1,105,521	0	0	50,861
6 款 農林水産業費	119,365,830	105,691,424	105,691,424	0	13,674,406
① 畜産飼料価格高騰対策特別支援補助金	46,441,740	38,685,000	38,685,000	0	7,756,740
② 施設園芸電気価格高騰対策事業費	25,826,523	23,837,000	23,837,000	0	1,989,523
③ 酪農資材価格高騰対策緊急支援補助金	0	0	0	0	0
④ 畜産飼料価格高騰対策緊急支援金	39,122,982	36,110,000	36,110,000	0	3,012,982
⑤ 肥料価格高騰対策特別支援補助金	7,059,424	7,059,424	7,059,424	0	0
⑥ 道の駅食農拠点推進事業費	915,161	0	0	0	915,161
7 款 商工費	427,710,031	405,030,000	377,077,000	0	22,680,031
① 商業振興事業費	3,315,000	1,346,000	1,346,000	0	1,969,000

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果			
	令和4年度		令和5年度	
東部老人会館運営費補助金(光熱費高騰対策)		87,552円		—
介護サービス事業所光熱費高騰対策支援金 事務費	107事業所	5,350,000円 239,761	230事業所	2,935,000円 305,480
職員人件費 給付人数 事務費	時間外勤務手当 3,985人	845,636円 199,250,000 9,517,594		—
職員人件費 給付人数 事務費	時間外勤務手当 44,555人	802,191円 445,550,000 7,496,142		—
給付人数 事務費	5,476人	54,760,000円 677,718	108人	1,180,000円 —
副食費給付費(市独自分) 物価高騰対応給食物資購入費補助金 届出保育施設光熱費高騰対策支援金 届出保育施設燃料費高騰対策支援金	— 71施設 21	— 82,669,240円 2,044,800	59施設 73 7 48	4,892,660円 163,159,380 3,216,000 1,295,700
副食費給付費(市独自分)	—	—	1施設	255,000円
指定管理者支援補助金		395,000円		0円
指定管理者支援補助金		9,434,000円		3,709,000円
職員人件費 給付人数 事務費	時間外勤務手当 3,292人	498,889円 164,600,000 4,899,844		—
物価高騰対策に係る人件費	会計年度任用職員(日額等)	1,258,151円	時間外勤務手当	1,356,153円
指定管理者支援補助金		7,515,000円		4,668,000円
給付人数		延 5,090人		延 5,438人
物価高騰対策に係る人件費	時間外勤務手当等	797,959円	時間外勤務手当等	1,156,382円
畜産飼料価格高騰対策特別支援補助金	配合飼料 128件 粗飼料 80	43,359,960円 51,874,000	配合飼料 119件 —	46,441,740円
施設園芸電気価格高騰対策支援金 事務費	—	—	259件	24,435,000円 1,391,523
酪農資材価格高騰対策緊急支援補助金	38件	43,812,052円	—	—
畜産飼料価格高騰対策緊急支援金	—	—	115件	39,122,982円
肥料価格高騰対策特別支援補助金	23件	10,213,612円	25件	7,059,424円
指定管理者支援補助金		1,433,000円		915,161円
新ビジネスチャレンジ応援補助金	—	—	14事業者	3,315,000円

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
②プレミアム付電子商品券事業補助金	354,240,361	351,292,000	323,339,000	0	2,948,361
③店舗めぐり消費喚起事業特別支援補助金	0	0	0	0	0
④制度融資関係事業費	67,456,200	50,097,000	50,097,000	0	17,359,200
⑤その他	2,698,470	2,295,000	2,295,000	0	403,470
8 款 土木費	42,089,000	38,845,000	38,845,000	0	3,244,000
①豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営事業費	0	0	0	0	0
②公共駐車場事業特別会計繰出金	0	0	0	0	0
③総合動植物公園事業特別会計繰出金	0	0	0	0	0
④公共交通対策事業費	42,089,000	38,845,000	38,845,000	0	3,244,000
⑤下水道事業会計繰出金	0	0	0	0	0
10 款 教育費	1,452,084,121	1,331,309,000	1,331,309,000	0	120,775,121
①教育活動支援事業費	356,240	296,000	296,000	0	60,240
②教育振興事業費	175,595	146,000	146,000	0	29,595
③私立高等学校等支援事業費	0	0	0	0	0
④就学援助事業費	2,589,000	2,156,000	2,156,000	0	433,000
⑤青少年センター管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑥民営児童クラブ運営事業費	785,600	725,000	725,000	0	60,600
⑦商家「駒屋」施設管理事業費	0	0	0	0	0
⑧学校給食物資調達事業費	1,238,944,186	1,173,812,000	1,173,812,000	0	65,132,186
⑨学校給食費物価高騰対策臨時支援給 付事業費	209,233,500	154,174,000	154,174,000	0	55,059,500
⑩学校給食費無償対応臨時給付金給付 事業費	0	0	0	0	0
一般会計 合計	5,671,852,173	4,999,681,242	4,664,680,242	0	672,170,931

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果			
	令和4年度		令和5年度	
プレミアム付電子商品券	—		販売セット数 流通額	188,944セット 1,228,136,000円
店舗めぐり消費喚起事業特別支援補助金	19イベント	13,604,000円	—	
信用保証料補助金 経営安定資金特別対策補助金	862件 866	86,345,400円 62,318,400	422件 420	38,549,100円 28,907,100
物価高騰対策に係る人件費	会計年度任用職員(日額等) 1,706,947円		会計年度任用職員(日額等) 2,698,470円	
指定管理者支援補助金	421,000円		—	
指定管理者支援補助金	1,901,000円		—	
指定管理者支援補助金	600,000円		—	
鉄軌道事業者電気価格高騰対策支援金 タクシー事業者燃料費等高騰対策支援金 路線バス事業者燃料費等高騰対策支援金	— — —	— — —	1事業者 4 1	18,432,000円 12,520,000 11,137,000
雨水処理等負担金	雨水処理に係る動力費の増加分		—	
文化芸術体験活動バス賃借料	—		バス賃借料高騰分	356,240円
野外教育活動バス賃借料	—		バス賃借料高騰分	175,595円
私立高等学校授業料補助金 私立専修学校等授業料補助金	1,595人 47	20,741,540円 824,400	—	
小学校就学援助事業費 中学校就学援助事業費	小学校1年生新入学学用品費増加分 —	1,713,000円 —	— 中学校1年生新入学学用品費増加分	2,589,000円
指定管理者支援補助金	—		0円	
光熱費高騰対策支援金	40クラブ	2,037,100円	40クラブ	785,600円
指定管理者支援補助金	300,000円		—	
物価高騰対応学校給食物資購入費 市立小中学校給食の無償提供 市立小中学校給食費の半額軽減	5,719,259食 2,605,779	110,411,215円 655,400,480	5,268,766食 3,434,346 1,168,726	228,487,585円 864,482,810 145,973,791
給付人数 事務費	—		5,294人	207,642,850円 1,590,650
給付人数 事務費	4,993人	118,610,450円 1,123,545	—	

一般会計節別不用額状況（歳出）

単位：千円、%

区 分	令和4年度							令和5年度					
	最終予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	構成比	不用率	最終予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	構成比	不用率	
1 報 酬	2,968,232	2,740,420	0	227,812	2.4	7.7	3,235,310	2,955,094	1,478	278,739	2.8	8.6	
2 給 料	8,729,329	8,567,618	0	161,711	1.7	1.9	8,891,058	8,683,563	0	207,495	2.1	2.3	
3 職員手当等	7,389,894	7,143,430	0	246,464	2.6	3.3	6,772,342	6,611,714	183	160,445	1.6	2.4	
4 共 済 費	3,428,617	3,276,131	0	152,486	1.6	4.4	3,521,675	3,290,167	133	231,374	2.4	6.6	
5 災害補償費	2,915	790	0	2,125	—	72.9	2,607	411	0	2,196	—	84.2	
6 恩給及び 退職年金	2,402	1,793	0	609	—	25.3	1,592	1,591	0	1	—	0.1	
7 報 償 費	468,091	404,071	0	64,020	0.7	13.7	383,910	315,297	0	68,613	0.7	17.9	
8 旅 費	171,224	112,519	0	58,705	0.6	34.3	164,978	118,584	56	46,338	0.5	28.1	
9 交 際 費	4,020	1,945	0	2,075	—	51.6	4,037	2,350	0	1,687	—	41.8	
10 需 用 費	4,138,776	3,562,706	53,975	522,095	5.5	12.8	4,401,906	3,596,154	115,143	690,609	7.1	16.1	
11 役 務 費	1,155,080	1,054,417	10	100,653	1.1	8.7	1,140,436	1,055,662	5,485	79,289	0.8	7.0	
12 委 託 料	23,488,734	21,086,718	312,025	2,089,992	21.9	9.0	23,738,798	21,047,105	297,873	2,393,820	24.5	10.2	
13 使 用 料 及び賃借料	1,890,974	1,834,886	2,200	53,888	0.6	2.9	1,747,541	1,633,652	33,188	80,701	0.8	4.7	
14 工事請負費	19,514,323	11,323,961	7,502,068	688,294	7.2	5.7	19,733,916	13,239,991	5,462,423	1,031,502	10.5	7.2	
15 原 材 料 費	38,740	35,490	0	3,250	—	8.4	39,391	37,235	0	2,156	—	5.5	
16 公 有 財 産 購 入 費	963,146	935,808	15,839	11,500	0.1	1.2	910,689	884,962	9,518	16,208	0.2	1.8	
17 備品購入費	639,200	562,342	53,281	23,577	0.2	4.0	456,594	364,770	62,162	29,662	0.3	7.5	
18 負担金、補助 及び交付金	22,416,041	18,530,700	689,622	3,195,719	33.5	14.7	24,023,473	19,920,403	1,515,225	2,587,845	26.4	11.5	
19 扶 助 費	31,232,826	30,470,241	0	762,585	8.0	2.4	32,983,076	32,269,892	0	713,184	7.3	2.2	
20 貸 付 金	1,686,500	1,190,500	0	496,000	5.2	29.4	1,647,061	1,158,500	0	488,561	5.0	29.7	
21 補償、補填 及び賠償金	344,804	227,643	65,694	51,466	0.5	18.4	296,138	236,048	10,411	49,679	0.5	17.4	
22 償還金、利子 及び割引料	10,787,851	10,700,562	0	87,289	0.9	0.8	11,015,256	10,978,008	0	37,248	0.4	0.3	
23 投 資 及 び 出 資 金	300	300	0	0	—	0.0	300	300	0	0	—	0.0	
24 積 立 金	643,439	638,154	0	5,285	0.1	0.8	2,018,132	2,017,783	0	349	—	0.0	
25 寄 附 金	—	—	—	—	—	—	500	500	0	0	—	0.0	
26 公 課 費	7,995	7,657	0	338	—	4.2	8,557	7,899	0	658	—	7.7	
27 繰 出 金	14,342,336	13,843,683	0	498,653	5.2	3.5	14,563,042	14,002,202	0	560,840	5.7	3.9	
28 予 備 費	30,000	0	0	30,000	0.3	100	30,000	0	0	30,000	0.3	100	
合 計	156,485,790	138,254,484	8,694,714	9,536,592	100	6.5	161,732,314	144,429,835	7,513,279	9,789,200	100	6.3	

※不用率＝不用額／（最終予算額－翌年度繰越額）

3. 主要な施策の成果

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2 款 総 務 費	12,563,331,976	1,028,832,268	265,300,000	1,336,494,141	9,932,705,567
1 項 総 務 管 理 費	6,065,759,789	38,310,518	11,700,000	948,976,744	5,066,772,527
3 目 人 事 管 理 費	143,058,849	63,000	0	4,962,217	138,033,632

1 人事管理事業費 110,033,053 円 (人事課)

[総括]

幅広く有為な人材を確保するため、新たに大阪での採用試験を実施したほか、東京での採用活動を拡充した。職員研修では、職員の持つ知識・技能等の庁内展開による学び合う職場風土の醸成と職員の能力向上を目的とした「豊橋みらいアカデミー」を計 17 回開講したほか、階層別研修のカリキュラムの見直しを実施するとともに、パートナーシティ締結に基づく人事交流のための福島市への職員派遣、戦略的広報に寄与するためのBSよしもと株式会社への職員派遣等を実施し、職員の育成に取り組んだ。今後も、職員の能力向上や組織力を高め、質の高い市政運営の実現に繋げるよう、人事制度の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 職員採用事務費 3,544,638 円

区 分	令和 4 年度		令和 5 年度	
	1 次試験受験者数	採用者数	1 次試験受験者数	採用者数
事 務 職 ・ 技 術 職	621人(23)	47人(1)	542人(38)	47人(1)
専 門 職	142	43	82	30
経 験 者 等	59	3	52 (-)	2 (1)
労 務 職	216	15	62	8
合 計	1,038 (23)	108 (1)	738 (38)	87 (2)

※ () は市外採用試験による内数

※経験者等の1次試験は書類審査のみのため、会場試験は未実施

(2) 人事給与管理事務費 47,408,848 円

(3) 職員研修費 17,056,297 円

(ア) 市単独研修 11,294,200 円

[階層別研修]

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度
研 修 内 容 に つ い て の 理 解 度	4.2	4.1
現 在 の 業 務 に お け る 有 益 度	4.2	4.2
将 来 の 業 務 に お け る 有 益 度	4.3	4.2

※研修受講者による5段階評価の平均値

例示 5：完全に理解できた→1：理解できなかった

※階層別研修は、新規採用職員から管理職までの各階層に必要とされる基本的な知識、能力を習得させることを目的として実施している。

(イ) 派遣研修 4,059,116 円

区 分	令和4年度	令和5年度
研修内容についての理解度	4.3	4.5
現在の業務における有益度	4.5	4.6
自己の能力開発に対しての有益度	4.4	4.6

※研修受講者による5段階評価の平均値

例示 5：完全に理解できた→1：理解できなかった

※主な派遣先（国内）中央省庁、愛知県、豊田市、福島市、BSよしもと株式会社、公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会、市町村職員中央研修所、全国市町村国際文化研究所、国土交通大学校、全国建設研修センター、愛知県市町村振興協会研修センター、早稲田大学マニフェスト研究所 等

(ウ) 自己啓発支援補助金 1,702,981 円

区 分	令和4年度		令和5年度		比 較
	人員またはグループ	金 額	人員またはグループ	金 額	人員またはグループ
自己研修補助金	83人	1,755,638円	72人	1,619,471円	△13.3%
自主研究グループ活動支援補助金	2グループ	48,800	3グループ	83,510	50.0
計	—	1,804,438	—	1,702,981	—

※自己啓発支援補助金は、自己の能力開発を図り、行政能率の向上に資するために実施する自己研修に対する経費の補助である。

※人員は研修受講修了者の数である。

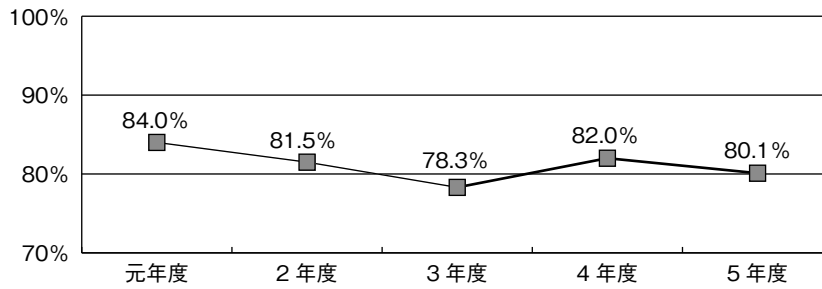
(4) 庁内障害者ワークステーション運営事業費 42,023,270 円

業 務 内 容	令和4年度	令和5年度
	依頼所属数：82 課	依頼所属数：76 課
印刷、製本、ホチキス止め	415件	425件
封入封緘、紙折り作業	221	273
シール貼り、ゴム印押し	109	89
簡易なデータ入力、スキャニング	47	48
清掃、シュレッダー作業、ごみ回収	387	477
その他の簡易な作業	545	604
合 計	1,724	1,916

[指 標]

指 標 名：人材育成・活用の推進に向けた職場成熟度

指標説明：職場環境に関するアンケートにおいて、職場の現状について肯定的な回答をした割合



※職場環境に関するアンケートは、階層別研修の受講者を対象に6分野（職場管理、人間関係、やりがい感、改革推進度、人材育成、働きかけ度）32項目で実施し、指標は全32項目の平均割合

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 広 報 広 聴 費	79,337,513	713,000	0	8,491,900	70,132,613

1 広報事業費 73,521,111 円 (広報広聴課)

[総括]

広報紙やホームページ、ケーブルテレビ、ラジオ放送など様々な媒体を活用し、広く情報を発信してきた。

令和5年度は、SNS等の活用により6月に発生した豪雨災害情報を迅速に発信するとともに、各種発信媒体を活用し支援策などの積極的な発信に努めた。今後も、各種広報媒体の特性を活かし、迅速・正確な広報活動に努めていく。

[実績及び成果]

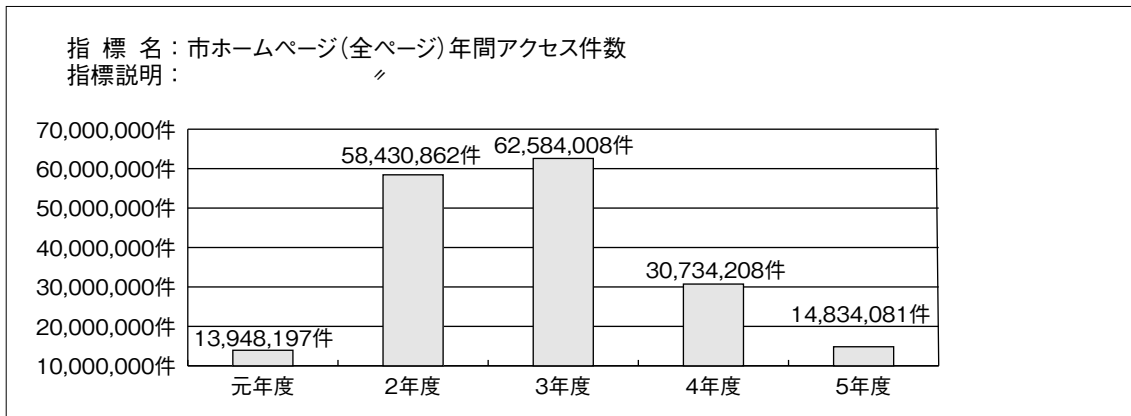
(1) 活字等広報事業費 40,144,575 円

区 分	令和4年度	令和5年度
広 報 と よ は し	月1回発行	月1回発行
多言語デジタルブック配信(広報とよはし)	月1回配信	月1回配信
点字広報とよはし	月1回発行	月1回発行
声の広報とよはし	月1回発行	月1回発行

(2) 電波等広報事業費 33,376,536 円

区 分	令和4年度	令和5年度
ラ ジ オ 広 報	やしの実FM	やしの実FM
テ レ ビ 広 報	ティーズ	ティーズ
ウ ェ ブ 広 報	ホームページ	ホームページ

[指 標]



2 広聴事業費

5,134,204 円（広報広聴課）

[総括]

令和5年度は、まちづくり出前講座を実施したほか、市民意識調査や市長への手紙、市民のメールボックス等により、幅広く市民の声を把握することに努めた。また、令和3年6月から令和5年5月までの2年間で全小学校区において「地域と市長のまちづくり懇談会」を開催し、6月以降は希望する小学校区において開催した。今後も、市民の声を市政に活かすため、多様化する市民ニーズを的確に把握していく。

[実績及び成果]

(1) 調査広聴事業費 2,072,698 円

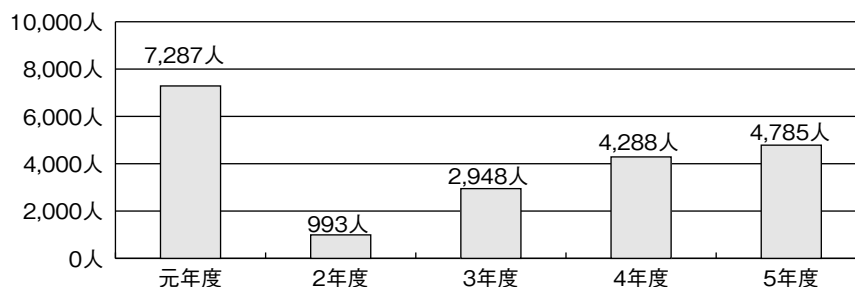
区 分	令和4年度	令和5年度
市民意識調査	有効回収数2,418件 回収率48.4%	有効回収数2,313件 回収率46.3%

(2) 広聴活動事業費 3,061,506 円

区 分	令和4年度	令和5年度
市政懇談会	女性と市長の懇談会 1回実施 5人参加	—
地域と市長のまちづくり懇談会	30回実施 422人参加	6回実施 84人参加
市長への手紙	49通	60通
市民のメールボックス	1,057件	1,086件
まちづくり出前講座	143回実施 4,288人参加	176回実施 4,785人参加

[指標]

指標名：まちづくり出前講座の参加者数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 企 画 費	36,047,267	4,996,750	0	209,000	30,841,517

1 総合計画推進事業費 2,380,747円 (政策企画課)

[総括]

令和2年度に策定した「第6次豊橋市総合計画」の推進に向けた具体的な事業計画を明らかにするため、実施計画を策定するとともに、総合計画の進捗管理において、分析を重視した行政評価により効果的な事業選択を行った。また、まちづくりの推進には「自分の住むまち」への愛着度の向上が欠かせないことから、本市出身の絵本作家と共同で、豊橋の魅力を盛り込んだ絵本「ちゃっとおいでん」を制作した。

今後も「目指すまちの姿」の実現に向け、限られた行政資源の適正な配分を行いながら総合計画に基づくまちづくりを進めていく。

[実績及び成果]

(1) 政策推進事業費 2,380,747円

内 容	令和4年度	令和5年度
	・実施計画の策定	・実施計画の策定 ・まちづくり創作絵本「ちゃっとおいでん」の制作

2 地方創生推進事業費 14,521,970円 (政策企画課)

[総括]

令和2年度に策定した「第6次豊橋市総合計画」のまちづくり戦略(第2期豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略)に基づき、若者と女性に力点を置き人口減少対策に分野を横断して取り組むとともに、まちづくり戦略を推進するさらなる財源を確保するため、民間事業者のマッチング支援サービスを活用し企業版ふるさと納税による寄附金の獲得に努めた。また、リスケリングを中心とした学び直しについて、事業者や個人のニーズ把握及び戦略施策立案のための調査を行った。

[実績及び成果]

(1) 総合戦略推進事業費 10,808,970円

区 分	令和4年度	令和5年度
交付金採択件数	・デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 3件 ・デジタル田園都市国家構想推進交付金(デジタル実装タイプ) 2	・デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 3件 ・デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ) 2
企業版ふるさと納税マッチング支援サービスを活用した寄附実績	—	8

(2) 大学研究活動費補助金 3,713,000円

区 分	令和4年度	令和5年度
豊橋技術科学大学	3件 3,746,000円	4件 3,713,000円
愛知大学	1 339,000	—
豊橋創造大学	—	—

[指標]

指標名：現況値より向上した個別戦略のKPI数
 指標説明：個別戦略で設定したKPI（重要業績評価指標）12項目のうち、現況値（2019年度）より数値が向上したKPIの数



3 未来創生戦略事業費 7,749,626 円（政策企画課）

[総括]

少子・高齢化などの社会環境の変化による複雑化・多様化する行政課題に迅速かつ適切に対応するための庁内型シンクタンクとして、政策立案に向けた基礎調査等を行い政策研究レターを発行したほか、政策推進アドバイザー等を活用し職員へ研修の機会を提供した。また、スマートシティとよはしの実現に向け、効果的な都市OS（データ連携基盤）の導入についての基礎調査を実施した。

[実績及び成果]

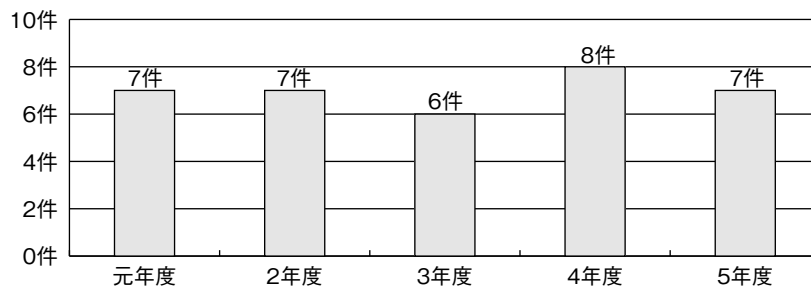
(1) 未来創生戦略事業費 7,749,626 円

区分	令和4年度	令和5年度
政策研究等実施件数	<ul style="list-style-type: none"> ・個人研究 1件 －テーマ：人口移動等分析 ・研修会 4回 －テーマ：政策・事業づくり スマートシティ ・その他 3件 －内容：豊橋市新型コロナ通知システムの運用 突き抜ける豊橋創生アイデアコンテストの実施 自治体向けSDGs診断ツール実証実験 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人研究 1件 －テーマ：将来人口分析 ・研修会 5回 －テーマ：政策・事業づくり スマートシティ 人流データ分析 ・その他 1件 －内容：都市OS（データ連携基盤）の導入に向けた基礎調査委託業務
発行物	<ul style="list-style-type: none"> ・政策研究レター 2回 ・滞在人口等分析情報 1 	<ul style="list-style-type: none"> ・政策研究レター 2回 ・滞在人口等分析情報 2

[指 標]

指 標 名：政策研究等実施件数

指標説明：個人研究、グループ研究および講演会等実施件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11 目 まちのブランド化推進費 <まちのブランド化の推進>	25,081,859	0	0	10,622,073	14,459,786

1 まちのブランド化推進事業費 25,081,859 円 (広報戦略室・秘書課)

[総括]

豊橋ならではの暮らしの魅力を、名古屋市をはじめとした近隣地域で生活する子育て世帯に伝えるため、豊橋市の魅力である「ちょうど良さ」「まち・住人の暖かさ、優しさ、心地よさ」をトータルで表現する広告デザインを制作の上、婚姻、引っ越し・住宅購入といったライフステージの変化のタイミングにあるターゲットに届くように広告出稿・配信を実施した。

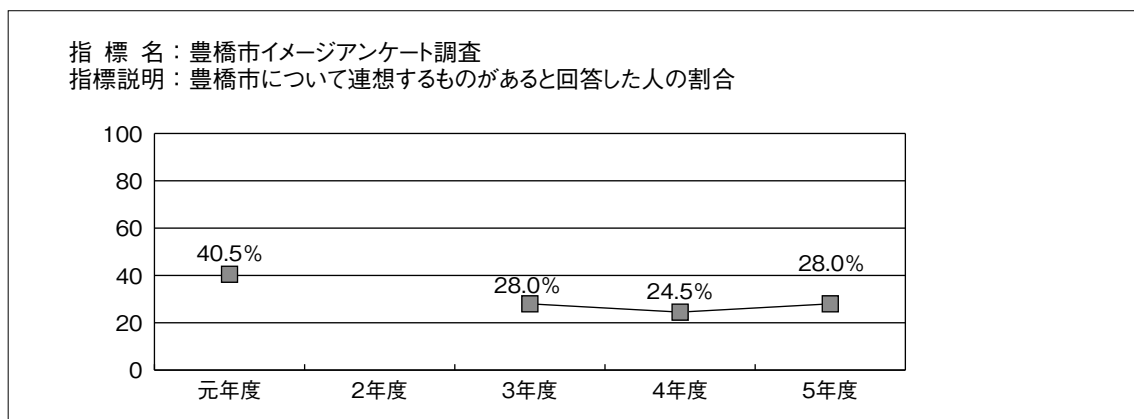
また、市民の市政への興味や理解やこのまちへの愛着を深めるため、吉本芸人による笑いの力を使ったプロモーションとして、イベント出演のほか、BSよしもと、ティーズ、エフエム豊橋、SNSでの情報発信などを実施した。今後も動員力の高いコンテンツや多彩な地域資源を活用し、戦略的に本市の魅力発信を行っていく。

[実績及び成果]

(1) まちのブランド化推進事業費 25,081,859 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏向け豊橋の魅力発信 ・豊橋市イメージアンケート調査 ・ふくしま花火大会への協賛 	
ええじゃないか豊橋推進会議の開催 開催回数 1回		ええじゃないか豊橋推進会議の開催 開催回数 1回

[指 標]



※令和元年度は、「豊橋市」と聞いて、具体的な観光地や名産品などの中から連想するものを選択させる設問であったのに対し、令和3年度からは「環境に優しいまち」や「歴史や文化のまち」などの中からのまち全体イメージを選択させる設問としている。

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
12目 豊橋のファンづくり費 <豊橋のファンづくり>	16,236,372	0	0	1,970,956	14,265,416

1 豊橋のファンづくり活動事業費 16,236,372円 (広報戦略室・首都圏活動センター)

[総括]

定住・移住を促進するため、豊橋市定住・移住アドバイザーを設置し、行政だけでは伝えられない暮らしの情報や豊橋の魅力の発信、移住相談などに取り組んだほか、首都圏において、本市とつながる“きっかけ”を作るため、ふるさと回帰支援センターと連携し、フェアの出版やセミナーを開催した。

首都圏活動センターでは、東三河ゆかりの首都圏在住者で構成する「ほの国東三河応援倶楽部」会員へのメールマガジン配信等による情報発信を行うとともに、総会を開催し、情報交換など会員との懇親を深めた。また、東京事務所を持つ他自治体と連携しPRイベントを実施したほか、豊橋産農産物のフェアやマルシェのPRなど、関係課と連携したプロモーション活動に取り組んだ。

今後も、東三河の各市町村、民間団体等と連携して、幅広いプロモーション活動を実施していく。

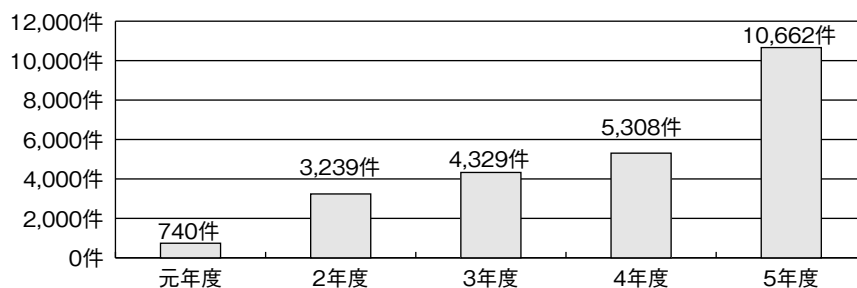
[実績及び成果]

(1) ファンづくり活動事業費 280,611円 (広報戦略室)

内 容	令和4年度	令和5年度
	・「まるごと全部豊橋の本」を活用したPR ・関東バスビジョン広告を活用したPR	・定住・移住アドバイザーの設置、活用 ・首都圏移住イベント・セミナーの実施

[指 標]

指 標 名：市ホームページ(定住・移住)年間アクセス件数
 指標説明：〃



(2) 首都圏活動事業費

15,955,761 円（首都圏活動センター）

〈ほの国東三河応援倶楽部〉

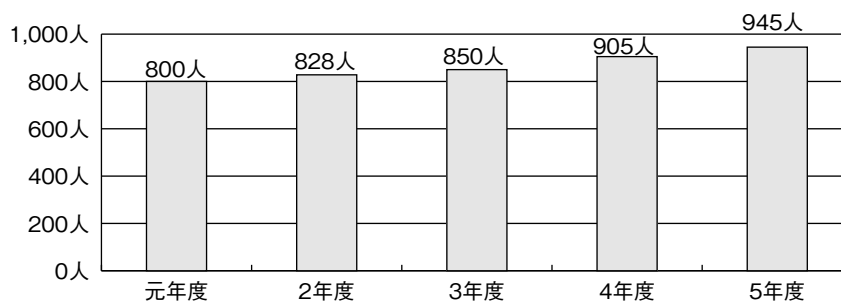
区分	令和4年度	令和5年度
総会及び市政報告会	<ul style="list-style-type: none"> 開催日 11.14 出席者 ふるさと大使、応援倶楽部会員など 86名出席 ※応援倶楽部会員数：905名（3.31現在）	<ul style="list-style-type: none"> 開催日 2.1 出席者 ふるさと大使、応援倶楽部会員など 127名出席 ※応援倶楽部会員数：945名（3.31現在）

〈その他の活動〉

区分	令和4年度	令和5年度
内 容	<ul style="list-style-type: none"> 中央省庁、民間企業等からの情報収集 関係課と連携した省庁への要望活動 首都圏における農産物プロモーション支援（関係課支援） 東海地域東京事務所連携イベントによる観光プロモーション 中核市東京事務所との連携による「中核市フェア」開催を通じたプロモーション活動 豊田市および田原市東京事務所との連携による「三河3市フェア」開催による観光プロモーション 	<ul style="list-style-type: none"> 中央省庁、民間企業等からの情報収集 関係課と連携した省庁への要望活動 首都圏における農産物プロモーション支援（関係課支援） 東海地域東京事務所連携イベントによる観光プロモーション 中核市東京事務所との連携による「中核市フェア」開催を通じたプロモーション活動 「THE 祭 of JAPAN 2023」及び「全国交流物産展 in 新橋」出展による観光プロモーション

〔指 標〕

指 標 名：「ほの国東三河応援倶楽部」の会員数
 指標説明：「ほの国東三河応援倶楽部」へ入会した人の総数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
13目 広域連携費	121,872,534	0	0	0	121,872,534

1 広域行政推進事業費 121,872,534円 (政策企画課)

[総括]

東三河広域連合において、「ほの国こどもパスポート事業」を引き続き行い、住民交流の促進による東三河地域の活性化を図った。また、ほの国東三河マルシェの開催により東三河の特産品を扱う事業者や生産者の販路拡大を支援するとともに、セミナー・ワークショップの開催や首都圏でのプロモーションを行うなど、東三河ブランドの創出・確立を推進した。さらに、全国のインスタグラマーを対象に、東三河への来訪や情報発信を促すフォトコンテストを開催し、東三河がもつ魅力を ICT の活用等によって効果的に発信した。今後も地方分権の流れや複雑多様化する広域的課題に対応するため、関係市町村との連携事業を実施するとともに、住民の広域連携への意識の高揚を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 広域行政推進事務費 1,364,560円

区 分	令和4年度	令和5年度
豊川水系総合開発促進期成 同盟会要望実施回数	2回	2回

(2) 東三河広域連合管理負担金 68,793,034円

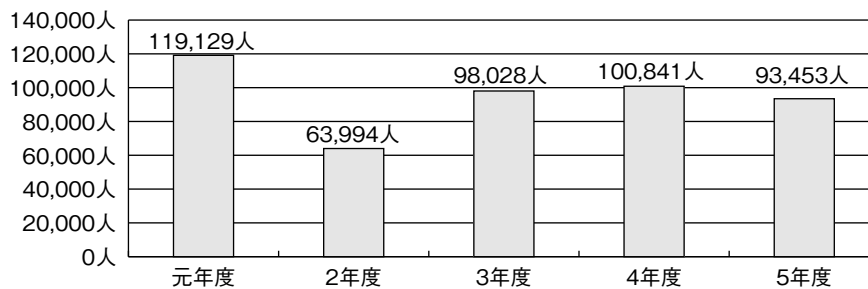
負 担 金	令和4年度	令和5年度
	65,185,945円	68,793,034円

(3) 東三河広域連合広域行政推進事業負担金 51,714,940円

負 担 金	令和4年度	令和5年度
	10,841,272円	51,714,940円

[指 標]

指 標 名：ほの国こどもパスポート利用者数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14目 水資源対策費 ＜治山・治水対策の充実＞	28,542,552	0	0	0	28,542,552

1 設楽ダム水源地域整備事業費 19,154,158 円 (政策企画課)

[総括]

水源地域対策特別措置法に基づく設楽ダム水源地域整備事業に対し負担金を支出した。今後も引き続き、長年渇水や洪水被害に悩む東三河下流域の被害軽減のため、国・県・関係市町村と連携して設楽ダムの建設促進を図る。

[実績及び成果]

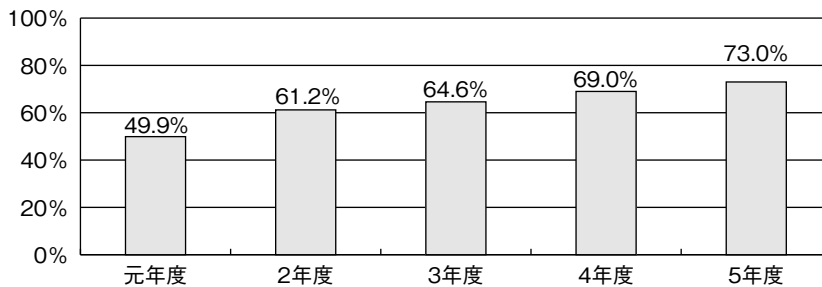
(1) 設楽ダム水源地域整備事業負担金 19,154,158 円

負 担 金	令和4年度	令和5年度
		21,701,772 円

[指 標]

指 標 名：設楽ダム水源地域整備事業進捗率

指標説明：当該年度までの累計負担額／豊橋市の総負担額(平成21年度～令和8年度)



2 豊川水源基金費 9,388,394 円 (政策企画課)

[総括]

水源地域対策特別措置法に基づく設楽ダム水源地域整備事業を補完して行われる設楽ダム水源地域対策事業に対し負担金を支出した。また、豊川水系における水源林整備を推進するため「第9期水源林対策事業基本計画」(令和3年度から令和7年度)に基づき、公益財団法人豊川水源基金に対し負担金を支出した。今後も引き続き、水源地域の振興や水源林保全を図るため、国・県・関係市町村と連携した効果的な事業推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 設楽ダム水源地域対策事業負担金 433,394 円

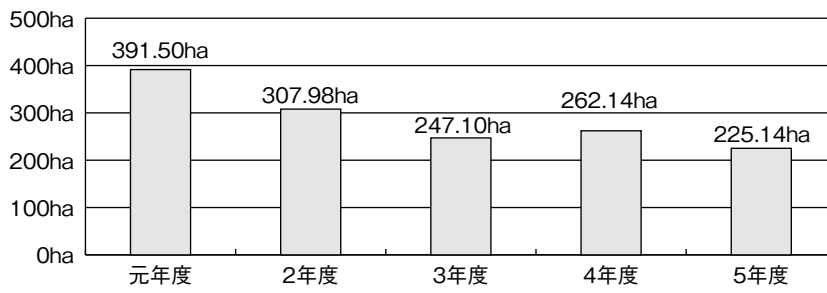
負 担 金	令和4年度	令和5年度
		1,098,044 円

(2) 水源林地域対策事業負担金 8,955,000 円

負 担 金	令和4年度	令和5年度
		8,946,000 円

[指 標]

指 標 名：水源林地地域整備面積
指 標 説 明：下刈り・除間伐面積



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
15 目 情報システム整備拡充費	836,588,608	346,000	0	67,536,129	768,706,479

1 行政事務情報化推進事業費 765,222,264 円 (情報企画課)

[総括]

行政サービスの維持・向上を図るため、制度改正に伴う税総合システムをはじめとした業務システムの改修作業を実施した。また、基幹業務システムの統一・標準化においては、システム移行を計画的かつ効率的に行うための方針等を整理したほか、令和5年10月の住民記録システム標準化に伴う各種システムの対応を行った。今後も、システムの最適化と安定稼働に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 行政情報管理システム管理運営事業費 407,278,909 円

内 容	令和4年度	令和5年度
行政情報端末数	2,310台	2,362台

(2) 住民情報システム管理運営事業費 258,593,335 円

内 容	令和4年度	令和5年度
住民情報端末数	128台	138台

(3) 電子計算システム開発事業費 99,350,020 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	税総合システム、団体内統合宛名システム等 13件	税総合システム、団体内統合宛名システム等 11件

2 行政デジタル推進事業費 51,222,973 円 (行政デジタル推進室)

[総括]

市民の利便性や行政の生産性を高めるため、RPA やノーコード・ローコードデジタル開発基盤 (以下「デジタル開発基盤」という。) の更なる活用に向けて利用環境を充実させた。また、職員向けにデジタルツールの説明会や活用研修を実施したほか、階層別DX研修や動画配信スキルアップ研修を行うなど、職員デジタル人材を育成するためのさまざまな取組みを行った。

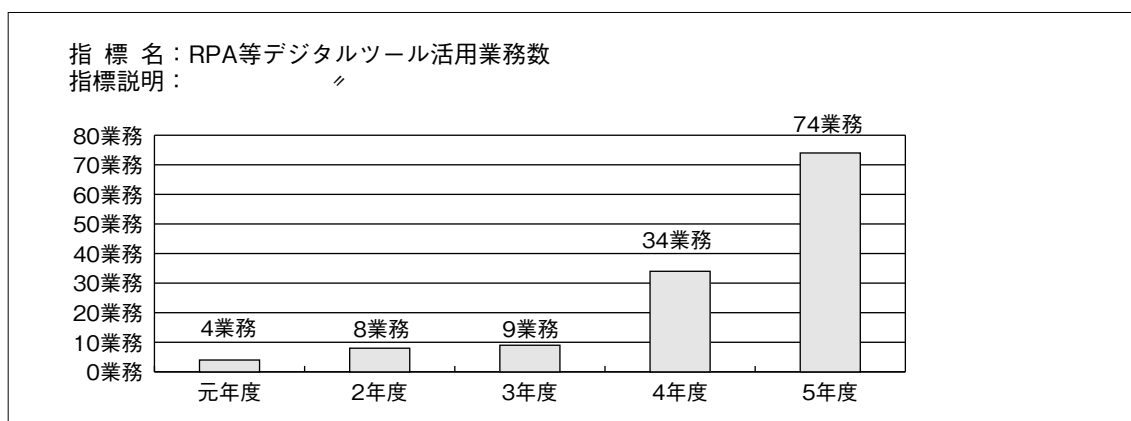
今後も、デジタル化による市民の利便性向上と業務変革を推進するとともに、その推進力となる職員デジタル人材の育成に努める。

[実績及び成果]

(1) ICT利活用推進事業費 51,222,973 円

内 容	令和4年度	令和5年度
職員デジタル人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルツール説明会参加者数 73人 ・RPA研修受講者数 35人 ・デジタル開発基盤研修受講者数 20人 ・ICTコミュニティ参画者数 32人 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルツール説明会参加者数 96人 ・RPA研修受講者数 36人 ・デジタル開発基盤研修受講者数 25人 ・ICTコミュニティ参画者数 39人 ・階層別DX研修受講者数 幹部、管理職、主査・主任向け 248人 全職員向け 1,852人 ・情報システム調達研修受講者数 23人 ・動画配信スキルアップ研修受講者数 10人

[指 標]



3 地域情報化推進事業費 15,757,108 円（行政デジタル推進室）

[総 括]

地域サービス及び行政サービスにおける情報のデジタル化を推進するため、「あいち電子自治体推進協議会」の共同化事業において、施設予約システムやあいち電子申請・届出システム、電子調達システム、観光・防災 Wi-Fi ステーション（公衆無線 LAN）の安定稼働に努め、地域における通信環境を向上させた。今後も、市民ニーズに合ったサービスを提供できるよう、愛知県や県内市町村と連携し、電子自治体推進のための事業に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 情報発信基盤等整備事業費 3,998,508 円

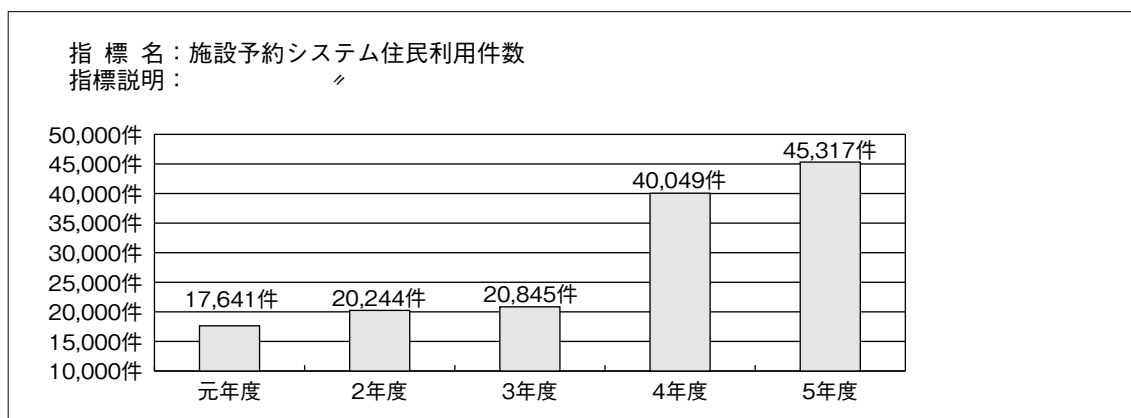
〔公衆無線 LAN〕

設 置 箇 所 数	令和 4 年度	令和 5 年度
	18 箇所	18 箇所

(2) 自治体共同情報化推進事業費 11,758,600 円

あいち電子自治体 推進協議会負担金	令和 4 年度	令和 5 年度
	11,670,370 円	11,619,200 円

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 徴 税 費	1,408,255,782	632,212,714	0	41,693,777	734,349,291
4目 納 税 費	113,395,214	0	0	381,964	113,013,250

1 納税事務費 82,794,860円 (納税課)

[総括]

納期内納付の徹底と滞納者及び滞納額の減少を目的として、口座振替の加入推進、公平かつ的確迅速な収納整理及び滞納整理に努めたほか、休日開庁・休日臨時電話相談、市税コールセンターにおける現年度滞納者に対する催告を行った。また、平成28年度から引き続き東三河広域連合徴収課へ職員4名を派遣するとともに、徴収困難案件を移管し、積極的な滞納整理を実施した。市税全体の収入率は、厳しい納税環境の中においても前年度比で0.2ポイント増となった。今後も収入率の向上に向け適切な徴収事務に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 啓発事業費 737,580円

区 分	令和4年度	令和5年度
口 座 振 替 加 入 率	35.5%	34.7%

(2) 収納整理事務費 13,359,311円

区 分	令和4年度	令和5年度
督 促 状 発 付 件 数	79,271件	78,651件
コ ン ビ ニ 納 付 件 数	184,360	185,284
ク レ ジ ッ ト カ ー ド 納 付 件 数	5,354	7,435
電 子 決 済 納 付 件 数	17,606	19,706
市税コールセンターによる架電件数	21,279	27,156

(3) 滞納整理事務費 31,789,254円

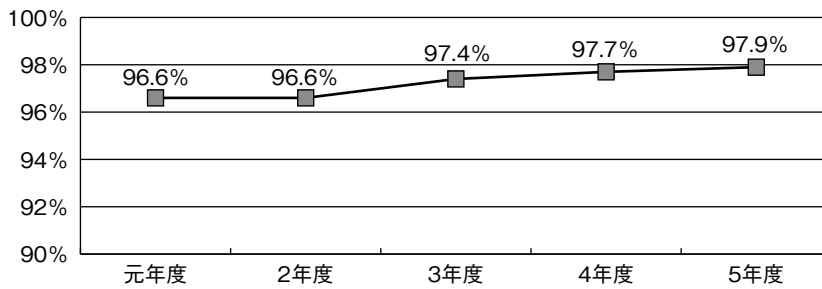
区 分	令和4年度	令和5年度
差 押 件 数	3,157件	3,270件
差 押 期 別 件 数	48,137期	49,663期
公 売 に よ る 換 価 件 数 (出 資 金 等 含 む)	30件	13件

(4) 東三河広域連合滞納整理事業負担金 36,908,715円

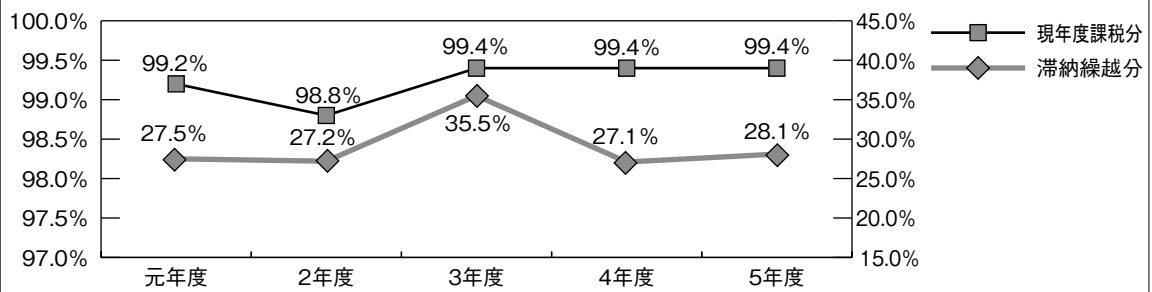
負 担 金	令和4年度	令和5年度
	36,100,660円	36,908,715円

[指 標]

指 標 名：市税収入率(全体)
 指標説明：収入額／調定額



指 標 名：市税収入率(現年度課税分、滞納繰越分)
 指標説明：収入額／調定額



科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項	戸籍住民基本台帳費	1,123,775,827	108,556,000	0	286,706,253	728,513,574
1目	戸籍住民基本台帳費	1,105,844,142	107,955,000	0	286,706,253	711,182,889

1 戸籍住民基本台帳等サービス事務費 588,579,455 円 (市民課)

[総括]

戸籍法、住民基本台帳法、印鑑条例等に基づく届出受付や証明書類の交付などの窓口事務を行った。また、証明窓口の土曜開庁及び死亡に伴う遺族の手続きを支援する対面型個別相談窓口「おくやみコーナー」を運用し、市民サービスの充実に努めた。とりわけ、マイナンバーカードの取得促進については、前年度に引き続き全庁的体制による取組みの実施により、円滑な交付に努めたことで、全国平均を上回る交付率とすることができた。その結果、証明書のコンビニ交付件数についても前年以上に大幅に増加した。一方、国が定める「自治体DX推進計画」において、自治体が取り組むべき重点取組事項と位置付けられている情報システムの標準化のため、住民記録システムの標準化対応改修を行った。今後も親切、丁寧な市民対応を心掛け、正確かつ迅速な事務を行う。

[実績及び成果]

(1) 証明交付事務費 220,110,531 円

実施項目		令和4年度	令和5年度	比較
戸籍関係		59,502件	58,367件	△ 1.9%
住民基本台帳関係		95,703	82,251	△14.1
印鑑登録関係		21,276	18,473	△13.2
その他証明関係		1,957	1,893	△ 3.3
マイナンバーカード交付関係		101,840	43,796	△57.0
コンビニ 交付関係	戸籍関係	5,653	9,261	63.8
	住民基本台帳関係	25,048	37,788	50.9
	印鑑登録関係	16,356	26,520	62.1
計		327,335	278,349	△15.0

(2) 届出受付事務費 1,148,332 円

実施項目		令和4年度	令和5年度	比較
戸籍関係		11,230件	10,988件	△ 2.2%
住民基本台帳関係		26,431	26,823	1.5
印鑑登録関係		6,436	6,158	△ 4.3
火埋葬許可関係		2,588	2,554	△ 1.3
計		46,685	46,523	△ 0.3

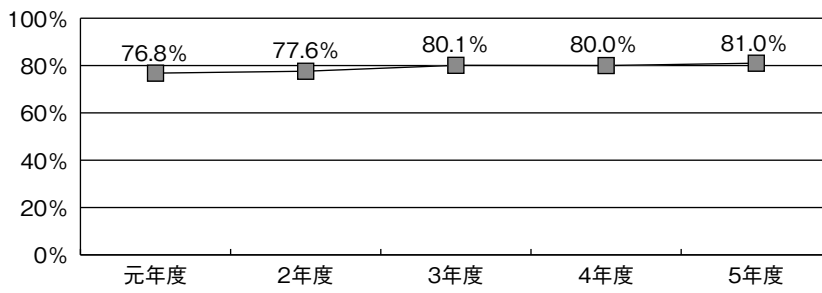
(3) 台帳記録事務費 367,320,592 円

実施項目		令和4年度	令和5年度	比較
戸籍関係		13,034件	12,662件	△ 2.9%
住民基本台帳関係		94,134	93,399	△ 0.8
印鑑登録関係		22,002	21,312	△ 3.1
身上調査関係		2,889	2,985	3.3
相続税法関係		4,307	4,301	△ 0.1
計		136,366	134,659	△ 1.3

[指 標]

指 標 名：窓口サービス満足度

指標説明：市民課の全体的な印象について、満足及びやや満足と回答した件数／窓口サービスアンケート調査件数



2 窓口センターサービス事務費 66,192,917 円（市民課）

[総括]

市内8か所の窓口センターにおいて、戸籍法、住民基本台帳法、印鑑条例等に基づく届出受付や証明書類の交付事務とともに、国民健康保険、国民年金関係の届出受付、税務関係の証明書類の交付、火埋葬許可証の交付等の窓口事務を行った。今後も引き続き関係各課の事務を幅広く取り扱うことで、身近な市役所として利便性の一層の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 証明交付事務費 43,407,349 円

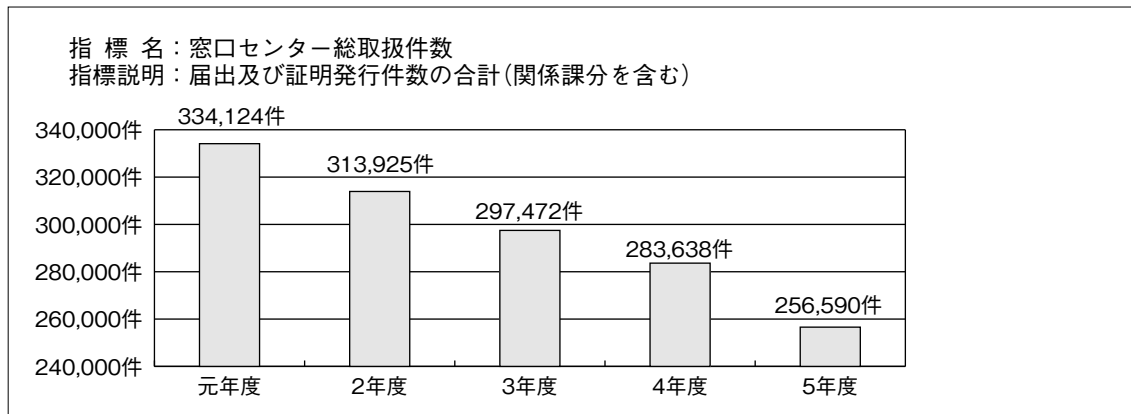
実施項目	令和4年度	令和5年度	比較
戸籍関係	38,675件	42,178件	9.1%
住民基本台帳関係	85,615	73,488	△14.2
印鑑登録関係	61,556	55,410	△10.0
税務証明関係	46,438	35,040	△24.5
その他証明関係	1,661	1,461	△12.0
計	233,945	207,577	△11.3

(2) 届出受付事務費 490,357 円

実施項目	令和4年度	令和5年度	比較
戸籍関係	3,602件	3,397件	△ 5.7%
住民基本台帳関係	8,771	8,383	△ 4.4
印鑑登録関係	7,464	6,960	△ 6.8
火埋葬許可関係	1,720	1,770	2.9
国民健康保険関係	7,649	7,019	△ 8.2
国民年金関係	2,842	2,767	△ 2.6
福祉関係	16,909	17,644	4.3
学校関係	87	100	14.9
大きなごみ証紙関係	649	973	49.9
計	49,693	49,013	△ 1.4

(3) 施設管理運営事業費 22,295,211 円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 戸籍住民諸費	17,931,685	601,000	0	0	17,330,685

1 一般旅券事業費 17,330,685 円 (市民課)

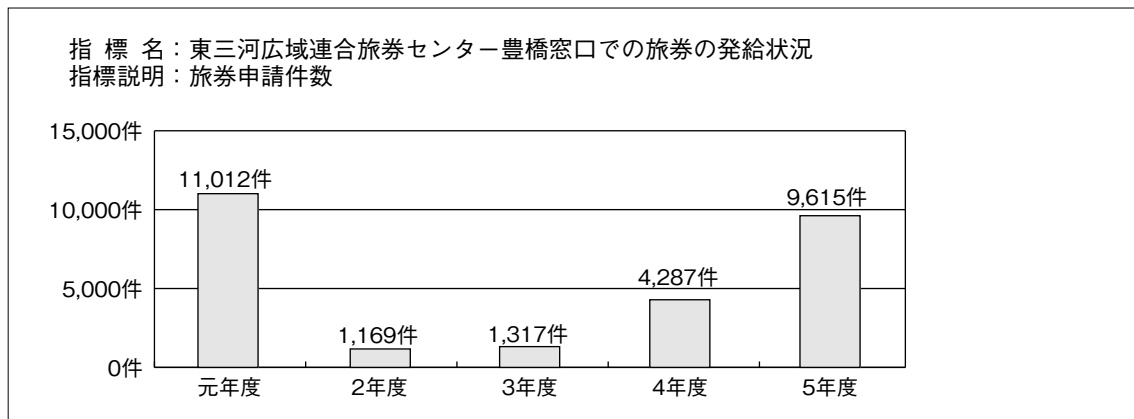
[総括]

令和元年度から都道府県の法定受託事務である一般旅券の発給事務の一部を、東三河広域連合を受皿として権限移譲を受け、東三河8市町村のいずれの窓口でも一般旅券の発給申請等ができるようになるなどの利便性の向上を図った。令和5年度の旅券申請件数は新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行とそれに伴う水際対策の緩和により、4年度と比較し大幅な増となったが、感染症拡大前の元年度を下回った。今後も構成市町村及び愛知県と連携し、迅速かつ正確な事務処理を行う。

[実績及び成果]

- (1) 東三河広域連合旅券事務負担金 17,330,685 円

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 文化振興費	1,078,689,436	24,873,719	43,600,000	1,365,907	1,008,849,810
2目 芸術文化振興費 ＜個性あふれる芸術文化によるまちの魅力向上、芸術文化の幅広い分野への展開＞	168,205,427	22,087,719	0	0	146,117,708

1 文化創造活動事業費 164,782,729 円 (「文化のまち」づくり課)

[総括]

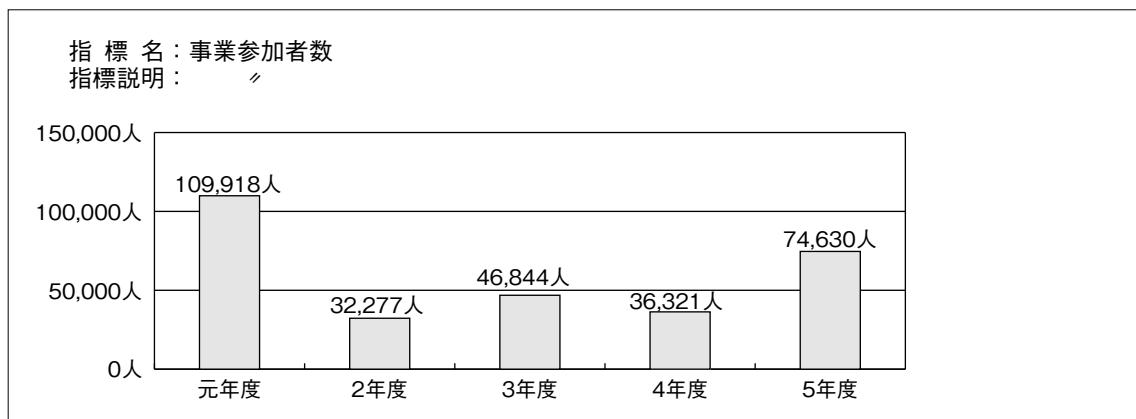
豊橋文化振興財団は、穂の国とよはし芸術劇場を拠点として、芸術文化の創造発信及び市民の鑑賞機会の充実を図っており、令和5年度は高校生と創る演劇「101年目の夏休み」や、市民と創造する演劇「地を渡る舟」を上演したほか、とよはしアートフェスティバル2023「大道芸 in とよはし」として、4年ぶりにまちなかで大道芸を開催するなど、多くの方に文化芸術の鑑賞機会を提供した。また、開館から11年目を迎えた穂の国とよはし芸術劇場のさらなるブランド力向上を図るため、穂の国とよはし芸術劇場プロデュースの新たな演劇公演「たわごと」を制作し、豊橋をはじめ、東京、京都、岡山にて上演した。今後も質の高い芸術文化に触れることのできる機会を充実するとともに、本市の芸術文化作品や取組みを市内外に向けて発信していく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋文化振興財団補助金 164,782,729 円

内 容	令和4年度	令和5年度
		150,641,898 円 (参加者 36,321 人)

[指 標]

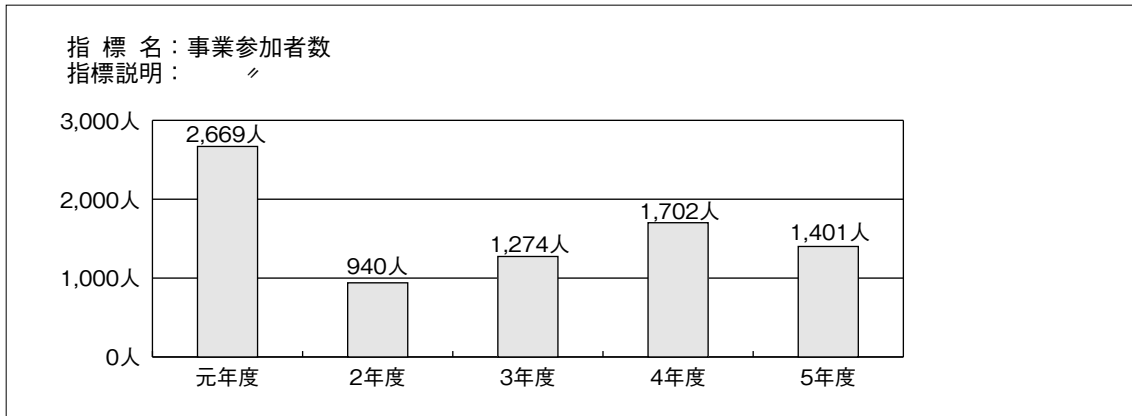


2 文化がみえるまちづくり事業費 3,422,698 円（「文化のまち」づくり課）

[総括]

小中学生を対象にアーティストによるワークショップを行う芸術文化体験普及事業は、演劇やダンス、音楽を通じて表現やコミュニケーションを体験する講座等を実施し、多くの児童、生徒に参加してもらうことができた。また、豊橋駅東西自由連絡通路に設置しているストリートピアノについて、通路床面のフロアシールの貼替を行うなどの維持管理を行った。今後も芸術文化に触れる機会を創出するとともに、教育機関等と協力しながら文化活動を通じた人材育成に取り組む。

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 芸術文化推進費 ＜芸術文化を支える人づくり、 豊かな芸術文化の未来への継承＞	841,739,671	2,786,000	43,600,000	1,365,907	793,987,764

1 文化推進事業費 12,498,510 円 (「文化のまち」づくり課)

[総括]

本市の中学生や高校生を中心に、楽器演奏のスキル習得など自己の向上・研さんの場や仲間との交流の機会を提供する豊橋青少年音の輪事業を新たに開始した。事業では、ライフポートとよはしを会場として、夏季には学校単位での参加による「サマーコンサート」を開催したほか、春季には個人参加により、プロの音楽家から技術指導を受ける「スプリングクリニック」を実施した。また、伝統芸能後継者育成事業では市指定無形民俗文化財である鮑海人形浄瑠璃の保存・継承を図るため、従来の太夫・三味線の体験講座に加え、新たに人形遣いの講座を開催した。今後も文化活動団体や教育機関等と連携して人材育成や顕彰等の取組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 文化活動推進事業費 4,425,012 円

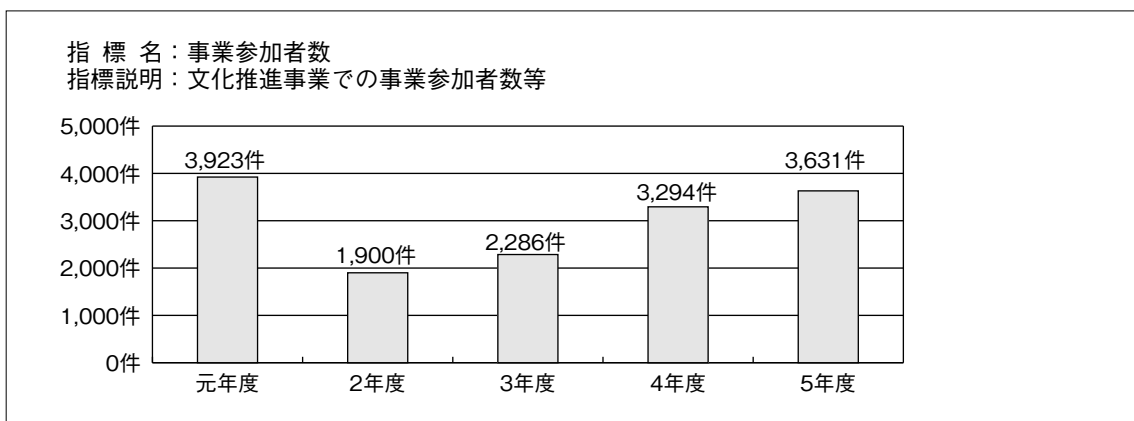
区 分	令和4年度	令和5年度
豊橋青少年音の輪事業補助金	—	3,301,210円
郷土関係出版物補助金	200,000円	68,000
伝統芸能後継者育成事業	1,007,840	1,055,802

(2) 文芸文化事業費 7,869,341 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
丸山薫賞対象数	227作品	189作品	△16.7%
丸山薫「帆・ランプ・鷗」賞応募数	802	656	△18.2
文芸応募数	1,295	1,410	8.9

(3) 文化振興表彰事業費 204,157 円

[指標]



2 文化施設管理事業費

824,691,161 円（「文化のまち」づくり課）

〔総括〕

文化施設（7施設）について、指定管理者及びPFI事業者による適正な管理運営を行った。令和5年度は前年度と比較して施設全体で利用者数が増加するなど、新型コロナウイルス感染症の影響により落ちこんでいた施設利用に回復傾向が見られた。また、市民文化会館の改修に向けた設計業務を引き続き実施するとともに、物価高騰への対応として、各施設の指定管理者に対して指定管理者支援補助金を交付した。今後も、必要となる修繕や維持保全を行うとともに、指定管理者の自主的な経営努力を促し、利用者が安全・快適に利用できるよう努めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 市民文化会館管理事業費 66,785,833 円

利用状況	令和4年度	令和5年度	比較（利用人員）
ホール	165件 延 20,302人	171件 延 21,697人	6.9%
会議室	1,771 延 26,161	1,803 延 32,258	23.3
展示室	340 延 24,185	337 延 19,347	△20.0
リハール室	252 延 14,314	236 延 14,032	△ 2.0
合計	2,528 延 84,962	2,547 延 87,334	2.8

(ア) 改修設計 19,998,000 円

(2) 西川芸能練習場管理事業費 1,406,998 円

利用状況	令和4年度	令和5年度	比較（利用人員）
ホール	109件 延 3,081人	177件 延 4,745人	54.0%
楽屋	15 延 125	85 延 1,778	14.2倍
合計	124 延 3,206	262 延 6,523	2.0

(3) 三の丸会館管理事業費 15,659,899 円

利用状況	令和4年度	令和5年度	比較（利用人員）
茶室	173件 延 2,917人	168件 延 3,426人	17.4%
和室	352 延12,105	406 延15,199	25.6
立礼茶席	延 8,035	延 8,789	9.4
合計	525 延23,057	574 延27,414	18.9

(4) ライフポートとよはし管理事業費 179,042,263 円

利用状況	令和4年度	令和5年度	比較（利用人員）
コンサートホール	184件 延43,419人	160件 延43,042人	△ 0.9%
中ホール	288 延26,647	288 延27,052	1.5
合計	472 延70,066	448 延70,094	0.0

(5) 公会堂管理事業費 44,968,634 円

利用状況	令和4年度	令和5年度	比較（利用人員）
大ホール	186件 延40,307人	202件 延48,948人	21.4%

(6) 穂の国とよはし芸術劇場管理事業費 386,137,790 円

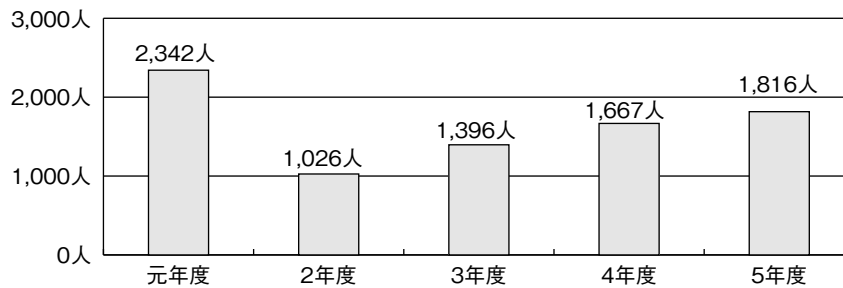
利用状況	令和4年度	令和5年度	比較(利用人員)
主ホール	241件 延 75,836人	261件 延 90,601人	19.5%
アートスペース	263 延 27,237	271 延 30,642	12.5
創造活動室	1,651 延 15,470	1,818 延 19,142	23.7
研修室	606 延 8,693	704 延 12,380	42.4
交流スクエア等	延 28,620	延 32,299	12.9
合計	2,761 延155,856	3,054 延185,064	18.7

(7) アイプラザ豊橋管理事業費 130,689,744 円

利用状況	令和4年度	令和5年度	比較(利用人員)
講堂	87件 延 68,038人	95件 延 75,454人	10.9%
小ホール	321 延 26,312	249 延 22,865	△13.1
会議・和室	4,518 延 44,813	4,452 延 46,237	3.2
実習・調理実習・多目的室	3,426 延 26,203	3,523 延 27,431	4.7
体育室	1,602 延 15,723	1,595 延 15,560	△ 1.0
学習・図書室	延 20,065	延 18,937	△ 5.6
合計	9,954 延201,154	9,914 延206,484	2.6

[指標]

指標名：1日当たりの利用者数
 指標説明：延べ利用者数／開館日数



3 文化活動支援事業費

4,550,000 円（「文化のまち」づくり課）

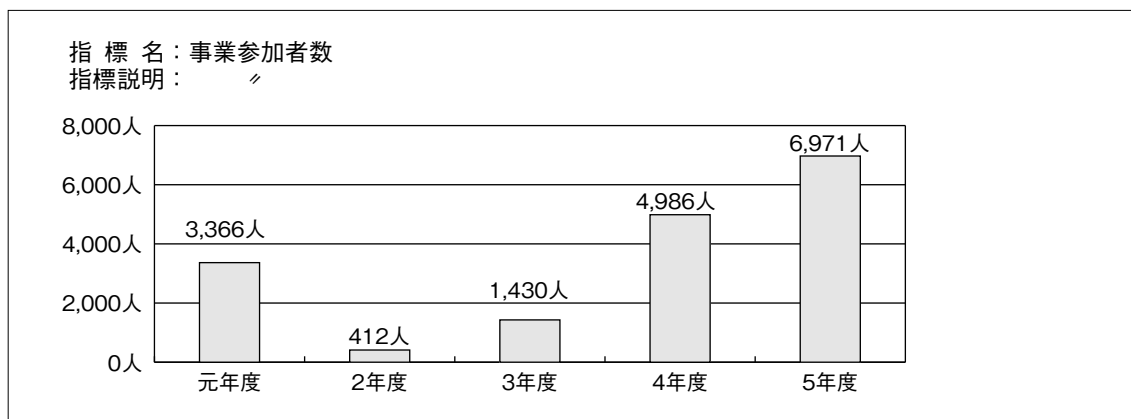
[総括]

吉田文楽保存会、豊橋交響楽団、豊橋素人歌舞伎保存会の定期公演等を実施し、多くの市民が参加、鑑賞することにより、文化活動の活性化と振興が図られた。また、東三河地域の市民により開催されたオペラ公演「アンドレア・シェニエ」に対し、事業実施に要する経費の一部助成を行った。今後も、この地域で育まれた芸術文化を担う芸術文化活動団体を支援していく。

[実績及び成果]

区 分	令和4年度	令和5年度
(1) 吉田文楽保存会補助金	450,000円	450,000円
(2) 豊橋交響楽団補助金	1,800,000	1,800,000
(3) 豊橋素人歌舞伎保存会補助金	1,300,000	1,300,000
(4) 三河市民オペラ2023年公演「アンドレア・シェニエ」開催事業補助金	—	1,000,000
計	3,550,000	4,550,000

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7項 スポーツ振興費	1,034,339,189	32,206,000	136,900,000	28,054,930	837,178,259
2目 スポーツ参加促進費 <スポーツへの参加促進>	17,590,818	0	0	0	17,590,818

1 スポーツ推進事業費 17,590,818円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

市民が楽しくスポーツに参加するきっかけづくりとなるよう「とよはしスポーツ博」を開催した。また、「穂の国・豊橋ハーフマラソン」及び「みなとシティマラソン」を開催し、市民のスポーツ活動への参加促進を図った。今後も市民がスポーツをする機会を増やし、市民一人ひとりが生涯を通じてスポーツ活動を行うための体制づくりと生涯スポーツに対する意識高揚を図っていく。

[実績及び成果]

(1) スポーツ少年団活動事業補助金 810,000円

補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		127団体	810,000円	121団体

(2) スポーツ活動推進事業費 8,772,400円

(ア) 行事開催

区 分	令和4年度			令和5年度		
	開催日	会 場	参加人数	開催日	会 場	参加人数
スポーツフェスタ	6月～12月	陸上競技場 総合体育館ほか ※一部雨天中止	延2,230人	6月～12月	陸上競技場 総合体育館ほか	延3,361人
とよはしスポーツ博	10.15	陸上競技場 武道館	5,624	10.21	陸上競技場	7,096
豊橋みなと シティマラソン	11.6	豊橋総合スポーツ公園 及びその周辺	2,423	11.5	豊橋総合スポーツ公園 及びその周辺	2,562
渥美半島駅伝競走大会	1.21	渥美半島	315	12.24	渥美半島	260
穂の国・豊橋ハーフマラソン	3.26	豊橋公園発着 ※1	4,205	3.24	豊橋公園発着	3,776

※1 令和4年度は、ハーフマラソンとオンラインハーフマラソンの2種目による開催

(イ) 豊橋市「スポーツのまち」づくり推進市民委員会

開 催 回 数	令和4年度		令和5年度	
		1回		1回

(3) 市民スポーツ祭事業補助金 450,000円

補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		27種目	450,000円	27種目

(4) 市町村対抗駅伝競走大会参加補助金 326,658円

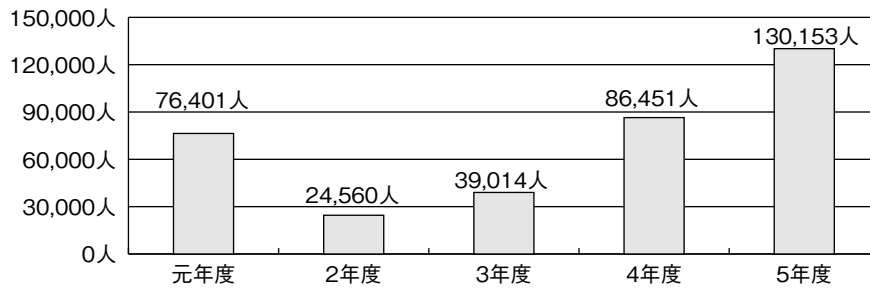
補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		295,483円		326,658円

(5) スポーツ推進委員活動事業費 7,231,760 円

スポーツ推進委員	令和4年度		令和5年度	
	112名	6,690,000円	111名	6,660,000円

[指 標]

指 標 名：市内スポーツイベント参加者(プロスポーツ観戦含む)
指標説明：
〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 スポーツ環境づくり費 <スポーツ環境の充実>	836,579,766	31,720,000	117,800,000	28,054,750	659,005,016

1 スポーツ活動振興事業費 99,633,124 円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

スポーツ活動の振興を図るため、学校体育施設を市民へ開放したほか、豊橋市スポーツ協会の活動支援を行った。また、スポーツの普及発展に貢献した個人や団体を顕彰し、市民のスポーツへの意識の高揚を図るとともに、全国大会等出場者へ激励金を支給するなど、競技力向上を図った。

[実績及び成果]

- (1) 学校体育施設開放運営事業費 33,962,649 円
開放施設 市立小・中学校、特別支援学校、県立高校 計 82 校

[利用状況]

区 分	令 和 4 年 度			令 和 5 年 度		
	体育館	運動場	計	体育館	運動場	計
バレーボール	延190,711人	一人	190,711人	延173,730人	一人	173,730人
剣 道	延 51,214	—	51,214	延 42,680	—	42,680
空 手	延 29,424	—	29,424	延 29,693	—	29,693
野 球	—	延110,121	110,121	—	延130,525	130,525
ソフトボール	—	延 22,730	22,730	—	延 22,329	22,329
卓 球	延 7,699	—	7,699	延 5,006	—	5,006
バドミントン	延 35,814	—	35,814	延 37,579	—	37,579
サ ッ カ ー	—	延241,294	241,294	—	延252,572	252,572
バスケットボール	延176,477	—	176,477	延177,921	—	177,921
ソフトバレー	延110,960	—	110,960	延 95,021	—	95,021
インディアカ	延 23,335	—	23,335	延 22,451	—	22,451
そ の 他	延111,788	延 32,105	143,893	延155,653	延 33,805	189,458
計	737,422	406,250	1,143,672	739,734	439,231	1,178,965

- (2) 豊橋市スポーツ協会補助金 57,800,000 円

補 助 金	令和4年度	令和5年度
	49,091,724円	57,800,000円

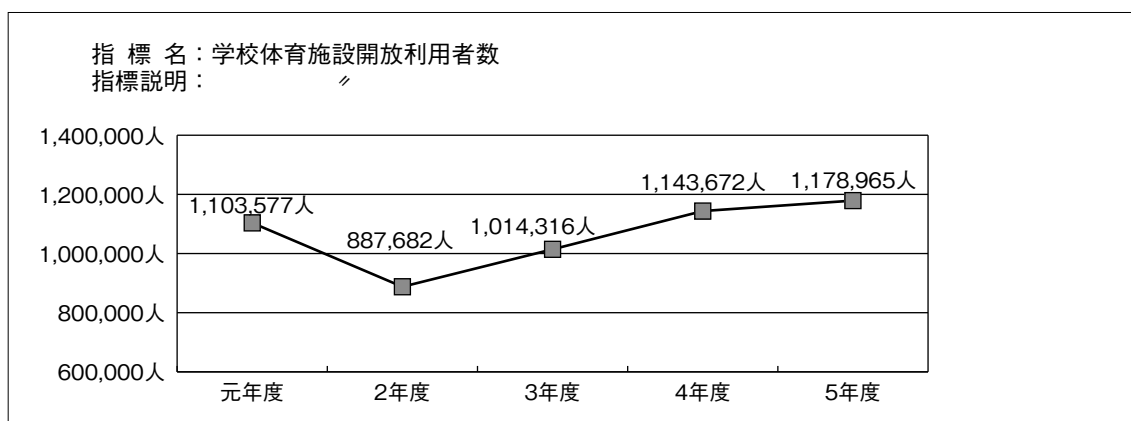
- (3) 日本港湾福利厚生協会補助金 6,300,000 円

補 助 金	令和4年度	令和5年度
	プール延利用者数 41,751人 6,300,000円	プール延利用者数 46,199人 6,300,000円

- (4) スポーツ活動顕彰事業費 1,570,475 円

区 分	令和4年度	令和5年度
ス ポ ー ツ 賞	1 名	2 名
ス ポ ー ツ 奨 励 賞	1 名、1 団体	3 名
ス ポ ー ツ 特 別 賞	—	1 名

[指標]



2 スポーツ施設管理運営事業費 680,700,415 円（「スポーツのまち」づくり課）

[総括]

アジア・アジアパラ競技大会開催に向け、総合体育館の機能向上と劣化改修のための基本及び実施設計を行った。また、スポーツ施設の長寿命化を図るため、屋内プール・アイスアリーナの改修工事などを行い、施設の整備充実を図った。今後も施設の改修、整備を計画的かつ効率的に行い、市民が快適にスポーツに親しめるよう施設の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 総合運動場管理運営事業費 66,422,866 円

[利用状況]

<総合運動場>

区 分	令和4年度		令和5年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
豊 橋 球 場	222日	35,937人	199日	41,307人	14.9%
東 田 球 場	170	18,410	166	14,064	△23.6
陸 上 競 技 場	308	94,428	308	91,929	△ 2.6
硬 式 庭 球 場	292	11,388	292	10,846	△ 4.8
軟 式 庭 球 場	266	28,882	267	27,506	△ 4.8
計	—	189,045	—	185,652	△ 1.8

<武 道 館>

区 分	令和4年度		令和5年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
柔 道 場	308日	19,923人	308日	18,325人	△ 8.0%
剣 道 場	308	14,121	308	12,779	△ 9.5
弓 道 場	308	15,350	308	14,305	△ 6.8
相 撲 場	89	574	79	575	0.2
ト レ ー ニ ン グ 室	308	11,867	308	13,629	14.8
計	—	61,835	—	59,613	△ 3.6

〔施設整備〕

内 容	令和4年度	令和5年度
	旧市民プール槽等解体	

(2) 地区体育館管理運営事業費 83,469,180 円

〔利用状況〕

区 分	令和4年度		令和5年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
前 田 南	307日	38,169人	308日	39,200人	2.7%
新 栄	307	29,402	308	31,504	7.1
牛 川	307	33,267	308	34,872	4.8
草 間	307	37,039	308	39,464	6.5
飯 村	143	16,376	308	44,774	2.7倍
下 五 井	307	33,235	308	35,994	8.3%
浜 道	307	38,553	308	41,329	7.2
二 川	307	36,894	308	40,299	9.2
石 卷	307	32,518	308	32,317	△ 0.6
大 清 水	307	50,768	308	54,660	7.7
計	—	346,221	—	394,413	13.9

〔施設整備〕

内 容	令和4年度	令和5年度
	石巻地区体育館漏水シーリング工事	

(3) トレーニングセンター管理運営事業費 37,174,727 円

〔利用状況〕

区 分	令和4年度		令和5年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
競 技 場	307日	12,034人	182日	5,808人	△51.7%
ト レ ー ニ ン グ 室	301	638	255	766	20.1
和 室	49	258	37	177	△31.4
調 理 室	0	0	0	0	0.0
研 修 室 ・ 集 会 室	299	3,625	267	3,605	△ 0.6
テ ニ ス コ ー ト 等	128	2,733	208	1,122	△58.9
計	—	19,288	—	11,478	△40.5

〔施設整備〕

内 容	令和4年度	令和5年度
	外部配管撤去工事	

(4) 岩田総合球技場管理運営事業費 85,438,072 円

〔利用状況〕

区 分	令和4年度		令和5年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
市 民 球 場	184日	33,308人	167日	54,431人	63.4%
市 民 球 技 場	94	19,464	88	25,604	31.5
市 民 庭 球 場	303	44,917	299	42,719	△ 4.9
市 民 ク ラ ブ ハ ウ ス	172	3,896	165	3,851	△ 1.2
計	—	101,585	—	126,605	24.6

〔施設整備〕

内 容	令和4年度	令和5年度
	豊橋市民球場鉛蓄電池取替修繕 豊橋市民球場夜間照明LED化 豊橋市民球場夜間照明保安灯回路改修	豊橋市民球場給水加圧装置取替修繕

(5) 運動広場管理運営事業費 23,902,116 円

〔利用状況〕

区 分	令和4年度		令和5年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
高師緑地青少年広場	311日	23,495人	298日	26,449人	12.6%
明 海 広 場	136	15,099	127	15,288	1.3
明 海 少 年 広 場	136	40,470	114	37,055	△ 8.4
高 山 広 場	276	7,221	285	6,729	△ 6.8
向 山 運 動 広 場	303	17,426	249	17,131	△ 1.7
石 巻 運 動 広 場	310	68,205	292	68,015	△ 0.3
臨 海 運 動 広 場	140	19,632	139	20,462	4.2
レクリエーション広場	285	19,156	217	14,530	△24.1
計	—	210,704	—	205,659	△ 2.4

〔施設整備〕

内 容	令和4年度	令和5年度
	石巻運動広場駐車場拡張工事	高師緑地青少年広場受変電設備取替修繕

(6) 総合体育館管理運営事業費 144,388,737 円

[利用状況]

〈総合体育館〉

区 分		令和4年度		令和5年度		比 較 (延利用人員)
		利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
競 技 場	スポーツ	295日	146,991人	301日	188,572人	28.3%
	そ の 他	26	14,702	24	4,774	△67.5
卓 球 室		310	8,109	313	8,683	7.1
会 議 室		154	4,098	166	3,849	△ 6.1
研 修 室		124	3,333	134	4,130	23.9
計		—	177,233	—	210,008	18.5

〈総合スポーツ公園サッカー場〉

区 分		令和4年度		令和5年度		比 較 (延利用人員)
		利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
総合スポーツ公園サッカー場		299日	39,896人	303日	40,270人	0.9%

[施設整備]

内 容	令和4年度	令和5年度
	—	総合体育館改修基本・実施設計 受水槽薬注タンク設置工事

(7) 万場調整池庭球場管理運営事業費 3,981,337 円

[利用状況]

区 分		令和4年度		令和5年度		比 較 (延利用人員)
		利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
テ ニ ス コ ー ト		296日	14,809人	290日	14,981人	1.2%

(8) 屋内プール・アイスアリーナ管理運営事業費 235,923,380 円

(ア) 屋内プール・アイスアリーナ改修工事 82,801,000 円

2か年継続事業の最終年度 総事業費 130,801,000 円

構 造	内 容	延床面積
鉄筋コンクリート造 一部鉄骨鉄筋 コンクリート造 2階建	外壁改修、内部改修	11,644 m ²

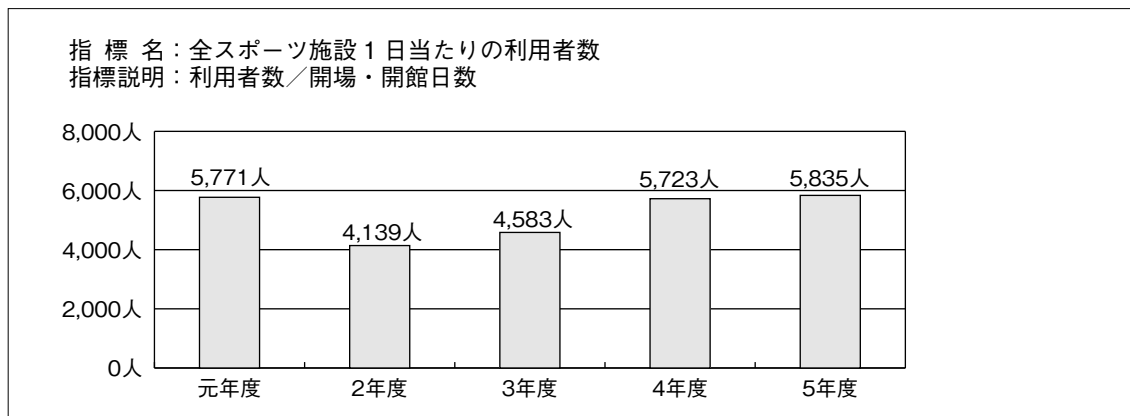
[利用状況]

区 分		令和4年度		令和5年度		比 較 (延利用人員)
		利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
屋 内 プ ー ル		115日	30,660人	111日	33,266人	8.5%
アイ ス ア リ ー ナ		187	39,912	189	39,275	△ 1.6
ト レ ー ニ ン グ 室		312	35,394	314	35,372	△ 0.1
会 議 室		212	6,163	195	5,218	△15.3
計		—	112,129	—	113,131	0.9

〔施設整備〕

内 容	令和4年度	令和5年度
	可動床等修繕	

〔指 標〕



3 多目的屋内施設整備事業費 56,246,227 円（多目的屋内施設整備推進室）

〔総 括〕

多目的屋内施設の整備に向け、「多目的屋内施設整備基本計画」を策定するとともに、要求水準書等を作成し、多目的屋内施設及び豊橋公園東側エリア整備・運営事業の入札公告を行った。今後は、事業の推進に向け、必要な取組みを行っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 多目的屋内施設整備事業費 56,246,227 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	多目的屋内施設整備の可能性調査 ワークショップの開催	

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 スポーツ活用推進費 ＜スポーツによるまちの魅力と活力の創出＞	7,813,727	486,000	0	0	7,327,727

1 スポーツを活用したまちづくり事業費 761,750円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

合宿等を目的に豊橋に宿泊する市外のスポーツ団体等を誘致するため、宿泊費の一部を助成する補助金を支出し、スポーツ施設の平日利用を促進するとともに、宿泊施設の需要喚起を図ることで、市内スポーツ施設の魅力発信やスポーツを契機とした地域経済の活性化を図った。

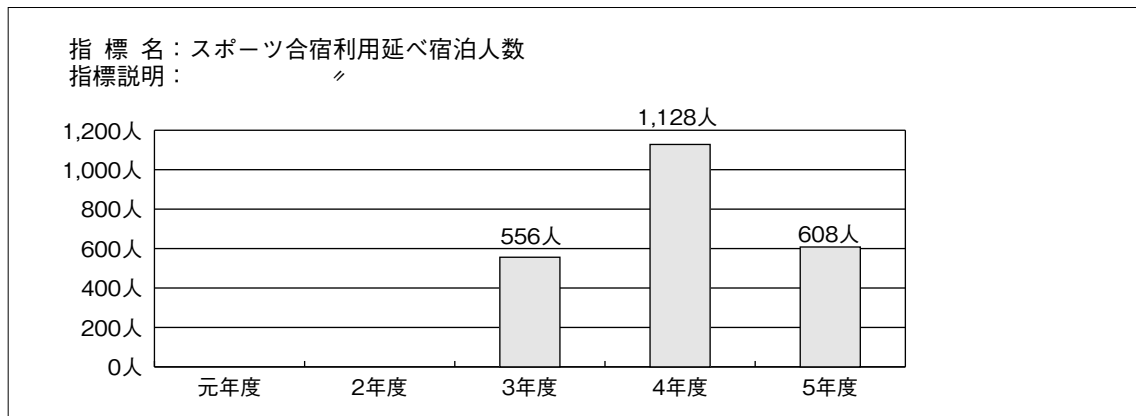
[実績及び成果]

(1) スポーツを活用したまちづくり事業費 761,750円

(ア) スポーツ合宿等支援事業補助金 484,000円

補助金	令和4年度		令和5年度	
		20団体	1,089,855円	11団体

[指標]



2 スポーツ大会誘致事業費 849,984円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

市民のスポーツへの関心を高めるとともに、まちの活力の創出を図るためプロ野球ウエスタン・リーグ公式戦の誘致、開催を支援したが、当日停電により中止となった。

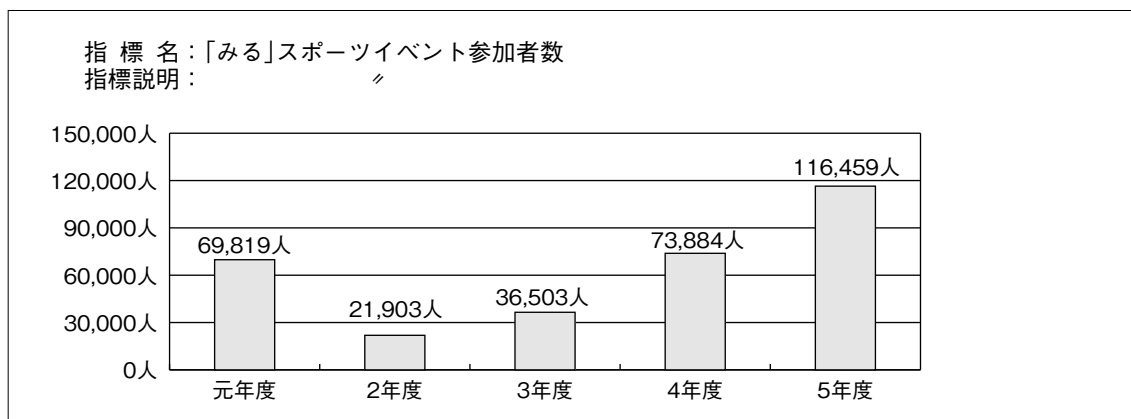
[実績及び成果]

(1) 各種スポーツ大会誘致促進事業補助金 849,984円

(ア) プロ野球ウエスタンリーグ公式戦開催補助金 849,984円

補助金	令和4年度		令和5年度	
			1,499,619円	

[指標]



3 スポーツによる共生・交流促進事業費 6,201,993 円（「スポーツのまち」づくり課）

[総括]

とよはしスポーツアンバサダーである高田真希選手による市内中学生を対象としたオンラインスクールやバスケットボール実技講習会、パラリンピアン八木克勝選手による卓球講習会を開催するなど、スポーツを身近に感じてもらえる機会を提供した。

また、パラスポーツを通じ共生社会の理解促進を図るため、小学生を対象にゴールボールの出前講座や日本財団主催のパラアスリート講師による「あすチャレスクール」を実施したほか、豊橋特別支援学校の児童生徒及び岩西小学校4年生を対象にパラリンピアン江崎駿選手によるボッチャ体験会を開催した。

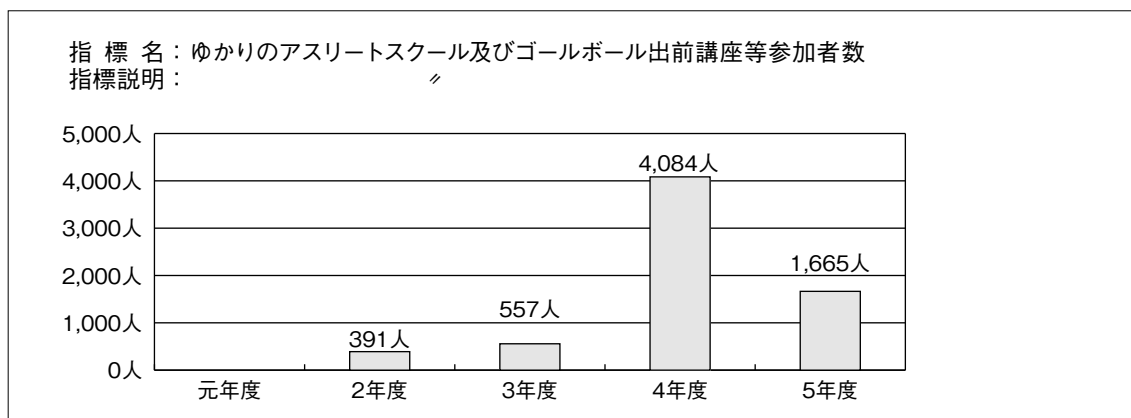
さらに、豊橋弁版ラジオ体操第二のCDとDVDを制作した。

[実績及び成果]

(1) スポーツによる共生・交流促進事業費 6,201,993 円

出前講座開催回数	令和4年度	令和5年度
	13回	10回

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9項 総務諸費	1,467,116,258	128,301,652	73,100,000	24,122,781	1,241,591,825
1目 地域コミュニティ活動費 <地域コミュニティ活動の促進>	389,028,659	2,586,000	45,500,000	6,348,868	334,593,791

1 地域コミュニティ推進事業費 129,065,914 円 (市民協働推進課)

[総括]

地域の自主性を高め、活動の活性化を図ることを目的として、各校区及び町自治会に対してコミュニティ活動交付金を交付した。また、地域のまちづくりを進めていく人材を育成するため、まちづくり講習会を開催するとともに、コミュニティ活動に利用する備品整備に対し助成を行った。このほか、自治会のデジタル化を応援するため、自治会役員等を対象としたLINEオープンチャット等を学ぶ講習会を全10ブロックで開催した。今後も、地域コミュニティ活動を支援するとともに、地域の主体的なまちづくりの推進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 自治連合会活動事業費 124,035,154 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
コミュニティ活動交付金(校区自治会)	11,876,600円	14,449,200円	21.7%
コミュニティ活動交付金(町自治会)	109,392,260	108,498,780	△ 0.8
自治連合会活動推進費	653,365	693,154	6.1
自治連合会創立70周年記念事業補助金	376,932	0	皆減
デジタル支援講座の開催	316,800	394,020	24.4
計	122,615,957	124,035,154	1.2

(2) 地域コミュニティ支援事業費 30,760 円

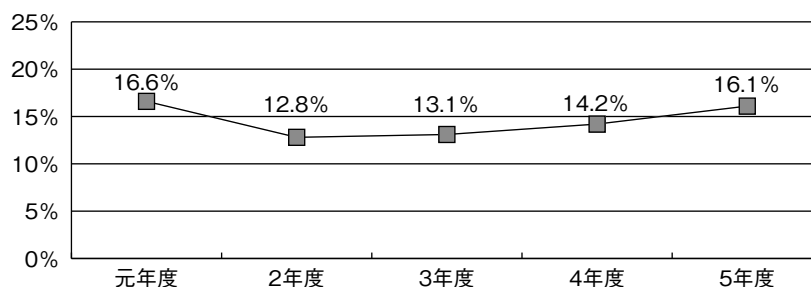
区 分	令和4年度	令和5年度
まちづくり講習会参加者数	113人	150人
地域コミュニティ人材育成研修	1種、7講座、受講人員100人	1種、1講座、受講人員120人

(3) コミュニティ推進事業補助金 5,000,000 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
	対象校区	事業内容	対象校区	事業内容
内 容	岩 田	印刷機、椅子等	天 伯	テーブル、プロジェクター等
	—	—	飯 村	椅子、テーブル
補 助 金	2,500,000円		5,000,000円	

[指 標]

指 標 名：校区市民館の地域コミュニティによる利用率
 指標説明：自治会等地域コミュニティ利用回数／利用者別利用回数合計



2 校区市民館管理運営事業費 202,941,463 円（市民協働推進課）

[総括]

校区市民館の利用者数は、令和4年度の795,538人に比べ57,642人増となった。また、LED照明器具取替修繕8館で実施するなど、施設設備の老朽化に対応したほか、小学校屋内運動場と一体型の施設である飯村校区市民館において長寿命化改良保全工事を行い、環境整備を行った。

今後は、令和6年度から開始した営利事業者への一部利用制限緩和の周知に取り組むほか、地域の方が講師として活躍できる場を設け、地域コミュニティ活動のより一層の活性化を図る。

[実績及び成果]

(1) 校区市民館管理運営事業費（50館） 202,941,463円

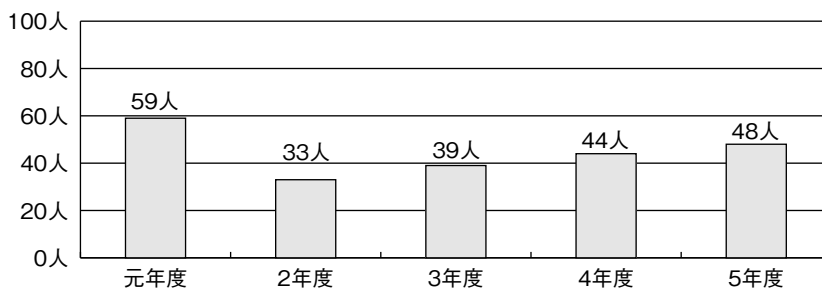
区 分	令和4年度		令和5年度		比 較 (延利用人員) %
	件 数	延利用人員	件 数	延利用人員	
東 田	1,348	22,647	1,428	24,488	8.1
松 葉	667	10,714	600	10,249	△ 4.3
津 田	323	6,476	329	8,189	26.5
磯 辺	492	5,986	478	6,569	9.7
大 崎	520	12,037	400	10,678	△11.3
鷹 丘	605	9,343	544	9,224	△ 1.3
下 条	586	34,273	584	35,848	4.6
多 米	973	16,990	1,040	19,312	13.7
旭	834	22,995	923	21,537	△ 6.3
谷 川	411	13,167	525	16,694	26.8
花 田	716	13,567	801	15,936	17.5
高 師	840	10,516	798	10,679	1.6
野 依	796	12,762	800	13,912	9.0
植 田	825	12,956	844	14,071	8.6
牛 川	1,334	44,866	1,476	48,255	7.6
西 郷	439	17,203	490	22,455	30.5
石 卷	389	9,563	367	11,367	18.9
石巻（金田分館）	486	6,091	694	7,393	21.4
小 沢	361	13,607	470	11,854	△12.9
豊 南	410	10,245	474	11,056	7.9
賀 茂	470	16,204	495	16,456	1.6
芦 原	793	16,377	893	17,800	8.7
岩 田	807	17,966	1,097	23,871	32.9
豊	777	9,919	891	11,376	14.7
大 村	627	9,495	642	9,899	4.3
幸	656	14,223	606	13,622	△ 4.2
福 岡	1,226	20,299	1,334	22,998	13.3
栄	1,292	17,190	1,189	17,297	0.6
嵩 山	775	25,518	841	32,099	25.8
二 川	909	15,513	957	17,744	14.4

区 分	令和4年度		令和5年度		比 較 (延利用人員) %
	件 数	延利用人員	件 数	延利用人員	
高 根	465	7,194	622	8,416	17.0
老 津	672	26,250	677	23,350	△11.0
下 地	746	14,061	682	19,085	35.7
牟 呂	897	13,479	951	20,223	50.0
吉 田 方	561	11,873	612	11,833	△ 0.3
天 伯	834	16,550	893	17,185	3.8
大 清 水	1,201	21,305	1,238	23,051	8.2
向 山	960	13,686	1,037	16,227	18.6
玉 川	807	24,683	831	17,056	△30.9
細 谷	348	7,841	402	7,493	△ 4.4
飯 村	1,287	16,412	245	3,324	△79.7
富 士 見	813	20,085	913	23,263	15.8
中 野	976	15,761	996	17,816	13.0
八 町	666	14,807	836	16,889	14.1
二 川 南	860	19,556	848	22,571	15.4
汐 田	1,302	21,832	1,393	24,327	11.4
松 山	582	14,118	587	15,451	9.4
つつじが丘	1,017	15,341	933	17,428	13.6
新 川	1,259	21,984	1,390	24,596	11.9
前 芝	639	10,012	704	10,668	6.6
計	38,579	795,538	39,800	853,180	7.2

- (ア) LED照明器具取替修繕（つつじが丘始め8館） 6,908,000円
(イ) 石巻校区市民館金田分館研修談話室冷暖房機取替修繕 1,144,000円
(ウ) 長寿命化改良保全工事（飯村） 43,704,562円

[指 標]

指 標 名：校区市民館1日当たりの利用者数
指 標 説 明：利用者数／(開館日数×市民館数)



3 地域集会所建設支援事業費

285,000 円（市民協働推進課）

[総括]

地域住民の心のふれあい及び連帯意識の促進を図るため、1地区に対して集会所のバリアフリー改修にかかる費用の一部を助成した。今後は、地域のニーズを確認しながら、希望する地域に支援をしていく。

[実績及び成果]

(1) 地域集会所建設費補助金 0円

助成地区	令和4年度	令和5年度
	2地区（南島町二丁目、寺沢町）	—

(2) 地域集会所バリアフリー改修費補助金 285,000円

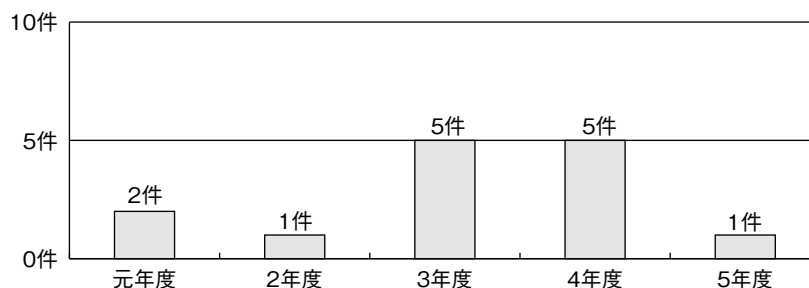
助成地区	令和4年度	令和5年度
	2地区（西赤沢町、新橋一区）	1地区（鍛冶町）

(3) 地域集会所（木造）耐震改修費補助金 0円

助成地区	令和4年度	令和5年度
	1地区（新橋一区）	—

[指標]

指標名：地域集会所建設費等補助件数
 指標説明：年度ごとの建設費、耐震改修費及びバリアフリー改修費の補助件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 市民活動支援費 ＜市民活動への支援＞	107,086,870	0	13,400,000	2,302,857	91,384,013

1 市民活動推進事業費 4,728,405 円 (市民協働推進課)

[総括]

市民活動中の事故を幅広く補償する市民活動総合補償制度や各種講座の開催など、市民活動の活性化のための支援を行った。コロナ禍による活動制限がなくなり、市民活動プラザ登録団体数や市民活動総合補償制度の対象事件数は増加している。今後も市民活動の掘り起こしや継続に向けた支援を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 市民活動支援事業費 3,695,405 円

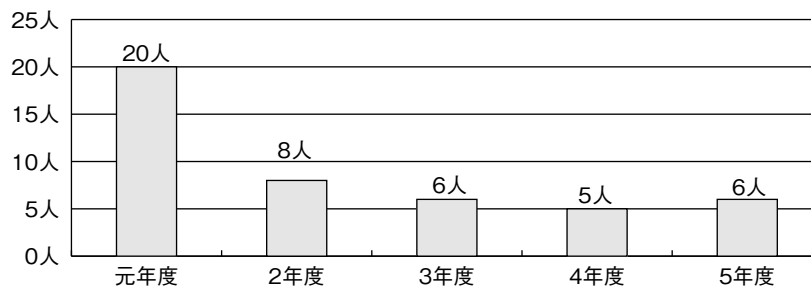
区 分	令和4年度	令和5年度
市民協働推進審議会	年間開催数4回	年間開催数4回
市民活動プラザ登録団体数	474団体	486団体
各種人材育成講座等の開催	8種、16講座、参加人員299人	9種、19講座、参加人員399人
東三河市民活動情報サイトへのアクセス数	32,836件	33,477件
市民活動総合補償制度対象事件数	傷害46件 賠償2件	傷害55件 賠償3件

(2) 市民協働推進補助金 1,033,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度
市民活動スタート支援(つつじ)補助金	8団体 379,000円	9団体 450,000円
市民活動ネクスト支援(くすのき)補助金	2 360,000	2 420,000
市民活動若者支援(わかば)補助金	5 409,000	3 163,000

[指標]

指標名：市民活動プラザ1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



2 市民センター管理運営事業費 54,467,263 円（市民協働推進課）

[総括]

市民センターによる SNS（インスタグラム等）を用いた情報発信を継続し、市民活動支援の講座や市民活動団体が行うイベントについて周知に努めた。一方、市民センターの会議室等の利用件数及び利用人数は、年間を通して利用実績があった法人が利用しなくなったため減少した。今後も集会、交流等のための施設として利用が促進されるよう、指定管理者と協力しながら周知に努めるとともに、指定管理者の持つノウハウを活かした各種講座や相談事業を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 市民センター管理運営事業費 54,467,263 円

[利用状況]

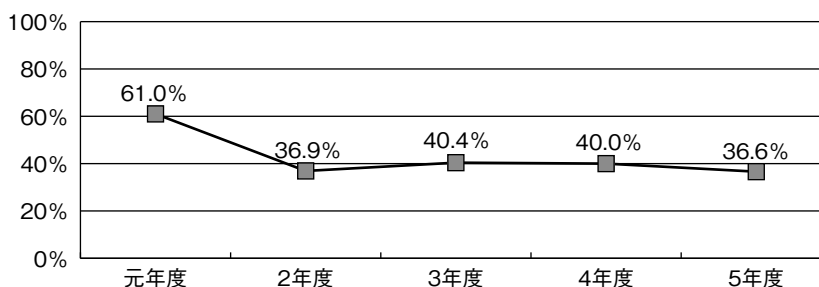
区 分	令和 4 年度		令和 5 年度		比 較 (延利用人員)
	利用件数	延利用人員	利用件数	延利用人員	
第1ミーティングルーム	349件	2,791人	350件	2,892人	3.6%
第2ミーティングルーム	412	3,304	359	3,091	△ 6.4
第3ミーティングルーム	204	1,544	194	1,581	2.4
第4ミーティングルーム	363	2,892	369	3,017	4.3
小 会 議 室	528	10,777	495	10,152	△ 5.8
中 会 議 室	392	20,245	358	18,471	△ 8.8
大 会 議 室	341	25,090	249	18,176	△27.6
多 目 的 ホ ー ル	371	29,891	330	26,148	△12.5
合 計	2,960	96,534	2,704	83,528	△13.5
開 館 日 数	308日		308日		—

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度
各種人材育成講座等の開催	5種、35講座、参加人員 2,367人	7種、36講座、参加人員 2,345人

[指 標]

指 標 名：市民センター会議室利用率

指標説明：利用件数 / (部屋数 × 利用可能日数 × 3区分) ※3区分は、貸出単位で午前、午後、夜間



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 若者活躍支援費 <若者活躍の支援と機会の充実>	5,126,865	0	0	0	5,126,865

1 若者政策提案事業費 5,126,865円 (市民協働推進課)

[総括]

豊橋の将来を担う若者が自分たちの住みたくなるまちの実現に向け、ワークショップの中での議論を通して、豊橋の未来を創るための政策を提案する「豊橋わかば議会」を開催し、令和5年度は1つの提案が事業化された。また、「豊橋わかば議会」先輩若者委員の政策立案までの経験や、自分達で提案した事業等へ参加した経験を伝える場として現役若者委員との交流会を開催した。今後は、関係課からのアドバイスによる政策の課題や新たな気づきを早い段階で得られるよう見直すことで、ブラッシュアップの時間を確保し、より熟度が高い政策提案をめざす。

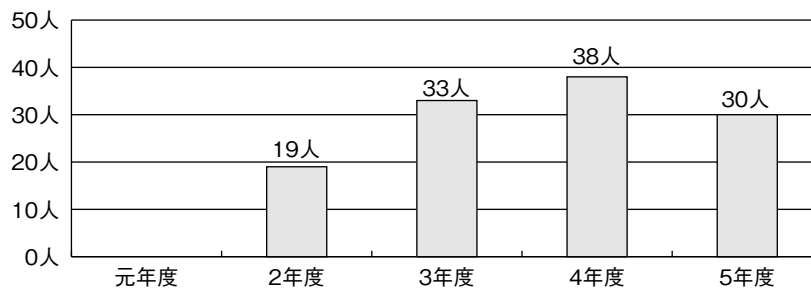
[実績及び成果]

(1) 若者政策提案事業費 5,126,865円

区 分	令和4年度	令和5年度
豊橋わかば議会参加者数	延 303人	延 273人

[指標]

指標名：わかば議会、提案事業等に関わった若者委員の数
 指標説明：現役若者委員の人数と提案事業等に参加した先輩若者委員の人数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 国際連携費 < 国際連携の推進 >	85,929,442	0	0	38,000	85,891,442

1 友好提携交流事業費 1,774,936 円 (多文化共生・国際課)

[総括]

パートナーシティであるドイツ・ヴォルフスブルグ市で開催された第2回ヴォルフスブルグ市国際青年会議に学生を派遣するとともに、ヴォルフスブルグ市よりインターン生及び同市の実科学校生徒を受け入れるなど積極的な交流を展開し、相互理解と友好親善を深めた。

[実績及び成果]

(1) 友好・姉妹都市交流事業費 0 円

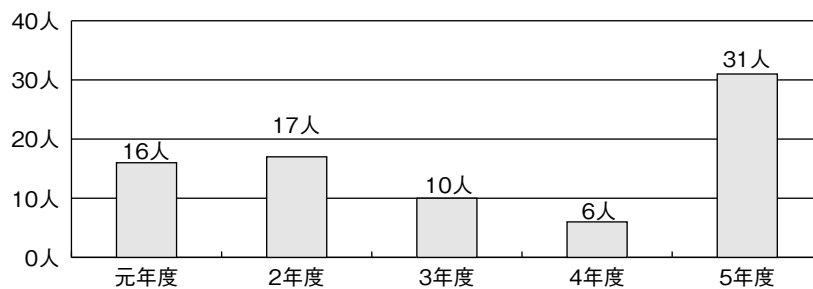
内 容	令和4年度	令和5年度
	【中国・南通市】 友好交流の促進及び経済交流の関係構築のため、南通市人民政府（関係機関）から4名が来豊	

(2) パートナーシティ交流事業費 1,774,936 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	【ドイツ・ヴォルフスブルグ市】 2か月間の職員人事交流を実施	

[指標]

指標名：交流人員数
指標説明：派遣又は受入した人数



2 豊橋市国際交流協会補助金 46,400,602 円（多文化共生・国際課）

[総括]

豊橋市国際交流協会は、日本語学習支援事業、国際理解教育・語学講座の実施、国際交流サロンの運営など、地域の国際交流活動の促進及び国際化意識の向上を図った。また、日本語ボランティア講座の開催や災害時通訳ボランティアの養成など、外国人が安心して暮らせる多文化共生の地域づくりを推進した。今後も市として協会が実施する各種事業を支援するとともに、様々な機会を通じて、協会への協力支援に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋市国際交流協会補助金 46,400,602 円

補助金	令和4年度	令和5年度
	42,588,901円	46,400,602円

[指標]

指標名：豊橋市国際交流協会事業参加者数
 指標説明：／



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 多文化共生費 <多文化共生の推進>	67,400,176	6,146,488	0	1,374,000	59,879,688

1 多文化共生推進事業費 42,585,971 円 (多文化共生・国際課)

[総括]

外国人市民も安心して行政サービスを受けられるよう、通訳者や31言語対応の多言語通訳タブレットにより外国人市民相談を実施するとともに、外国人市民向けウェブサイト「ほけとよ」やホームページ、SNSを活用し、やさしい日本語を含めた多言語で外国人市民に役立つ情報を発信した。また、出前講座や職員研修においてやさしい日本語の普及啓発に努めた。さらに、外国人の子どもたちへの日本語学習支援として、就学前の幼児を対象とした教室(プレスクール)や外国人中学生等アフタースクール事業などに加え、安定的な就労につなげることを目的とした成人向けの日本語教室を実施したほか、精神面でのケアが必要なブラジル人を支援するメンタルヘルス相談事業を実施した。

[実績及び成果]

(1) 外国人相談事業費 33,299,676 円

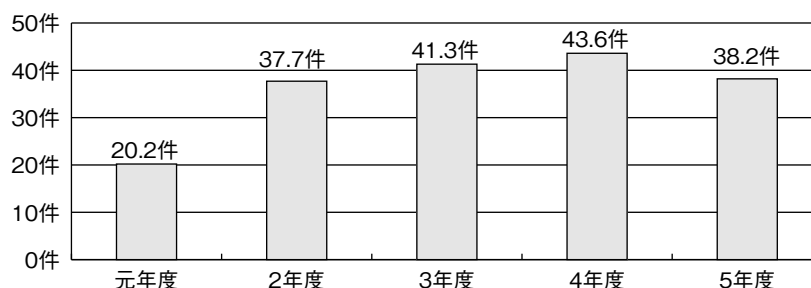
区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
相 談 件 数	14,741件	12,951件	△12.1%
外国人情報窓口対応件数	9,347	6,647	△28.9
文 書 等 翻 訳 件 数	206	160	△22.3

(2) 多文化共生事業費 9,286,295 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	プレスクール事業(3か所(4教室)、参加者56名) 外国人市民会議の開催 多文化共生推進連絡協議会の開催 「やさしい日本語マニュアル」の活用周知 外国人中学生等アフタースクール事業 就労のための日本語教室事業	プレスクール事業(3か所(4教室)、参加者63名) 外国人市民会議の開催 多文化共生推進連絡協議会の開催 「やさしい日本語マニュアル」の活用周知 外国人中学生等アフタースクール事業 就労のための日本語教室事業 多文化共生推進計画2024-2028の策定

[指 標]

指 標 名 : 外国人相談開設1日当たりの相談件数
指 標 説 明 : 相談件数 / 相談開設日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 男女共同参画推進費 <性別によらずに活躍できる環境の充実>	29,004,378	352,000	0	0	28,652,378

1 男女共同参画推進事業費 6,271,101円 (市民協働推進課)

[総括]

男女共同参画及び性の多様性を尊重する社会の実現をめざし、男女共同参画週間・月間啓発イベントや啓発パンフレットの配布、男女共生フェスティバルなどを行い、市民の男女共同参画及び性の多様性を尊重する意識の醸成を図った。また、女性活躍を推進するため、地元企業と協働し、女子生徒のための理系魅力発見セミナーを3事業所で開催したほか、女性応援プロジェクトでは女性の活躍を目的としたセミナー及びグループワークを実施した。このほか、女性を対象とした再就職支援セミナー及び無料相談を開催した。加えて、女性のキャリアアップを支援するための国家資格及び公的資格取得に対する補助金のうち、デジタル分野の資格を取得した際の補助率・補助上限額の拡充を行った。今後も様々な事業を展開し、さらなる男女共同参画及び性の多様性を尊重する社会づくりを推進する。

[実績及び成果]

(1) 男女共同参画啓発事業費 5,467,845円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
委員会、審議会等の女性委員数	110人	107人	△ 2.7%
一般啓発事業 標語応募点数	396点	319点	△19.4
女性再就職支援事業参加者数	57人	43人	△24.6
女性応援プロジェクト参加者数	52	57	9.6

(2) 女性キャリアアップ応援補助金 187,000円

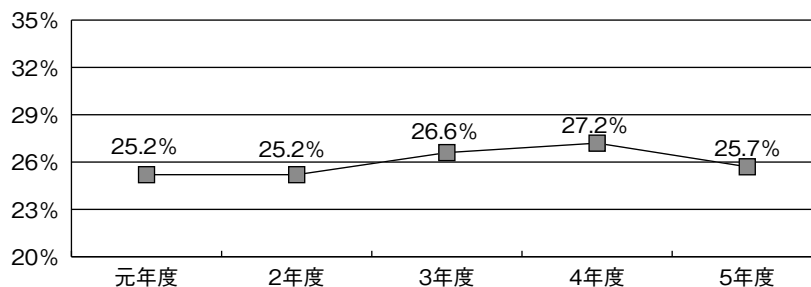
補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		4件	104,000円	6件

(3) 男女共生フェスティバル開催事業補助金 616,256円

区 分	令和4年度	令和5年度
男女共生フェスティバル参加者数	838人	622人
補 助 金	404,748円	616,256円

[指 標]

指 標 名：委員会、審議会等(法律・条例に基づくもの)女性委員の比率
 指標説明：女性委員数/全体の委員数



※対象とする委員会、審議会等を「法律・条例・要綱に基づくもの」から「法律・条例に基づくもの」に変更したため、元年度～3年度指標を再計算

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 男女共同参画支援費 <性別による困難を抱える人への支援の充実>	19,362,240	8,297,160	0	2,850	11,062,230

1 男女共同参画支援事業費 19,362,240円 (市民協働推進課)

[総括]

悩みを抱える人への支援として、女性相談員による電話や面接相談、DV相談、弁護士など専門の相談員による法律相談、男性相談、LGBT等性的少数者の面接相談を実施した。また、パートナーシップ制度の宣誓者が婚姻関係にある方と同様に利用できる本市の制度・サービス等を拡充し、その一覧表をホームページに掲載した。さらに、当事者がより安心してパートナーシップ宣誓に臨めるよう、オンライン宣誓の受付を開始するとともに、愛知県内の18自治体で、宣誓者の転出入時における負担を軽減するための自治体間連携に関する協定を締結した。加えて、困難や不安を抱える女性の支援のため、生理用品の配布を行うとともに、SNS相談や居場所の提供、訪問支援などのつながりサポート事業を実施した。このほか、男女共同参画センターにおいては、男女共同参画の推進に取り組む団体の交流・活動場所の提供に加え、図書の充実や男女共同参画に関する掲示などによる情報提供とともに、主体的に家事・育児に取り組む男性の増加を図る講座等を実施した。今後も性別等による困難を抱える人の支援を実施するとともに、男女共同参画センターの利用促進に努めていく。

[実績及び成果]

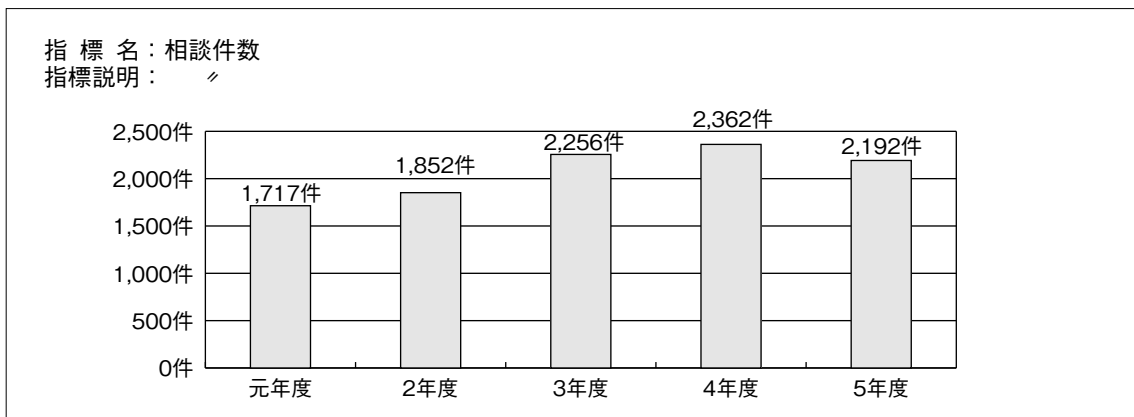
(1) 相談支援事業費 18,318,029円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
女性法律相談件数	12件	19件	58.3%
女性悩みごと相談件数	1,972	1,905	△3.4
D V 相 談 件 数	373	260	△30.3
男 性 相 談 件 数	1	5	5倍
L G B T 相 談 件 数	4	3	△25.0%
パートナーシップ宣誓件数	3	5	66.7

(2) 男女共同参画センター管理運営事業費 1,044,211円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
男女共同参画センター利用者数	延 25,626人	延 37,048人	44.6%
ライフアップセミナー参加者数	7講座 99	7講座 89	△10.1

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 地域防災力強化費 <地域防災力の充実>	48,839,440	2,096,864	0	0	46,742,576

1 地域防災力強化推進事業費 16,229,753円 (防災危機管理課)

[総括]

防災関係機関と地域住民が連携し、南海トラフ地震を想定した総合防災訓練を実施したほか、小学校と地域が連携して災害への備えに取り組む「防災まちづくりモデル校区事業」や、地域防災の担い手を育成する「防災リーダー養成講座」を開催した。令和5年度からは、家庭内における防災力の向上を図るため、家具転倒防止金具を取付けた世帯への費用助成を開始した。今後も各種訓練や防災啓発活動を実施することで、市民の防災意識の向上や自主防災組織の活性化などを推進し、地域防災力の強化を図る。

[実績及び成果]

(1) 防災対策啓発事業費 13,052,009円

内 容	令和4年度	令和5年度	比 較
防災啓発講習会の開催回数	326回	359回	10.1%

(2) 自主防災組織育成事業費 2,648,644円

内 容	令和4年度	令和5年度	令和5年度末累計
防災リーダー養成講座修了者数	107人	80人	1,213人

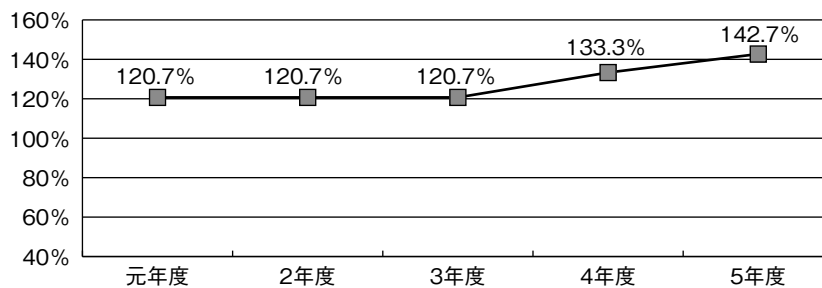
(3) 家具転倒防止推進事業補助金 529,100円

内 容	令和4年度	令和5年度	令和5年度末累計
家具転倒防止推進事業補助金交付世帯数	—	134世帯	134世帯

※令和5年度から実施の補助金

[指 標]

指 標 名：防災リーダー養成講座修了者目標達成率
 指標説明：防災リーダー養成講座修了者数／防災リーダー養成目標数(850人)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 災害対応力強化費 <災害対応力の強化>	318,220,431	1,783,000	14,200,000	6,252,095	295,985,336

1 防災対策事業費 129,772,553円 (防災危機管理課)

[総括]

豊橋ほっとメールの登録促進や豊橋防災ラジオの普及、同報系防災行政無線や飲料水耐震性貯水槽等の防災関係設備の適切な管理運営を行うとともに、老朽化が激しい避難所等誘導標識を更新した。令和5年度の水防訓練については、令和5年6月の大雨により中止した。今後も大規模地震や風水害に備え、防災対策の強化充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 防災対策管理事務費 33,936,619円

内 容	令和4年度	令和5年度
	防災会議の開催 豊橋ほっとメール多言語同時配信の運用 名古屋大学への受託研究員派遣 豊橋防災ラジオの販売・運用管理ほか	防災会議の開催 豊橋ほっとメール多言語同時配信の運用 名古屋大学への受託研究員派遣 豊橋防災ラジオの販売・運用管理ほか

(2) 東三河地域防災協議会負担金 1,740,000円

区 分	令和4年度	令和5年度
セミナー・研修会の開催回数	4回	3回
調査研究テーマ数	4テーマ	4テーマ
調査研究成果	<ul style="list-style-type: none"> ○東三河地域の防災力向上に向けたリアルタイム耐震診断システムの活用に関する研究 ○大規模災害とウイルス感染症の複合リスク下での避難計画に関する研究 ○障害者および要支援者の災害時における避難行動の支援体制に関する研究 ○災害時における「正常性バイアス」を打破する緊急避難アナウンスの開発 	<ul style="list-style-type: none"> ○東三河地域における熱中症発生の時空間分布調査と対策に関する研究 ○南海トラフ地震による東三河地域のリアルタイム被害想定システムの構築 ○南海トラフ地震を想定した東三河地域における応急仮設住宅の需給推計 ○訪問看護・訪問リハビリテーション事業と協働した災害時要配慮者の避難行動の確立と避難所における環境整備

(3) 防災備蓄品等整備事業費 28,472,209円

内 容	令和4年度	令和5年度	比 較
非常用食料備蓄数	320,567食	307,206食	△ 4.2%
マンホールトイレ整備数	3か所	0か所	皆減
避難誘導標識整備数	3	5	66.7%

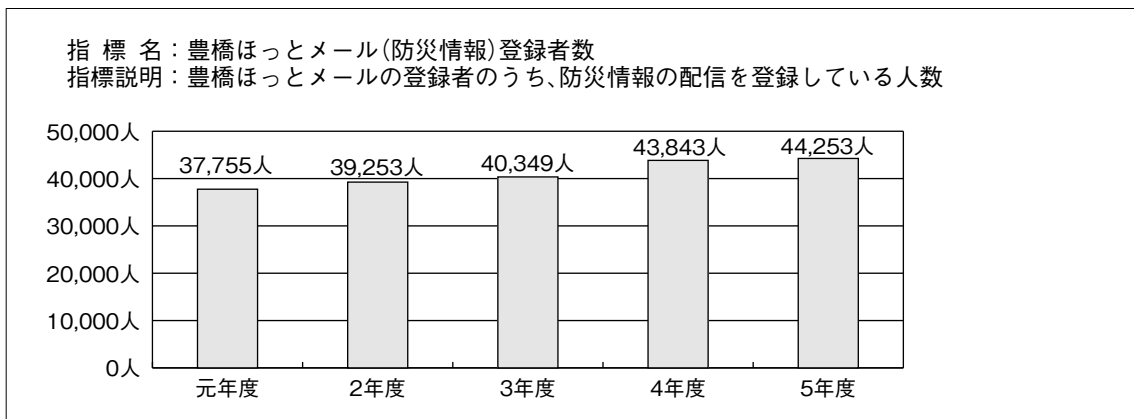
(4) 防災無線維持管理事業費 44,565,386 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	同報系防災行政無線の維持管理 デジタル防災行政無線（MCA無線） の維持管理 同報系防災行政無線屋外拡声子局等修繕	同報系防災行政無線の維持管理 デジタル防災行政無線（MCA無線） の維持管理 同報系防災行政無線屋外拡声子局等修繕 同報系防災行政無線屋外拡声子局移設

(5) 飲料水用施設維持管理事業費 5,196,026 円

(6) 水防対策事業費 15,812,313 円

[指 標]



2 危機管理対策事業費 19,157,477 円（防災危機管理課）

[総 括]

災害時における被害状況の収集能力向上及び初動対応力強化を図るため、全天候型ドローンを活用した救助現場などの映像伝送訓練を行った。また、災害対策本部が有効に機能するよう大型モニターを更新するとともに、災害情報共有システム（TRANS MOD）を活用した災害対策本部設置運営訓練や機器操作研修を実施した。今後も、各種訓練や機器操作研修を実施し、災害対策本部の機能強化に努めていく。

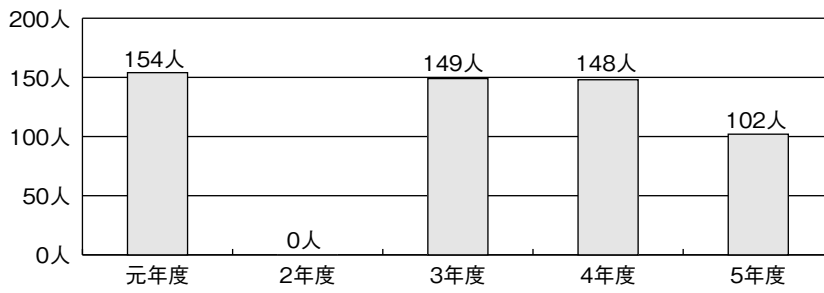
[実績及び成果]

(1) 危機管理対策事業費 19,157,477 円

内 容	令和4年度	令和5年度	比 較
機器操作研修の受講者数	148人	102人	△31.1%
ドローン飛行隊出動回数	8回	11回	37.5

[指 標]

指 標 名：災害対策本部機器操作研修の受講者数
指標説明：
〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 耐震化促進費 <建物の耐震化の促進>	165,424,477	101,255,000	0	4,000	64,165,477

1 建築物耐震促進事業費 133,609,019 円 (建築物安全推進課)

[総括]

発生が危惧される南海トラフ地震等に備え耐震化を促進するため、民間木造住宅の無料耐震診断や各種助成を行うとともに、令和5年度は要安全確認計画記載建築物の耐震改修工事に対する助成を行った。さらに、災害発生時の生命の安全確保及び道路の閉塞防止のため、ブロック塀等の撤去に対する助成を行った。また、令和3年3月に改訂した「豊橋市建築物耐震改修促進計画」に基づき、積極的な啓発と各種助成の実施により耐震診断及び耐震改修等のさらなる普及を図り、災害に強いまちづくりをめざす。

[実績及び成果]

(1) 木造住宅耐震診断事業費 10,384,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度	平成14年度からの累計
耐震診断実施棟数	175棟	220棟	12,153棟

(2) 木造住宅耐震改修費補助金 32,674,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度	平成15年度からの累計
耐震改修実施棟数	33棟	34棟	1,391棟

(3) 木造住宅段階的耐震改修費補助金 2,259,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度	平成25年度からの累計
耐震改修実施棟数	3棟	4棟	25棟

(4) 非木造住宅耐震診断費補助金 0 円

区 分	令和4年度	令和5年度	平成20年度からの累計
耐震診断実施棟数	0棟	0棟	11棟(102戸)

(5) 非木造住宅耐震改修費補助金 0 円

区 分	令和4年度	令和5年度	平成24年度からの累計
耐震改修等実施棟数	0棟	0棟	0棟

(6) 木造住宅解体工事費補助金 12,854,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度	平成22年度からの累計
解体工事補助棟数	42棟	48棟	596棟

(7) 木造住宅耐震シェルター整備費補助金 2,100,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度	平成25年度からの累計
シェルター設置棟数	0棟	7棟	23棟

(8) 特定既存耐震不適格建築物耐震診断費補助金 2,428,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度	平成29年度からの累計
耐震診断実施棟数	1棟	1棟	3棟

(9) 要安全確認計画記載建築物耐震改修費補助金 69,015,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度	令和4年度からの累計
耐震改修等実施棟数	1棟(設計)	1棟(工事)	1棟

(10) ブロック塀等撤去費補助金 1,037,000 円

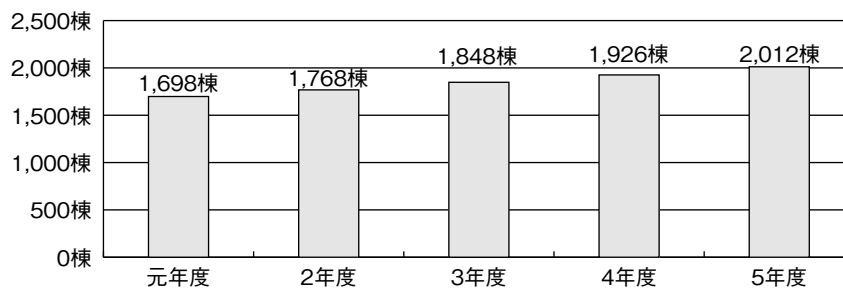
区 分	令和4年度	令和5年度	平成30年度からの累計
ブロック塀等撤去件数	25件	17件	157件

(11) 建築物耐震促進啓発事業費 858,019 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
ダイレクトメールの発送数	5,893通	8,538通	44.9%

[指 標]

指 標 名：住宅の耐震改修・解体工事棟数(累計)
指 標 説 明：住宅の耐震改修棟数 + 解体工事棟数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11目 防犯・治安対策費 <防犯・治安対策の推進>	65,140,242	1,785,000	0	1,613,900	61,741,342

1 防犯・治安対策推進事業費 42,803,295 円 (安全生活課)

[総括]

犯罪のない安全で安心なまち「とよはし」をめざして策定された「第6次豊橋市安全で安心なまちづくり行動計画」に基づき、防犯パトロール、自主防犯活動への支援、各世代に応じた防犯教育講座を開催するとともに、警察・市民・事業者と協力して防犯啓発活動を行った。また、街頭犯罪等の発生抑制のため、防犯カメラの設置及び防犯灯の設置・維持にかかる費用に対する助成を行った。さらに、還付金詐欺等の未然防止のため、特殊詐欺対策装置購入に対する助成を行った。しかしながら、令和5年中の市内の刑法犯罪発生件数は、2年連続で増加となり、行動計画の目標値を達成することができなかつたため、引き続き関係機関と連携協力し、地域防犯力や防犯意識向上のための取組みを推進していく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋市防犯協会連合会補助金 2,600,000 円

補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		2,600,000円		2,600,000円

(2) 地域防犯事業費 21,143,987 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
防 犯 教 育 講 座	開催数116回	受講者数15,681人	開催数120回	受講者数16,918人
自 主 防 犯 活 動	52小学校区	活動者数12,813人	52小学校区	活動者数12,940人
安全なまちづくり市民運動	実施回数 4回		実施回数 4回	

(3) 防犯カメラ設置費補助金 2,503,200 円

設 置 補 助 台 数	令和4年度		令和5年度	
		18台	1,722,600円	23台

(4) 安全安心防犯灯補助金 9,229,646 円

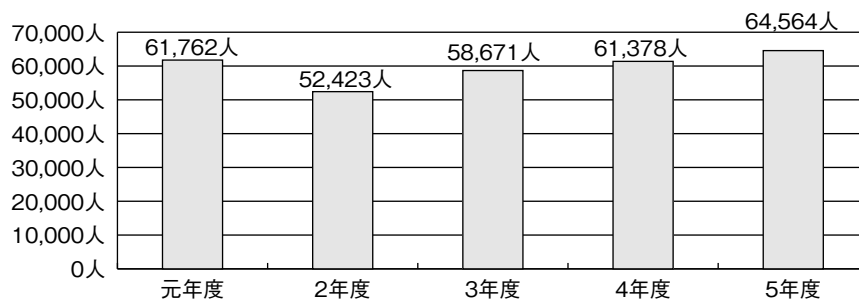
区 分	令和4年度		令和5年度	
設 置 補 助 灯 数	264灯	4,697,900円	234灯	3,930,200円
維 持 補 助 灯 数	4,725	6,627,901	4,571	5,299,446

(5) 路上喫煙防止対策事業費 7,326,462 円

内 容	令和4年度		令和5年度	
		快適なまちづくり指導員による巡回禁止区域等啓発事業・路上喫煙実態調査		快適なまちづくり指導員による巡回禁止区域等啓発事業・路上喫煙実態調査
路上喫煙禁止区域内における歩行喫煙者率	0.51%		0.32%	

[指 標]

指 標 名：地域防犯活動に参加した市民の人数
指標説明：地域において防犯活動に関わった市民の人数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
12目 交通安全対策費 <交通安全対策の推進>	117,093,070	3,744,040	0	2,000,000	111,349,030

1 交通安全対策推進事業費 94,669,631 円 (安全生活課)

[総括]

令和7年度までの交通事故死者数等の目標値を定めた「第11次豊橋市交通安全計画」に基づき、各種交通安全対策を実施した。交通安全思想の普及徹底のため、四季の交通安全運動を実施するとともに、子どもと高齢者の安全確保のため、交通安全教室の開催や運転免許証の自主返納を促す取組みを実施した。さらに、自転車交通事故発生抑止のための啓発等で使用するステッカー原画及びポスターデザインを募集し、最優秀賞となった作品で作成した啓発品を、イベントでの配布や市内各所への掲示などに活用した。結果として、令和5年中の市内の交通事故死者数及び人身事故件数等は、計画の目標値を達成することができた。

[実績及び成果]

(1) 交通安全啓発事業費 70,893,891 円

区 分	令和4年度	令和5年度
交通安全教室	284回 参加者数 21,729人	321回 参加者数 24,759人
交通安全市民運動	実施回数 4回	実施回数 4回

(2) 通学路標示板整備事業費 632,500 円

通学路標示板設置	令和4年度	令和5年度
	6か所	27か所

(3) 交通安全実施団体補助金 3,700,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度
交通安全協会補助金	2,000,000円	2,000,000円
交通安全都市推進協議会補助金	1,482,954	1,500,000
幼児交通安全クラブ連絡協議会補助金	200,000	200,000

(4) 自転車ヘルメット購入補助金 9,422,490 円

区 分	令和4年度	令和5年度
ヘルメット購入補助件数	2,615件 5,146,640円	4,755件 9,422,490円

(5) 予防型交通安全対策事業費 1,700,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度
市内で発生した人身事故件数	1,224件	1,070件

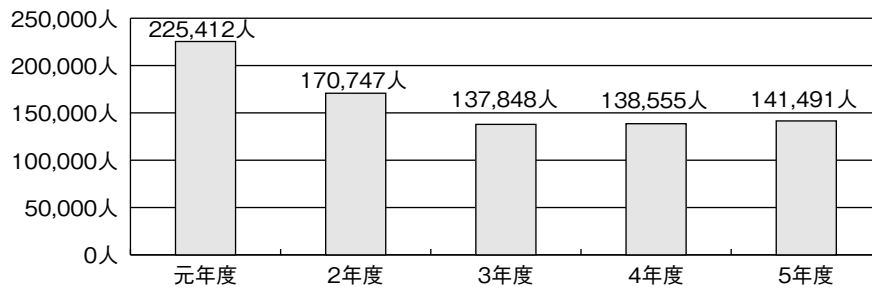
(6) 高齢者交通安全対策推進事業費 8,320,750 円

区 分	令和4年度	令和5年度
運転免許自主返納助成件数	977件	888件
安全運転支援装置設置者数	12人	5人

[指 標]

指 標 名：交通安全活動に関わった市民の人数

指標説明：交通安全教育・啓発活動などに参加又は関わった市民の人数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
13目 消費者保護費 <消費者保護の推進>	49,459,968	256,100	0	4,186,211	45,017,657

1 消費者行政事業費 16,047,946 円 (安全生活課)

[総括]

第51回消費者展を消費者団体と協働で開催したほか、「豊橋わかば議会」からの提案を受け、消費者トラブルから若者を守るため「新成人、だまされちゃ188(嫌や!!)キャンペーン」として、啓発動画コンテストを開催し、最優秀作品をYoutubeのインストリーム広告で配信するなど、消費生活に関する啓発を行った。また、消費生活相談事業及び消費者啓発事業を東三河広域連合の8市町村で共同実施し、国家資格を有する消費生活相談員が消費生活に係る相談を受けるとともに、消費生活出前講座などを開催した。相談件数は横ばいであったが、相談内容はより多様化、複雑化しているため、各世代に合わせた啓発の強化や消費生活相談員の育成による体制の充実により、消費者被害の未然防止や救済に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 消費者行政推進事業費 967,139 円

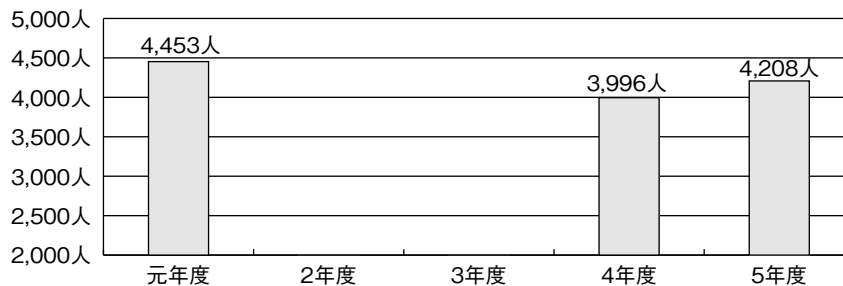
区 分	令和4年度	令和5年度
明るい暮らしの消費者展	第50回 10.15~16 参加者数3,996人	第51回 10.21~22 参加者数4,208人

(2) 東三河広域連合消費生活事業負担金 15,080,807 円

負 担 金	令和4年度	令和5年度
	12,434,044円	15,080,807円

[指 標]

指 標 名：明るい暮らしの消費者展参加人数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3 款 民 生 費	62,018,321,566	31,534,963,851	591,000,000	1,733,275,197	28,159,082,518
1 項 社 会 福 祉 費	26,298,954,916	14,023,227,911	68,600,000	69,469,255	12,137,657,750
2 目 地 域 福 祉 活 動 推 進 費 <地域福祉活動の推進>	295,086,135	19,844,000	0	10,924,866	264,317,269

1 地域福祉推進事業費 37,863,695 円 (福祉政策課)

[総括]

福祉相談サポートセンターにおいて、複雑化・複合化した課題を抱える世帯を支援する相談機関が円滑に連携するための調整や、支援につながない人に対して伴走型支援を行う等、課題の解決に向けた支援を行った。また、災害時に家族等の援助を受けることが困難であり、避難支援を必要とする人（避難行動要支援者）を把握するとともに、日頃の見守りと災害発生時の支援に活用するため、本人同意のもと地域の自主防災会及び民生委員へ避難行動要支援者の情報を提供した。今後も地域福祉サービスの充実を図っていく。

[実績及び成果]

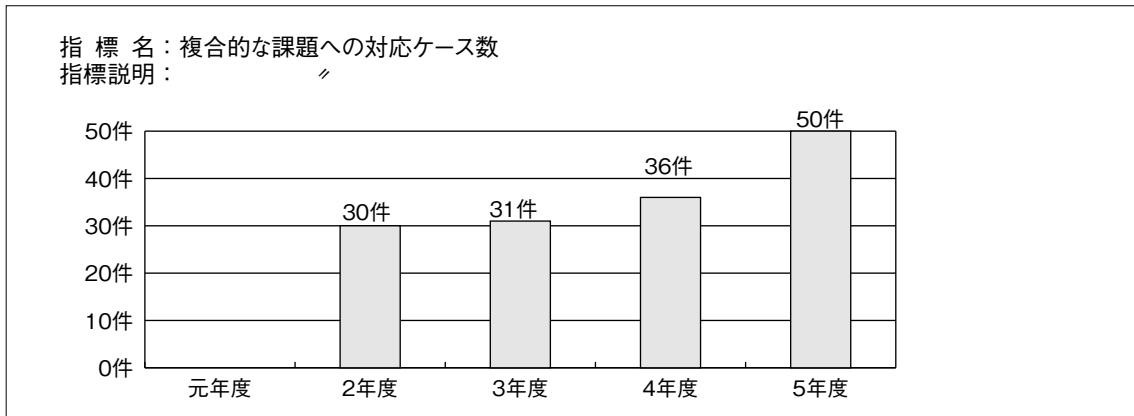
(1) 地域共生社会推進事業費 23,822,748 円

複合的な課題への 対応ケース数	令和4年度	令和5年度	比較
		36件	50件

(2) 避難行動要支援者支援事業費 185,379 円

避難行動要支援者登録 台帳への新規登録者数	令和4年度	令和5年度	比較
		138件	144件

[指標]



2 福祉センター管理運営事業費 129,798,802 円（福祉政策課）

[総括]

総合福祉センターを始め4か所の福祉センターについて指定管理者による管理を行ったほか、つつじが丘地域福祉センターの管理運営に対し適切な助成を行った。今後も社会福祉活動の拠点として地域福祉の振興を図るため、利便性の向上や利用の促進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 地域福祉センター管理運営事業費 68,215,643 円

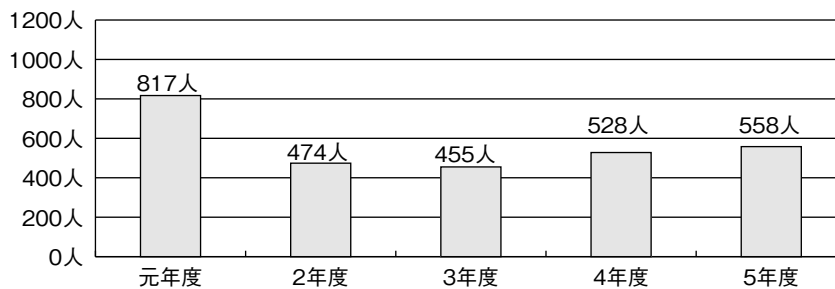
区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
八町地域福祉センター	延 17,766人	延 16,636人	△ 6.4%
大清水地域福祉センター	延 20,591	延 23,652	14.9
牟呂地域福祉センター	延 25,913	延 28,414	9.7
つつじが丘地域福祉センター	延 39,273	延 39,191	△ 0.2
利 用 者 数 合 計	延 103,543	延 107,893	4.2

(2) 総合福祉センター管理運営事業費 61,583,159 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
利 用 者 数	延 58,958人	延 63,902人	8.4%

[指 標]

指 標 名：福祉センター1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



3 ボランティア事業費 15,831,791 円（福祉政策課）

[総括]

市民のボランティア活動への積極的な参加を促進するため、各種養成講座等を実施している豊橋市社会福祉協議会ボランティアセンターの運営に対し支援を行った。今後もボランティアによる「福祉のまちづくり」を推進する社会福祉協議会に対し支援を継続していく。

[実績及び成果]

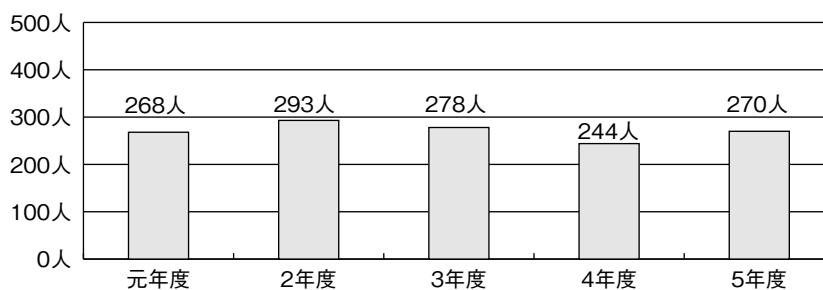
(1) ボランティア事業推進費補助金 15,831,791 円

ボランティア養成講座	令和4年度	令和5年度	比較
参加者数	延 244人	延 270人	10.7%

[指標]

指標名：ボランティア養成講座参加者数(延人数)

指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 暮らしを支える福祉推進費 <暮らしを支える福祉サービスの充実>	128,939,689	1,000,000	0	5,403,506	122,536,183

1 成年後見制度推進事業費 24,219,865 円 (福祉政策課)

[総括]

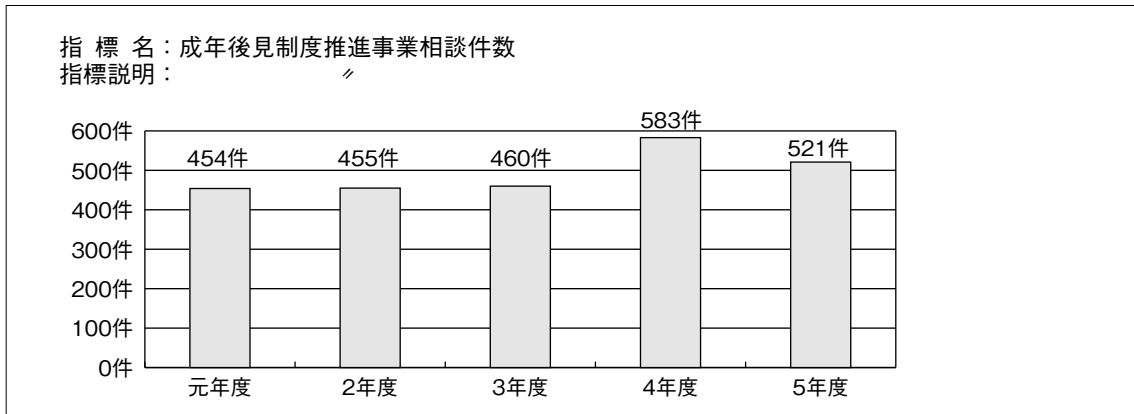
権利擁護の総合的な推進拠点となる成年後見支援センターにおいて、成年後見制度の普及啓発と相談等を実施した。また、受任調整会議を開催し、成年後見制度の利用を必要とする方の生活環境や抱えている課題を考慮したうえで、求められる後見活動や後见人等候補者を検討した。今後も制度の利用を希望する人が適切に制度を利用できるよう体制整備を推進する。

[実績及び成果]

(1) 成年後見制度推進事業費 24,219,865 円

相 談 件 数	令和4年度	令和5年度	比 較
		583件	521件

[指 標]



2 更生保護活動支援事業費 5,475,302 円 (福祉政策課)

[総括]

犯罪や非行をした人の立ち直り支援や犯罪・非行の予防啓発活動等を行う更生保護事業の拠点施設として、保護司会等の更生保護団体が利用する更生保護会館の管理運営を行った。また、更生保護活動及び犯罪予防活動を行う更生保護団体に対し、適切な補助金交付を行った。今後も更生保護団体と関係機関・団体及び地域住民との連携を強化し、更生保護活動の一層の充実強化を図る。

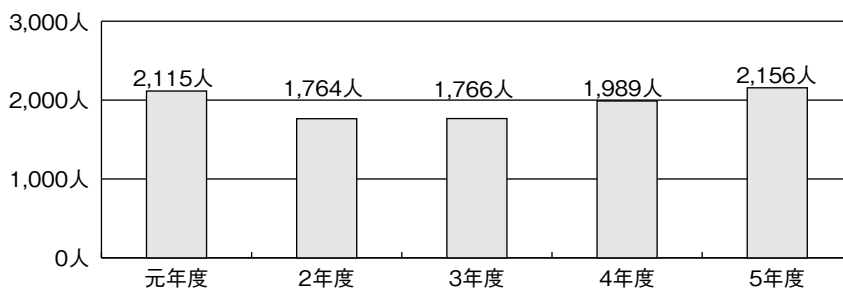
[実績及び成果]

(1) 更生保護活動支援事業費 5,475,302 円

更生保護会館利用者数	令和4年度	令和5年度	比 較
		延 1,989人	延 2,156人

[指標]

指標名：更生保護会館年間延利用者数
 指標説明：〃



3 社会福祉施設等指導監査事業費 23,823,992 円（福祉政策課）

[総括]

質の高い社会福祉サービスを確保するため、社会福祉施設、障害福祉サービス事業者等の運営や福祉サービスの提供状況について、指導監査や実地指導を行った。また、東三河広域連合が実施する社会福祉法人に関する指導監査及び介護保険サービス事業者等に対する運営指導の事務に要した経費を負担した。今後も利用者が安心して福祉サービスを受けられるよう、適正な指導を行っていく。

[実績及び成果]

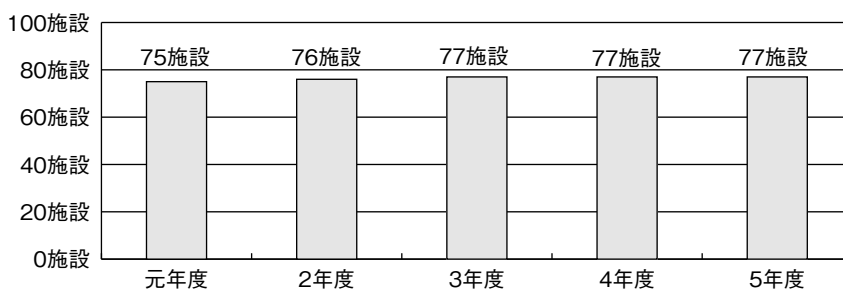
(1) 社会福祉施設等指導監査事務費 114,265 円

区 分	令和4年度	令和5年度
社会福祉施設指導監査実施施設数	77施設	77施設
障害福祉サービス事業者等実地指導件数	154件	164件

(2) 東三河広域連合監査指導事業負担金 23,709,727 円

[指標]

指標名：社会福祉施設指導監査実施施設数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 障害者総合支援費 <障害者(児)の自立と社会参加の促進>	12,818,531,442	8,806,434,776	68,600,000	1,808,487	3,941,688,179

1 障害福祉サービス等給付事業費 8,846,440,971 円 (障害福祉課)

[総括]

障害者総合支援法に基づく介護給付、訓練等給付などの障害福祉サービス等の給付事業を実施し、障害者福祉の向上を図った。在宅で生活を希望する医療的ケアが必要な重度障害者が増加したことに伴い、重度訪問介護の利用者数が大きく増加した。また、就労系サービス及び共同生活援助の事業所数増加に伴い、利用者数が増加した。今後も、障害者の自立、社会参加に向けた支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 介護給付事業費 4,457,656,466 円

区 分	令和4年度	令和5年度
居 宅 介 護	延 156,074時間	延 172,352時間
重 度 訪 問 介 護	延 38,774	延 48,821
同 行 援 護	延 10,919	延 14,077
行 動 援 護	延 1,499	延 1,833
生 活 介 護	延 213,096日	延 218,518日
療 養 介 護	延 10,789	延 11,370
短 期 入 所	延 7,231	延 8,319
施 設 入 所 支 援	延 84,012	延 83,147

(2) 訓練等給付事業費 3,613,758,207 円

区 分	令和4年度	令和5年度
就 労 移 行 支 援	延 1,218人	延 1,317人
就 労 継 続 支 援 (A 型)	延 2,446	延 2,530
就 労 継 続 支 援 (B 型)	延 11,386	延 12,230
就 労 定 着 支 援	延 455	延 556
共 同 生 活 援 助	延 6,628	延 8,075
自 立 訓 練	延 116	延 92
自 立 生 活 援 助	延 18	延 24

(3) 自立支援医療給付事業費 278,795,977 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
腎 臓 病 人 工 透 析 等	延 2,846件	延 3,245件	14.0%
そ の 他	延 430	延 586	36.3

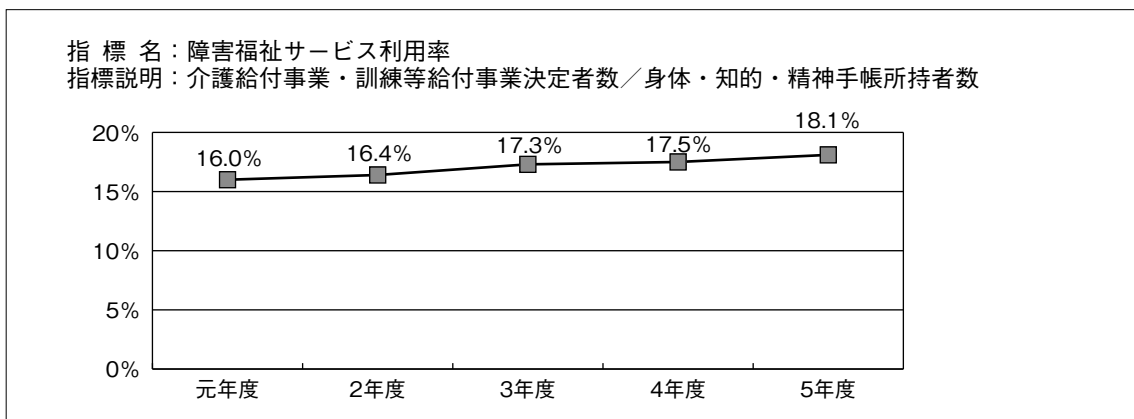
(4) 補装具給付事業費 76,148,315 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
	交 付	修 理	交 付	修 理
義 肢	12件	28件	10件	29件
装 具	92	34	71	22
車 椅 子	59	111	68	123
補 聴 器	99	45	97	38
視覚障害者安全つえ	23	0	26	0
歩 行 補 助 つ え	5	0	1	0
そ の 他	68	23	59	31
計	358	241	332	243

(5) 東三河広域連合障害福祉事業負担金 4,151,668 円

障害支援区分審査件数 (8市町村)	令和4年度	令和5年度	比 較
	1,773件	1,656件	△ 6.6%

[指 標]



2 障害児支援等給付事業費 2,520,611,100 円 (障害福祉課)

[総 括]

児童福祉法に基づく障害児通所支援給付事業などを実施することで、障害児支援の充実を図った。児童発達支援及び放課後等デイサービスの事業所数の増加とともに、利用者数も大きく増加した。また、障害児相談支援給付事業を実施し、障害児の相談支援体制の充実を図った。今後も障害児の支援に努めていく。

[実績及び成果]

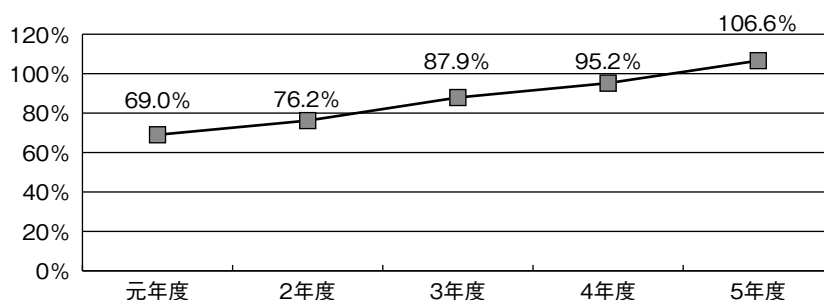
(1) 障害児通所支援給付事業費 2,418,639,799 円

区 分	令和4年度	令和5年度
児 童 発 達 支 援	延 39,432日	延 45,161日
放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス	延 146,255	延 167,609
保 育 所 等 訪 問 支 援	延 491	延 822
居 宅 訪 問 型 児 童 発 達 支 援	延 6	延 8

[指 標]

指 標 名：障害児通所支援利用率

指標説明：障害児通所支援給付事業決定者数／18歳未満の身体・知的・精神手帳所持者数



3 障害者地域生活支援事業費 424,108,508 円 (障害福祉課)

[総 括]

障害者が自立した日常生活・社会生活を送るため、障害者総合支援法に基づく相談支援、日常生活用具給付などの地域生活支援事業を実施し、障害者福祉の向上を図った。今後も障害者が地域において自立した生活を送れるよう必要な支援を進める。

[実績及び成果]

(1) 相談支援事業費 109,836,507 円

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度
地域自立支援協議会費	開催数 93回	開催数 102回
相談支援事業委託	7施設 延 20,200件	8施設 延 19,282件
安心生活支援事業費	1 延 1	1 延 2

(2) 意思疎通支援事業費 11,376,444 円

(ア) 手話通訳者活動費 10,471,976 円

活 動 回 数	令和 4 年度	令和 5 年度	比 較
	766回	743回	△ 3.0%

(イ) 要約筆記者活動費 579,759 円

活 動 回 数	令和 4 年度	令和 5 年度	比 較
	102回	104回	2.0%

(ウ) 点字プリンター維持管理費 12,000 円

利 用 件 数	令和 4 年度	令和 5 年度	比 較
	6件	3件	△50.0%

(エ) コミュニケーション支援機器設置費 312,709 円

利 用 件 数	令和 4 年度	令和 5 年度	比 較
	17件	12件	△29.4%

(3) 日常生活用具給付事業費 106,448,984 円

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	比 較
介護・訓練支援用具	30件	21件	△30.0%
自立生活支援用具	44	45	2.3
在宅療養等支援用具	44	51	15.9
情報・意思疎通支援用具	46	42	△ 8.7
排泄管理支援用具	10,009	9,837	△ 1.7
居宅生活動作補助用具	7	8	14.3
計	10,180	10,004	△ 1.7

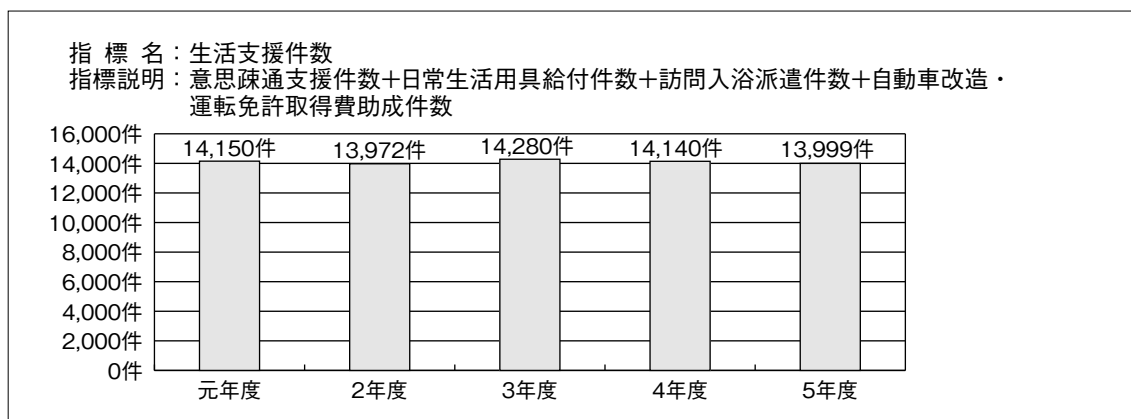
(4) 移動支援事業費 62,370,846 円

内 容	令和 4 年度	令和 5 年度
	40事業所 延 19,027時間	39事業所 延 21,792時間

(5) 障害者理解啓発事業費 221,760 円

パンフレット等 配布枚数	令和 4 年度	令和 5 年度
	2,100枚	1,800枚

[指 標]



4 医療的ケア児等支援事業費 291,610 円（障害福祉課）

[総 括]

医療的ケアを必要とする障害児が通う保育園、幼稚園、認定こども園又は児童発達支援事業所に、訪問看護ステーション等の看護師を派遣することにより、医療的ケアを実施し、保護者の負担の軽減を図った。

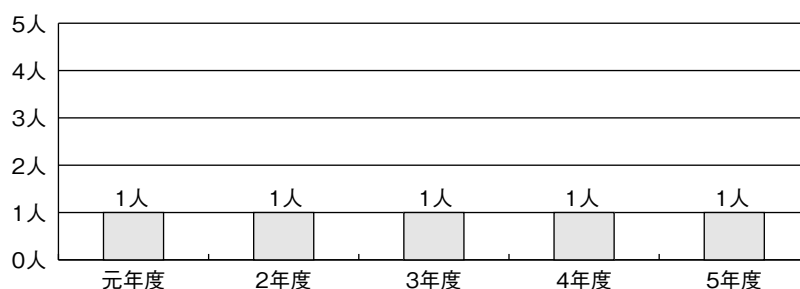
[実績及び成果]

(1) 障害児看護支援事業費 291,610 円

利 用 者	令和 4 年度	令和 5 年度
	保育園 1 人	保育園 1 人

[指 標]

指 標 名：障害児看護支援事業利用者数
 指標説明：〃



5 障害者福祉会館管理運営事業費 44,872,054 円（障害福祉課）

[総 括]

指定管理者により、各種教室や避難所体験をはじめとする特色ある事業を展開するなど、施設の適正な管理運営に努め、新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた利用者数も回復傾向にある。今後も利用者のニーズに応じたイベントや講座の実施に努めるとともに、利用者が安全・快適に過ごせるよう施設の維持・保全を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 障害者福祉会館管理運営事業費 44,872,054 円

[施設利用者]

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
開 館 日 数	293日	294日	0.3%
利 用 者 数	延 33,557人	延 37,544人	11.9

[活動内容]

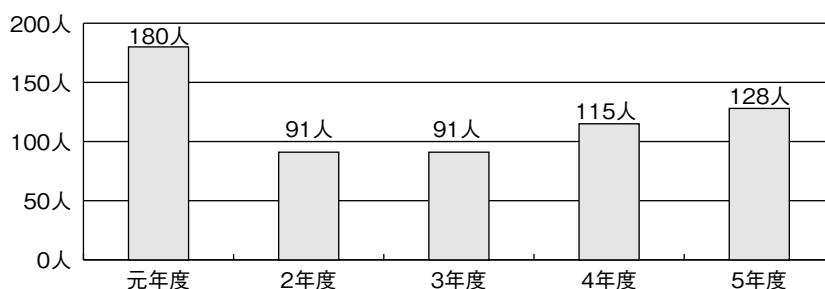
区 分	令和4年度	令和5年度
障害児余暇支援事業	参加人員 延 49人	参加人員 延 224人
スポーツ・文化教室	延 650	延 728
教 養 講 座	延 66	延 87
避 難 所 体 験 事 業	延 419	延 721

[施設整備]

内 容	令和4年度	令和5年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス漏れ火災警報設備修繕 ・軒天改修修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ・プール塗裝修繕 ・消防用設備修繕 ・ダンパ機器取替修繕 ・自動ドア装置修繕 ・体育館地下外壁防水工事(着工)

[指 標]

指 標 名：障害者福祉会館 1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



6 障害者（児）施設整備事業費補助金 240,840,000 円（障害福祉課）

[総 括]

障害者（児）の地域生活を支援するため、令和5年度は1施設に対して整備に係る経費の一部を助成した。今後も市内のニーズを把握しながら、適切な助成を行う。

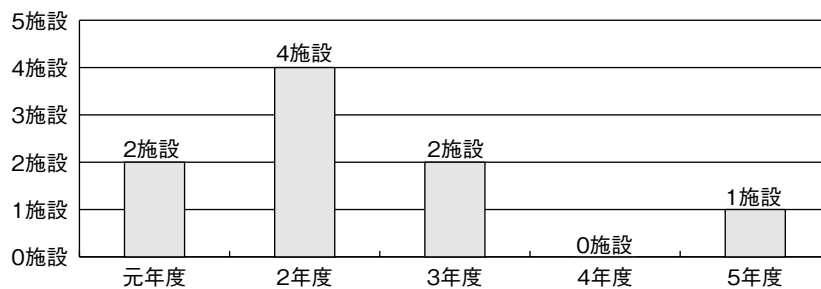
[実績及び成果]

(1) 障害者（児）施設整備事業費補助金 240,840,000 円

施設区分	実施内容	令和4年度	令和5年度
障害者支援施設	大規模修繕	—	豊橋ちぎり寮

[指 標]

指 標 名：障害者（児）施設整備数
 指標説明：国庫補助を活用し整備した障害者（児）施設数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 障害者医療費 <円滑な医療費の助成>	1,194,546,723	435,584,000	0	0	758,962,723

1 障害者医療費助成事業費 747,760,457 円 (障害福祉課)

[総括]

障害者の医療費について、保険診療費の自己負担額を助成することにより、障害者やその家族の経済的な負担を軽減し生活の安定を図った。

[実績及び成果]

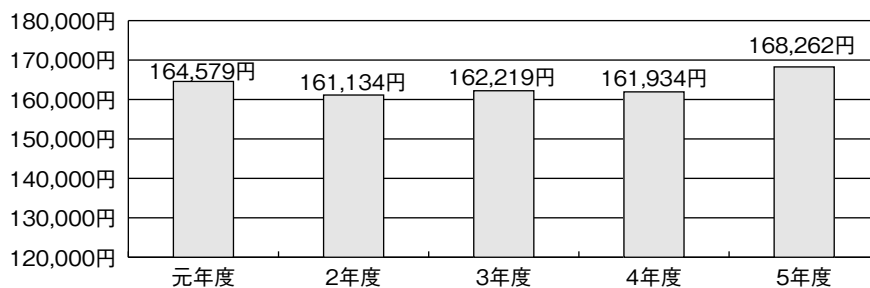
(1) 障害者医療費助成事業費 747,760,457 円

(ア) 医療助成費 743,719,719 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
受 給 者 数	延 52,968人	延 53,042人	0.1%
受 診 件 数	延 117,167件	延 121,327件	3.6
受 診 率	221.2%	228.7%	7.5ポイント

[指標]

指標名：障害者医療費1人当たりの助成費
 指標説明：障害者医療助成費／受給者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 老人福祉費	6,117,133,203	569,568,000	5,100,000	859,178,240	4,683,286,963
2目 高齢者活動促進費 <高齢者の活躍の機会 拡大と介護予防の推進>	125,746,494	4,791,000	5,100,000	643,153	115,212,341

1 老人福祉センター等施設管理運営事業費 79,349,320 円 (長寿介護課)

[総括]

指定管理者により、老人福祉センターを始め10か所の老人福祉施設の適切な管理運営を行った。今後も引き続き適切な管理運営に努めるとともに、各施設の老朽化が進んでいるため、計画的な修繕を行っていく。

[実績及び成果]

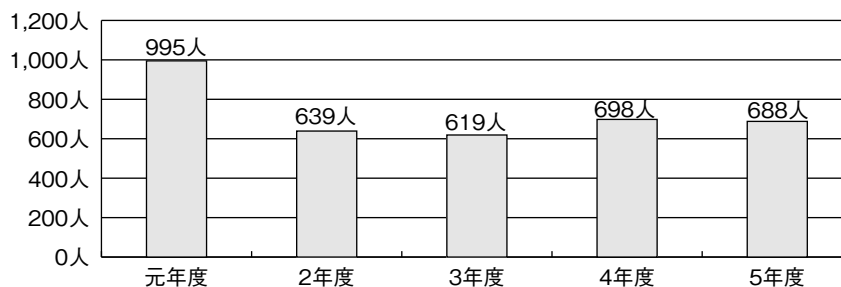
(1) 老人福祉センター等施設管理運営事業費 79,349,320 円

[利用状況]

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
	延利用者数	延利用者数	
仁連木老人福祉センター	37,590人	31,613人	△15.9%
下地	31,012	32,106	3.5
高師	38,587	38,821	0.6
石巻	28,276	26,908	△4.8
大岩	30,629	31,825	3.9
小 計	166,094	161,273	△2.9
牟呂高齢者活動センター	13,906	12,342	△11.2
石巻	3,960	3,857	△2.6
小 計	17,866	16,199	△9.3
西川老人憩の家	6,758	7,713	14.1
東細谷	8,651	11,027	27.5
城下	5,228	5,240	0.2
小 計	20,637	23,980	16.2
合 計	204,597	201,452	△1.5

[指 標]

指 標 名：老人福祉センター等1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 高齢者生活支援費 <高齢者の生活支援サービスの充実>	1,133,721,948	345,915,000	0	18,024,437	769,782,511

1 養護老人ホーム管理運営事業費 126,749,731 円 (総合老人ホーム)

[総括]

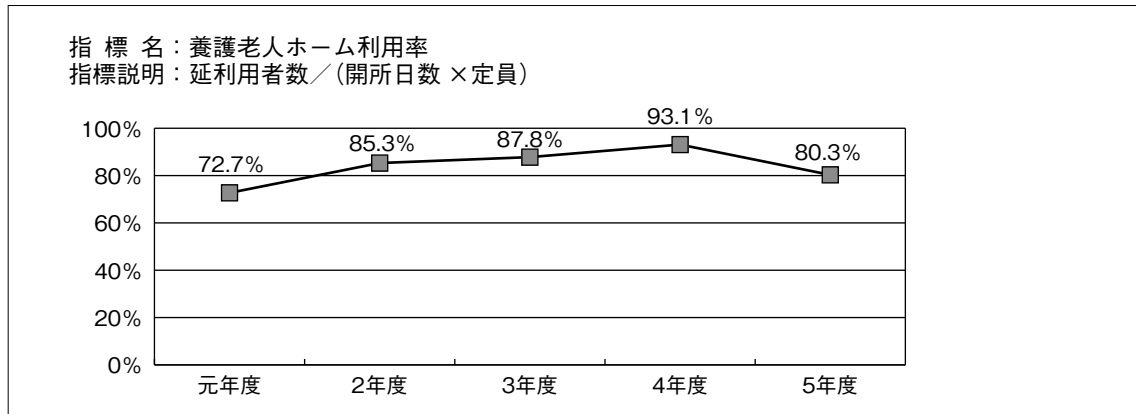
環境上の理由及び経済的理由により、居宅において生活することが困難な65歳以上の方が、安心して健康的な生活を送れるように養護した。令和5年度は介護用ベッド1台の新規購入や空調設備の修繕を実施し入所者の住環境の向上を図った。今後もセーフティネット機能を担う市内唯一の施設として、高齢者の養護の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 70,643,770 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
年 間 延 利 用 者 数	20,389人	17,622人	△13.6%
1日当たりの利用者数	55.9	48.2	△13.8

[指 標]



2 高齢者福祉サービス事業費 65,008,951 円 (長寿介護課)

[総括]

高齢者が地域で安心して暮らせるようにするため、電車、タクシー等の利用料金を助成する高齢者移動支援事業などの各種サービスを実施した。今後も、高齢者のニーズや社会情勢を考慮しながら高齢者の生活支援を継続していく。

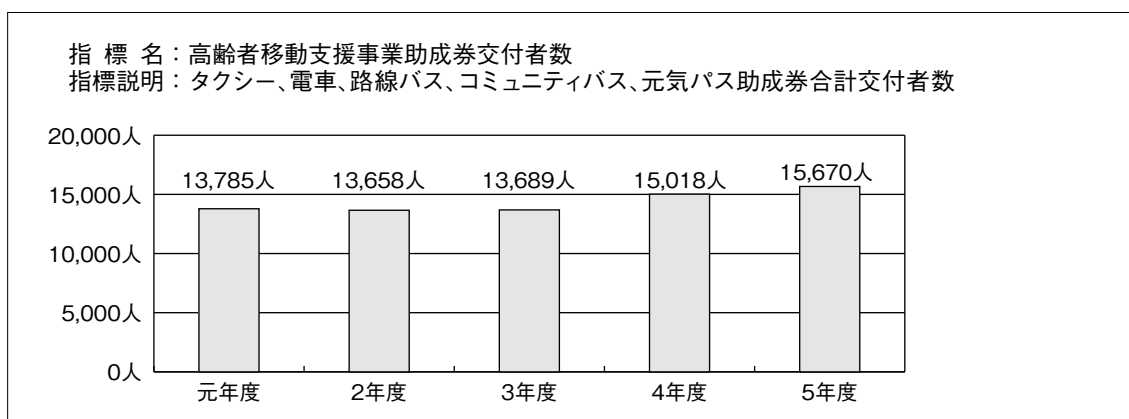
[実績及び成果]

(1) 高齢者福祉サービス事業費 65,008,951 円

(ア) 高齢者移動支援事業費 53,266,090 円

区 分	令和4年度	令和5年度
交 付 者 数	15,018人	15,670人

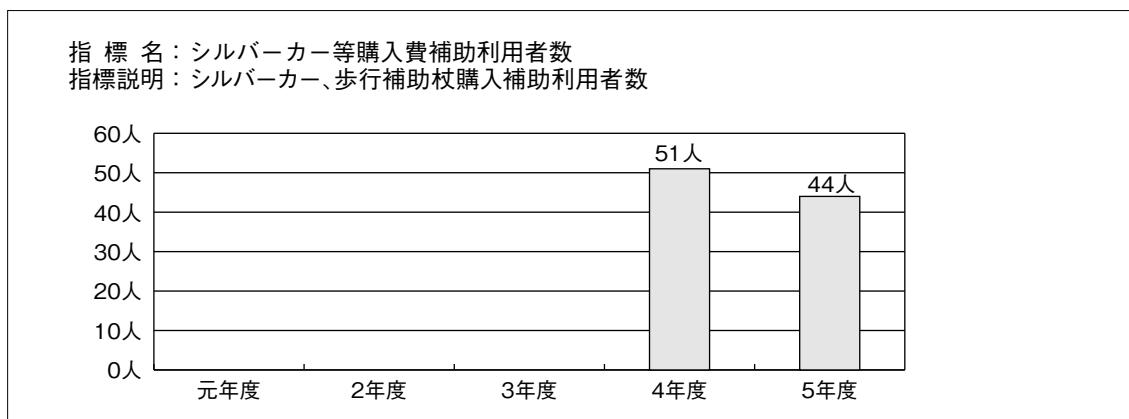
[指 標]



(イ) シルバーカー等購入費補助金 365,300 円

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度
補 助 金 利 用 者 数	51人	44人

[指 標]



3 後期高齢者福祉医療費助成事業費 753,252,054 円（国保年金課）

[総 括]

後期高齢者医療制度に加入している障害者など後期高齢者福祉医療費助成対象者の療養に係る医療費の自己負担分を助成した。今後も福祉医療費の適正な助成に努めていく。

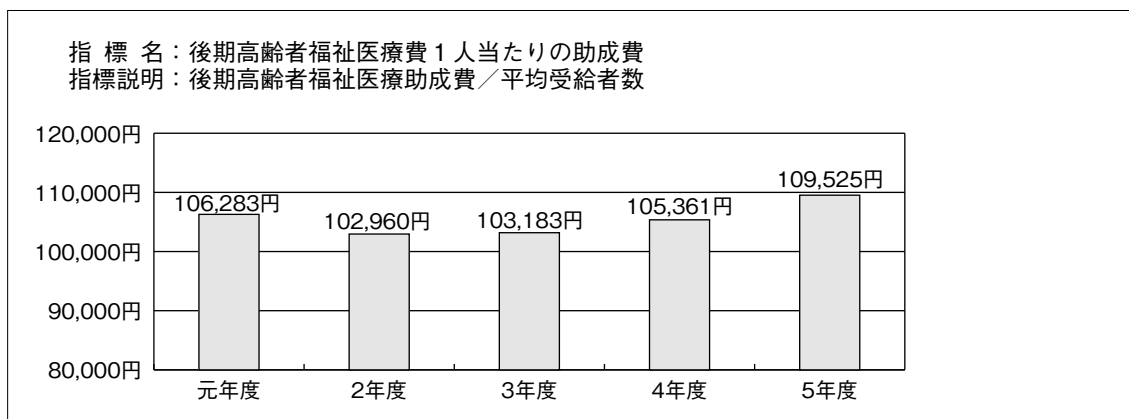
[実績及び成果]

(1) 後期高齢者福祉医療費助成事業費 753,252,054 円

(ア) 医療助成費 743,692,432 円

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	比 較	
受 給 者 数	延 82,636人	延 81,482人	△ 1.4%	
支 給 件 数	入 院	延 12,834件	延 13,165件	2.6
	外 来	延 200,961	延 202,994	1.0
	計	延 213,795	延 216,159	1.1
受 診 率	258.7%	265.3%	6.6ポイント	

[指標]



4 保健介護一体事業費 782,498 円（長寿介護課）

[総括]

高齢者の健康づくりや介護予防を一体的に実施するため、医療専門職である保健師を中心に高齢者の通いの場等での健康講座の開催や、管理栄養士による家庭訪問等の個別支援を行い、高齢者のフレイル対策等に取り組んだ。

[実績及び成果]

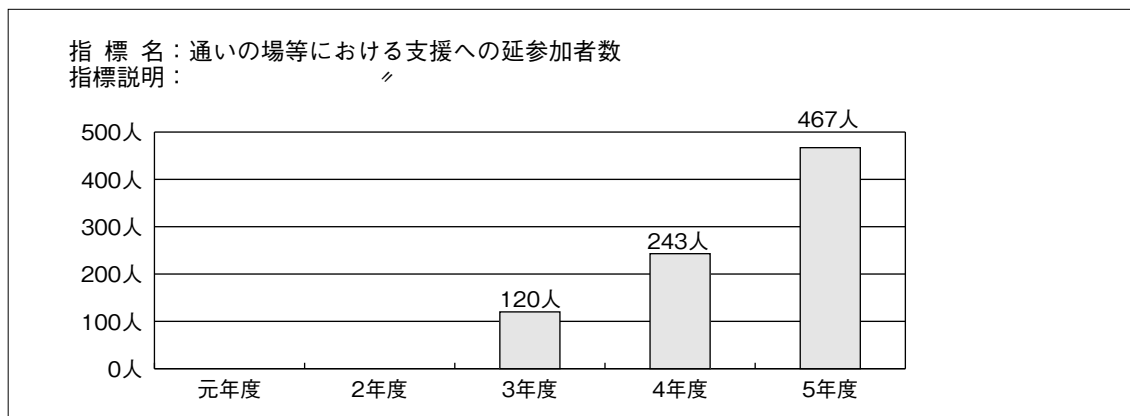
(1) 保健介護一体事業費 782,498 円

区分	令和4年度		令和5年度	
通いの場等における支援	実施圏域数	4圏域	実施圏域数	12圏域
	延参加者数	243人	延参加者数	467人
個別支援件数	延 237件		延 127件	

※圏域とは日常生活圏域の概ね中学校区に相当

※令和4年度の個別支援件数は電話相談を含む

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 介護保険サービス費 <介護保険サービスの充実と介護保険制度の円滑な運営>	532,645,445	218,862,000	0	189,611,374	124,172,071

1 デイサービスセンター管理運営事業費 46,837,687円 (総合老人ホーム)

[総括]

介護保険で要介護又は要支援と認定され、居宅において介護を受けている方をリフトバスで送迎し、入浴の介助及び食事の提供等を行い、日常生活の自立支援を行った。令和5年度はブラインドカーテンやトイレ間仕切カーテンの取替修繕を実施し利用環境の向上を図った。今後もサービスの向上を図り、利用者の確保に努めていく。

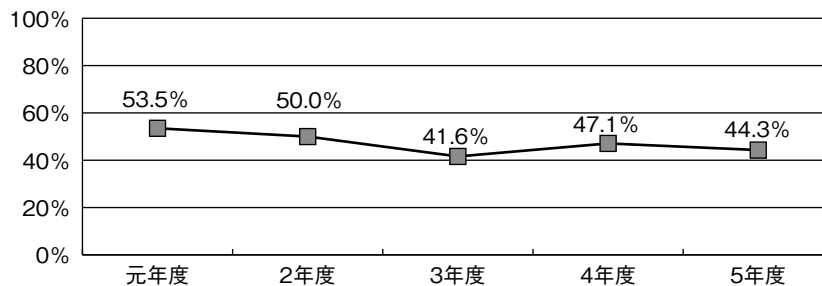
[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 29,307,256円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
年 間 延 利 用 者 数	2,179人	2,042人	△ 6.3%
1日当たりの利用者数	8.5	8.0	△ 5.9

[指 標]

指 標 名：デイサービスセンター利用率
 指標説明：延利用者数 / (開所日数 × 定員)



2 特別養護老人ホーム管理運営事業費 267,077,278円 (総合老人ホーム)

[総括]

65歳以上で、身体上又は精神上常時の介護を必要とし、居宅において介護を受けることが困難な方に、入浴・食事等の日常生活の介護サービスを提供し、自立した生活ができるよう支援するとともに、家族の介護負担の軽減を図った。令和5年度は介護用ベッド1台の更新や空調設備の全面更新に着手するなど入居者の住環境の向上を図った。今後も介護サービスの向上と迅速な対応に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 90,104,695円

(ア) 特別養護老人ホーム

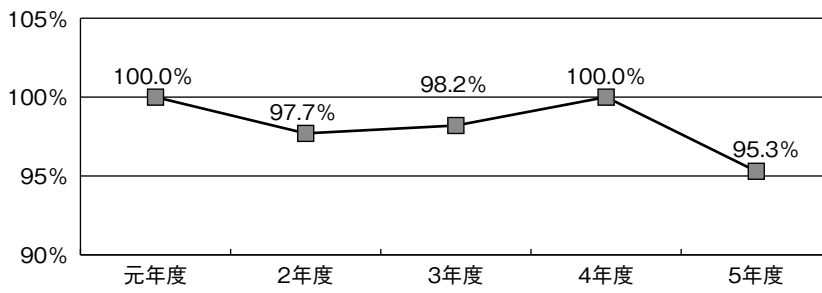
区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
年 間 延 契 約 者 数	18,242人	17,448人	△ 4.4%
1日当たりの契約者数	50.0	47.7	△ 4.6

(イ) ショートステイ

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
年 間 延 利 用 者 数	732人	968人	32.2%
1日当たりの利用者数	2.0	2.6	30.0

[指 標]

指 標 名：特別養護老人ホーム契約率
指標説明：延契約者数 / (開所日数 × 定員)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 介護保険事業費 〈介護保険サービスの充実と介護保険制度の円滑な運営〉	3,986,065,041	0	0	547,541,114	3,438,523,927

1 認定調査事務費 106,487,812 円 (長寿介護課)

[総括]

平成30年度から東三河広域連合による介護保険事業の運営が開始され、本市では構成市町村として窓口事務及び要介護等認定のための調査を実施している。認定調査は全国一律の判断基準があり、的確に実施することが求められているため、認定調査員に対し、愛知県や広域連合が主催する研修内容の周知及び定期的な勉強会により認定調査の判断の平準化に努めている。

また、令和5年度は要介護等認定における調査体制を強化するため、認定調査の新たな委託先として、愛知県から指定市町村事務受託法人の指定を受ける事業者を選定し、10月から調査委託を開始した。

[実績及び成果]

(1) 認定調査事務費 106,487,812 円

[被保険者数]

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
第1号被保険者	65歳以上75歳未満	45,447人	43,640人	△ 4.0%
	75歳以上	51,824	53,971	4.1
第2号被保険者		医療保険加入者	医療保険加入者	—

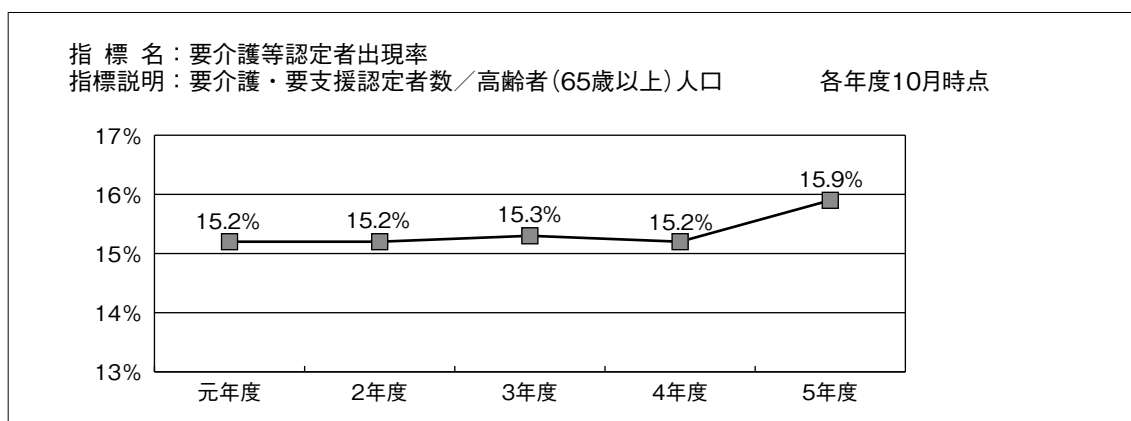
[要介護等認定申請受付件数]

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
新	規 申 請	4,191件	4,324件	3.2%
更	新 申 請	6,819	6,539	△ 4.1
変	更 申 請	2,008	2,185	8.8
合 計		13,018	13,048	0.2

[要介護等認定状況]

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
要介護等認定調査件数		9,405件	9,762件	3.8%
要介護等認定審査件数		8,962	8,914	△ 0.5
要介護等認定状況	要支援1	2,747人	2,849人	3.7
	要支援2	2,535	2,824	11.4
	要介護1	3,069	3,202	4.3
	要介護2	2,154	2,166	0.6
	要介護3	1,518	1,533	1.0
	要介護4	1,703	1,846	8.4
	要介護5	974	1,028	5.5
合 計		14,700	15,448	5.1

[指 標]



2 介護予防・生活支援サービス事業費 3,350,650 円（長寿介護課）

[総 括]

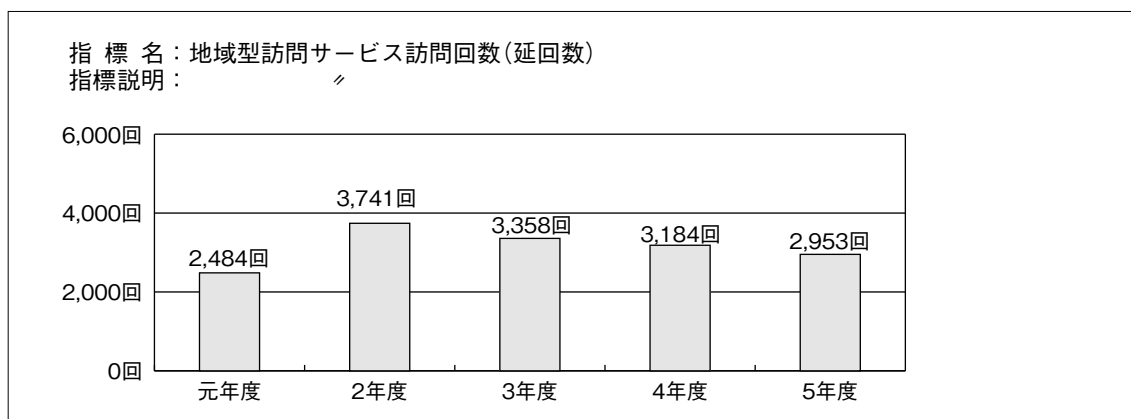
高齢者の方ができるだけ介護を必要とせず、地域において自立した生活を送れるように、シルバー人材センターやボランティア等の住民主体による介護予防や生活支援サービスを提供した。また、多様な担い手の社会参加を通じて、地域の支え合い体制づくりを推進した。

[実績及び成果]

(1) 地域型訪問サービス事業費 3,100,650 円

区 分	令和4年度	令和5年度
訪 問 人 数	延 684人	延 654人
訪 問 回 数	延 3,184回	延 2,953回

[指 標]



3 一般介護予防事業費

13,350,277 円（長寿介護課）

〔総括〕

高齢者に対して、令和5年度開始のICTを活用したフレイル予防講座をはじめとした介護予防教室を開催することで、介護予防に関する知識の普及を図るとともに、地域における自主的な活動が継続的に進めるよう支援した。また、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、シニアスポーツの振興を図るとともに、趣味活動等の支援を行った。今後も高齢者が健康で生きがいを持った生活を送ることができるよう、高齢者のニーズに合った事業を実施し、社会参加の促進を図る。

〔実績及び成果〕

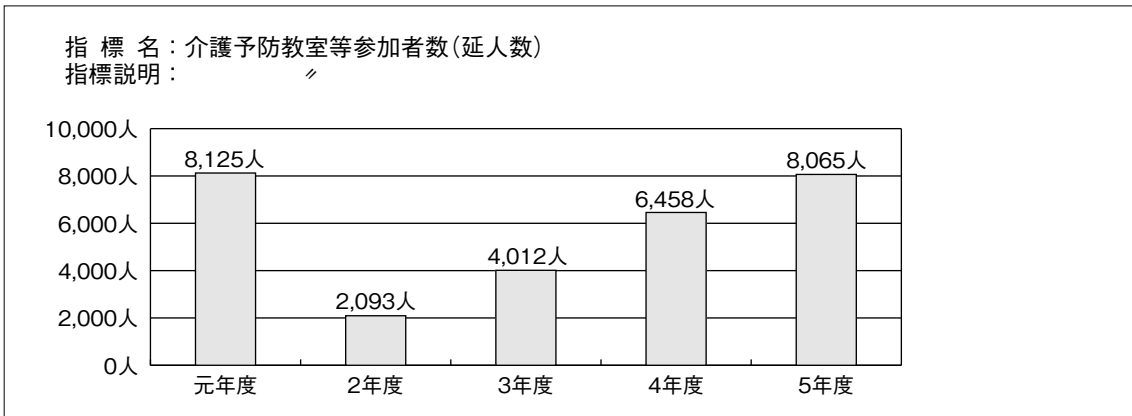
(1) 介護予防普及啓発事業費 8,742,621 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
介護予防教室等	実施回数	389回	実施回数	478回
	参加者数	6,458人	参加者数	8,065人

(2) 地域介護予防活動支援事業費 4,607,656 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
シルバースポーツブロック大会	参加者数	629人	参加者数	645人

〔指標〕



4 包括的支援事業費

385,503,703 円（長寿介護課）

[総括]

高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターにおいて、地域団体や関係機関と連携して、介護・福祉に関する総合相談、権利擁護、介護予防の推進など、高齢者の支援を行った。また、医療と介護の連携を図る在宅医療・介護連携推進事業、地域の互助の体制づくりを推進する生活支援体制整備事業、認知症の方を総合的に支援する認知症総合支援事業、個人や地域の課題を抽出し解決に向けて検討する地域ケア会議推進事業を引き続き実施した。今後も地域包括ケアシステムの深化・推進を図り、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくための総合的な支援を行う。

[実績及び成果]

(1) 地域包括支援センター運営事業費 350,559,180 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
地域包括支援センター	委託先 相談受付件数	18施設 18,469件	委託先 相談受付件数	18施設 18,196件

(2) 在宅医療・介護連携推進事業費 12,989,750 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
東三河ほいっぷ ネットワーク登録者	登録者数	961人	登録者数	1,013人

(3) 生活支援体制整備事業費 1,091,776 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
お互いさまの まちづくり協議会	実施回数	3回	実施回数	3回

(4) 認知症総合支援事業費 20,062,997 円

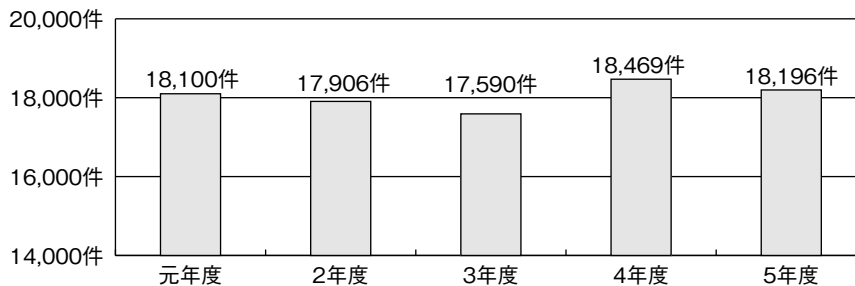
区 分	令和4年度		令和5年度	
認知症地域 支援推進員	相談件数	1,092件	相談件数	1,308件

(5) 地域ケア会議推進事業費 800,000 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
地域ケア会議	開催数	101回	開催数	96回

[指標]

指標名：地域包括支援センター相談受付件数
 指標説明：地域包括支援センターが訪問、来所、電話により相談を受けた件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 児 童 福 祉 費	24,822,404,976	13,596,937,866	517,300,000	717,501,944	9,990,665,166
2目 切れ目のない子育て支援費 <安心して結婚や子育てができる環境づくり>	7,502,831,236	5,323,745,800	0	1,487,150	2,177,598,286

1 切れ目のない子育て支援事業費 25,687,107円 (子育て支援課)

[総括]

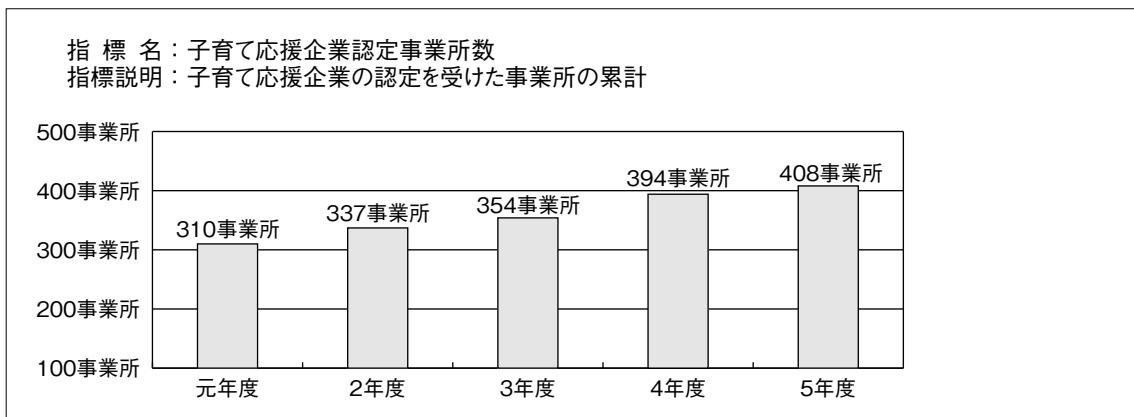
妊娠から出産、育児期までを切れ目なく支援するため、乳児期の子育て家庭向けの家事代行サービスや、休日や夜間などの児童の一時預かりを行ったほか、市役所庁舎内にキッズスペースを新設し、来庁者向けの託児サービスを行った。また、子育て支援情報ポータルサイト「育なび」やインスタグラムを活用し、子育て世帯向けの情報の発信や、子育て支援の取組みを積極的に進める「子育て応援企業」の認定・表彰や子育て応援フェスの開催など、「子育て応援宣言」に基づいた子育てを社会全体で応援する機運醸成の取組みを行った。加えて、結婚を希望する男女に対し、婚活サポーターによる相談や出会いのきっかけづくりの支援を行った。今後も「子ども・子育て応援プラン」に基づき、結婚から妊娠・出産・育児期における多様な課題に対応するため、ライフステージに応じたきめ細かい支援に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 切れ目のない子育て支援事業費 25,687,107円

区 分	令和4年度		令和5年度	
児 童 福 祉 週 間 行 事	9施設・団体	315人	7施設・団体	164人
子育て支援ショートステイ事業委託	7	延 62	7	延 43
子育て支援トワイライトステイ事業委託	5施設	延 152	5施設	延 111
子育て支援プラットフォーム事業	子育て支援情報ポータルサイト、SNS及び母子健康手帳アプリの運営		子育て支援情報ポータルサイト、SNS及び母子健康手帳アプリの運営	
子育て応援企業認定・表彰事業	認定企業数 211社(394事業所) —		認定企業数 220社(408事業所) うち、永続認定 22社(82事業所)	
結 婚 支 援 事 業	婚活サポーター登録者数 40人 大学生向けセミナーの開催 2回		婚活サポーター登録者数 42人 大学生向けセミナーの開催 1回	
乳 児 期 家 事 支 援 事 業	—		利用者数	実 585人
			実施回数	延 2,036回
庁 舎 キ ュ ー ズ ス ペ ー ス の 運 営 (来庁者向け託児サービス)	—		利用者数	延 479人
			預かり児童数	延 546

[指 標]



2 児童手当給付事業費 5,556,448,185 円（子育て支援課）

[総括]

中学校修了前までの児童を養育している家庭等の生活の安定に寄与し、次代の社会を担う児童の健やかな育ちの支援を目的として児童手当を支給した。今後も分かりやすい受給者への通知や広報等により制度の周知に努め、手当の適正な支給を行っていく。

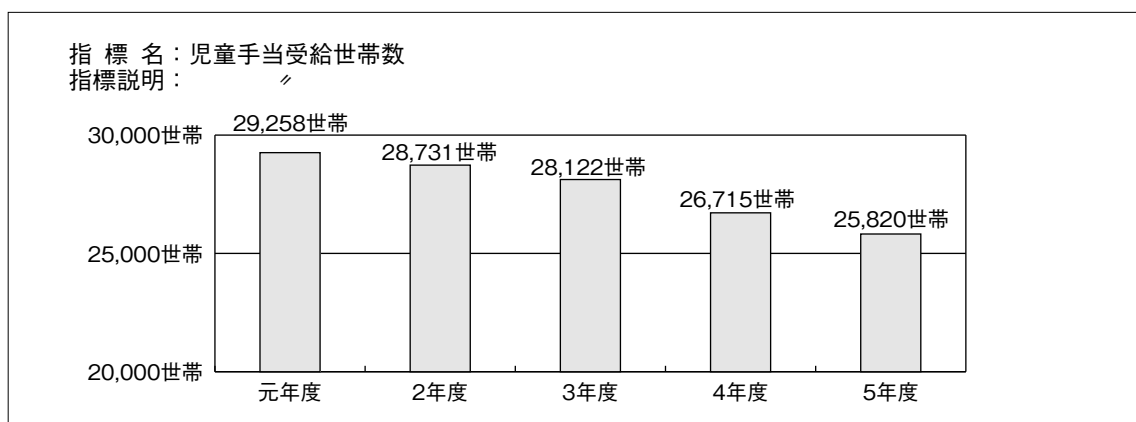
[実績及び成果]

(1) 児童手当給付事業費 5,556,448,185 円

(ア) 手当費 5,553,640,000 円

区 分	令和4年度			令和5年度		
	月 額	対象児童数	支 給 額	月 額	対象児童数	支 給 額
小学生以下	10,000円又は15,000円	33,417人 (延394,103)	4,561,025,000円	10,000円又は15,000円	32,004人 (延378,046)	4,371,315,000円
中 学 生	10,000	8,883 (延106,679)	1,066,790,000	10,000	8,576 (延103,695)	1,036,950,000
特 例 給 付	5,000	2,433 (延 33,221)	166,105,000	5,000	2,506 (延 29,075)	145,375,000
計	—	44,733 (延534,003)	5,793,920,000	—	43,086 (延510,816)	5,553,640,000

[指 標]



※令和4年6月分から制度改正により、所得上限限度額が創設された。

3 子ども医療費助成事業費 1,691,857,086 円（国保年金課・子育て支援課）

[総括]

安心して子育てができる環境づくりの一環として、中学校修了前までの子どもの医療費及び18歳到達年度末までの子どもの入院費に加え、令和6年1月診療分から、中学校修了後から18歳到達年度末までの子どもの通院費まで助成対象を拡大し、保険診療の自己負担額を全額助成することにより保護者の経済的な負担を軽減した。また、中学校修了後の子どもの入院費についても、通院費の助成拡大に併せ、従前の償還払いから現物給付に見直すことにより市民サービスの充実を図った。今後も、分かりやすい制度の周知に努めるとともに、適正な医療費の助成を行い、子育て環境の一層の充実に努める。

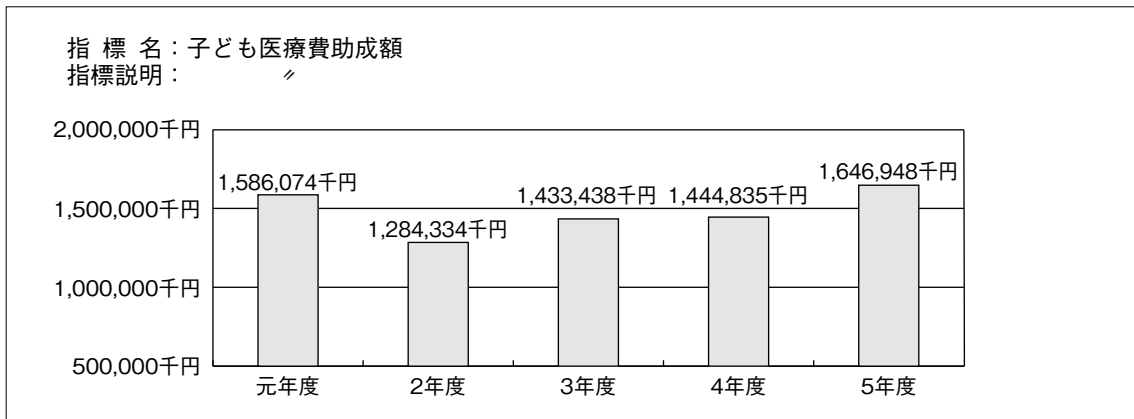
[実績及び成果]

(1) 子ども医療費助成事業費 1,691,857,086 円

(ア) 医療助成費 1,646,947,804 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
対 象 児 童 数	延 674,711人	延 655,088人	△ 2.9%
受 診 件 数	延 664,110件	延 758,856件	14.3
受 診 率	98.4%	115.8%	17.4ポイント

[指 標]



※令和2年10月より18歳到達年度末までの子どもの入院医療費助成開始

※令和6年1月より18歳到達年度末までの子どもの通院医療費助成開始

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 児童相談支援費 <子どもの権利を守る方策の推進>	45,210,888	20,387,944	0	261,100	24,561,844

1 児童相談支援事業費 45,210,888円 (こども若者総合相談支援センター)

[総括]

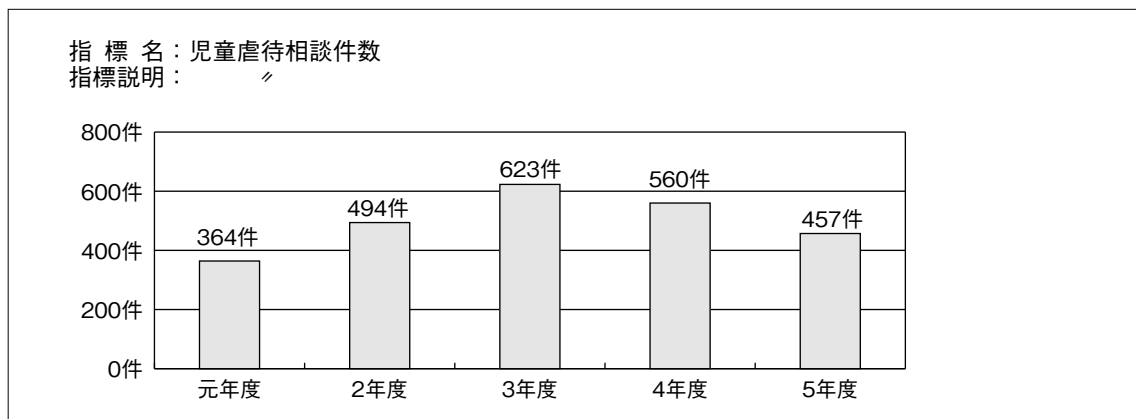
すべての子ども・若者及びその家族を対象に相談・支援を行う拠点として、保護者や関係機関から寄せられる相談への対応や、養育に不安がある家庭への訪問支援を実施するとともに、特に児童虐待については、要保護児童対策ネットワーク協議会を中心に、保健・福祉・医療・教育などの関係機関と連携し、子どもとその保護者などへの支援を行った。令和5年度からは心理グループを設置し、支援が必要な家庭に対して、継続的な面談や心理教育などを通じた親子関係の支援を強化した。また、子どもの上手な褒め方や叱り方をトレーニングする「怒鳴らん子育て講座」を開催するとともに、相談者の負担軽減を図るため、要支援家庭ショートステイ事業を実施することで、育児に不安を持つ子育て家庭に対する支援を行った。支援対象児童等見守り強化事業では、子どもの見守り機会が減少する夏休み期間中に、継続的な関わりが必要な家庭を訪問し、子どもが置かれている状況の把握に努めた。さらに、ヤングケアラー支援については、愛知県ヤングケアラー支援事業（3か年の市町村モデル事業の2か年目）を受託し、ヤングケアラーの相談しやすい環境づくりとして、関係機関へアウトリーチによる理解促進を行うとともに、学生向けフォーラムや居場所支援において、子どもの声を聴き支援につなげる取組みを行った。今後も関係機関と連携し、一人ひとりの困りごとに寄り添った支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 児童相談支援事業費 45,210,888円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
児童家庭相談件数	延 2,337件	延 2,343件	0.3%
養育支援訪問件数	延 122	延 231	89.3
要支援家庭ショートステイ利用日数	延 142日	延 280日	97.2
ヤングケアラー関係機関研修会参加者数	187人	235人	25.7

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 幼児期教育保育費 ＜幼児期の教育・保育の充実＞	14,188,981,892	7,479,365,798	517,300,000	464,617,394	5,727,698,700

1 公立保育所等管理運営事業費 990,555,148 円 (保育課)

[総括]

公立の保育所4園と幼保連携型認定こども園1園で教育・保育の提供を行った。多様化する保育ニーズに応えるため、全園で延長保育、2園で休日保育を実施するとともに、くるみ保育園において一時預かり事業、こじかこども園及び青少年センター内の病児保育室「つくし」で病児保育事業を実施した。また、こじかこども園に続いて、令和5年度は牛川東保育園に新たに看護師を配置し医療的ケア児を受け入れる体制を整備した。このほか、国の「こどもの安心・安全対策支援パッケージ」で示されたこどもの見守りGPSを公立保育所等5園に配備した。さらに、国の「こども・若者の性被害防止のための緊急対策パッケージ」に位置づけられた取組みとして、公立保育所等6施設に保育状況を記録するためのカメラの設置等を行った。今後も保育所等の利用希望に応えるとともに、多様化する保育ニーズに適応する保育事業の充実に努める。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 327,152,056 円

(ア) 通常保育事業費

[児童数]

区 分	定 員	延定員	令和4年度	令和5年度	比 較
津 田 保 育 園	120人	1,440人	児童数 延1,346人	児童数 延1,248人	△ 7.3%
新 吉 〃	80	960	655	746	13.9
牛川東 〃	170	2,040	1,839	1,644	△10.6
くるみ 〃	140	1,680	1,709	1,677	△ 1.9
こじかこども園	165	1,980	1,753	1,737	△ 0.9
計	675	8,100	7,302	7,052	△ 3.4

[特別支援保育事業]

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
施 設 数	4園	4園	0.0%
利 用 人 数	54人	64人	18.5

[施設整備費]

内 容	令和4年度	令和5年度
	園舎・遊戯室屋上・外壁防水塗装工事(津田) 遊戯室内装改修工事(津田) 遊戯室エアコン取替(津田)	2階ベランダウッドデッキ塗装修繕(くるみ) 東門扉取替及び自動施錠化修繕(津田) ホワイトボード設置修繕(津田)

(イ) 延長保育事業費

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
施 設 数	5園	5園	0.0%
利 用 人 数	延 2,415人	延 1,536人	△36.4

(ウ) 一時預かり事業費

[一般型]

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
施 設 数	1園	1園	0.0%
利 用 人 数	延 1,320人	延 1,365人	3.4

[幼稚園型]

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
施 設 数	1園	1園	0.0%
利 用 人 数	延 221人	延 192人	△13.1

(エ) 子育て支援事業費

施 設 数	令和4年度	令和5年度	比 較
	5園	5園	0.0%

(オ) 地域子育て支援センター事業費

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
施 設 数	1園	1園	0.0%
利 用 人 数	延 5,362人	延 5,743人	7.1

(カ) 休日保育事業費

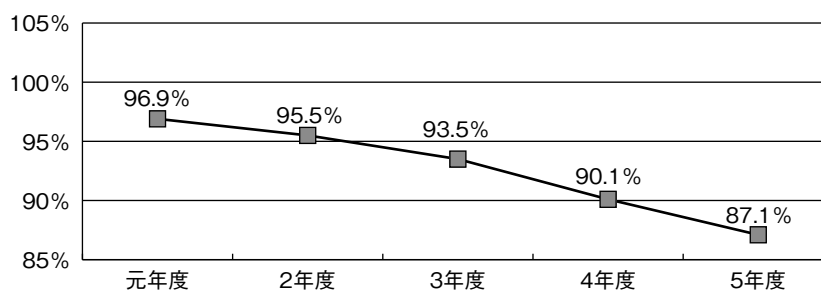
区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
施 設 数	2園	2園	0.0%
利 用 人 数	延 299人	延 452人	51.2

(キ) 病児保育事業費

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
施 設 数	2園	2園	0.0%
利 用 人 数	延 179人	延 305人	70.4

[指 標]

指 標 名：公立保育所等児童数充足率
指 標 説 明：延利用児童数／延定員



2 公立保育所整備事業費 235,322,000 円（保育課）

[総括]

園舎の老朽化が進む新吉保育園の保育環境を向上するため、つつじが丘校区への移転整備工事に着手した。

[実績及び成果]

(1) 公立保育所整備事業費 235,322,000 円

(ア) 新吉保育園移転整備事業 14,652,000 円

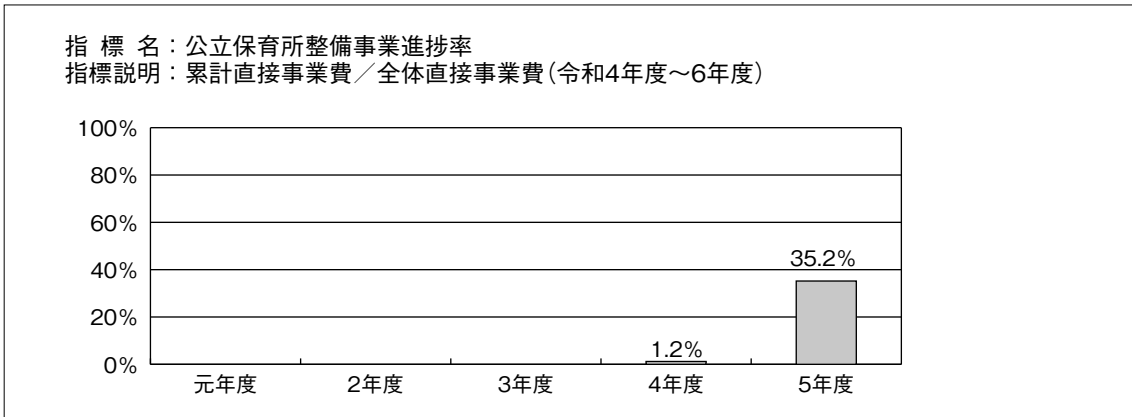
内 容	令和4年度	令和5年度
	地質調査、基本設計	

(イ) つつじが丘保育園（仮称）整備工事等 220,670,000 円

2 年継続事業の初年度 総事業費 652,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	整備内容
	園舎 木造2階建		907㎡

[指標]



※令和5年度の全体直接事業費にて、4年度から再算定

3 子ども・子育て給付事業費 8,967,915,198 円（保育課）

[総括]

子ども・子育て支援新制度に基づき、保育所、認定こども園、幼稚園を通じた給付を実施し、教育・保育の提供を行った。また、国が実施する幼児教育・保育の無償化に加えて、令和5年4月から保育所及び認定こども園の低所得世帯の第1子の保育料を無償化し、市独自の保育料等の軽減の拡充を行うことで、子育て世帯への経済的支援を行った。

今後も、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを支えるために、幼児期の教育・保育サービスを安定的に提供し、子どもの発達段階に応じて必要な時期に質の高い教育・保育を受けられる環境を整えるよう努める。

[実績及び成果]

(1) 子ども・子育て給付事業費 8,967,915,198 円

(ア) 法人保育所運営委託料 4,464,566,160 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
保育所 児童数	37園 延 61,039人	37園 延 59,837人	△ 2.0%
〃（広域利用） 〃	3 延 26	2 延 6	—

(イ) 施設型給付費 3,853,004,395 円

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	比 較
認定こども園 児童数	22園 延 48,530人	22園 延 48,238人	△ 0.6%
〃 (広域利用) 〃	6 延 45	8 延 52	—
新制度移行幼稚園 〃	1 延 1,297	1 延 1,232	△ 5.0
〃 (広域利用) 〃	0 延 0	1 延 5	—
事業所内保育(広域利用) 〃	0 延 0	1 延 37	—

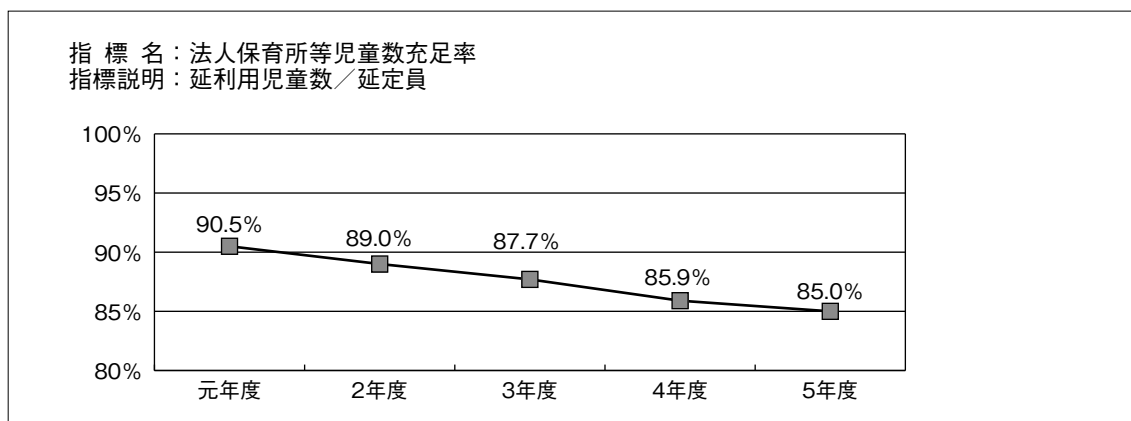
(ウ) 子育てのための施設等利用給付費 640,554,075 円

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	比 較
幼稚園 児童数	23園 延 24,383人	20園 延 22,041人	△ 9.6%
届出保育施設 〃	16 延 1,790	14 延 2,000	11.7

(エ) 私立幼稚園副食費補足給付補助金 9,790,568 円

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	比 較
幼稚園 児童数	18園 延 4,039人	17園 延 3,487人	△13.7%

[指 標]



※施設型給付を行う認定こども園及び新制度移行幼稚園を含む

4 法人保育所・認定こども園運営支援事業費 3,912,194,686 円 (保育課)

[総 括]

令和 5 年度は、認定こども園新設の園舎新設・改築を行う 2 園及び老朽化した園舎の大規模改修・増改築を行う 3 園の計 5 園に対して整備費の助成を行った。また、保育所及び認定こども園の年収 360 万円未満相当世帯第 1 子の保育料の無償化に合わせて、届出保育施設の利用料助成を第 1 子まで拡充し、子育て世帯への経済的負担軽減を進めた。さらに、「こどもの安心・安全対策支援パッケージ」として、送迎用バスの園児の置き去り防止対策などに必要な経費に対する助成を行うとともに、高騰する給食物資の購入費や光熱費に対する支援を行った。

今後も、教育・保育内容の充実及び施設の運営改善を図るとともに、良好な教育・保育環境を整備し、将来を担う子どもの健全な育成を促進するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 法人保育所・認定こども園通常保育事業費 2,150,062,686 円

(ア) 法人保育所・認定こども園運営費補助金 1,818,900,726 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
	園数	延 人員	園数	延 人員
人件費（特別支援保育含む）	60園	1,691,368,451円	60園	1,658,944,800円
管理費（特別支援保育含む）	50	23,269,000	49	28,870,000
施設補修工事費	2	4,792,000	3	24,031,000
元利償還金	2	3,523,250	1	2,425,850
土地賃借料	17	29,641,047	17	29,617,983
職員研修事業費	59	3,200,000	59	3,200,000
保育体制強化事業費	31	35,592,017	35	46,562,473
翻訳機導入費	2	76,000	4	159,000
新型コロナウイルス感染症対策費	62	28,053,000	15	4,251,000
保育士支援システム導入費	10	7,492,000	23	13,889,000
送迎用バス安全装置設置費	—	—	21	6,918,620
子ども見守りサービス機器等導入費	—	—	1	31,000
計	—	1,827,006,765	—	1,818,900,726

(イ) 副食費給付費 161,322,880 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比較
保育所 児童数	36園 延 18,052人	36園 延 17,829人	△ 1.2%
認定こども園 〃	22 延 16,460	24 延 16,120	△ 2.1
新制度移行幼稚園 〃	1 延 674	1 延 669	△ 0.7

※広域利用を含む

(ウ) 適合届出保育施設利用料助成事業費 635,000 円

利 用 人 数	令和4年度	令和5年度	比較
		延 44人	延 127人

(エ) まちなか保育施設ニーズ調査 880,000 円

回 答 数	令和4年度	令和5年度	比較
		—	274件

(オ) 性被害防止対策費補助金 653,000 円

施 設 数	令和4年度	令和5年度	比較
		—	10施設

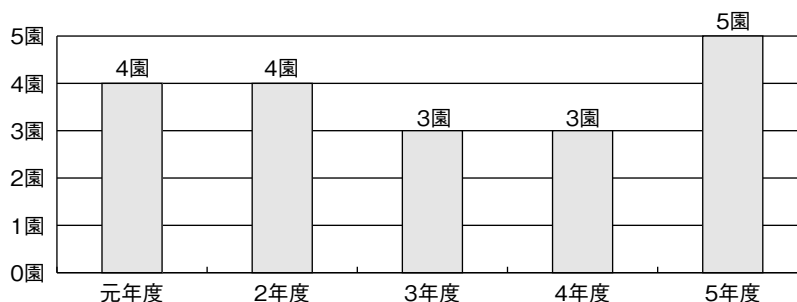
(2) 法人保育所・認定こども園整備費補助金 1,762,132,000 円

(ア) 建設費 1,762,132,000 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	こまどり保育園 大規模改修・一部増築 定員220人 鉄筋コンクリート造2階建 高山保育園 改築 定員60人 木造1階建 吉田方西保育園 大規模改修 定員240人 鉄筋コンクリート造2階建・鉄骨造1階建	野依保育園 改築 定員220人 鉄骨造2階建 岩田こども園 大規模改修・改築 (令和5年度～6年度2か年事業) 定員270人 鉄筋コンクリート造2階建・鉄骨造2階建 上庄 夏の空こども園 認定こども園新設 園舎新設 定員120人 鉄骨造2階建 希望が丘こども園 大規模改修・園舎新設 定員340人 鉄筋コンクリート造2階建・鉄骨造2階建 木造1階建 豊橋中央幼稚園 認定こども園新設 園舎改築 定員241人 鉄骨造3階建

[指 標]

指 標 名：法人保育所・認定こども園大規模改修等実施園数
 指標説明：
 〃



5 私立幼稚園運営事業費 48,641,049 円 (保育課)

[総 括]

私立幼稚園運営費補助金について、施設の補修費のほか、幼稚園における教育環境の向上を図るため、園庭遊具や教材の購入費等の助成を行った。また、園児の健康維持を図るため、園児の健康診断に対する助成を行った。今後も保育所・認定こども園とともに、幼稚園の子育てに関する専門的機能の活用と幼児教育環境の向上に努める。

[実績及び成果]

(1) 私立幼稚園運営費補助金 48,641,049 円

[運営費補助金]

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
施 設 数	19園	19園	0.0%
利 用 人 数	2,030人	1,880人	△ 7.4
補 助 額	19,571,800円	20,598,000円	5.2

[園児健康診断補助金]

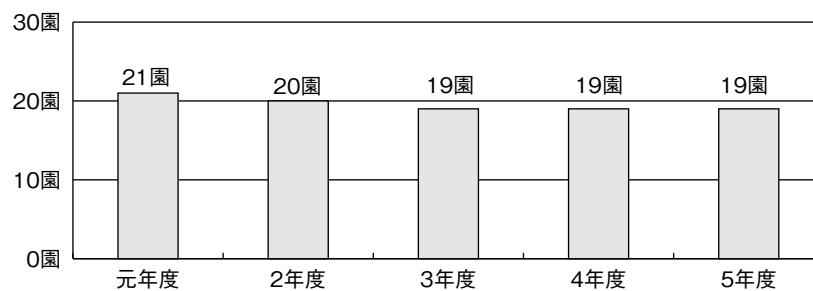
区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
施 設 数		16園	16園	0.0%
実 施 人 数	内 科	1,864人	1,666人	△10.6
	歯 科	1,742	1,676	△ 3.8
補 助 額		1,765,720円	1,637,680円	△ 7.3

[副食費補助金]

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
施 設 数		18園	18園	0.0%
利 用 人 数		延 10,335人	延 9,333人	△ 9.7
補 助 額		27,040,737円	26,405,369円	△ 2.3

[指 標]

指 標 名：私立幼稚園数
 指標説明：〃



6 保育総合支援事業費

11,917,506 円（保育課）

〔総括〕

仕事と子育てが両立しやすい環境づくりに取り組むため、待機児童対策の一環として、保育コンシェルジュがこども未来館や交通児童館などでの出張相談を行うなど、保育所等に入園する前から入園に至るまでの保護者への継続的な支援の充実に取り組んだ。

また、保育士・保育所支援窓口においては、専任の法人保育所園長職経験者を配置し、SNSを用いた広報活動の拡大や、愛知県との就職支援研修会の共同実施などにより、就労希望者と保育所等のマッチングを図った。さらに、有志の民間園と官民一体で保育の魅力を発信する「こども未来お仕事フェア」を開催したほか、市内保育施設に対して労働環境改善等に向けた研修を実施した。

このほか、令和5年度から、市内の保育所等に在籍する児童が、園の管理下における傷病等により医療機関に緊急搬送された際に保護者が負担した選定療養費についての助成を開始した。

今後も女性の就労増加に伴い、保育ニーズの増加が見込まれるため、保護者に対する両立支援体制の充実に図るとともに、保育士資格を有する未就労者への就労支援を強化していく。

〔実績及び成果〕

(1) 利用者支援事業費 3,601,609 円

保育コンシェルジュが対応した 保護者からの相談件数	令和4年度	令和5年度	比較
	796件	901件	13.2%

(2) 子育て環境総合支援事業費 8,315,897 円

(ア) 保育士・保育所支援窓口事業費 3,752,082 円

支援窓口における 求職件数	令和4年度	令和5年度	比較
	175件	176件	0.6%

(イ) 資格取得受験費用補助金 12,700 円

保育士試験受験費用 助成件数	令和4年度	令和5年度	比較
	1件	1件	0.0%

(ウ) 潜在保育士復職前短期雇用費補助金 61,750 円

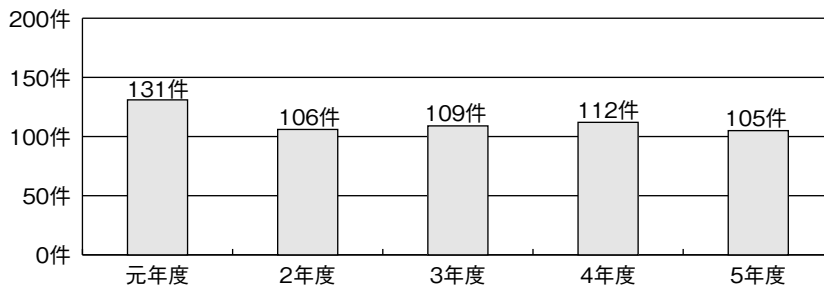
潜在保育士復職前 短期雇用助成件数	令和4年度	令和5年度	比較
	—	1件	皆増

(エ) 保育所等緊急搬送時選定療養費助成金 53,900 円

保育所等緊急搬送時 選定療養費助成件数	令和4年度	令和5年度	比較
	—	7件	皆増

[指 標]

指 標 名：支援窓口における就労マッチング数
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 地域子育て支援費 <地域における子育てへの支援>	445,260,576	107,640,456	0	5,047,517	332,572,603

1 交通児童館管理運営事業費 27,147,788円 (こども未来館)

[総括]

指定管理者の創意工夫による多彩なイベントや児童館まつりなど規模の大きいイベントを積極的に開催したことにより、利用者数は前年度より増加した。今後も、乳幼児から中高生まで幅広い年齢層に親しまれ、健康でゆたかな情操を育む魅力ある場となるよう、適切な施設管理とイベントのさらなる充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 27,147,788円

[施設利用者]

区 分	令和4年度	令和5年度
開 館 日 数	317日	317日
個 人 利 用 者	延 231,902人	延 264,734人
団 体 利 用 者	131団体 延 2,707	164団体 延 2,977
計	延 234,609	延 267,711

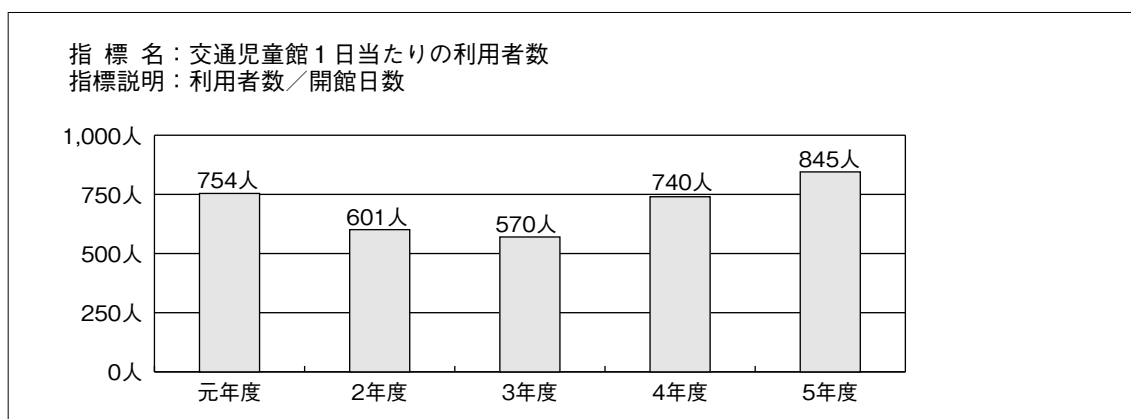
[遊具利用者]

区 分	令和4年度	令和5年度
バ ッ テ リ ー カ ー	延 19,848人	延 18,737人
自 転 車	延 13,478	延 15,134
一 輪 車	延 1,108	延 1,411

[行事参加者]

区 分	令和4年度		令和5年度	
	実施回数	延参加者数	実施回数	延参加者数
す く す く 広 場	24回	600人	24回	622人
リトミックあそび	12	345	12	403
おやこ造形あそび	12	246	12	265
ベビWARAリズム	11	162	12	253
めざせ!わっぱなし	12	235	12	201
運 動 あ そ び	48	599	48	570
交 通 安 全 教 室	26	1,453	28	1,358
つ ど い の 広 場	148	8,424	141	7,515

[指標]



2 こども未来館管理運営事業費 239,109,818円（こども未来館）

[総括]

子どもの健やかな成長及び市民の交流を目的に、子どもを中心とした様々な世代の人々がふれあう場及び機会を提供し、多彩なイベントを開催している。行政が子育てプラザの運営を、指定管理者が体験・発見プラザと集いプラザの運営及び施設全体の維持管理を担い、それぞれ特性を活かした効率的な運営を行っている。令和5年度は、開館15周年を迎え記念セレモニーや関連イベントを市民との連携により実施したほか、新型コロナウイルス感染症の5類への移行を受け、大型イベントを積極的に展開した効果もあり、利用者数は前年度より大きく増加した。また、安全で快適な魅力ある施設として継続していくため、まち空間のリニューアルに向けた基本計画・基本設計の策定や特定天井の耐震改修等の実施設計を行った。さらに、子育て支援の拠点施設として、伴走型相談支援を開始するなど、相談支援の充実を図った。

今後も、まちなかの商店街や公共施設などと連携したイベントの企画・実施をはじめ、市民協働による運営にも重点を置きながら、新たな利用者を獲得するとともに、リピーターの確保に努めていく。

[実績及び成果]

[主なイベント開催状況]

		令和4年度	令和5年度
内	容	ハッピーマイルピクニック	にゃおなちんぼうがきの収穫祭
		来館者800万人記念セレモニー	藤白圭の世界展
		ここにこおばけ屋敷	ありがとう15周年!ここにこ誕生祭
		古代まつり	まちなか☆こども夜店
		おやつギャグつめあわせ展	ここにこ宇宙博
		ハロウィンルーム	ここにこクラフトコレクション
		クリスマスマーケット	ぼんぼんてん
		いきものだもの展	スーパーカー大集合
		こども未来館相撲大会	三河トコトン!豚まつり

(1) 施設管理事業費 129,270,363 円

区 分		令和 4 年度	令和 5 年度	比 較
開 館 日 数		314日	312日	△ 0.6%
延利用者数	子育てプラザ	115,586人	128,733人	11.4
	体験・発見プラザ	201,949	238,035	17.9
	集 い プ ラ ザ	152,186	204,168	34.2
	計	469,721	570,936	21.5
1 日 平 均 利 用 者 数		1,496	1,830	22.3

※子育てプラザのみ令和4年度、令和5年度はそれぞれ310日の開館

(2) 子育てプラザ活動事業費 40,836,997 円

区 分	令和 4 年度		令和 5 年度	
子育てプラザ開催講座	53回	参加者 延 974人	57回	参加者 延 1,220人
子育てサポーター養成講座	10	参加者 187	10	参加者 199
チャイルドサポートプラン説明会	84	参加者 522	81	参加者 577
ここにこサークル	38か所	参加者 延 4,409	36か所	参加者 延 4,669
一時預かり事業		延 829		延 873
一時預かり利用者負担軽減事業		延 13		延 25
妊娠・出産・子育て総合相談窓口		423		374
母子健康手帳の交付		617		517
		622冊		519冊

(3) 体験・発見プラザ活動事業費 9,954,209 円

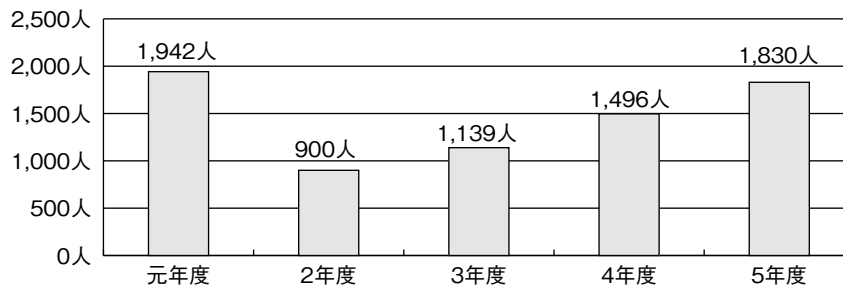
区 分	令和 4 年度		令和 5 年度	
体験セット貸出数	186セット	67,337件	230セット	64,684件
体験プログラム	121回	参加者 延 1,426人	132回	参加者 延 2,482人

(4) 企画活動事業費 3,898,391 円

実行委員会開催イベント	令和 4 年度		令和 5 年度	
	24回	参加者 延 16,011人	20回	参加者 延 28,752人

[指 標]

指 標 名：こども未来館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



3 ミラまちこども館管理運営事業費 6,685,061 円（こども未来館・保育課）

[総括]

ミラまちこども館内にある地域子育て支援センターにおいて、子育て世帯が気軽にかつ自由に交流できる場を提供するとともに、育児相談や親子講座などを開催し、子育てに不安や悩みを持つ家庭に対する支援を行った。今後も地域や関係機関と連携を行い、施設の充実を図っていく。

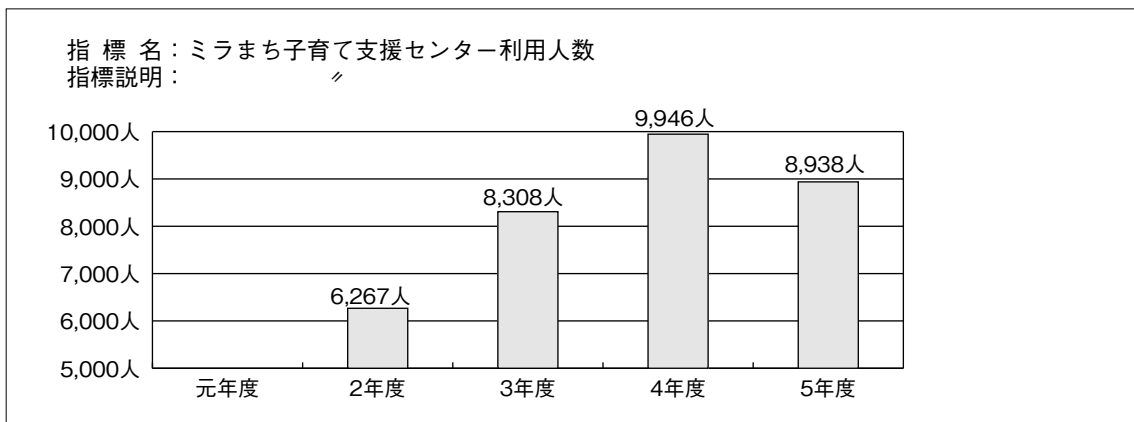
[実績及び成果]

(1) ミラまちこども館管理運営事業費 6,685,061 円

(ア) 地域子育て支援センター事業費 6,514,329 円

	令和4年度	令和5年度	比較
ミラまち子育て支援センター利用人数	延 9,946人	延 8,938人	△10.1%

[指標]



4 児童育成事業費 55,993,202 円（子育て支援課・こども未来館）

[総括]

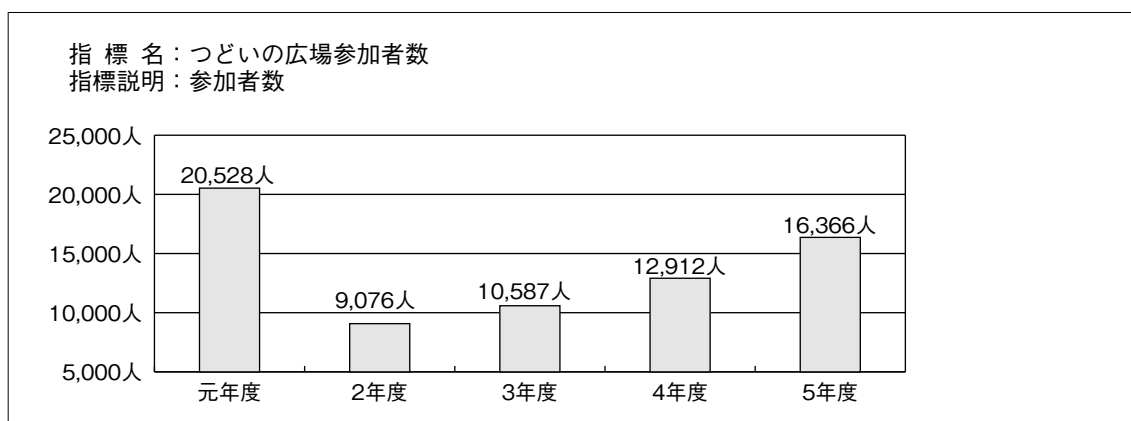
核家族化や共働きなどにより子育てに不安や負担を抱える家庭を支援するため、親子のふれあいの充実を促す幼児ふれあい教室や父親参加型のパパママ子育て講座及び交流の場としてつどいの広場を開催した。また、ファミリー・サポート・センター事業を実施し、ひとり親世帯及び多子世帯を対象に利用料の助成を行った。今後も子育てしやすい環境づくりのため、多様な子育てニーズに対応できるよう、各事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 児童育成事業費 55,993,202 円

区分	令和4年度	令和5年度
つどいの広場開催委託	3か所433回 参加者延12,912人	3か所433回 参加者延16,366人
ファミリー・サポート・センター事業	会員数 2,052	会員数 2,065
	活動回数 3,592回	活動回数 3,819回
幼児ふれあい教室開催事業	31講座 参加者延 1,948人	35講座 参加者延 2,585人
パパママ子育て講座開催事業	14 参加者延 663	16 参加者延 756
赤ちゃんの駅登録施設数	276施設	282施設

[指 標]



5 法人保育所等地域子ども・子育て支援事業費 116,153,524 円（こども未来館・保育課）

[総 括]

子ども・子育て支援新制度に基づき、共働き家庭に限らず、すべての子育て家庭を支援するため、一時預かり事業や地域子育て支援拠点事業など、地域の様々な子育て支援を実施した。また、保育所及び認定こども園に対し11時間を超える開所を支援するため、延長保育事業費補助金を市独自に拡充した。さらに、レスパイトケアを必要とする子育て家庭が安定して一時預かりを利用できるよう、低所得世帯に対し利用料の助成を実施した。

今後も地域の実情に応じ、多様な子育てニーズを的確に把握するとともに、教育・保育施設等が持つ専門的機能を活用しながら未就学児と保護者に対して育児相談や遊びの場などを引き続き提供することにより、子育て支援事業の拡充に努める。

[実績及び成果]

(1) 法人保育所等地域子ども・子育て支援事業費 116,153,524 円

(ア) 延長保育事業費補助金 31,373,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
施 設 数	23園	22園	△ 4.3%
利 用 人 数	延 11,382人	延 13,369人	17.5

(イ) 一時預かり事業費補助金 45,365,430 円

[一般型]

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
施 設 数	3園	3園	0.0%
利 用 人 数	延 1,462人	延 1,338人	△ 8.5

[幼稚園型]

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
施 設 数	20園	21園	5.0%
利 用 人 数	延 26,791人	延 27,379人	2.2

(ウ) 一時預かり利用者負担軽減事業費 90,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
施 設 数	2園	3園	50.0%
利 用 人 数	延 94人	延 48人	△48.9

(エ) 地域子育て支援センター事業費 35,681,000 円

[地域子育て支援センター運営委託料]

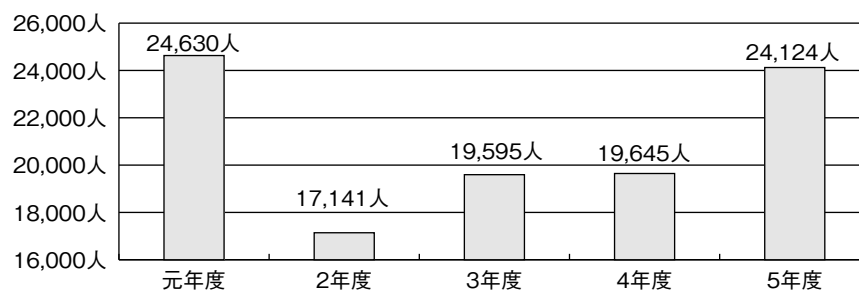
区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
施 設 数	4園	4園	0.0%
利 用 人 数	延 19,645人	延 24,124人	22.8

(オ) 病児保育事業委託料 3,394,094 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
施 設 数	1施設	1施設	0.0%
利 用 人 数	延 33人	延 24人	△27.3

[指 標]

指 標 名：地域子育て支援センター利用人数
 指標説明：



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 ひとり親家庭等支援費 <ひとり親家庭等への支援の充実>	1,511,857,777	650,916,604	0	20,900	860,920,273

1 ひとり親家庭等支援事業費 1,276,027,201 円 (子育て支援課)

[総括]

ひとり親家庭の自立支援のため、就業に役立つ知識及び技能の習得や、養育費確保のための公正証書作成等への支援を行ったほか、ひとり親家庭等への経済的支援のため、国の制度である児童扶養手当や市の制度である母子父子福祉手当を支給した。また、制度周知を図るため、「ひとり親家庭のしおり」の配布及びホームページでの公開を行うとともに、LINEによる積極的な配信を行った。さらに、援護の必要な母子家庭について施設入所など必要な措置を行った。今後も支援を必要とするひとり親家庭等の生活の安定を図り、自立に向けた支援の充実に努める。

[実績及び成果]

(1) ひとり親家庭等自立支援事業費 24,244,111 円

(ア) ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業費 10,671,000 円

支給人数	令和4年度		令和5年度	
	延人数	支給額	延人数	支給額
	20人		12人	

(イ) ひとり親家庭等養育費確保支援事業費 903,119 円

助成金支給人数	令和4年度		令和5年度	
	延人数	支給額	延人数	支給額
	53人		43人	

(2) 児童扶養手当給付事業費 1,012,211,605 円

(ア) 手当費 1,008,451,800 円

区分	令和4年度		令和5年度	
	延人数	支給額	延人数	支給額
全部支給	13,569人	584,168,370円	12,754人	561,582,820円
一部支給	11,508	330,273,590	11,778	337,872,830
加算額				
2子加算	9,947	94,021,230	9,574	91,675,710
3子以降加算	3,086	18,086,820	2,941	17,320,440
計	—	1,026,550,010	—	1,008,451,800

(3) 母子父子福祉手当給付事業費 41,309,627 円

(ア) 手当費 41,166,900 円

対象児童数	令和4年度		令和5年度	
	延人数	支給額	延人数	支給額
	1,808人		1,676人	
支給開始				
1～3年目	月額2,300円		月額2,300円	
4～5年目	月額1,200円		月額1,200円	

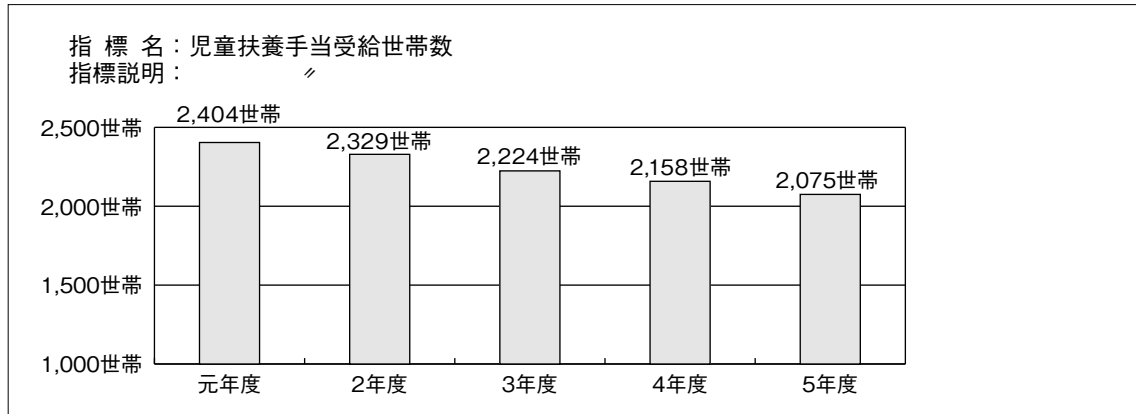
(4) 母子生活支援施設入所事業費 19,085,116 円

利用世帯数	令和4年度		令和5年度	
	延世帯数	延費用	延世帯数	延費用
	4施設 延 32世帯		4施設 延 40世帯	

(5) 助産施設入所事業費 3,182,930 円

利 用 人 数	令和 4 年度	令和 5 年度
	5人	7人

[指 標]



2 母子父子家庭等医療費助成事業費 235,830,576 円 (子育て支援課)

[総 括]

18歳到達年度末までの子どもを扶養しているひとり親家庭の医療費について、保険診療分の自己負担額を助成することにより、経済的な負担の軽減及び生活の安定に寄与した。今後も適正な医療費の助成を行い、ひとり親家庭に対する福祉の向上を図る。

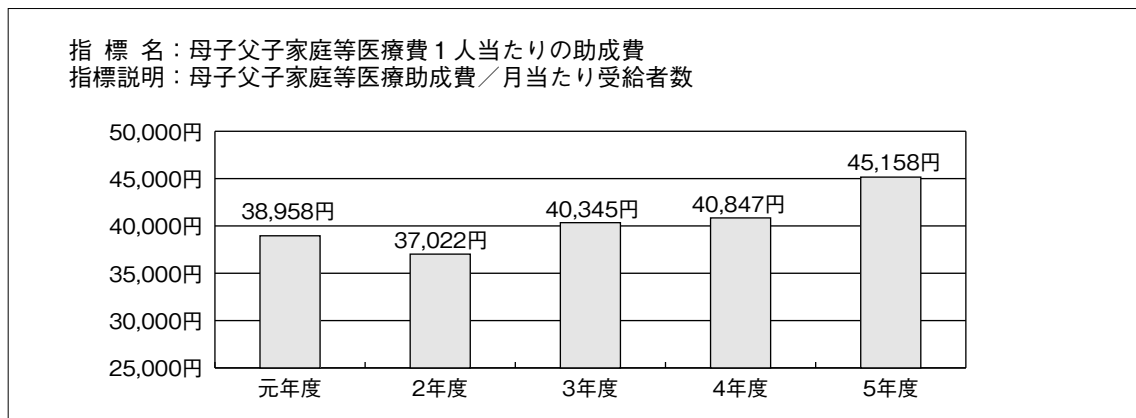
[実績及び成果]

(1) 母子父子家庭等医療費助成事業費 235,830,576 円

(ア) 医療助成費 232,518,003 円

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	比 較
受 給 者 数	延 64,295人	延 61,782人	△ 3.9%
受 診 件 数	延 74,250件	延 78,065件	5.1
受 診 率	115.5%	126.4%	10.9ポイント

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7日療育支援費 <療育支援の推進>	657,065,385	5,330,000	0	243,067,883	408,667,502

1 高山学園運営事業費 166,201,837 円 (保育課)

[総括]

児童発達支援センターとして、心身の発達促進と障害の軽減のための療育を実施するとともに、保護者への養育援助を行った。令和5年度は、国の「こどもの安心・安全対策支援パッケージ」で示された送迎用バスの安全装置、こどもの見守りGPS及び登園管理システムを配備した。また、国の「こども・若者の性被害防止のための緊急対策パッケージ」に位置づけられた取組みとして、保育状況を記録するためのカメラの設置を行った。今後も良好な環境のもとで児童の成長を促すよう療育体制の充実に努める。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 47,815,278 円

[児童数]

通園児童数	令和4年度	令和5年度	比較
		延 478人	延 479人

[相談支援数]

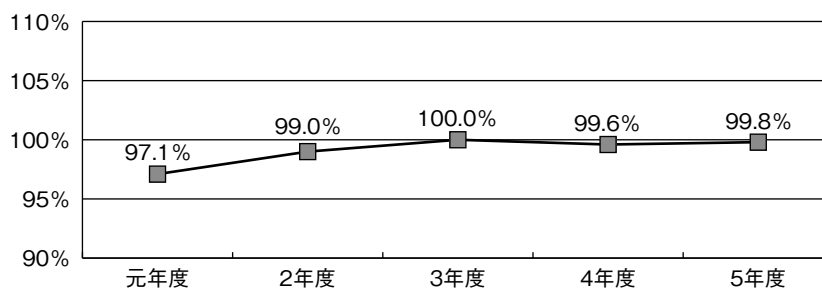
相談支援数	令和4年度	令和5年度	比較
		延 287人	延 382人

[施設整備費]

内 容	令和4年度	令和5年度
		出入口門扉修繕 運動用マット購入

[指標]

指標名：高山学園児童数充足率
指標説明：延通園児童数／延定員



2 こども発達センター管理運営事業費 490,863,548 円 (こども発達センター)

[総括]

児童精神科医師をはじめとした専門スタッフを配置し、相談・診療・通園の各種事業を実施した。診療事業について、令和5年度から新たにアルバイト医師を雇用し、初診待機期間の短縮を図った。また、講演会・研修会を実施するなど、障害児支援につながる取組みを行った。今後も、保健・医療・福祉・教育などの関係機関と連携しながら、総合的な療育支援を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 138,400,937 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
開 館 日 数	246日	247日	0.4%
相 談 件 数	延 1,915件	延 1,960件	2.3
診 療・リハビリ人数	延21,313人	延21,346人	0.2
通園事業利用者数	6,349	4,872	△23.3

(2) 相談事業費 24,159,558 円

区 分	令和4年度	令和5年度
障害児等療育支援事業	3施設 延1,422件	3施設 延1,464件
講演会・研修会	56件 参加者 1,228人	53件 参加者 1,132人
プレイルーム支援事業	延3,385	延3,817

(3) 診療事業費 114,130,505 円

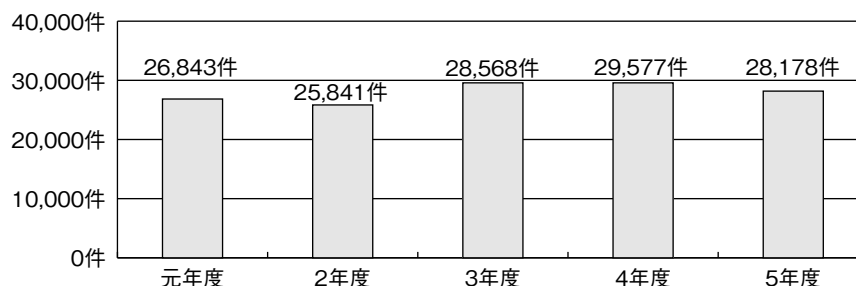
区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
小 児 科	延3,265人	延3,889人	19.1%
児 童 精 神 科	6,968	6,869	△ 1.4
整形外科（水曜日）	401	349	△13.0
耳鼻いんこう科（火・金曜日）	684	637	△ 6.9
歯 科（木曜日午前）	593	610	2.9
リハビリテーション	9,402	8,992	△ 4.4

(4) 通園事業費 31,272,338 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
外来グループ療育事業	延5,627人	延4,207人	△25.2%
重症心身障害児通園事業	538	533	△ 0.9
居宅訪問型児童発達支援事業	6	8	33.3
重症心身障害児(者)日中一時支援事業	178	124	△30.3

[指 標]

指 標 名：こども発達センター利用件数
 指標説明：相談件数＋診療・リハビリ人数＋通園事業利用者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 子ども・若者自立支援費 〈困難を抱える子ども・若者への支援の充実〉	25,719,032	9,458,000	0	3,000,000	13,261,032

1 子ども・若者自立支援事業費 24,362,733円 (こども若者総合相談支援センター)

[総括]

民間の支援団体に子ども・若者総合相談窓口の運営を委託し、子ども・若者及びその家族を対象に不登校、ひきこもりなどの相談・支援を行った。また、定時制・通信制高等学校合同説明会では、参加者に多くの情報が行き渡るようすべての出展校が参加する全体会と各校の個別ブースで行う個別相談会の2部構成で開催し、不登校やひきこもりなどの理由から進路に悩む中高生への進路選択の支援を行った。さらに、ケアリーバー（施設退所児）支援では、社会的養護のケアを離れた若者について、食糧支援など自立した生活につながる支援を行った。今後も関係機関と連携し、一人ひとりの困りごとに寄り添った支援を行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 子ども・若者自立支援事業費 24,362,733円
 (ア) 子ども・若者相談窓口運営事業費 24,197,608円

子ども・若者相談者数	令和4年度	令和5年度
		808人

- (イ) 子ども・若者支援地域協議会運営費 161,325円

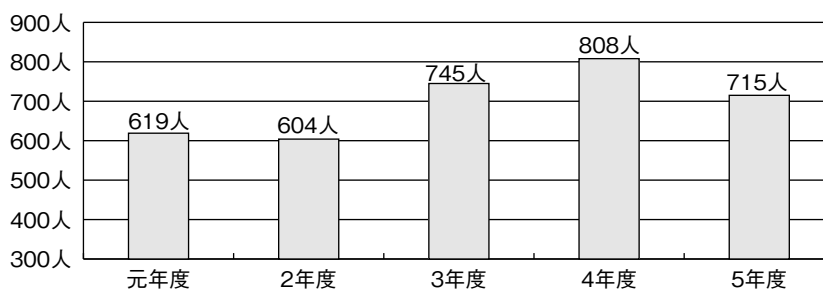
定時制・通信制高等学校 合同説明会参加者数	令和4年度	令和5年度
		467人(年2回)

- (ウ) ケアリーバー（施設退所児）支援事業費 3,800円

ケアリーバー（施設退所児） 支援者数	令和4年度	令和5年度
		3人

[指標]

指標名：子ども・若者相談者数
 指標説明：〃



2 子どもの未来応援事業費

1,356,299 円（子育て支援課）

[総括]

子ども食堂や学習支援教室を運営する個人や団体に対し、補助金を交付するなど運営を支援し、子どもの居場所づくりを行った。また、ひとり親世帯や多子世帯に対する支援として、食料品等を配布するフードドライブや中学生の学生服のリユース活動を、NPO法人東三河フードバンクや豊橋市社会福祉協議会等と連携して行った。今後も引き続き関係機関等と連携して支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 子どもの未来応援事業費

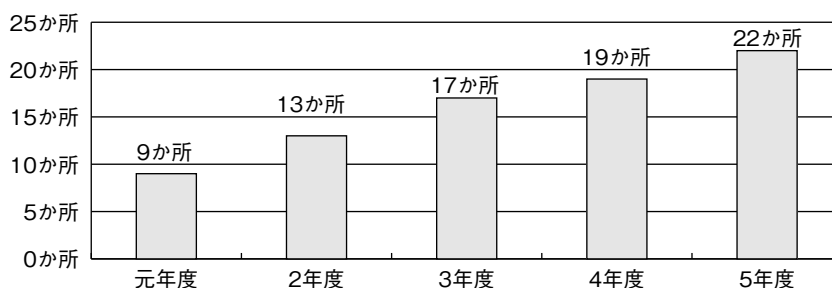
1,356,299 円

子どもの居場所数	令和4年度	令和5年度
	19か所	22か所

[指標]

指標名：子どもの居場所数

指標説明：子ども食堂及び学習支援の場所数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 生活保護費	4,779,828,471	3,345,230,074	0	87,125,758	1,347,472,639
2目 生活保護者等自立支援費 <生活保護者への継続的な自立支援>	4,489,775,268	3,314,723,614	0	87,125,758	1,087,925,896

1 生活保護者等援護事業費 4,484,750,268円 (生活福祉課)

[総括]

最低限度の生活を保障し、自立助長を図るための支援を、生活保護受給者の状況に合わせて行った。就労が可能な方にはハローワークと連携した就労支援を、就労に向けた準備が整っていない方には就労準備支援員が寄り添い、きめ細やかな支援を行った。また、生活保護受給者が適切に年金を受給できるよう、年金調査員による支援を行った。生活保護受給者に対する健康管理支援においては、看護師1名を配置し、地区担当員及び保健師と連携し、健康状態に応じた切れ目のない支援と医療と生活の両面からの支援を実施することで、健康意識の向上や生活習慣病等の予防を図った。今後も生活保護受給者の自立のために包括的な支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生活保護扶助事業費 4,475,845,380円

[扶助費内訳]

区 分	令和4年度			令和5年度		
	世 帯	人 員	金 額	世 帯	人 員	金 額
生活扶助	1,747世帯	2,172人	1,159,840,446円	1,878世帯	2,330人	1,283,673,776円
住宅扶助	1,774	2,188	613,374,438	1,927	2,368	678,333,509
教育扶助	76	126	10,628,092	90	146	13,061,425
介護扶助	462	474	108,175,399	506	517	104,307,047
医療扶助	1,769	2,092	2,076,664,362	1,924	2,303	2,305,573,672
出産扶助	年間1	1	217,480	年間0	0	0
生業扶助	40	45	4,200,383	37	42	4,799,443
葬祭扶助	年間85	85	9,855,121	年間72	72	8,380,441
保護施設事務費	月平均10	10	14,431,917	月平均7	7	12,838,022
就労自立給付金	年間18	18	659,280	年間25	25	950,368
進学準備給付金	年間2	3	900,000	年間3	3	500,000
計	—	—	3,998,946,918	—	—	4,412,417,703

※「世帯」、「人員」の実績は当該年度末現在の数値とする。(「出産扶助」、「葬祭扶助」、「保護施設事務費」、「就労自立給付金」及び「進学準備給付金」は除く)

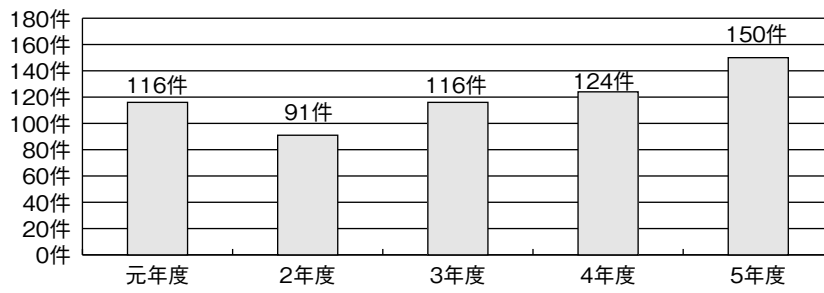
(2) 中国残留邦人生活支援事業費 8,904,888円

受 給 世 帯 数	令和4年度		令和5年度		比 較
	1世帯	2人	1世帯	2人	
	1世帯	2人	1世帯	2人	0.0%

[指 標]

指 標 名：自立件数

指標説明：保護廃止世帯数－死亡・失踪による廃止世帯数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 生活困窮者等自立支援費 <生活困窮者に対する包括的な自立支援>	39,195,066	30,506,460	0	0	8,688,606

1 生活困窮者等援護事業費 39,195,066 円 (生活福祉課)

[総括]

相談件数が新型コロナウイルス感染症の発生前と同程度に戻る中、相談の内容を丁寧に聞き取り、個々の状況に合わせた制度を案内するなど適切に支援を行った。住まいに関する相談については、住居確保給付金や一時生活支援事業を就労支援と併せて案内し、生活の基盤である住居を確保した上で、安心して就職活動を行うことができるよう支援した。学習・生活支援事業においては、学習支援コーディネーターとともに、児童・生徒だけでなく、保護者からの相談も丁寧に聞き取り、適切な支援を行った。また、令和5年度から新たに家計改善支援員1名を配置し、家計に課題を抱える相談者に対し、情報提供や専門的な助言等を行い、家計管理能力を高めるための支援を行った。今後も生活困窮者に対し、関係機関と連携して迅速に支援を行っていく。

[実績及び成果]

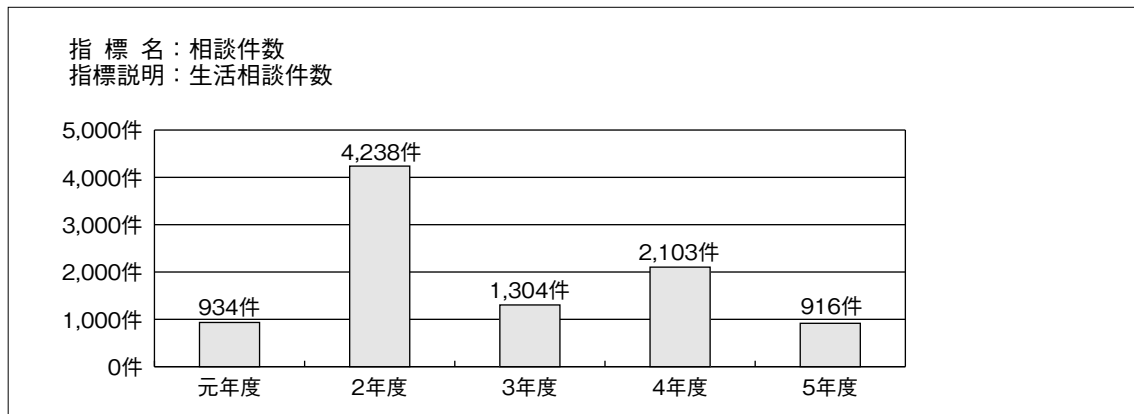
(1) 生活困窮者自立支援事業費 36,339,254 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
	人 員	金 額	人 員	金 額
自立相談支援	165人	23,696,297円	131人	24,209,010円
住居確保給付金	67	9,966,800	40	4,709,700
一時生活支援	45	1,462,013	51	1,960,987
学習・生活支援	96	1,681,843	133	1,739,779
就労準備支援	5	3,410,680	2	67,216
家計改善支援	—	—	12	3,652,562

(2) 旅費欠乏者移送費等事業費 2,855,812 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
移 送 人 数	42人	28人	△33.3%
行 旅 死 亡 人	3	2	△33.3

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4 款 衛 生 費	17,053,797,242	1,552,980,292	713,700,000	1,770,463,732	13,016,653,218
1 項 保 健 衛 生 費	6,489,750,001	1,483,253,977	76,200,000	511,875,546	4,418,420,478
2 目 健 康 づ くり 費 <健康的な暮らしの支援>	360,362,209	4,442,802	13,400,000	1,784,841	340,734,566

1 保健所・保健センター管理運営事業費 275,234,229 円 (保健医療企画課)

[総括]

保健・医療・福祉の総合拠点「ほいっぷ」の中核施設として、こども発達センターを含め、PFI事業契約に基づき施設の維持管理・運営を行った。今後も市民の健康と安全を守るため、施設の適正な維持管理・運営に努めるとともに、医師会、歯科医師会及び薬剤師会との連携強化を図りながら、機能の充実と施設の利用促進を図っていく。

[実績及び成果]

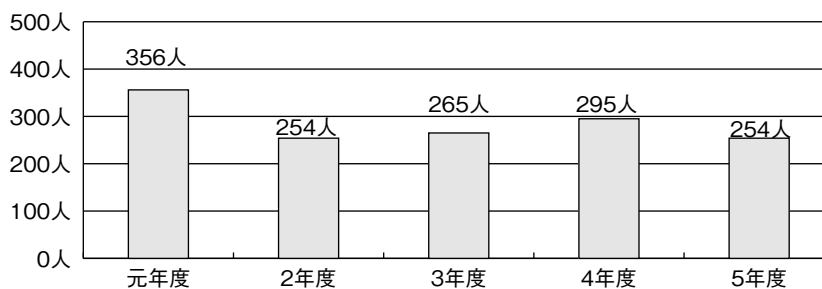
(1) 保健所・保健センター管理運営事業費 275,234,229 円

[利用状況]

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
開 館 日 数	243日	243日	—
利 用 者 数	延 71,642人	延 61,657人	△13.9%

[指 標]

指 標 名：保健所・保健センター1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



2 健幸なまちづくり事業費 18,083,223 円（健康増進課）

[総括]

市民の野菜摂取を促すため、モデル校区で栄養調査、栄養セミナーを実施したほか、野菜摂取量推定機器を活用した学校での食育授業や店舗での啓発等を行った。また、新たに携帯電話ショッブを拠点としたウォーキングイベントを開催し、店頭での脳トレやアプリ操作サポート会を行い、あいち健康プラスを活用した健康づくりができる機会を提供した。

さらに、「健康とよはし推進計画（第3次）」を策定した。「住んでいるだけで健幸になれるまち」をめざし、今後も、行政や保険者、企業、教育機関等の様々な機関が連携し、ICTの利活用やナッジ等新しい要素を組み込んだ取組みにより、社会環境を整備していく。

[実績及び成果]

(1) 健幸なまちづくり推進事業費 4,135,762 円

区 分	令和4年度	令和5年度
官民連携健康づくりセミナー等の開催	1回 58人	15回 219人
ICTを活用した健幸なまちづくり(糖尿病予防)	58	568

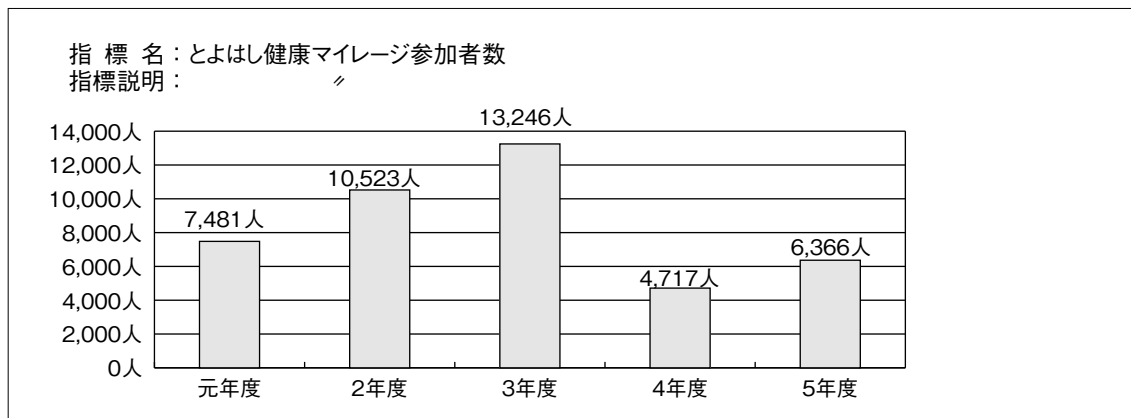
(2) 健康マイレージ推進事業費 12,719,793 円

区 分	令和4年度	令和5年度
とよはし健康マイレージ参加者数	4,717人	6,366人
ウォーキングイベント	2回 1,226	3回 1,694

(3) 健康経営推進事業費 1,227,668 円

区 分	令和4年度	令和5年度
とよはし健康宣言事業所	160事業所	174事業所

[指標]



※令和4年度より、新たに導入したウォーキングアプリ「あいち健康プラス」による参加者数を計上している。

3 健康づくり事業費

1,760,051 円（健康増進課・こども保健課）

[総括]

市民が健康の大切さに気づき、日常生活に健康づくりを取り入れることができるよう、運動プログラムの提供や、とよし健康マイレージアプリを活用した校区対抗のチャレンジマッチのほか、校区別ウォーキングマップを地域住民と作成し、地域主体の健康づくり活動のサポートを行った。今後も市民への健康に関する動機づけとなるような取組みを進めていく。

[実績及び成果]

(1) 学校保健連携事業費

161,023 円

区 分	令和4年度	令和5年度
学校保健委員会参加者数	2,984人	4,144人
訪問授業参加者数	1,158	1,502
食生活について考えよう受講者数	475	724
赤ちゃんふれあい体験	2校 186	4校 320

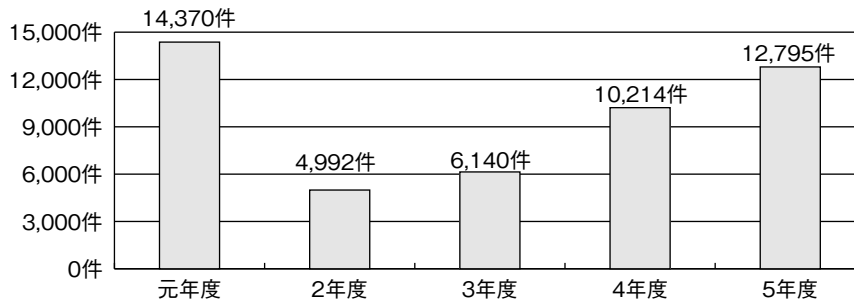
(2) 地域活動事業費

1,599,028 円

区 分	令和4年度	令和5年度
健康な地域づくり事業などの参加者数	5,411人	6,105人
校区対抗ウォーキングチャレンジマッチ(再掲)	52校区 3,320	52校区 3,640

[指標]

指標名：健康づくり事業への参加件数
 指標説明：学校保健連携事業参加者数＋地域活動事業参加者数



4 余熱利用施設管理運営事業費 61,642,697 円（健康増進課）

〔総括〕

健康増進と交流促進の場として幅広い市民の利用に供するとともに、省資源・省エネルギーに対する市民意識の向上を促すため、資源化センターの余熱利用施設（りすば豊橋）の維持管理・運営を行った。今後も施設の適正な維持管理・運営に努め、利用者の増加を図っていく。

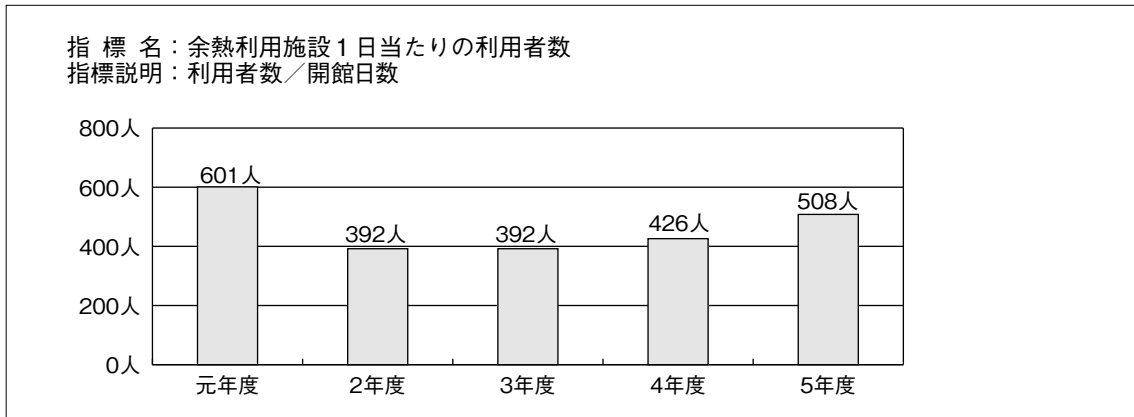
〔実績及び成果〕

(1) 余熱利用施設管理運営事業費 61,642,697 円

〔利用状況〕

区 分	令和4年度	令和5年度
温 水 プ ー ル	延 51,349人	延 63,546人
ト レ ー ニ ン グ ル ー ム	延 26,401	延 27,905
浴 場	延 45,677	延 45,508
無 料 チ ケ ッ ト 等	—	延 3,724
無 料 開 放 ス ペ ー ス	延 1,290	延 8,287
自 主 事 業（プ ー ル 以 外）	延 394	延 1,917
計	延 125,111	延 150,887
開 館 日 数	294日	297日

〔指標〕



※令和5年度より、無料チケット等による利用者数を計上している。

5 歯科口腔保健推進事業費 2,453,981 円（健康増進課）

〔総括〕

生涯を通じた歯と口の健康のために定期的な歯科検診の受診とかかりつけ医を持つことを推奨するとともに、歯科口腔保健推進のために必要な歯科医療関係者等に対する情報提供や研修を実施し、資質向上に努めた。さらに、「豊橋市歯科口腔保健推進計画」の最終評価を踏まえ、「豊橋市歯科口腔保健推進計画（第2次）」を策定した。今後も関係機関と連携し、市民が生涯にわたり、自分の歯でおいしく食べることができるよう、歯科口腔保健の施策を推進していく。

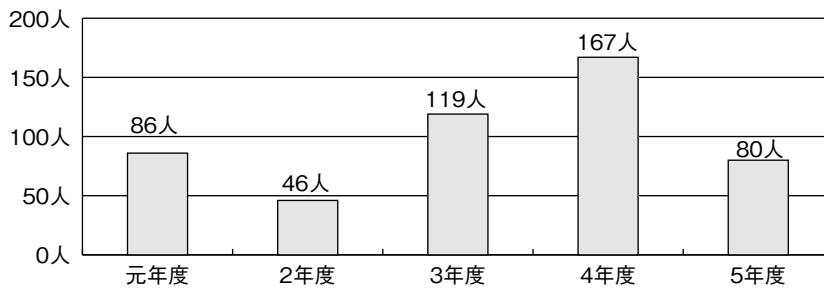
〔実績及び成果〕

(1) 口腔保健支援センター運営事業費 2,453,981 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	研修会の開催	3回
運営会議の開催	2	運営会議の開催 2

[指 標]

指 標 名：豊橋市口腔保健支援センター研修会参加者数
指 標 説 明：



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 たばこ対策費 <たばこ対策の推進>	697,655	354,000	0	0	343,655

1 たばこ対策事業費 697,655 円 (保健医療企画課・健康増進課)

[総括]

新規開設飲食店等を対象とした受動喫煙防止に関する説明会を実施するとともに、集合住宅の住人に対し喫煙ルールを周知するため、不動産事業者の協力を得て啓発チラシを配布した。今後も受動喫煙の防止対策を推進し、望まない受動喫煙が生じない環境づくりをめざしていく。

[実績及び成果]

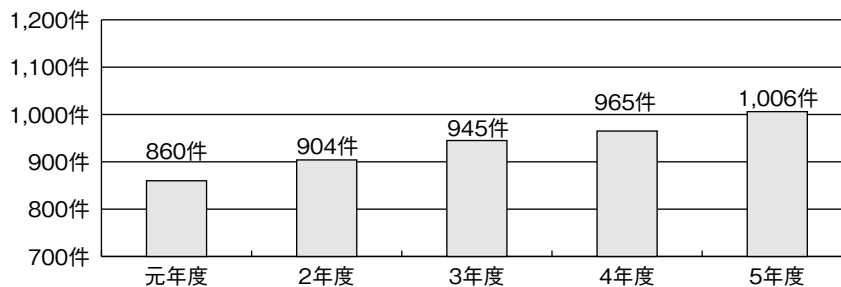
(1) 受動喫煙防止対策事業費 495,805 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	新規開設飲食店等へ受動喫煙防止に関する説明の実施 リーフレットや啓発グッズなどの作成、配布 事業所等への受動喫煙に関する啓発	新規開設飲食店等へ受動喫煙防止に関する説明の実施 リーフレットや啓発グッズなどの作成、配布 事業所等への受動喫煙に関する啓発

[指標]

指標名：敷地内禁煙ステッカー交付件数(累計)

指標説明：
〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 疾 病 対 策 費 <疾病の予防対策の推進>	356,759,086	20,541,886	0	9,748,924	326,468,276

1 成人保健予防事業費 326,570,905 円 (健康増進課)

[総括]

生活習慣病を早期に発見し、健康寿命の延伸を図るため、各種がん検診と骨粗しょう症検診・歯周病検診等を実施した。集団検診会場において全ての種類のがん検診と特定健康診査を同時受診できる体制を整え、利便性を高めることで受診率の向上に努めた。特に若い世代への啓発として、子宮頸がんについて4コマ漫画を活用したチラシや、健診や禁煙についての啓発物を、二十歳の集いや市内大学等で配布した。今後も検診の体制充実や精度管理に努め、病気の早期発見や生活習慣の改善につなげられるよう、保健事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 生活習慣病予防事業費 38,981,153 円

区 分	令和4年度	令和5年度
健康診査(生活保護受給者等)	68人	94人
骨粗しょう症検診	1,625	1,904
歯周病検診	2,325	2,176
眼科検診	1,463	1,662
肝炎ウイルス検査	575	657
集団健康教育	10コース	11コース

(2) がん予防事業費 284,852,085 円

区 分	令和4年度	令和5年度
胃がん検診 (内:胃内視鏡検診)	7,479人 (3,913)	7,359人 (4,050)
大腸がん検診	19,772	19,517
肺検診(結核・肺がん)	22,623	22,705
子宮頸がん検診	7,706	7,916
乳がん検診	6,757	6,623
前立腺がん検診	1,075	1,042
がんセット検診(再掲)	18日間 4,150	21日間 5,063

(3) がん患者アピアランスケア支援事業補助金 2,705,004 円

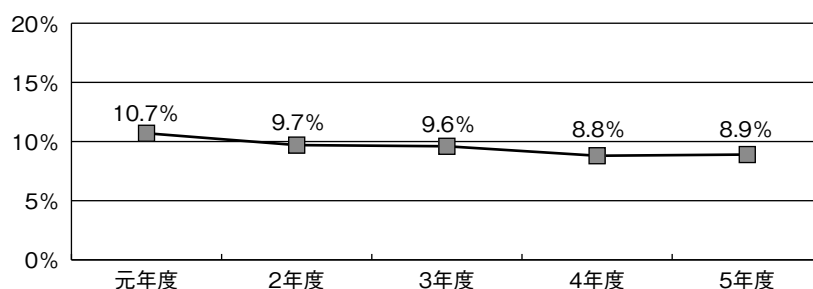
区 分	令和4年度	令和5年度
医療用ウィッグ・乳房補正具 購入費補助金	101件	140件

(4) 若年がん患者在宅療養支援事業補助金 32,663 円

区 分	令和4年度	令和5年度
在宅サービス、福祉用具の 貸与・購入の補助	—	3件

[指 標]

指 標 名：がん検診受診率(肺がん、胃がん、大腸がん、子宮がん、乳がん検診分)
 指標説明：がん検診受診者数/検診対象者



2 精神保健対策事業費 2,206,492 円 (健康増進課)

[総 括]

こころの不調で悩んでいる方とその家族が地域で安定した生活を送ることができるように、精神科医師や保健師等の相談を行い、こころの健康の維持増進を図った。また、市民向けの講演会等で、自殺予防の啓発を行ったほか、ゲートキーパー研修等を実施し自殺対策を支える人材育成を行った。

さらに、「第2期豊橋市自殺対策計画」を策定し、今後も、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現をめざし、生きることのさらなる包括的な支援の取組みを推進していく。

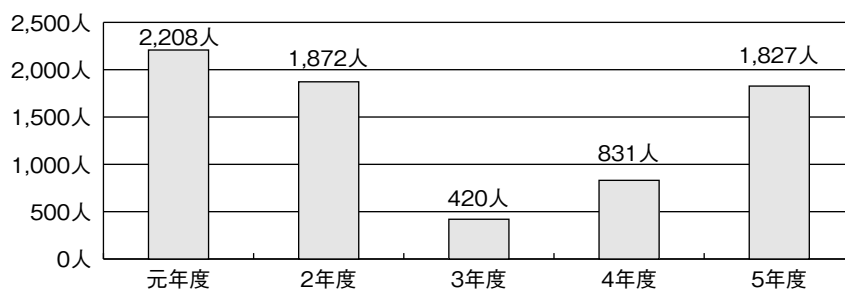
[実績及び成果]

(1) 精神保健対策事業費 2,206,492 円

区 分	令和4年度	令和5年度
研修等を実施した回数	39回	66回
研修等を受けた人数	831人	1,827人

[指 標]

指 標 名：研修等を受けた人数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 感染症対策費 <感染症対策の推進>	2,342,172,643	1,087,506,595	0	3,051,260	1,251,614,788

1 予防接種事業費 2,028,027,082 円 (保健医療企画課)

[総括]

感染のおそれのある疾病の発生及びまん延の防止による、公衆衛生の向上を図るため、予防接種未接種者への個別通知を行うなど、接種を勧奨し、抗体保有率(接種率)の向上に努めた。また、新たなHPVワクチンを選択できるようになったため、対象者に個別通知を行い、確実な周知に努めるとともに、高齢者の带状疱疹の発症・重症化予防のため、带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成を開始した。今後も予防接種法の改正や感染症の動向に的確かつ迅速に対応するとともに、周知を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 予防接種事業費 2,028,027,082 円

(ア) 予防接種委託料等 1,526,822,209 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
	接 種 人 員		接 種 人 員	
定 期	A 類	4 種 混 合	延 9,596人	延 9,855人
		D P T (3種混合)	延 0	延 1
		D T 2 期	2,853	2,885
		不 活 化 ポ リ オ	延 2	延 3
		麻 し ん ・ 風 し ん 混 合	5,250	5,083
		日 本 脳 炎	延 13,746	延 11,996
		B C G	2,442	2,279
		ヒ プ	延 9,550	延 9,239
		小 児 用 肺 炎 球 菌	延 9,565	延 9,242
		H P V (定 期)	延 1,452	延 1,650
		HPV(キャッチアップ)	延 1,737	延 2,226
		水 痘	延 4,655	延 4,682
		B 型 肝 炎	延 7,123	延 6,762
		風 し ん (追 加 対 策)	349	52
		ロ タ ウ イ ル ス	延 6,271	延 6,124
任 意	B 類	インフルエンザ	67,116	61,368
		高齢者用肺炎球菌	2,329	2,533
任 意	B 類	お た ふ く か ぜ	4,814	4,382
		風 し ん (成 人)	398	371
		帯 状 疱 疹	—	8,469

(イ) 特別の理由による任意予防接種費補助金 171,840 円

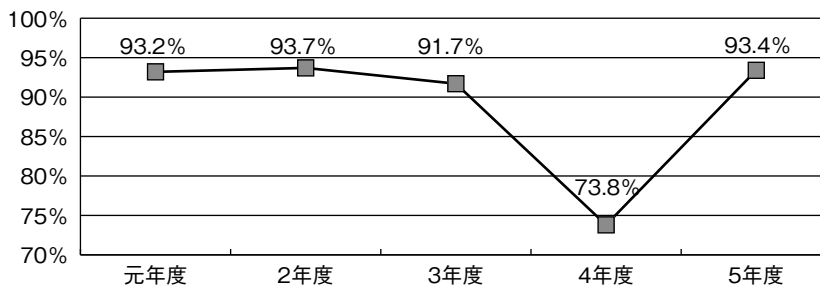
補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		延 8人	57,440円	延21人

(ウ) 新型コロナウイルスワクチン接種事業費 501,033,033 円

新型コロナウイルス(臨時)	令和4年度		令和5年度	
		延 387,243人		延 125,910人

[指 標]

指 標 名：定期A類(20歳未満)予防接種率
指標説明：接種人員／接種対象者数



※令和4年度は、HPVワクチンの勧奨が再開し、対象者に個別通知を行ったことによる接種対象者数の増加が影響している。また、HPVワクチンのキャッチアップは、4年度から3年間の時限的措置のため含まれていない。

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 母子保健推進費 <母子保健の推進>	843,718,702	331,129,381	0	0	512,589,321

1 母子保健対策事業費 443,829,638 円 (こども保健課)

[総括]

産前・産後の心身の負担軽減のため、産後ケア事業利用における多胎児家庭を対象に利用料の軽減をするとともに、産前・産後サポート事業等の充実を図った。また、性と健康の相談センター事業において、プレコンセプションケアのオンラインセミナーを開催し若い世代の健康増進の機会を充実させた。

今後も、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、相談支援や訪問、乳幼児の健康診査など切れ目のない母子保健事業の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 妊産婦保健事業費 306,734,741 円

区 分		令和4年度		令和5年度	
母子健康手帳の交付		2,624冊		2,514冊	
妊娠・出産・子育て総合相談窓口		延 3,139件		延 2,908件	
妊婦健康診査		延29,133人		延27,111人	
妊産婦歯科健康診査		1,229		1,168	
産婦健康診査		延 4,740		延 4,408	
性と健康の相談 センター事業	講座	16回	延 2,493	20回	延 3,651
	相談		延 76件		延 120件
産前・産後 サポート	パートナー型		延 548人		延 576人
	参加型	16回	延 100件	18回	延 90件
	多胎妊産婦支援事業		延 33回		延 78回
産後ケア事業		延 996日		延 1,196日	

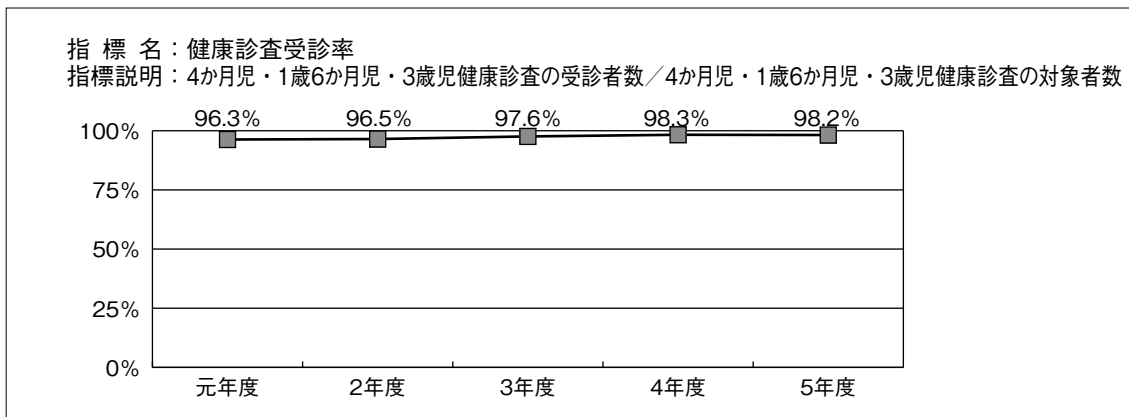
(2) 乳幼児保健事業費 114,637,408 円

区 分		令和4年度		令和5年度	
乳児健康診査		延 4,668人		延 4,349人	
新生児聴覚検査		2,129		1,999	
4か月児健康診査		40回	2,388	40回	2,314
1歳6か月児健康診査		43	2,520	43	2,475
3歳児健康診査		45	3,100	45	2,612
2歳児歯科健康診査		1,353		1,304	
未熟児・ハイリスク児等訪問指導		延 4,065		延 4,232	
養育支援訪問事業		延 1,210		延 927	
乳児家庭全戸訪問事業		1,832件		1,824件	
乳幼児健康診査事後相談		43回	延 562	43回	延 547
乳幼児健康診査事後教室		40	延 485	39	延 477
離乳食講習会		45	延 378人	47	延 417人

(3) 不妊不育対策事業費 22,457,489 円

区 分	令和 4 年度		令和 5 年度	
特定不妊治療費補助金	延 214件	43,114,681円	延 166件	22,457,489円
一般不妊治療費補助金	延 33	308,880	—	
不育症検査費補助金	延 1	50,000	延 0	0

[指 標]



※分母を、令和2年度以前は年度当初の対象者数、3年度以降は当該月の対象者数の合計とする。

2 出産・子育て応援給付金給付事業費 277,442,771 円(こども保健課・子育て支援課・こども未来館)

[総 括]

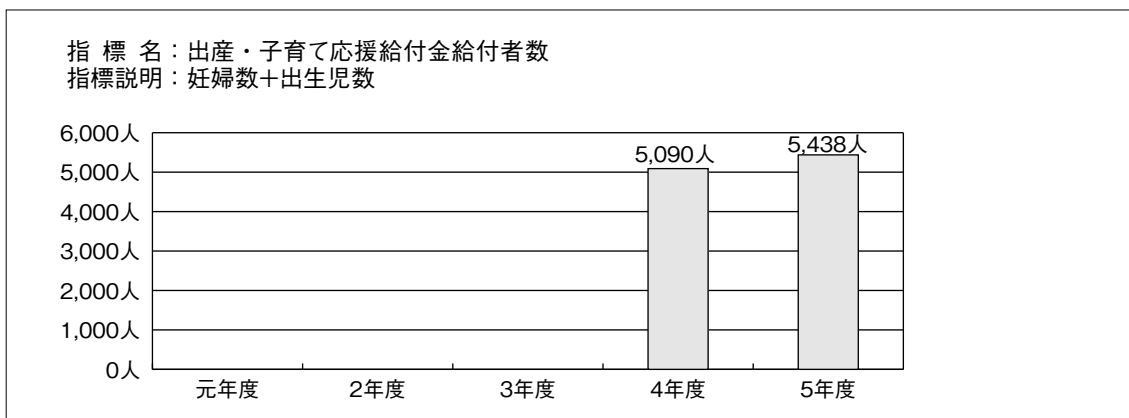
全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるように、ニーズに即した支援につなぐ伴走型相談支援として、妊娠8か月頃の妊婦に対するアンケート及び面談を開始した。また、妊娠・出産応援給付金の給付を継続し、妊婦及び低年齢期の子育て世帯への経済的支援を一体的に実施した。

[実績及び成果]

(1) 出産・子育て応援給付金給付事業費 277,442,771 円

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度
出産・子育て応援給付金	延 5,090人	延 5,438人

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 保健医療体制費 <保健医療体制の充実>	717,374,276	1,490,000	0	332,512,919	383,371,357

1 看護専門学校事業費 267,965,254 円 (保健医療企画課)

[総括]

地域医療サービスを推進するため、看護師の養成を目的に学習環境の充実に努めた。万能型看護実習モデル人形などの学習教材を新たに導入し、修得技術の向上を図ったほか、教員・学生間で使用するグループウェアを新たに導入し、学習環境のICT化を推進した。また、教務事務を行う会計年度任用職員を1名増員し、教員の負担軽減に努めた。今後も地域医療の推進のため、看護師資格取得者数の増加をめざす。

[実績及び成果]

(1) 看護専門学校管理運営事業費 58,161,809 円

[運営状況]

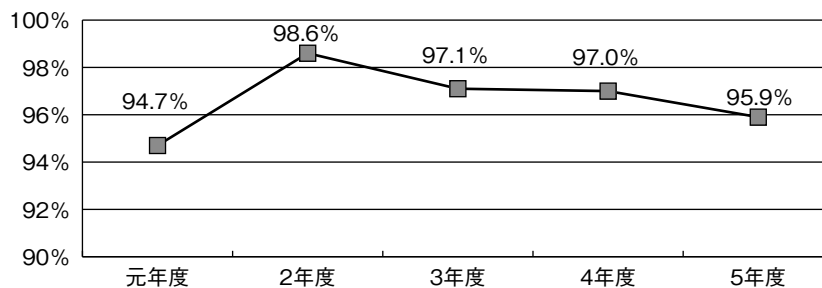
区 分		令和4年度	令和5年度
看護第1科	学 生 数	116人 (定員120人)	118人 (定員120人)
	課 程	3年課程全日制	3年課程全日制
	修 業 年 限	3年	3年
看護第2科	学 生 数	121人 (定員120人)	111人 (定員120人)
	課 程	2年課程昼間定時制	2年課程昼間定時制
	修 業 年 限	3年	3年

(ア) 非常勤講師報酬 3,510,000 円

(イ) 管理運営費 54,651,809 円

[指標]

指標名：看護師国家試験合格率
 指標説明：資格取得者数／看護第1科・看護第2科の受験者数



2 地域医療対策事業費

3,033,000 円（保健医療企画課）

[総括]

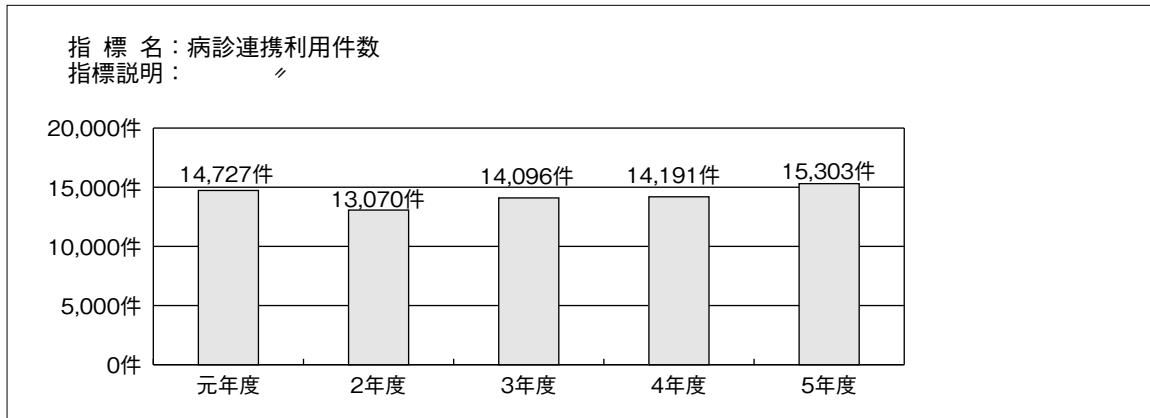
病院と診療所の機能分担を考慮した迅速かつ適切な医療サービスの提供を図るため、医師会が運営する病診連携室に対し助成を行った。今後も医師会と基幹病院との連携を深め地域医療体制の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 地域医療対策事業補助金 3,000,000 円

補助金	令和4年度	令和5年度
	3,000,000 円	3,000,000 円

[指標]



3 休日夜間診療対策事業費

439,826,867 円（保健医療企画課）

[総括]

第1次救急医療として、休日夜間急病診療所及び、休日夜間・障害者歯科診療所で初期医療等に対応するとともに、医師会等に助成することにより在宅輪番による緊急医制度を実施した。また、第2次救急医療として、東三河平坦部（4市）の病院群輪番により救急患者を受け入れた。さらに、ラジオ等を活用し、適正受診の必要性を啓発した。今後も第1次及び第2次救急医療体制を確保するため、医療機関との連携強化を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 休日夜間急病診療所管理運営事業費 355,247,106 円

[診療状況]

区 分		令和4年度	令和5年度
患者数		9,417人	17,666人
内訳	内科	4,234	9,170
	小児科	5,183	8,496

[時間帯別診療状況]

区 分		令和4年度	令和5年度
昼 (休日)	診療日数	71日	72日
	患者数	3,913人	7,596人
	1日当たりの患者数	55	106
夜 (毎日)	診療日数	365日	366日
	患者数	5,504人	10,070人
	1日当たりの患者数	15	28

- (ア) 指定管理料 354,820,680 円
 (イ) 施設管理費 426,426 円
 (2) 休日夜間・障害者歯科診療所管理運営事業費 37,318,713 円

〔診療状況〕

区 分		令和4年度	令和5年度
休日・夜間	診療日数	365日	366日
	患者数	907人	939人
	1日当たりの患者数	2	3
障害者	診療日数	47日	49日
	患者数	389人	445人
	1日当たりの患者数	8	9

- (ア) 指定管理料 37,318,713 円
 (3) 休日夜間診療対策事業費 9,287,820 円
 (ア) 休日夜間診療対策推進費補助金 9,242,820 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
	患者数	補助金	患者数	補助金
医師会	15,953人	8,989,800円	25,245人	9,100,820円
柔道整復師会	145	138,000	156	142,000
計	16,098	9,127,800	25,401	9,242,820

- (イ) 休日夜間診療対策事務費 45,000 円
 (4) 愛知県救急医療情報システム運営事業費 142,448 円

運 営 費 負 担 金	令和4年度	令和5年度
		136,480円

- (5) 救急医療第2次病院運営事業費 37,664,480 円

〔救急医療第2次病院の診療状況〕

区 分	令和4年度	令和5年度
医療機関数	7機関	7機関
回数	437回	439回
患者数	3,915人	4,323人
1回当たりの患者数	9	10

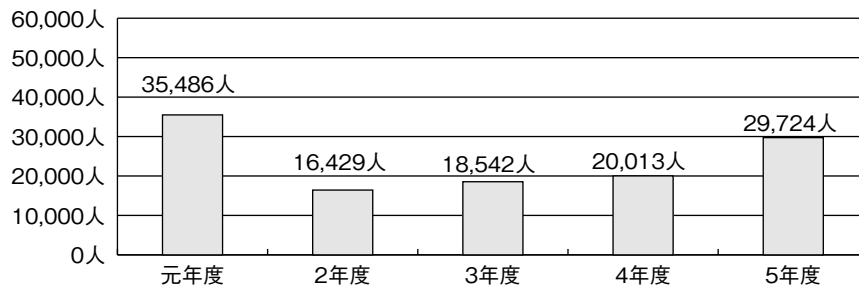
- (6) 適正受診普及啓発事業費 166,300 円

内 容	令和4年度	令和5年度
		啓発グッズ(小児救急ガイドブック(ポルトガル語版))の作成及び配布

[指 標]

指 標 名：第1次・第2次救急医療利用者数

指 標 説 明：第1次救急医療患者数 + 第2次救急医療患者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 災害時医療体制費 <災害時医療体制の充実>	5,832,211	0	0	0	5,832,211

1 医療救護活動事業費 5,832,211 円 (保健医療企画課)

[総括]

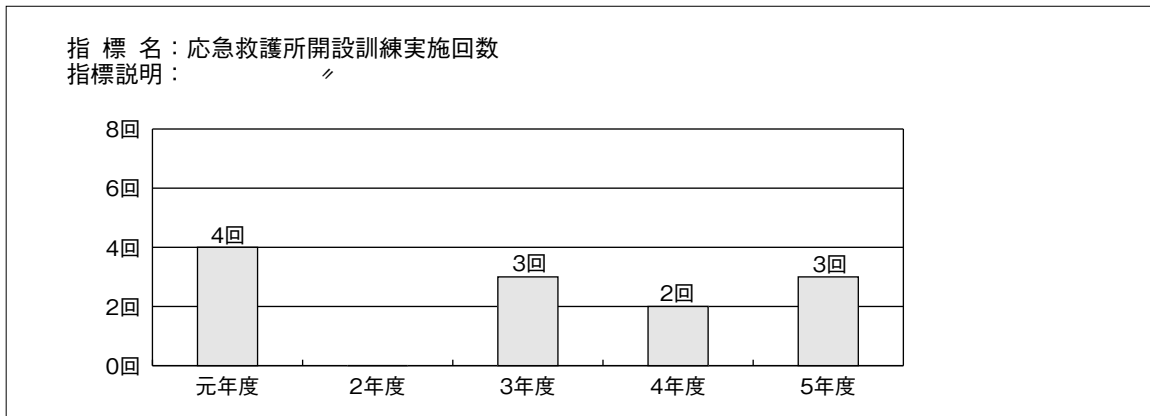
大規模災害時に迅速な医療救護活動を行うため、医師会、歯科医師会及び薬剤師会の三師会をはじめとした関係機関との連携・協力のもと、住民参加の応急救護所開設訓練を実施するとともに、まちづくり出前講座を通じて災害時の医療体制について啓発を行った。また、災害時に被災者等のニーズに合った保健医療を提供するため、災害時専用アプリをインストールしたタブレットを導入したほか、関係機関との情報連携を強化するため、被災状況に左右されず通信可能な衛星インターネットを整備した。今後も大規模災害時に、より実効性の高い保健医療救護活動等が行えるよう、保健所を拠点とする保健医療衛生班の活動体制の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 医療救護活動事業費 5,832,211 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	応急救護所開設訓練の実施	2回
防災訓練等での応急救護所啓発		防災訓練等での応急救護所啓発 4回
L I N E W O R K S を訓練で活用	5回	保健医療衛生班総合訓練の実施 1回
臨時救護基幹センター運営訓練の実施		まちづくり出前講座の開催 21回
まちづくり出前講座の開催	1回	タブレットの導入 24台
	11回	衛星インターネットの整備

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9日 環境衛生対策費 <環境衛生対策の推進>	10,621,154	0	0	0	10,621,154

1 環境衛生指導事業費 3,793,754 円 (生活衛生課)

[総括]

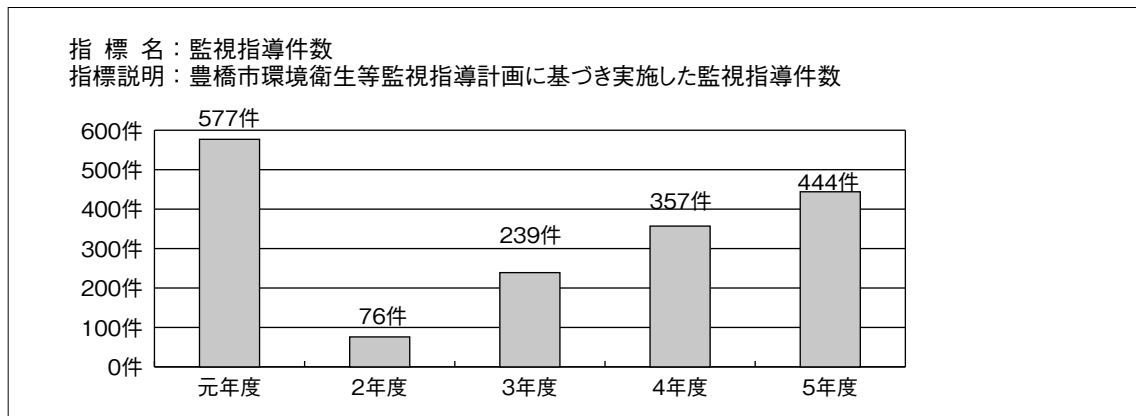
理美容所、公衆浴場、旅館等の環境衛生施設に対し、立入検査や自主管理点検表を活用した監視指導を実施した。また、集客施設における新型コロナウイルスをはじめとした感染症防止対策として、施設内の空気環境測定と換気指導を行う「換気の見える化事業」を実施した。今後も、「豊橋市環境衛生等監視指導計画」に基づく監視指導を行い、施設の衛生水準向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 営業施設等指導事業費 3,793,754 円

区 分	令和4年度	令和5年度
監視指導件数	357件	444件

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 斎 場 費 ＜斎場の円滑な運営並びに墓地の適切な管理＞	247,415,097	0	0	39,619,196	207,795,901

1 斎場事業費 247,415,097円 (福祉政策課)

[総括]

PFI手法により整備した斎場において、指定管理者のノウハウ等を活用し円滑な運営を行った。今後も火葬需要が増加しても、利便性が低下しないよう円滑な運営を行っていく。

[実績及び成果]

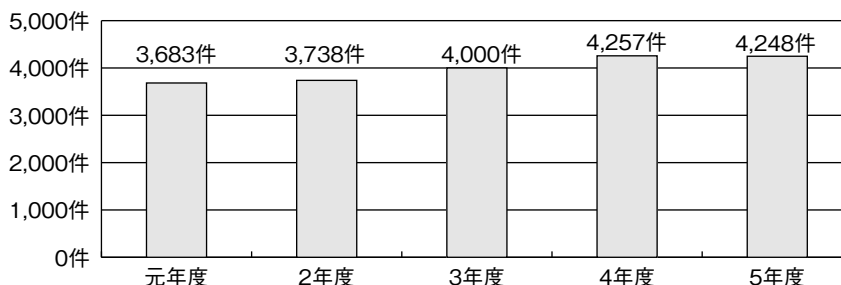
(1) 斎場管理運営事業費 247,415,097円

[斎場使用状況]

区 分		令和4年度	令和5年度
火 葬	大 人	4,248体	4,242体
	小 人	9	6
	計	4,257	4,248
	死 産 児	46	46
	愛 玩 動 物	1,837件	1,898件
多 目 的 室	2	1	
遺 体 安 置 室	56	20	

[指標]

指標名：斎場火葬件数
指標説明：大人及び小人の火葬件数の合計



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11日 墓 苑 費 〈斎場の円滑な運営並びに墓地の適切な管理〉	36,987,849	0	0	44,346	36,943,503

1 墓苑事業費 36,987,849 円 (福祉政策課)

[総括]

向山霊苑を始め市営墓地5か所の適正な維持管理を行った。今後も墓地需要の把握と、利用者が快適に使用できるよう墓地の適正な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

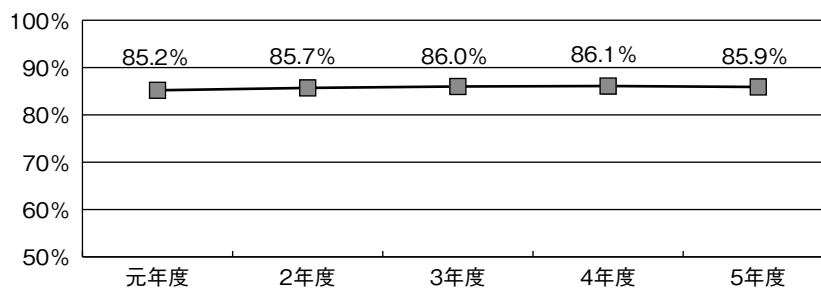
(1) 市営墓地管理運営事業費 (墓地区画数 12,426 区画) 36,987,849 円

[墓地使用許可状況]

区 分		令和4年度	令和5年度
向山霊苑	普通墓地 (再貸出)	15区画	4区画
梅田川霊苑	普通墓地	31	25
飯村墓地	普通墓地 (再貸出)	28	15
	修景墓地 (再貸出)	1	0
	納骨堂	1年許可	17室
3年許可		16	19
野依台墓地	普通墓地 (再貸出)	0区画	0区画
東細谷墓地	普通墓地 (再貸出)	2	2

[指標]

指標名：墓地貸出率
指標説明：貸出済数 / 全体区画数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
12目 動物愛護管理推進費 <動物愛護管理の推進>	126,928,393	11,000,000	62,800,000	126,930	53,001,463

1 動物管理指導事業費 30,045,399 円 (生活衛生課)

[総括]

犬の登録、狂犬病予防注射接種の啓発や集合注射の実施により、狂犬病の予防、まん延防止を図った。また、ペットの適正飼養などの動物愛護講習等の開催による啓発活動、不妊去勢手術費補助金の交付により地域猫活動の支援を行うほか、収容動物の譲渡推進に努めた。今後も継続して動物の愛護及び管理の取組みを進める。

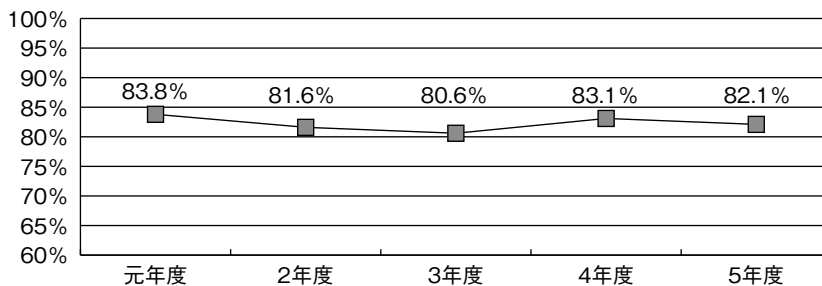
[実績及び成果]

(1) 動物管理指導事業費 30,045,399 円

区 分		令和4年度	令和5年度
犬 登 録 頭 数		23,102頭	22,961頭
狂犬病予防注射実施頭数	集合注射	1,306	1,231
	診療施設	17,899	17,628
	計	19,205	18,859
狂 犬 病 予 防 注 射 実 施 率		83.1%	82.1%
地 域 猫 不 妊 去 勢 手 術 補 助 金		231頭 2,921,500円	241頭 3,070,000円
譲 渡 率	犬	82.4%	73.3%
	猫	51.0	86.0
動 物 愛 護 講 習 等 へ の 参 加 者 数		1,002人	1,494人

[指 標]

指 標 名 : 狂犬病予防注射実施率
 指標説明 : 狂犬病予防注射実施頭数 / 犬登録頭数



2 動物愛護センター（仮称）整備事業費 96,882,994 円（生活衛生課）

[総括]

「豊橋市動物愛護センター（仮称）整備基本計画」に基づき、整備予定地の用地取得や地質調査、施設の実施設計を行った。今後も、整備基本計画に沿って、動物愛護センター（仮称）整備を進めていく。

[実績及び成果]

(1) 動物愛護センター（仮称）整備事業費 96,882,994 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	・豊橋市動物愛護センター（仮称）整備基本計画の策定 ・計画地の測量 ・先進自治体センターの現地調査	・用地取得 ・計画地の地質調査 ・実施設計

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
13目 食品安全対策費 <食品の安全対策の強化>	62,854,918	973,362	0	0	61,881,556

1 食品衛生指導事業費 18,362,068 円 (生活衛生課)

[総括]

食品等取扱施設に対し、立入検査による衛生指導及び食品表示に係る監視指導を実施した。また、「豊橋市ええじゃないかHACCP推進事業」とHACCP衛生監視の継続実施により事業者の自主衛生管理を支援し、食中毒や異物混入等の食品事故防止に努めた。今後も、「豊橋市食品衛生監視指導計画」に基づく監視指導を行い、流通する食品の安全性確保を図る。

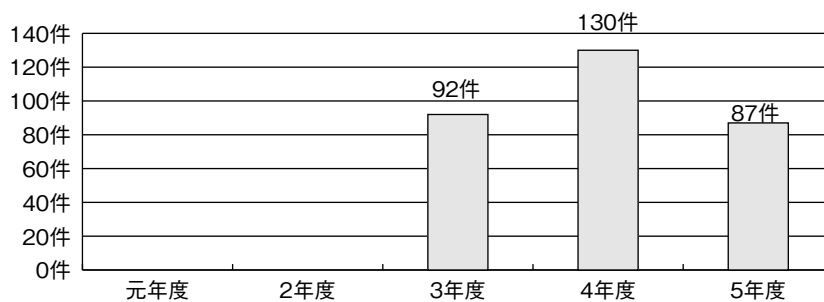
[実績及び成果]

(1) 食品衛生指導事業費 18,362,068 円

区 分		令和4年度	令和5年度
監視指導件数		3,153件	2,922件
H A C C P 衛 生 監 視 件 数		130	87
豊橋市ええじゃないか H A C C P 推 進 事 業	相談窓口対応施設数	3施設	7施設
	導入確認施設数	2	2

[指 標]

指 標 名：H A C C P 衛 生 監 視 件 数
 指標説明：豊橋市食品衛生監視指導計画に基づき実施した監視指導件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14目 食肉検査費 <食品の安全対策の強化>	192,294,463	528,000	0	88,339,700	103,426,763

1 食肉衛生検査指導事業費 181,254,297 円 (食肉衛生検査所)

[総括]

株式会社東三河食肉流通センターに搬入された獣畜のと畜検査、食肉中の残留動物用医薬品等検査を実施した。と畜検査情報は、健康な家畜生産のため、生産現場へ還元した。

また、令和3年6月より、HACCPに沿った衛生管理が義務化されたことに伴い、微生物試験や監視によりと畜場の衛生管理状況を検証し、その結果に応じ改善指導した。

今後も検査体制の充実を図るとともに、衛生管理状況の監視指導を継続することで、と畜場の衛生水準を高め、市民が安心して消費することができる安全で衛生的な食肉の供給を図る。

[実績及び成果]

(1) 食肉安全管理事業費 50,732,721 円

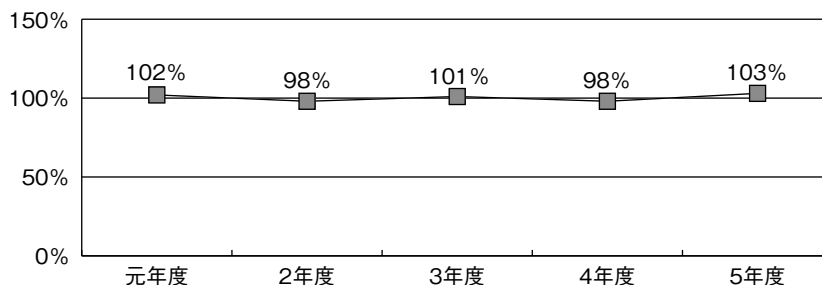
区 分		令和4年度	令和5年度	
と畜検査	検査頭数	213,061頭	212,622頭	
	内訳	牛	7,820	7,912
		馬	0	0
		豚	205,238	204,710
		めん羊	0	0
山羊	3	0		
残留動物用医薬品等検査	検査件数	14,649件	14,667件	

(2) と畜場衛生指導事業費 2,260,767 円

区 分	令和4年度	令和5年度
微生物試験件数	240件	240件
監視回数	243回	241回

[指標]

指標名：「豊橋市食品衛生監視指導計画」達成率(食肉衛生検査所分)
 指標説明：「豊橋市食品衛生監視指導計画」に基づく監視等の実施件数／同計画件数(食肉衛生検査所分)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 環 境 費	7,753,944,507	69,726,315	637,500,000	1,258,588,186	5,788,130,006
2目 低炭素型社会促進費 <低炭素型社会の促進>	17,051,656	100,000	0	0	16,951,656

1 低炭素型社会推進事業費 4,402,556 円 (ゼロカーボンシティ推進課)

[総括]

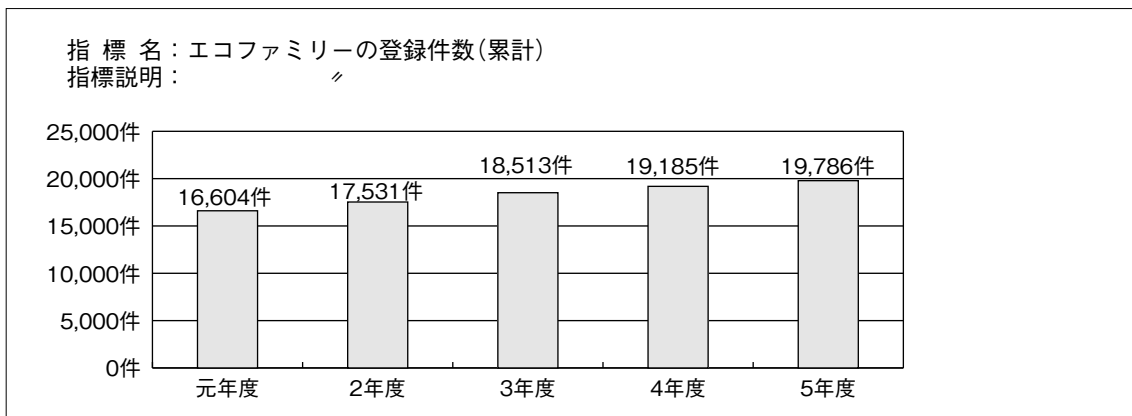
ゼロカーボンシティの実現に向け、市民の理解度の向上を図るため、次世代自動車の展示等を活用したイベントを開催したほか、SNS (Instagram) を活用して環境に関する分かりやすい情報を継続して発信した。また、省エネルギー対策として公共施設に緑のカーテンを設置し、市民や事業者への啓発を行った。今後も効果的かつ取り組みやすい節電・省エネ対策の啓発を行い、ゼロカーボンの推進を図っていく。

[実績及び成果]

区 分	令和4年度	令和5年度
エコファミリー登録件数	672件	601件
公共施設における緑のカーテンの設置箇所数	125施設	121施設

- (1) 低炭素型社会管理事務費 169,630 円
- (2) 低炭素型社会活動事業費 4,232,926 円

[指標]



2 次世代自動車等普及促進事業費 12,630,000 円（ゼロカーボンシティ推進課）

[総括]

化石燃料の消費を抑制し、自動車からの温室効果ガスの排出量を削減するため、市民・事業者が購入する次世代自動車等（電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車など）の費用の一部を助成し、次世代自動車等の普及促進を図った。今後も国・県の動向や社会情勢を勘案しながら、市民・事業者のニーズに合った助成を進めていく。

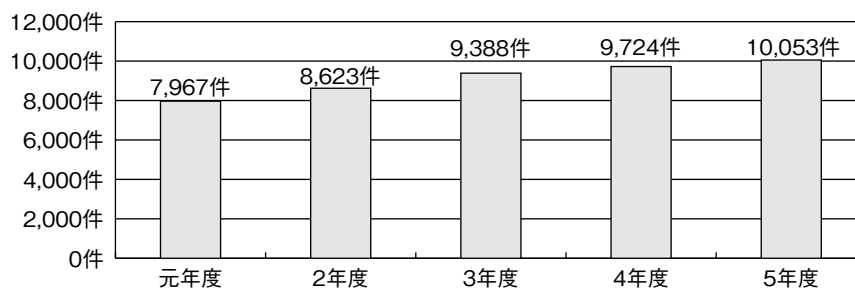
[実績及び成果]

(1) 次世代自動車購入等補助金 12,630,000 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
	件数	金額	件数	金額
電 気 自 動 車	182件	10,920,000円	170件	7,530,000円
プラグインハイブリッド自動車	96	2,880,000	150	4,500,000
燃 料 電 池 自 動 車	6	1,200,000	1	200,000
住 宅 用 充 給 電 設 備	7	350,000	8	400,000
太陽光発電設備設置済み加算	41	820,000		—
電 動 バ イ ク	4	80,000		—

[指 標]

指 標 名：電気自動車、電動バイク、電動アシスト自転車購入等への助成件数(累計)
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 再生可能エネルギー利用促進費 <再生可能エネルギーの利用促進>	59,626,057	8,095,000	0	1,160,603	50,370,454

1 再生可能エネルギー活用推進事業費 6,369,057円 (ゼロカーボンシティ推進課)

[総括]

温室効果ガスの排出削減に寄与する再生可能エネルギーの導入促進や効率的な利用を推進するため、市内に事業用再生可能エネルギー設備を所有している事業者を対象に稼働状況や今後の運用、課題に関するアンケートを実施した。また、公共施設における民設・民営の太陽光パネル設置（PPA事業）について、豊橋総合動植物公園や保健所・保健センターでの事業に着手した。今後も再生可能エネルギーの活用及びエネルギーの地産地消を推進するため、公共施設への再生可能エネルギーの導入のほか、市民・事業者に対するより効果的な普及啓発に取り組んでいく。

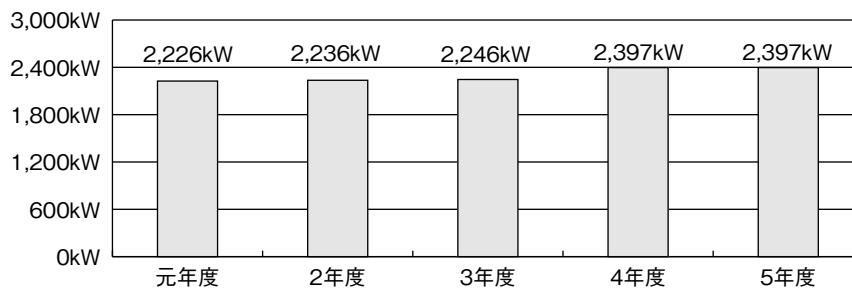
[実績及び成果]

- (1) 再生可能エネルギー活用推進事業費 6,298,057円
- (2) エネルギー地産地消推進事業費 71,000円

区 分		令和4年度	令和5年度
太陽光発電等再生可能エネルギー設備を導入した公共施設	施設数	16施設	0施設
	導入容量	151kW	0kW

[指標]

指標名：公共施設における太陽光発電等再生可能エネルギー設備の導入容量(累計)
 指標説明：
 //



2 再生可能エネルギー導入促進事業費 53,257,000 円（ゼロカーボンシティ推進課）

[総括]

家庭部門や業務部門などからの温室効果ガスの排出量を削減するため、住宅及び事業所への創エネ・蓄エネ・省エネ設備の導入に対し設置費用の一部を助成し、再生可能エネルギーの普及及びエネルギーの地産地消の促進を図った。引き続き国・県の動向や社会情勢を勘案しながら、市民・事業者のニーズに合った助成を通じて、再生可能エネルギーの導入促進をめざす。

[実績及び成果]

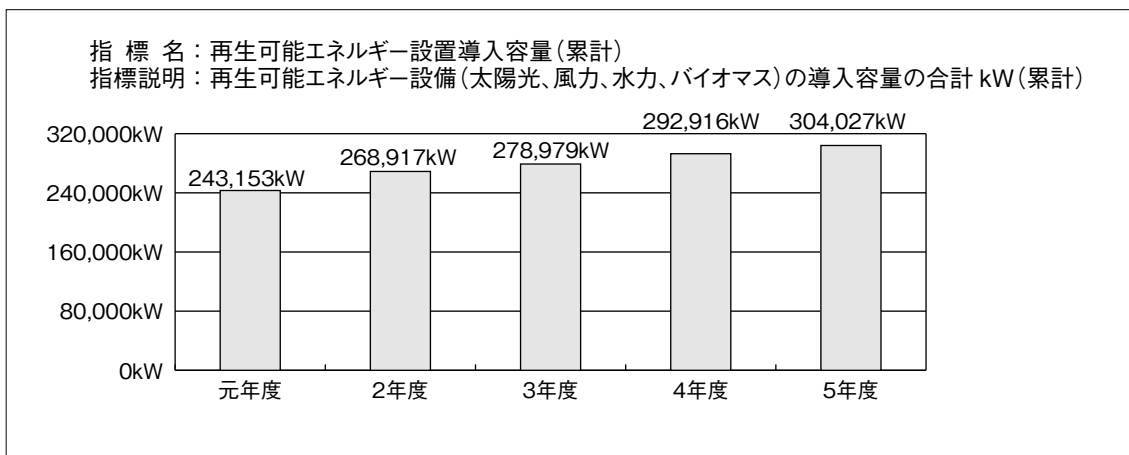
(1) 家庭用エネルギー設備等導入費補助金 47,510,000 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
太陽光発電設備	78件	3,623,000円	33件	1,509,000円
燃料電池	143	5,720,000	119	4,760,000
リチウムイオン蓄電池	249	15,426,000	245	16,102,000
太陽光発電設備パワーコンディショナー	40	1,961,000	36	1,769,000
太陽熱利用設備	15	310,000	18	390,000
地中熱利用設備	3	300,000	3	300,000
ネットゼロエネルギーハウス(ZEH)	52	8,320,000	108	17,280,000
一 体 的 導 入	91	10,920,000	45	5,400,000

(2) 市内事業者太陽光発電設備等導入費補助金 5,747,000 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
太陽光発電設備	3件	1,359,000円	9件	4,604,000円
蓄 電 池	4	382,000	3	1,143,000

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 気候変動適応策推進費 <気候変動への適応策の推進>	962,100	0	0	0	962,100

1 気候変動適応策推進事業費 962,100円 (ゼロカーボンシティ推進課)

[総括]

気候変動による環境への影響に関心を持ち理解を深めるため、「とよはし版クールチョイス」による普及啓発をはじめ、市民の方が気軽に足を運べる公共施設において、子どもも大人も楽しみながら学べるイベントを開催した。今後も市民・事業者への「気候変動への適応」に関する理解度を深めるため、イベント等を通じてより分かりやすい手法で、市民の行動変容につながる普及啓発を図っていく。

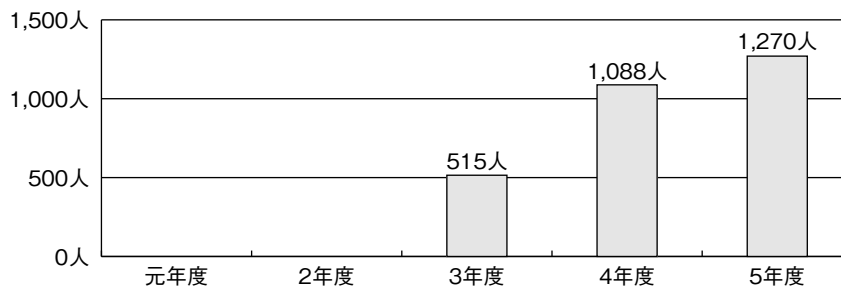
[実績及び成果]

(1) 気候変動適応策推進事業費 962,100円

区 分	令和4年度	令和5年度
参 加 人 数	1,088人	1,270人
開 催 回 数	2回	2回

[指標]

指標名：気候変動適応策普及啓発イベント参加人数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 生物多様性保全費 <生物多様性の保全>	4,676,416	191,000	0	0	4,485,416

1 自然環境保全対策事業費 4,676,416円 (環境保全課)

[総括]

「第3次豊橋市環境基本計画」(豊橋市生物多様性地域戦略)に基づき、表浜海岸に上陸・産卵するアカウミガメの実態調査、トンボ・メダカ及び希少植物のモニタリング調査を実施した。また、豊橋市生態系ネットワークづくり懇話会を運営するとともに、ボランティア等と連携し、自然観察会の実施、啓発冊子の頒布、アカウミガメ保護啓発用ポスター及び動画の掲示・上映を実施し広く啓発した。その他、従前の外来生物駆除活動に加えてヌートリア及びアライグマ並びにミズヒマワリの防除活動を実施した。汐川干潟の保全に関しては、田原市と連絡会や自然観察会を開催したほか、地元中学校・自然保護団体などとともに、汐川干潟の保全実践活動を支援した。今後も、自然環境及び生物多様性の保全に努めていく。

[実績及び成果]

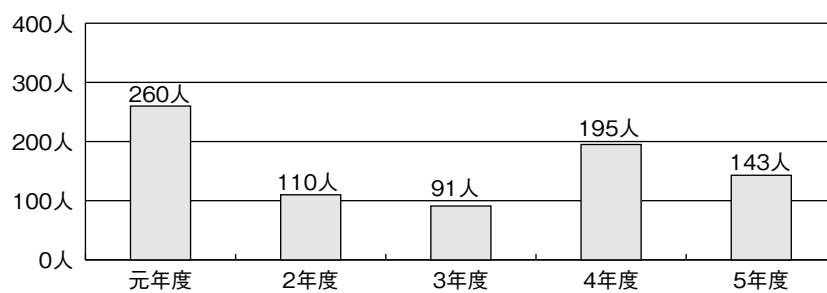
(1) 自然環境保全推進事業費 4,676,416円

区 分	令和4年度	令和5年度
アカウミガメ実態調査	上陸期間 5.26～8.9 上陸回数 37回 産卵巣数(産卵成功率) 19巣(51%)	上陸期間 6.10～7.29 上陸回数 6回 産卵巣数(産卵成功率) 2巣(33%)
アカウミガメ保護啓発イベント	・表浜自然観察会 開催2回 参加者数 96名 ・竜宮探検 開催1回 参加者数 6名 ・530のまち環境フェスタ 開催1回 参加者数 1,230名	・表浜自然観察会 開催2回 参加者数 105名 ・竜宮探検 開催1回 参加者数 8名 ・530のまち環境フェスタ 開催1回 参加者数 578名
生態系ネットワークづくり懇話会	開催3回	開催4回
有害鳥獣捕獲許可	111件	95件
愛がん飼養登録	0	0
汐川干潟自然観察会	開催2回 参加者数 93人	開催1回 参加者数 30人
汐川干潟保全連絡会	1回	1回
汐川干潟保全実践活動	地元の中学校や保護団体との協働による干潟保全実践活動及び連携サポート	地元の中学校や保護団体との協働による干潟保全実践活動及び連携サポート
自然環境啓発等	自然環境啓発冊子頒布、環境月間パネル展示及び訪問授業の開催	自然環境啓発冊子頒布、環境月間パネル展示及び訪問授業の開催
外来種駆除対策	アルゼンチンアリ調査・薬剤駆除、アカミミガメ駆除	アルゼンチンアリ調査・薬剤駆除、アカミミガメ、ヌートリア、アライグマ、ミズヒマワリ駆除

[指 標]

指 標 名：自然環境保全啓発活動参加者数

指標説明：汐川干潟自然観察会参加者数+表浜自然観察会参加者数+竜宮探検参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 環境対策費 <大気・水環境の保全>	154,292,862	53,495,000	0	344,000	100,453,862

1 発生源対策推進事業費 7,413,625 円 (環境保全課)

[総括]

大気汚染防止法、水質汚濁防止法等に基づく規制対象工場・事業場に対し立入検査を実施し、規制基準の遵守状況の確認と基準超過の工場・事業場への指導を行った。今後も工場・事業場に対し、規制基準を遵守するよう指導・啓発を行っていく。

[実績及び成果]

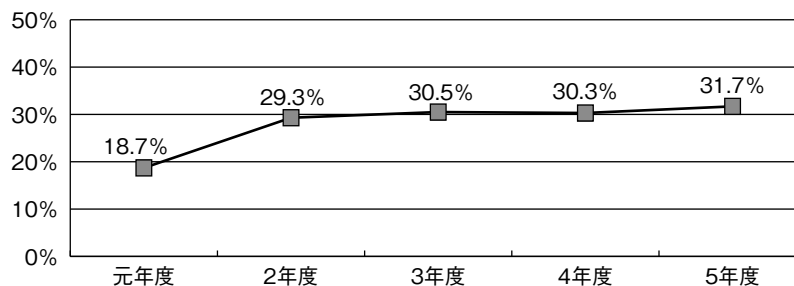
(1) 事業場監視指導事業費 7,413,625 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
立 入 件 数	大気関係	84件	大気関係	102件
	悪臭関係	22	悪臭関係	28
	騒音・振動関係	48	騒音・振動関係	41
	水質関係	229	水質関係	223
	土壌関係	8	土壌関係	14

[指 標]

指 標 名：立入検査実施率

指標説明：立入検査実施工場・事業場数 / 前年度末の大気汚染防止法、水質汚濁防止法等の届出工場・事業場件数



2 環境調査事業費

62,192,847 円（環境保全課）

[総括]

生活環境の保全と健康の保護を図るため、環境汚染物質の調査測定を実施した。今後も複雑、多様化する環境汚染物質への対応を図るとともに、環境監視体制を精査し、効率的かつ効果的な調査測定に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 大気環境調査事業費

33,015,019 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
	調査場所	調査項目	調査場所	調査項目
大気汚染常時監視測定	今橋町 始め5か所	二酸化硫黄(2か所)、二酸化窒素(5か所)、浮遊粒子状物質(4か所)、光化学オキシダント(5か所)、一酸化炭素(1か所)、風向・風速(5か所)、微小粒子状物質(4か所)、微小粒子状物質成分(1か所)等	今橋町 始め5か所	二酸化硫黄(2か所)、二酸化窒素(5か所)、浮遊粒子状物質(4か所)、光化学オキシダント(5か所)、一酸化炭素(1か所)、風向・風速(5か所)、微小粒子状物質(3か所)、微小粒子状物質成分(1か所)等
有害大気汚染物質調査	今橋町 大崎町 大岩町	ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、水銀、ニッケル等	今橋町 大崎町 大岩町	ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、水銀、ニッケル等
ダイオキシン類環境調査	今橋町 大崎町 原町	ダイオキシン類	今橋町 大崎町 原町	ダイオキシン類

備品購入	令和4年度		令和5年度	
	エアサンプリングポンプ	6台	ハイボリウムエアサンプラー	1台
ハイボリウムエアサンプラー	2台	微風向風速計発信器	1台	

(2) 水環境調査事業費

22,049,828 円

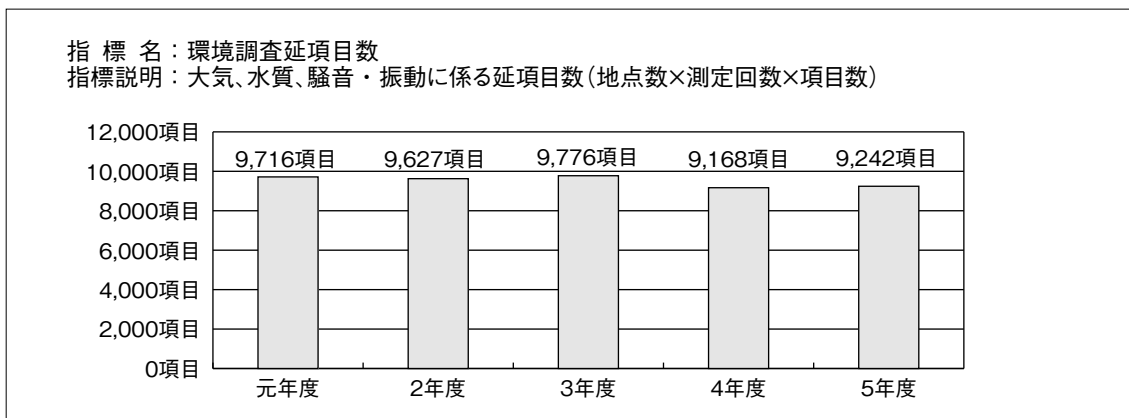
区 分	令和4年度		令和5年度	
	調査場所	調査項目	調査場所	調査項目
河 川	28 河川 31 か所	pH、DO、BOD、SS等	28 河川 31 か所	pH、DO、BOD、SS等
海 域	新西浜沖 始め4か所	pH、DO、COD等	新西浜沖 始め4か所	pH、DO、COD等
地 下 水	向山大池町 始め6か所	カドミウム、全シアン等	向山大池町 始め6か所	カドミウム、全シアン等
ダイオキシン類環境調査	水質7か所 土壌1か所	ダイオキシン類	水質6か所 土壌2か所	ダイオキシン類

備品購入	令和4年度		令和5年度	
	—	—	精密天秤 1台	上皿天秤 1台
		pH計 1台	6連スターラー 1台	

(3) 生活環境調査事業費 7,128,000 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
	調 査 場 所	調 査 項 目	調 査 場 所	調 査 項 目
自動車騒音 等 測 定	環境基準の調査9か所 要請限度の調査4か所	自動車騒音レベル、 道路交通振動レベル等	環境基準の調査8か所 要請限度の調査4か所	自動車騒音レベル、 道路交通振動レベル等

[指 標]



3 環境保全推進事業費 801,705 円 (環境保全課)

[総 括]

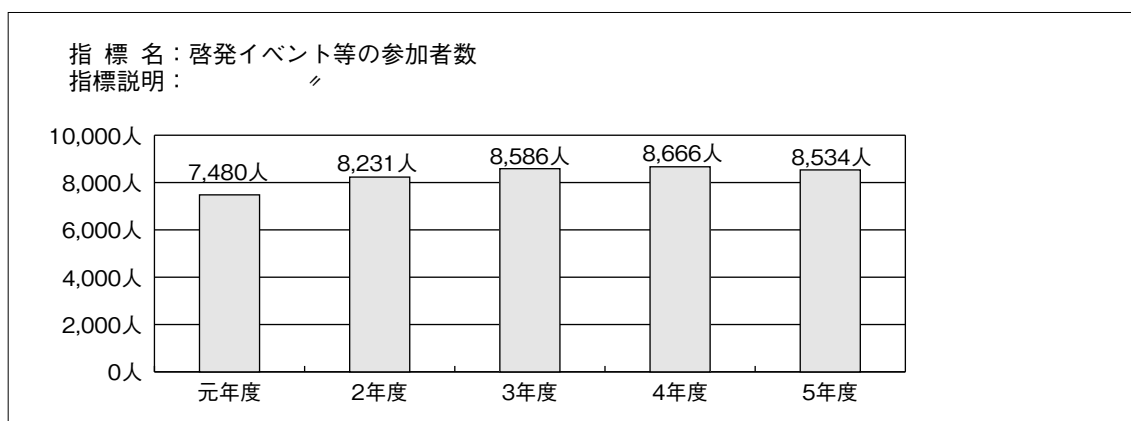
大気環境の保全のため、市民や協定締結事業者等に対し、エコドライブなどの大気汚染防止啓発を行った。また、三河湾を含めた水環境を保全するため、環境イベント等において、日常生活における排水対策の必要性を啓発した。今後も市民や企業などが、主体的に環境保全対策に取り組み、大気環境や水環境の保全に関する意識がより浸透するよう事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 環境保全啓発事業費 801,705 円

内 容	令和4年度	令和5年度
大気環境保全啓発	エコドライブ等の推進 ・事業者等への啓発 130事業所 ・530のまち環境フェスタ内での啓発699名 ・公用車へ啓発用マグネット貼付261台	エコドライブ等の推進 ・事業者等への啓発 140事業所 ・530のまち環境フェスタ内での啓発524名 ・公用車へ啓発用マグネット貼付264台
水環境保全啓発	啓発イベント等の参加者数 8,666人 ・豊橋みなとフェスティバル ・530のまち環境フェスタ ・その他講習会、イベント	啓発イベント等の参加者数 8,534人 ・豊橋みなとフェスティバル ・530のまち環境フェスタ ・その他講習会、イベント

[指 標]



4 浄化槽対策事業費 79,984,767 円（廃棄物対策課）

[総 括]

水環境の保全の観点から生活排水の適正処理を促進するため、単独処理浄化槽及び汲み取り槽から合併処理浄化槽への転換者に対して設置費及び撤去費の一部を助成した。また、浄化槽の適正な維持管理に関して指導啓発を実施した。今後も合併処理浄化槽設置費等に対する補助制度を継続していく。

[実績及び成果]

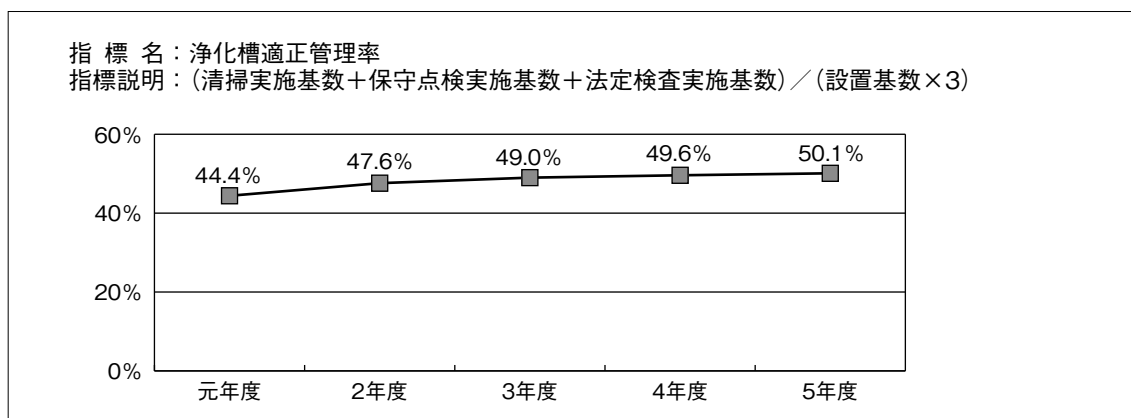
(1) 浄化槽指導事業費 2,039,767 円

内 容	令和4年度	令和5年度	比 較
浄化槽設置届等	778件	662件	△14.9%
法定検査指導	1,025	21	△98.0

(2) 浄化槽設置費補助金 77,945,000 円

内 容		令和4年度	令和5年度
浄化槽設置費補助	基数	100基	101基
	金額	38,648,000円	36,916,000円
単独処理浄化槽等撤去費補助	基数	92基	95基
	金額	8,280,000円	11,190,000円
宅内配管工事費補助	基数	100基	101基
	金額	27,811,430円	29,839,000円

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 ごみ減量推進費 <ごみ減量・リサイクルの推進>	49,111,510	0	0	9,613,097	39,498,413

1 ごみ減量推進事業費 49,111,510円 (ゼロカーボンシティ推進課)

[総括]

市民に雑がみ分別への理解を深めてもらうため、市内ホームセンターにて雑がみ分別お試し袋の無料配布を行った。また、環境部キャラクター「かん田きょう子さん」を用いた食品ロス削減シールや卓上三角ポップ(産業部・健康部共同制作)、プラスチックごみ削減ポップを作成し、市内飲食店や小売店等に配布することで、食品ロス及びプラスチックごみ削減の周知・啓発を行った。加えて、吉本興業と連携し、海洋プラスチック問題を伝えるイベントを開催することで、わかりやすい学びの機会を提供した。今後も引き続きごみ減量及び資源化を推進し、循環型社会の構築をめざす。

[実績及び成果]

(1) 地域資源回収事業費 34,228,366円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較	
地域資源回収団体奨励金	実施団体	298団体	291団体	△ 2.3%
	実施回数	2,210回	2,181回	△ 1.3
	回収量	4,092 t	3,628 t	△11.3
リサイクルステーション	古紙回収量	269	261	△ 3.0

(2) ごみ減量啓発事業費 9,402,672円

区 分	令和4年度	令和5年度
啓発事業への参加者数	1,674人	1,262人

(3) 環境にやさしいライフスタイル推進事業費 980,472円

区 分	令和4年度	令和5年度
給水器設置補助金	0件 0円	0件 0円

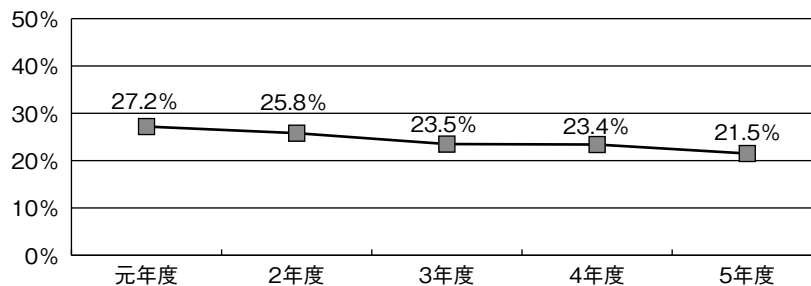
(4) 530運動環境協議会補助金 4,500,000円

補 助 金	令和4年度	令和5年度
	4,500,000円	4,500,000円

[指 標]

指 標 名：リサイクル率

指標説明：(有価物量+地域資源回収量) / (市が収集・処理・処分する一般廃棄物量+地域資源回収量)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8日 ごみ収集費 <廃棄物の適正処理の推進>	722,258,369	1,845,315	22,200,000	20,796,047	677,417,007

1 家庭廃棄物収集事業費 722,258,369円 (収集業務課)

[総括]

地域環境の保全及び資源の有効利用を図るため、飛散防止ネットや生ごみ用コンテナの貸与などによりごみステーションの適正管理に努めるとともに、全てのごみの持ち去りを禁止する条例改正に取り組んだ。また、家庭ごみに対する総合的な受付を行う家庭ごみコールセンターの運営を開始するとともに、業務ごとに管理していたごみステーションの地図情報などをデジタル化して一元管理する取組みを開始した。

今後もごみの分別精度を高めるための指導・啓発や問題の多いごみステーションなどの適正化を進め、効率的かつ効果的な家庭ごみ収集体制の確保に努めていく。

[実績及び成果]

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較	備 考
家庭 ごみ 収集 量	も や す ご み	47,086 t	45,747 t	△ 2.8%	週 2 回 収集
	生 ご み	12,927	12,189	△ 5.7	週 2 回 収集
	プラマークごみ	4,420	4,234	△ 4.2	週 1 回 収集
	こ わ す ご み	3,665	3,091	△15.7	4 週 毎 収集
	危 険 ご み	177	170	△ 4.0	4 週 毎 収集
	う め る ご み	802	804	0.2	8 週 毎 収集
	大 き な ご み	334	352	5.4	戸 別 収集
	資源(びん・カン)	3,237	3,000	△ 7.3	週 1 回 収集
	〃 (ペットボトル)	523	601	14.9	週 1 回 収集
	〃 (布類)	1,076	1,318	22.5	8 週 毎 収集
	計	74,247	71,507	△ 3.7	
	ステーション数		5,419か所	5,480か所	1.1
死体処理数	犬	67匹	55匹	△17.9	
	猫等	2,216	2,276	2.7	
	計	2,283	2,331	2.1	
ふれあい収集実施世帯数		514世帯	537世帯	4.5	

※家庭ごみ収集量については端数処理のため、計が各数値の和に一致しない。

※令和5年度の家庭ごみ収集量については速報値。

- (1) ごみ収集事業費 697,239,344円
- (ア) 収集業務費 621,590,343円
- (イ) 施設整備費 6,663,800円
- (ウ) 車両管理費 68,985,201円

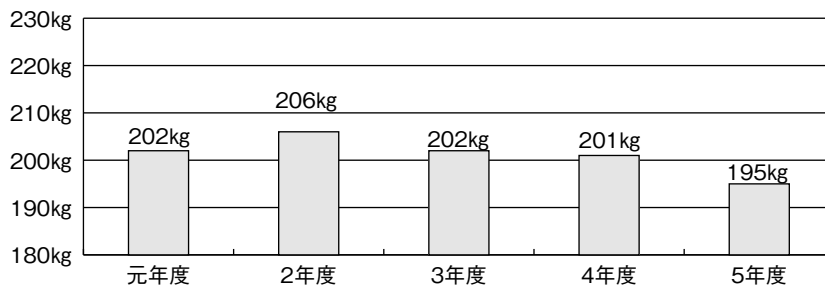
内 容	令和4年度	令和5年度
	ごみ収集車 1台	ごみ収集車 2台 2tダンプ 1台 ウイング車 1台

- (2) ごみ収集指導啓発事業費 7,924,269円
- (3) 家庭ごみコールセンター運営事業費 17,094,756円

[指 標]

指 標 名：1人当たりの家庭ごみ収集量

指標説明：家庭ごみ収集量／年度末豊橋市人口



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9日 廃棄物処理処分費 <廃棄物の適正処理の推進>	4,612,154,630	0	27,300,000	1,090,701,190	3,494,153,440

1 資源化センター事業費 4,057,769,630円 (資源化センター)

[総括]

市民から排出された「もやすごみ、こわすごみ、大きなごみ、びん・カン、ペットボトル、プラマークごみ、危険ごみ」及び市内業者より排出された「紙くず、木くず、繊維くず」等を適正に処理した。今後リサイクルを促進し、ごみの安定処理に努めていく。

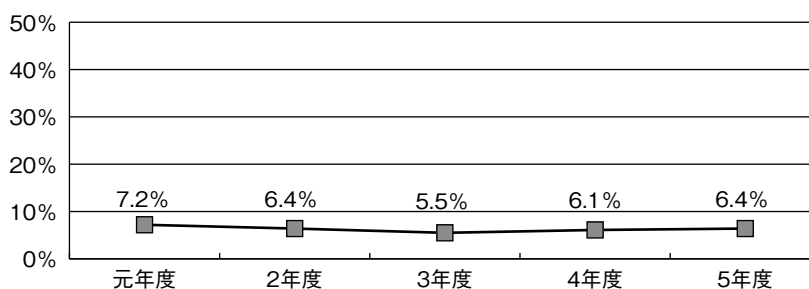
[実績及び成果]

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
ごみ焼却処理量	102,154 t	98,082 t	△ 4.0%
ごみ再利用処理量 (内：危険ごみ処理量)	13,013 (177)	9,254 (170)	△28.9 (△ 4.0)
(内：剪定枝チップ等生産量)	(445)	(431)	(△ 3.1)
こわすごみ(西部)処理量	3,561	3,079	△13.5
びん・カン等処理量	3,237	3,000	△ 7.3
ペットボトル処理量	523	601	14.9
プラマークごみ処理量	4,420	4,234	△ 4.2

- (1) ごみ焼却処理事業費 2,676,736,599円
- (2) ごみ再利用事業費 223,594,936円
- (3) 資源ごみ処理事業費 123,936,104円
- (4) プラスチックごみ処理事業費 101,936,348円

[指標]

指標名：資源化センター施設の残さ率
 指標説明：埋立処理する焼却処理施設・再利用処理施設・資源リサイクルセンターの残さ率



2 埋立処理事業費 150,866,316 円 (埋立処理課)

[総括]

市民から日常生活に伴って排出される埋めるごみについて適正に処理した。また、分別精度の向上やスラグの有効利用等により、残容量率の減少抑制に努めたほか、ごみ処理非常事態宣言により中断していた廃棄物の掘り起こし再生事業を再開し、最終処分場の残余容量を確保した。今後も、これら事業を継続し、最終処分場の延命化を図っていく。

[実績及び成果]

- (1) 埋立処理事業費 150,866,316 円
 (ア) 埋立関連工事費 16,606,700 円

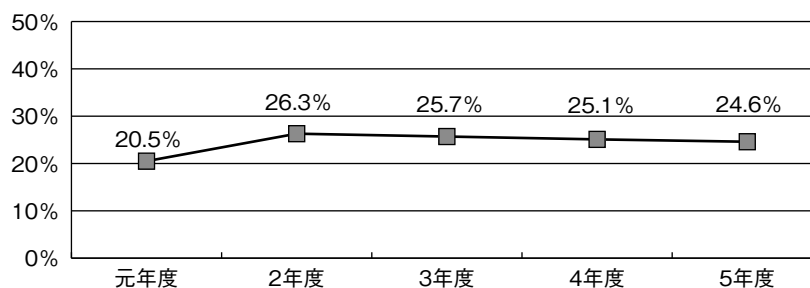
内 容	令和4年度		令和5年度	
	施設整備工事	2件	施設整備工事	3件
農地補修工事	1	農地補修工事	1	

- (イ) 掘起し再生事業費 6,933,145 円
 (ウ) 管理運営費 127,326,471 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
一般廃棄物処分量	12,716 t (10,598m ³)	12,623 t (11,817m ³)	△ 0.7% (11.5%)
産業廃棄物処分量(公共)	288 (480)	318 (530)	10.4 (10.4)
処分実績量(()内覆土含む)	13,004 (11,078)	12,941 (12,347)	△ 0.5 (11.5)

[指 標]

指 標 名：最終処分場残容量率
 指標説明：残容量／全体容量(全体容量 2,008,000m³)



※令和元年度の残容量率は、残容量を埋立容量の累計値から現況測定値に置き換えて算出

※令和2年度に埋立処分計画高を見直したことにより、全体容量を 1,850,000 m³から 2,008,000 m³に変更

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 ごみ処理施設整備費 <安全で安定したごみ処理施設の整備>	849,990,564	0	588,000,000	125,579,000	136,411,564

1 豊橋田原ごみ処理施設整備事業費 849,990,564 円 (施設建設室)

[総括]

ごみ処理の広域化に向けて、DBO手法による豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業を推進する中で、豊橋田原ごみ処理施設の建設工事を進めるとともに、資源化センター内にある既存機能の移転に必要な工事を実施した。今後も既存施設の安全かつ安定的な稼働に留意しながら、新施設の整備事業を計画的に進めていく。

[実績及び成果]

(1) ごみ処理施設整備等事業費 849,990,564 円

内 容	令和4年度	令和5年度
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境影響評価書(変更)の公表 ・ 都市計画(変更)の決定 ・ 資源化センター水処理施設改修工事 ・ 資源化センター西工場棟スロープ拡幅工事 ・ 豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業の契約締結

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11目 廃棄物適正処理対策費 <廃棄物の適正処理の推進>	30,407,609	6,000,000	0	5,580,641	18,826,968

1 一般廃棄物対策事業費 14,599,664 円 (廃棄物対策課)

[総括]

一般廃棄物処理業の許可事務、廃棄物投入許可証の交付事務のほか、不法投棄対策や事業系ごみ対策を行った。不法投棄対策としては、監視カメラや看板の設置により未然防止を図るとともに、警備会社による市内全域の休日、夜間、早朝の監視を行い、早期発見・早期対応に努めた。事業系ごみ対策としては、市内の事業者向けに「事業系ごみ適正処理セミナー」の開催や、排出事業者を対象とした事業系ごみ訪問調査委託を実施するなど事業系ごみの処理方法等について周知した。また、令和2年4月「豊橋市不良な生活環境の解消に関する条例」の施行に伴い、いわゆる「ごみ屋敷」の原因者等に対し、不良な生活環境の解消に向け福祉的・社会的支援を行った。今後も一般廃棄物の適正処理推進に向けた取組みを進める。

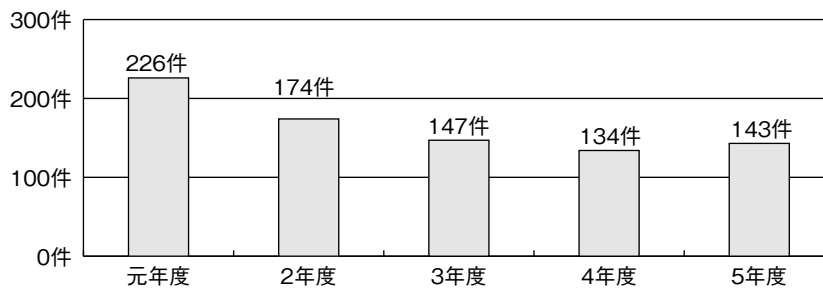
[実績及び成果]

(1) 一般廃棄物対策事務費 14,599,664 円

内 容	令和4年度	令和5年度	比 較
不法投棄等通報	134件	143件	6.7%
一般廃棄物収集運搬業許可	0	18	皆増
廃棄物投入許可	1,815	427	△76.5%
不良な生活環境相談件数	121	174	43.8

[指 標]

指 標 名：不法投棄等通報件数
 指標説明：〃



2 産業廃棄物対策事業費

15,807,945 円（廃棄物対策課）

[総括]

産業廃棄物の適正処理を推進するため、苦情対応や立入記録を庁内型GISで管理し、効率的、統一的な指導・監視を継続するとともに、産業廃棄物処理施設等について、職員による監視が困難な夜間及び休日の監視を警備会社に委託し、監視体制の強化を図った。また、重点的な取組みとして、多量排出事業者への指導・助言を行った。さらに、「豊橋市産業廃棄物処理施設及び汚染土壌処理施設の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例」に基づき、事業者の事業計画に係る手続きの進捗状況を市ホームページで公開し、広く情報提供を行うことにより、産業廃棄物処理施設等に対する住民理解の向上を図ることで紛争の予防に努めた。平成28年8月に施行された改正PCB特別措置法に基づき、昨年度に引き続きPCB含有機器等を所有する疑いのある事業所等への立入をさらに強化し、処理期限内の適正処理指導を実施した。今後も、適正処理に係る指導や助言、紛争予防のための情報提供を進めていく。

[実績及び成果]

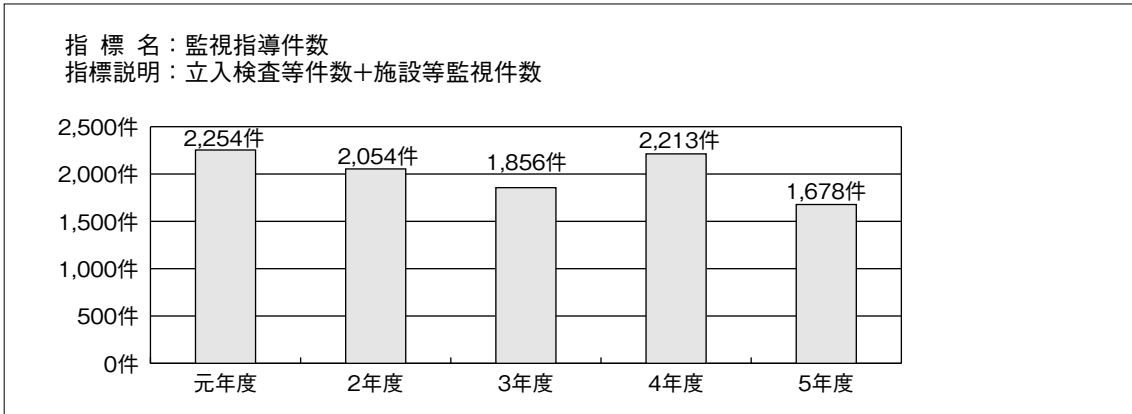
(1) 産業廃棄物処理等許可事務費 56,686 円

内 容	令和4年度	令和5年度	比 較
産業廃棄物関係申請書等受付	5,998件	6,218件	3.7%

(2) 産業廃棄物指導監督事務費 15,751,259 円

内 容	令和4年度	令和5年度	比 較
監視指導件数	2,213件	1,678件	△24.2%
立 入 検 査 等	1,193	773	△35.2
施 設 等 監 視	1,020	905	△11.3

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5 款 労 働 費	261,355,240	11,550,000	0	167,373,225	82,432,015
1 項 労 働 費	261,355,240	11,550,000	0	167,373,225	82,432,015
2 目 就 業 促 進 費 <雇用の安定と人材確保>	76,530,768	11,550,000	0	17,373,225	47,607,543

1 職業訓練センター事業費 5,685,306 円 (商工業振興課)

[総括]

職業訓練センターでは、円滑な職業訓練のため適正な運営管理を行った。今後も技能労働者の訓練の充実と利用者数の増加をめざしていく。

[実績及び成果]

(1) 職業訓練センター管理運営事業費 4,485,306 円

[施設利用者]

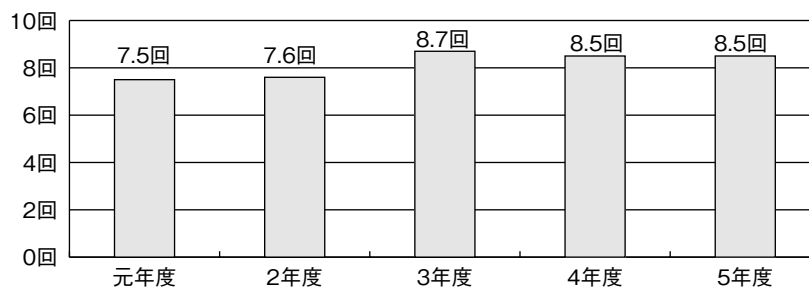
区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	比 較
開 館 日 数	302日	287日	△ 5.0%
利 用 者 数	延 22,946人	延 22,268人	△ 3.0

[普通職業訓練の普通課程訓練生数]

内 容	科 目	令和 4 年度	令和 5 年度	比 較
		木 造 建 築 科	7人	7人
	建 築 板 金 科	3	5	66.7
	造 園 科	2	1	△50.0
	木 工 科	0	0	0.0
	計	12	13	8.3

[指 標]

指 標 名：職業訓練センター 1 日当たりの教室利用回数
 指標説明：教室利用回数／開館日数



2 就業促進事業費

29,226,110 円（商工業振興課）

[総括]

若者の市内企業への就業と定着を促すため、学生を対象とした合同企業説明会や合同企業研究フェアなどを行い、若者と企業の出会いの場を創出した。また、中小企業の人材不足解消のため、働きやすい職場づくりの環境整備や採用広報への助成、従業員への奨学金返還支援など、雇用の促進と定着につながる支援を市内企業に対し行った。今後も、学生と市内企業の出会いの場や、誰もが働きやすい環境づくりへの支援策の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 若年者就職支援事業費 108,280 円

内 容	令和4年度				令和5年度			
	若者就職サポート塾in豊橋	第1回	4.21	第2回	5.19	第1回	4.21	第2回
	第3回	6.23	第4回	9.2	第3回	2.7	第4回	3.14
	第5回	2.13	第6回	3.15				
高校生企業説明会	開催日	12.6			開催日	12.5		
高校生面接体験会	開催日	12.6			開催日	12.5		
	参加延	432人			参加延	342人		

(2) 雇用確保安定事業費 27,817,830 円

(ア) 大型運転免許等取得支援補助金 2,339,000 円

補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		29 件	2,653,000 円	26 件

(イ) 働きやすい職場づくり補助金 2,571,000 円

補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		7 件	5,471,000 円	9 件

(ウ) 奨学金返還支援事業費 4,267,830 円

補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		24 件	3,615,000 円	31 件

(エ) 就職サイト等活用事業費補助金 3,240,000 円

補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		6 件	894,000 円	20 件

(オ) 首都圏人材確保事業費 15,400,000 円

[U I J ターン就業奨励金] 0 円

補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		2 件	200,000 円	0 件

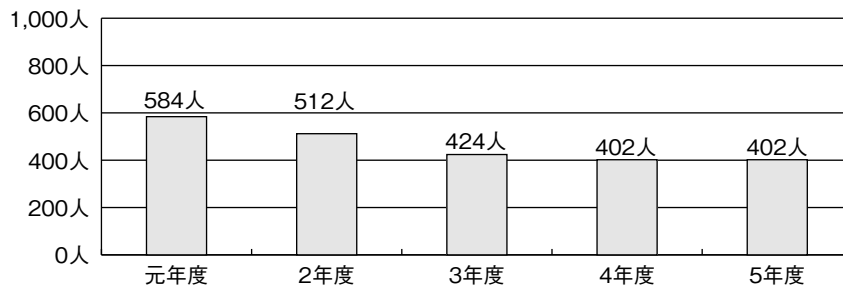
[移住支援事業費補助金] 15,400,000 円

補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		3 件	2,600,000 円	9 件

[指 標]

指 標 名：中学、高校卒業就職者数

指標説明：中学、高校を卒業し、市内事業所に就職した人数



3 とよはし産業人材育成センター管理運営事業費 41,619,352 円（商工業振興課）

[総括]

地域産業を支える人材の育成による地域経済の持続的な成長と地域産業の基盤強化のため、労働安全衛生法に基づく各種講習会や無人航空機操縦士試験の実地試験の受入等を実施した。今後も、広報活動や施設整備等を推進し、地域の産業人材育成拠点の一つとして、各種セミナーや研修、ドローン講習等を通じた人材育成の充実により、地域産業の基盤強化を図っていく。

[実績及び成果]

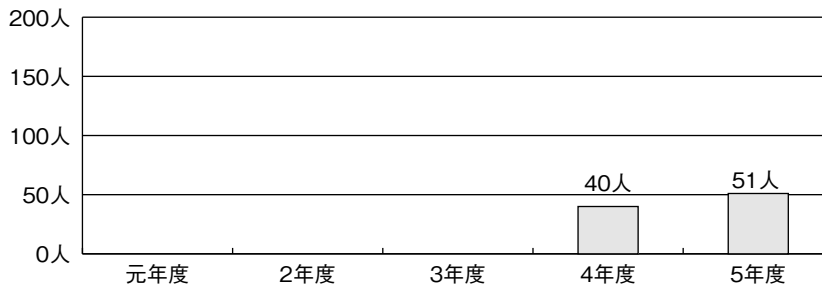
(1) とよはし産業人材育成センター管理運営事業費 41,619,352 円

[施設利用者]

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
開 館 日 数	246日	259日	5.3%
利 用 者 数	延 9,878人	延 13,114人	32.8

[指 標]

指 標 名：とよはし産業人材育成センター1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 労働者福祉費 <労働者の福祉の充実>	159,500,124	0	0	150,000,000	9,500,124

1 勤労者会館管理運営事業費 176,624 円 (商工業振興課)

[総括]

勤労者の福祉の増進及び文化の向上並びに雇用の促進を図る施設として、適正な管理運営を行った。今後も利用者が安心・快適に利用できるよう努めていく。

[実績及び成果]

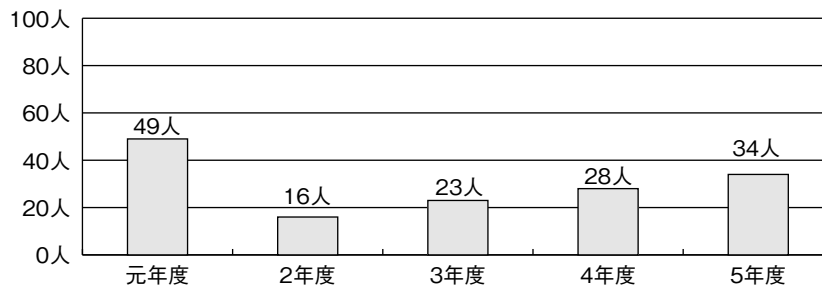
(1) 勤労者会館管理運営事業費 176,624 円

[施設利用者]

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
開 館 日 数	347日	348日	0.3%
利 用 者 数	延 9,699人	延 11,709人	20.7

[指 標]

指 標 名：勤労者会館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



2 労働者福祉対策事業費

8,393,000 円（商工業振興課）

[総括]

勤労者が安心して働くための相談窓口の設置や、勤労者福祉を充実させるための活動に対し支援を行った。今後も勤労者福祉において有意義な事業を行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 労働者文化体育事業費補助金 5,130,000 円

補助金	令和4年度	令和5年度
	4,517,289円	5,130,000円

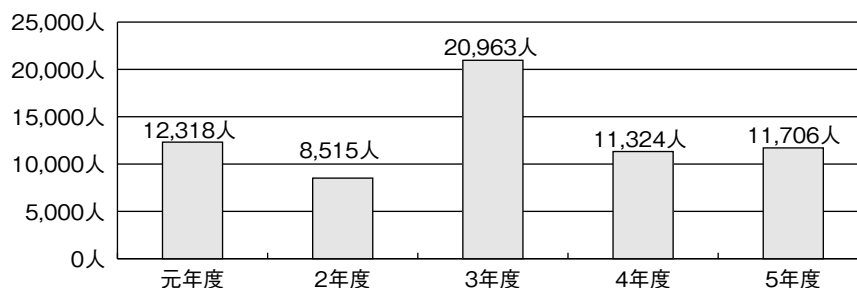
- (2) 労働者福祉サービスセンター事業費補助金 2,253,000 円

補助金	令和4年度	令和5年度
	2,250,500円	2,253,000円

[指標]

指標名：文化・体育事業等への参加延人数

指標説明：勤労者文化体育事業参加者延人数＋労働福祉団体事業参加者延人数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6 款 農 林 水 産 業 費	2,021,134,527	431,391,129	454,000,000	24,749,883	1,110,993,515
1 項 農 林 水 産 業 費	795,167,458	229,862,629	14,800,000	17,442,106	533,062,723
3 目 農 業 経 営 力 強 化 費 < 農 業 者 の 経 営 力 の 強 化 >	193,023,115	113,851,565	0	1,157,186	78,014,364

1 農業生産流通事業費 177,224,658 円 (農業支援課)

[総括]

有害鳥獣による農産物被害の拡大を防ぐため、地域住民が主体となった駆除団体の組織化を進め、適切で安全な駆除活動が実施できるよう支援を行った。また、農家の経営安定を図るため、各種の助成を行った。今後も、農家の健全な経営に資するよう支援に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 水田農業経営所得安定対策推進費補助金 2,026,700 円

区 分	令和4年度	令和5年度
内 容	豊橋市地域農業再生協議会が行う経営所得安定対策の推進事務に対する助成	豊橋市地域農業再生協議会が行う経営所得安定対策の推進事務に対する助成
補 助 金	2,631,000円	2,026,700円

(2) 農作物鳥獣被害防止事業費 8,379,656 円

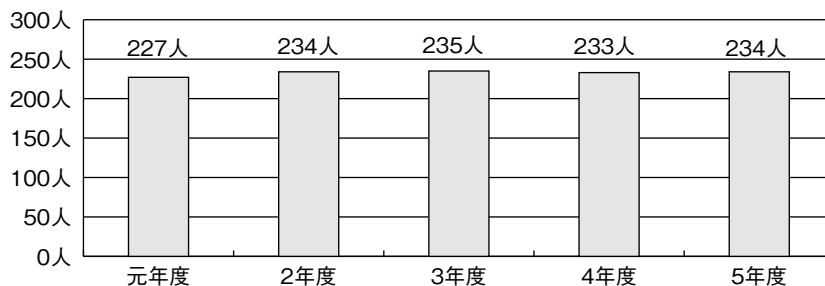
区 分	令和4年度	令和5年度
地域駆除団体数	8団体	8団体
安全講習会の開催	2回	1回

(3) 鶏卵生産者経営安定対策事業補助金 6,127,133 円

区 分	令和4年度	令和5年度
内 容	生産者が負担する経費の一部に対する助成	生産者が負担する経費の一部に対する助成
補 助 金	5,849,383円	6,127,133円

[指 標]

指 標 名：地域駆除団体参加者数
 指標説明： /



2 農業環境対策事業費

1,502,600 円（農業支援課）

[総括]

環境負荷要因となり得る化学肥料や農薬等の各種資材の適正な使用を支援することで、環境負荷の低減及び農作物の安全確保に配慮した農業の普及を推進した。また、スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）による水稲への食害を防止するため支援を行った。今後も化学肥料等の適正使用を支援し、環境に配慮した農業の普及に努めていく。

[実績及び成果]

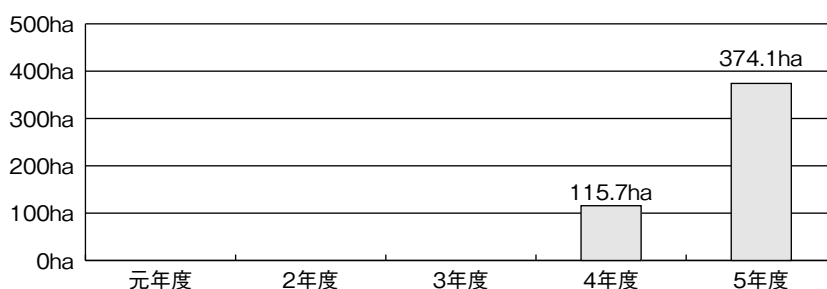
(1) 水田農業支援事業費

695,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度
内 容	スクミリンゴガイの防除対策に関する実証試験に要する経費の一部及び防除対策として使用する薬剤購入費の一部を助成	スクミリンゴガイの防除対策として使用する薬剤購入費の一部を助成
実 証 試 験	1件	—
薬 剤 散 布	15	23件

[指 標]

指 標 名：スクミリンゴガイの防除を目的として薬剤散布を支援した面積（累計）
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 農業者確保育成費 <農業者の確保・育成>	33,313,734	24,455,000	0	0	8,858,734

1 農業人材確保育成事業費 27,469,734 円 (農業企画課・農業支援課・農業委員会事務局)

[総括]

農業人材の確保・育成を図るため、認定農業者や認定新規就農者制度の普及啓発、関係団体と連携した女性農業者の活動支援に取り組むとともに、農業者の経営安定及び農業後継者の就農を促進するため、各種の助成を行った。また、農福連携推進のため、福祉関係者や農業関係者などが参加するセミナーや検討会議を開催した。今後も本市農業の発展のため、担い手の確保・育成に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 担い手育成事業費 432,758 円

区 分	令和4年度	令和5年度
農業経営改善計画等の認定件数	122件	114件

(2) 農業人材力強化総合支援事業費 24,455,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度
内 容	経営開始直後の新規就農者に対する助成	経営開始直後の新規就農者に対する助成
補 助 金	11,250,000円	24,455,000円

(3) 農業人材確保環境整備事業費 23,400 円

区 分	令和4年度	令和5年度
内 容	認定農業者の家族等が大型特殊免許を取得するための費用や、認定農業者の後継者が就農する際の設備投資等に対する助成、及び中心経営体等から経営移譲を受けた後継者の経営発展に向けた取組みに対する助成	認定農業者の家族等が大型特殊免許を取得するための費用に対する助成
補 助 金	11,418,300円	23,400円

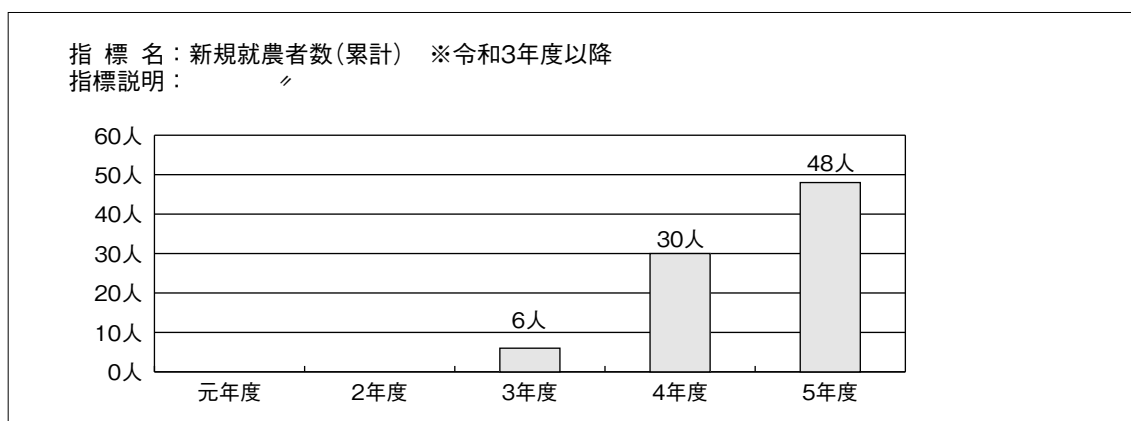
(4) 農福連携推進事業費 2,272,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度
内 容	農福連携の現地見学会及び意見交換会を実施、検討会議の開催	農福連携のセミナー及び検討会議の開催

(5) 農業後継者花嫁花婿対策推進事業補助金 266,576 円

区 分	令和4年度	令和5年度
内 容	男女交流会の開催	座談会、男女交流会の開催
補 助 金	215,589円	266,576円

[指 標]



2 次世代農業推進事業費 5,844,000 円（農業企画課）

[総 括]

全国でも有数の先端施設園芸が集積する本地域における生産性の向上や農業後継者の育成等の課題に対処するため、植物工場の管理者等最先端的な農業を担う次世代人材の育成に対し助成した。また、次世代を担う小学生から大学生までを対象にふるさと農業講座を実施した。今後も、本市農業の持続と更なる発展のため、先端農業技術の普及促進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 次世代「農力」UPアカデミー事業費 5,844,000 円

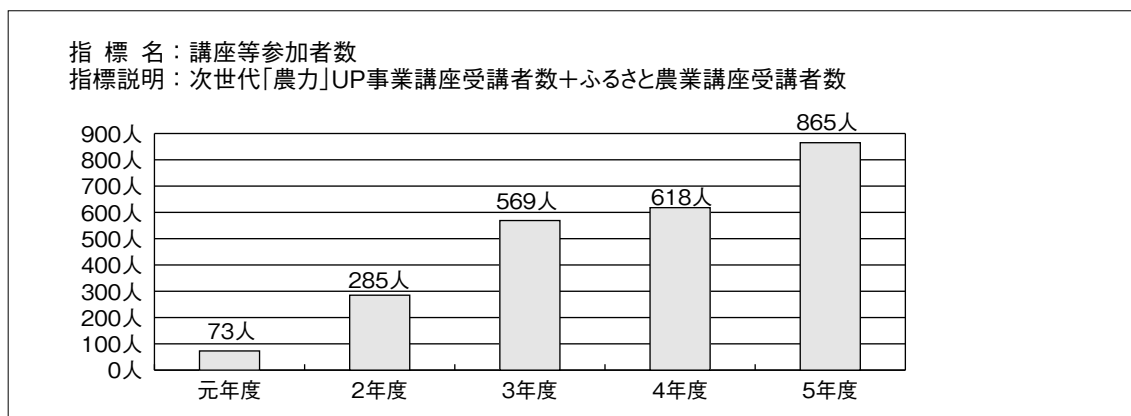
(ア) 次世代「農力」UPアカデミー事業補助金 5,700,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度
内 容	全国でも最先端の技術を有する本市農業を担う人材の育成・確保に取り組むため、地域における植物工場等先端農業技術者の育成及び市民講座を開催	全国でも最先端の技術を有する本市農業を担う人材の育成・確保に取り組むため、地域における植物工場等先端農業技術者の育成及び市民講座を開催
補 助 金	5,700,000円	5,700,000円

(イ) 次世代農業者育成事業費 144,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度
ふるさと農業講座の実施校数	12校	17校

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 産地競争力強化費 <競争力の高い産地づくりの推進>	79,857,356	38,214,000	0	4,080,100	37,563,256

1 農産物ブランド化推進事業費 9,425,530円 (農業企画課)

[総括]

豊橋産農産物の需要や消費の拡大を図るため、首都圏等においてフェアやマルシェなどでPRを実施したほか、消費宣伝事業等に対する助成を行った。今後も本市農産物の長を分かりやすく消費者に伝えながら、より効果的なプロモーションを継続して行っていく。

[実績及び成果]

(1) 農産物ブランド化推進事業費 9,425,530円

(ア) 豊橋産農産物販売促進事業補助金 3,600,000円

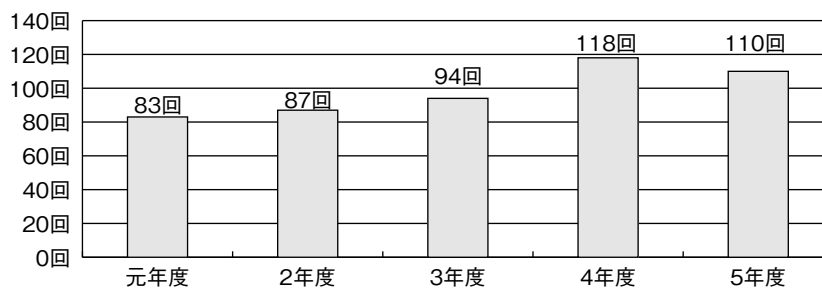
区 分	令和4年度	令和5年度
内 容	産地交流事業、販売促進事業、消費宣伝事業、商品開発・ブランド化事業、食育・花育事業	産地交流事業、販売促進事業、消費宣伝事業、商品開発・ブランド化事業、食育・花育事業
事 業 費	7,989,458円	10,447,370円
補 助 金	3,600,000	3,600,000

(イ) 豊橋産農産物PR事業費 5,825,530円

	令和4年度	令和5年度
内 容	首都圏における豊橋フェアの開催やマルシェの実施、JA全農が運営するレストラン及びメルセデスミーレストランでのPRなど	首都圏における豊橋フェアの開催やマルシェの実施、JA全農が運営するレストラン及びメルセデスミーレストランでのPRなど

[指標]

指標名：豊橋産農産物販売促進活動実施回数
 指標説明：〃



2 豊橋田原広域農業推進事業費 3,015,000 円（農業企画課）

[総括]

豊橋田原地域における農業の活性化を目的として、農産物輸出と食農教育を推進するとともに、ファーマーズマーケットの活動を推進した。今後も広域連携に基づく各種事業を継続的に実施することにより地域農業の活性化を推進していく。

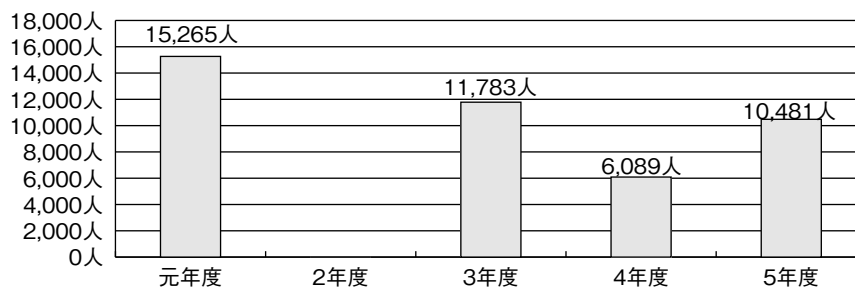
[実績及び成果]

(1) 豊橋田原広域農業推進会議負担金 3,015,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度
事業主体	豊橋田原広域農業推進会議	豊橋田原広域農業推進会議
内 容	農産物収穫体験、食農教育推進フォーラムの開催、海外向け販売促進用の販促資材作成、香港・タイ・マレーシアにおける販売促進活動、ファーマーズマーケット活動推進のための販促資材の作成、タイ向け農産物輸出に向けた規格認証及び残留農薬検査など	農産物収穫体験、食農教育推進フォーラムの開催、海外向け販売促進用の販促資材作成、香港・タイ・マレーシアにおける販売促進活動、ファーマーズマーケット活動推進のための販促資材の作成、タイ向け農産物輸出に向けた規格認証、残留農薬検査及び輸出実証実験など
事業費	8,014,567円	8,043,717円
負担金	2,607,000	3,015,000

[指標]

指標名：豊橋田原食農教育推進フォーラム参加人数
 指標説明：〃



3 海外販路開拓推進事業費

2,996,106 円（農業企画課）

[総括]

シンガポールへの既存品目を継続して輸出するとともに、販促資材を活用したPRを行った。また、田原市、飯田市との三遠南信連携により、米国向け花きの販促資材を制作した。今後も、海外販路の開拓のため、効果的な事業の推進に努めていく。

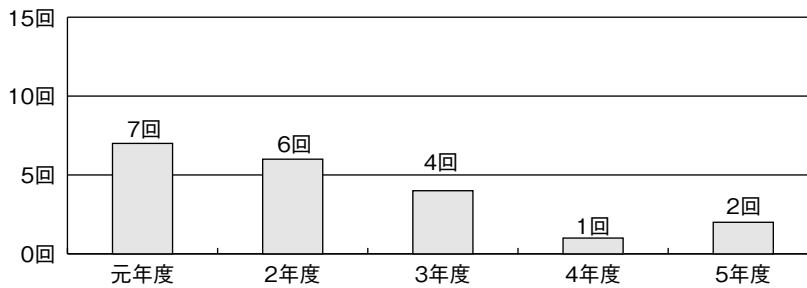
[実績及び成果]

(1) 豊橋産農産物海外販路開拓事業費 2,996,106 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	シンガポールへの常設店舗への既存品目の輸出継続、販促資材を活用したPR、米国向け花きの販促資材制作など	シンガポールへの常設店舗への既存品目の輸出継続、販促資材を活用したPR、米国向け花きの販促資材制作など

[指 標]

指 標 名：消費宣伝活動の実施回数
 指標説明：海外の店舗等におけるプロモーション活動回数



4 農業経営高度化事業費 56,778,400 円（農業支援課）

[総括]

栽培技術の高度化と経営規模の拡大を促進することを目的に、次世代施設園芸愛知県拠点のほか、農業者が行う農業機械の導入等に対して支援した。今後も農業経営の高度化を促し、産地競争力の強化を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 次世代施設園芸導入加速化支援事業補助金 16,675,400 円

区 分	令和4年度	令和5年度
内 容	次世代施設園芸愛知県拠点の管理運営に対する助成	次世代施設園芸愛知県拠点の管理運営に対する助成
補 助 金	16,675,400円	16,675,400円

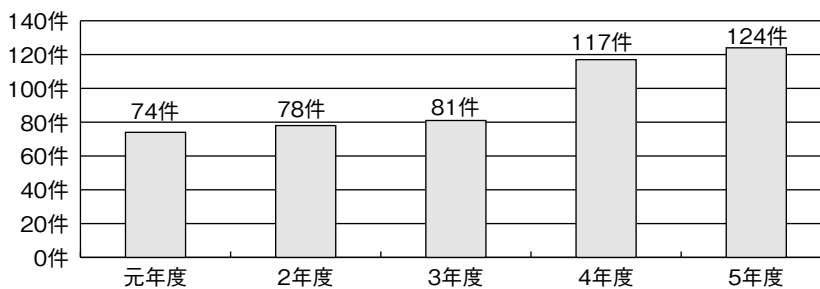
(2) 豊橋市あいち型産地パワーアップ事業補助金 40,103,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度
内 容	農業機械、施設等の導入等に対する助成	農業機械、施設等の導入等に対する助成
補 助 金	9,166,000円	40,103,000円

[指 標]

指 標 名：先端技術を活用した園芸施設等の普及に対する支援件数(累計)

指標説明：国・県の支援により栽培技術の高度化を推進するための施設整備等を行った農業者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 地産地消推進費 <地産地消の推進>	33,853,739	5,227,839	0	9,290,862	19,335,038

1 道の駅食農拠点推進事業費 10,767,407円 (農業企画課)

[総括]

開駅5年目となる道の駅「とよはし」では、農業者の6次産業化商品の開発支援・販売促進や地元農産物の購買促進のためSNS等での発信を行ったことなどにより来場者数216万人を達成した。

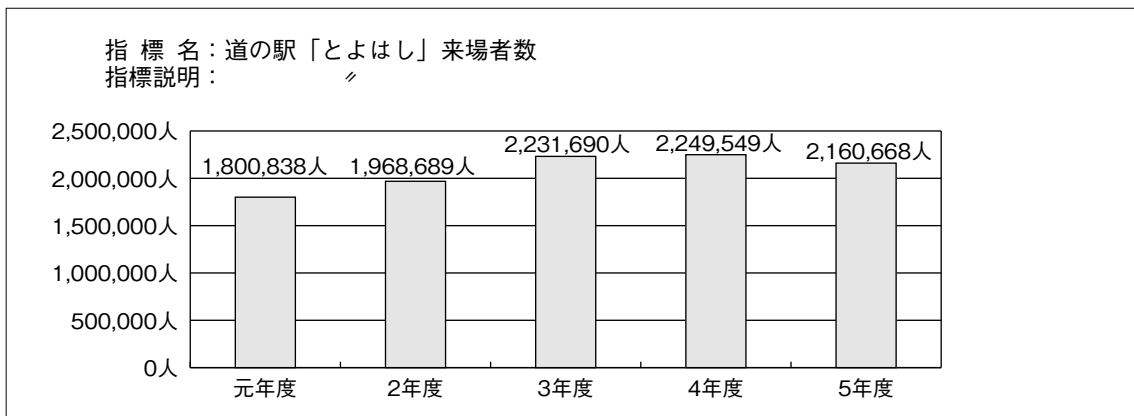
今後も食と農の拠点として、多様で魅力的なサービスの提供、市内外への情報発信を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 道の駅食農拠点推進事業費 10,767,407円

内 容	令和4年度	令和5年度
	6次産業化のセミナー開催や商品開発支援、フリーペーパーやSNS等を利用し、道の駅「とよはし」から豊橋の食と農の魅力を発信	6次産業化のセミナー開催や商品開発支援、フリーペーパーやSNS等を利用し、道の駅「とよはし」から豊橋の食と農の魅力を発信

[指標]



2 都市農村交流促進事業費 10,589,731 円（農業支援課）

[総括]

市民が土に親しみ生産の喜びを体験することで農業への知識や理解を深める機会を提供するため、市民ふれあい農園の管理運営を行った。今後も市民の農業への理解及び関心を高めるための事業や農産物の消費拡大を図るための事業を行っていく。

[実績及び成果]

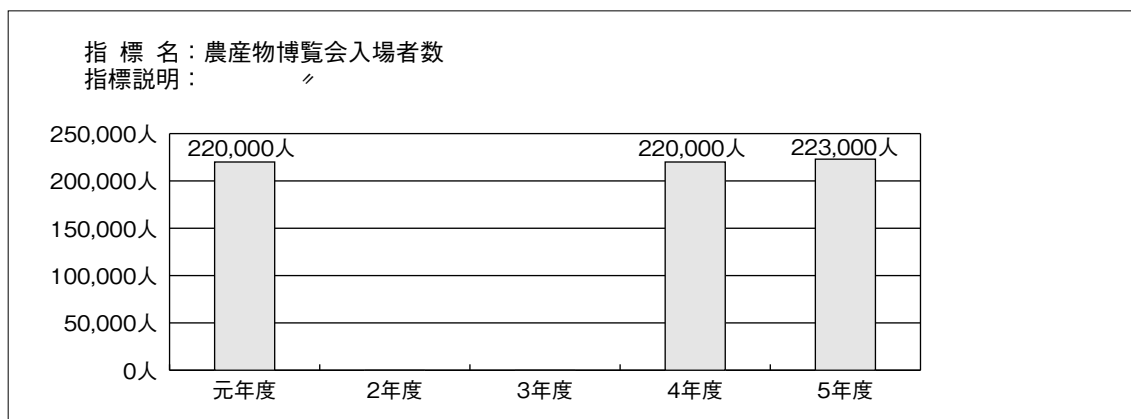
(1) 市民ふれあい農園事業費 7,889,731 円

区 分	令和4年度	令和5年度
農園利用者数	236人	236人
栽培講習会の開催	4回	3回

(2) 農産物博覧会振興補助金 2,700,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度
開催期間	10.15～10.16	10.21～10.22
開催場所	豊橋公園	豊橋公園
事業費	2,970,000円	2,960,000円
補助金	2,700,000	2,700,000

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 森林・海岸保全費 <治山・治水対策の充実>	71,641,131	16,964,750	14,800,000	837,526	39,038,855

1 森林環境整備推進事業費 10,687,642 円 (農業支援課)

[総括]

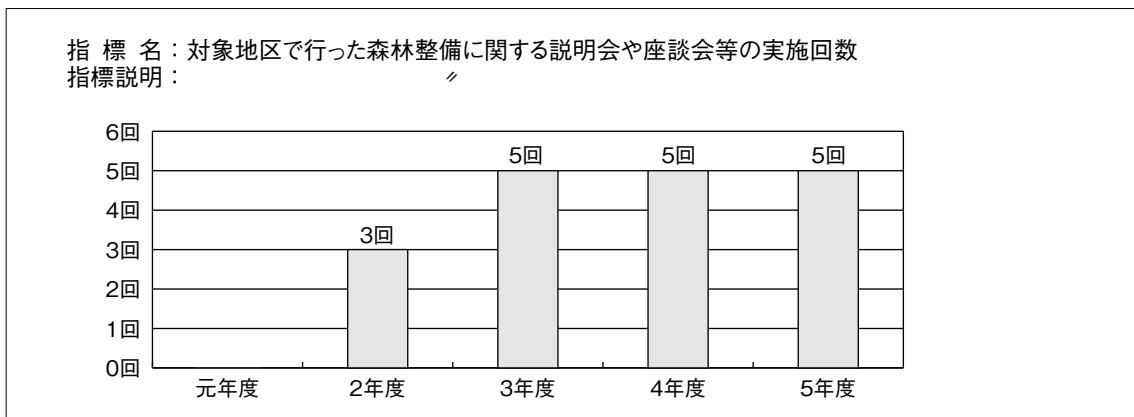
森林所有者の高齢化などにより、手入れの行き届かない人工林の把握及び健全化を推進するため、市内4か所の対象地区について森林整備及び森林整備事業実施に向けた森林所有者との協定締結や現地調査、令和6年度以降に実施する森林管理の意向調査及び分析を行った。今後も、本市が主体となって人工林の適正管理に向けた取組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 森林環境整備推進事業費 10,687,642 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	対象地区の森林整備事業実施に向けた森林所有者との事前調整や現地調査、令和5年度以降に実施する森林管理の意向調査及び分析	

[指標]



2 市民ふれあいの森管理事業費 1,636,325 円 (農業支援課、観光プロモーション課)

[総括]

北部地域に位置する吉祥山を、登山や林業体験などの活動や森林浴など市民の憩いの場として利用できるよう施設の維持管理や登山道の整備を行った。今後も、健康登山や植物観察など利用目的の多様化に応じた施設維持を図っていく。

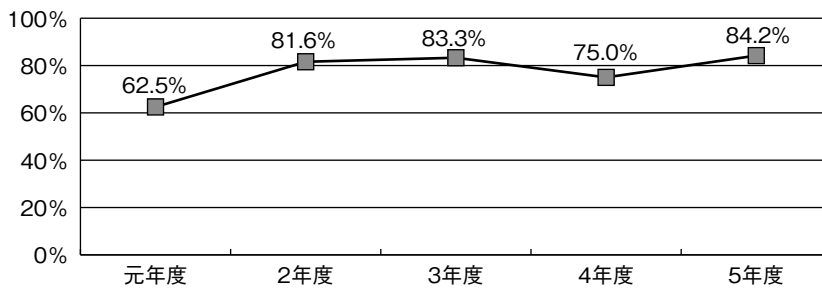
[実績及び成果]

(1) 市民ふれあいの森管理事業費 1,636,325 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	草刈、浄化槽保守管理	

[指 標]

指 標 名：市民ふれあいの森利用者満足度
指標説明：アンケート満足者数／アンケート総数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 農地整備費	1,225,967,069	201,528,500	439,200,000	7,307,777	577,930,792
2目 農業生産基盤整備費 <農業生産を支える基盤の充実>	1,068,737,167	201,528,500	439,200,000	7,200,000	420,808,667

1 かんがい排水整備事業費 63,556,963 円 (農業支援課)

[総括]

農業用排水施設の機能を強化することにより、水資源の有効利用と農業経営の安定化を図った。今後も県及び各関係機関との調整を密に行い、事業進捗を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 県営かんがい排水事業補助金 8,999,934 円

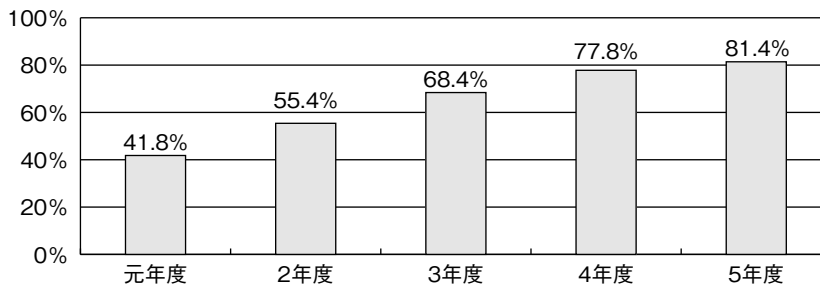
区分 地区名	令和4年度		令和5年度	
	事業費	補助金	事業費	補助金
二回地区	72,999,816円	11,284,298円	—	—
神野新田地区	277,099,300	27,709,930	89,999,345円	8,999,934円

(2) 県営かんがい排水事業負担金 2,919,282 円

区分 地区名	令和4年度		令和5年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
牟呂明治地区	32,399,400円	3,239,940円	29,999,122円	2,919,282円

[指標]

指標名：県営かんがい排水事業進捗率
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成28年度～令和9年度)



※二回地区事業完了に伴う全体直接事業費見直しのため、元年度～4年度指標を再計算

(3) 単県土地改良事業補助金 43,423,917 円

内 容	令和4年度		令和5年度	
	事業費	補助金	事業費	補助金
土地改良区への補助	218,056,300円	35,490,990円	297,473,000円	43,423,917円

(4) 土地改良施設維持管理事業補助金 8,213,830 円

内 容	令和4年度		令和5年度	
	事業費	補助金	事業費	補助金
用水機維持管理事業補助金	96,476,000円	7,763,282円	85,977,000円	7,763,830円
土地改良施設維持管理 適正化事業補助金	2,500,000	250,000	4,500,000	450,000

2 ため池等整備事業費 252,237,064 円（農業支援課・河川課）

[総括]

ため池の適切な状態を維持し安全対策と機能保持を図った。今後もため池施設の適正な維持管理を行っていく。

[実績及び成果]

(1) ため池等維持管理適正化事業費 10,631,200 円

内 容	令和4年度	令和5年度
工 事 費	3,098,700円	9,011,200円
負 担 金	2,565,000	1,620,000

(2) ため池維持補修事業費 215,461,776 円

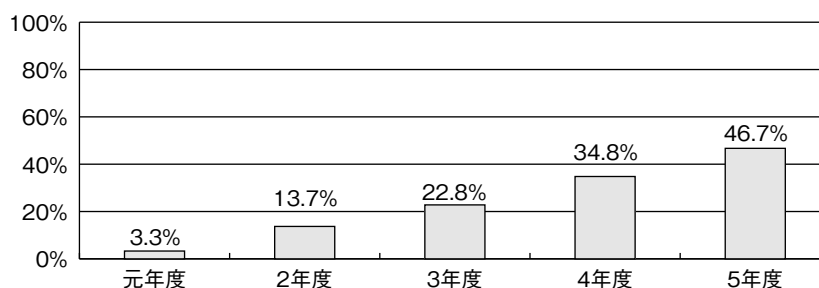
内 容	令和4年度	令和5年度
除 草 委 託	248,680㎡	241,980㎡

(3) 県営防災ダム事業負担金 19,144,235 円

区 分 地区名	令和4年度		令和5年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
嵩山池地区	59,454,500円	6,539,995円	45,390,500円	4,992,955円
ひょうたん池地区	30,800,000	3,388,000	667,700	73,447
三太郎池地区	61,999,000	6,819,890	55,253,900	6,077,929
上庄池地区	—	—	49,999,400	7,999,904

[指標]

指標名：県営防災ダム事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成30年度～令和8年度）



※上庄池地区追加に伴う全体直接事業費見直しのため、元年度～4年度指標を再計算

(4) 県営湖岸堤防事業負担金 6,999,853 円

区 分 地区名	令和4年度		令和5年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
神野新田3期地区	10,139,700円	1,419,558円	49,998,957円	6,999,853円

3 ほ場整備事業費 88,041,225 円（農業支援課）

[総括]

ほ場整備により農地の集団化と利用集積を行い、農業生産性を高め農業経営の安定化を図った。今後もほ場整備事業推進のため、地元や関係機関とより連携して事業を進めていく。

[実績及び成果]

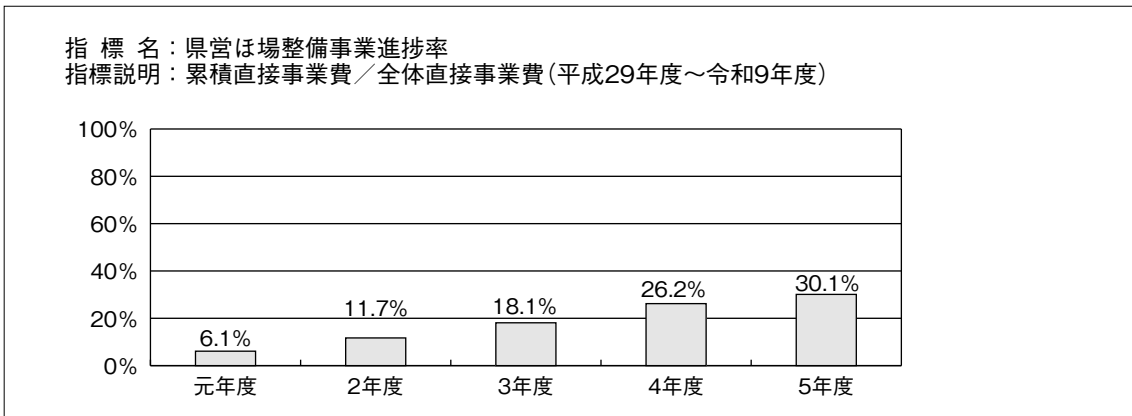
(1) 県営ほ場整備事業補助金 24,663,917 円

区分 地区名	令和4年度		令和5年度	
	事業費	補助金	事業費	補助金
三郷地区	426,998,927円	33,021,265円	429,998,800円	23,179,332円
東細谷地区	420,138,748	8,839,253	126,999,260	1,484,585

(2) 県営ほ場整備事業負担金 63,377,308 円

区分 地区名	令和4年度		令和5年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
三郷地区	426,998,927円	41,808,195円	429,998,800円	42,999,880円
東細谷地区	420,138,748	73,374,836	126,999,260	20,377,428

[指標]



4 農道整備事業費 9,965,320 円（農業支援課）

[総括]

農道整備を推進し、農作物運搬効率の向上、農業経営の安定及び農村生活環境の向上を図った。今後も県及び各関係機関との調整を密に行い、事業進捗を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 農道維持補修事業費 9,965,320 円

内容	令和4年度	令和5年度
		舗装工等 一式

5 農村保全活動推進事業費 209,826,000 円（農業支援課）

[総括]

地域資源（農用地・水路・農道等）の保全管理などの地域の共同活動に対し支援を行い、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図った。今後も、活動に関する指導、助言を行い、自然環境の保全、良好な景観の形成等の多面的機能の適切かつ十分な発揮につなげていく。

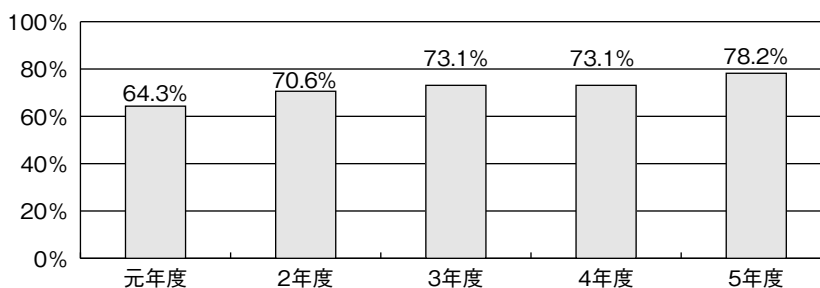
[実績及び成果]

(1) 農村保全活動推進事業費 209,826,000 円

内 容	令和4年度	令和5年度
活動組織数	35組織	39組織
事業費	195,863,600円	209,826,000円

[指標]

指標名：対象農用地面積に対する活動面積の比率(カバー率)
 指標説明：活動面積／対象農用地面積(市内農振農用地区域内の農用地面積)



6 農業用排水機場整備事業費 270,714,952 円（河川課）

[総括]

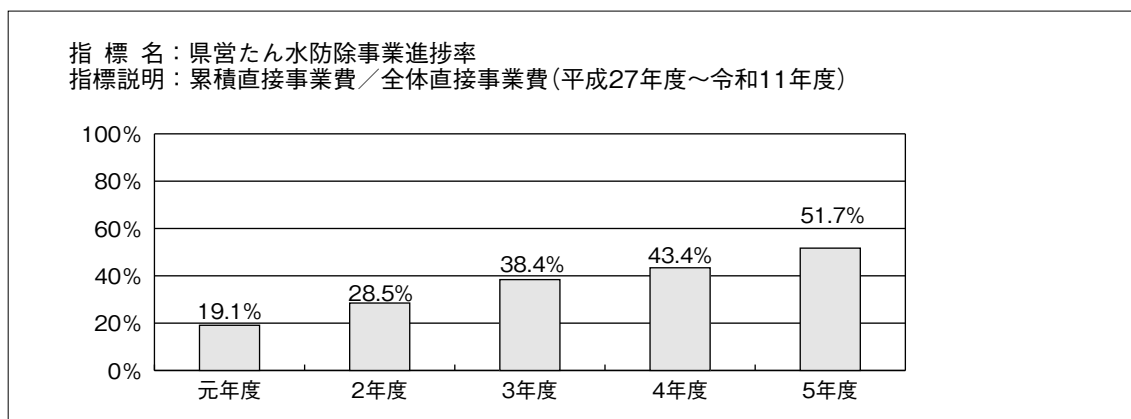
施設の老朽化に伴い能力が低下した排水機場、排水路等を更新することにより、農地のたん水被害を未然に防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図った。今後も計画的な事業進捗に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 県営たん水防除事業負担金 112,799,416 円

区分 地区名	令和4年度		令和5年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
新清須地区	159,999,202円	23,999,880円	139,999,102円	20,999,865円
新高師地区	67,685,220	10,152,783	39,999,499	5,999,924
野依地区	26,403,896	3,432,506	89,999,496	11,699,934
新梅藪地区	99,999,542	12,999,940	109,999,642	14,299,953
三郷地区	151,737,700	19,725,901	422,653,000	54,944,890
吉田方地区	—	—	37,345,000	4,854,850

[指標]



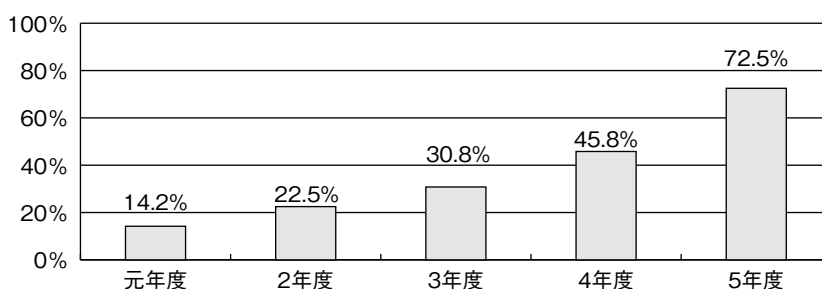
※各地区の事業費変更に伴う全体直接事業費見直しのため、元年度～4年度指標を再計算

(2) 県営緊急農地防災事業負担金 68,878,139 円

区分 地区名	令和4年度		令和5年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
大村東地区	94,559,300円	14,183,895円	7,272,398円	1,090,859円
大村西地区	162,929,800	24,439,470	451,915,200	67,787,280

[指 標]

指 標 名：県営緊急農地防災事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成28年度～令和9年度)



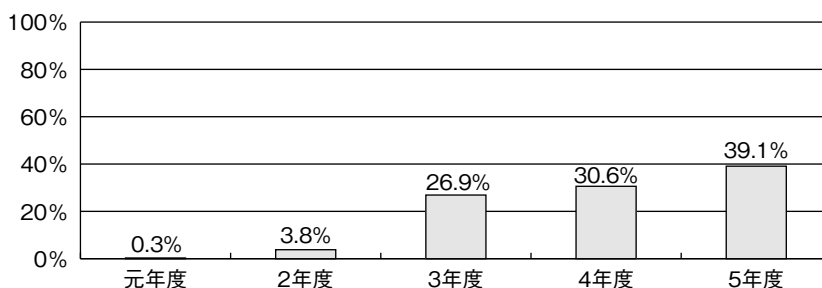
※各地区の事業費変更に伴う全体直接事業費見直しのため、元年度～4年度指標を再計算

(3) 農業水利施設保全対策事業負担金 19,189,544 円

区 分 地区名	令和4年度		令和5年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
豊橋西部地区	35,173,600円	6,682,984円	72,999,300円	13,869,867円
八王子地区	7,999,200	1,519,848	19,999,100	3,799,829
宇塚地区	—	—	7,999,200	1,519,848

[指 標]

指 標 名：農業水利施設保全対策事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(令和元年度～令和8年度)



※各地区の事業費変更に伴う全体直接事業費見直しのため、元年度～4年度指標を再計算

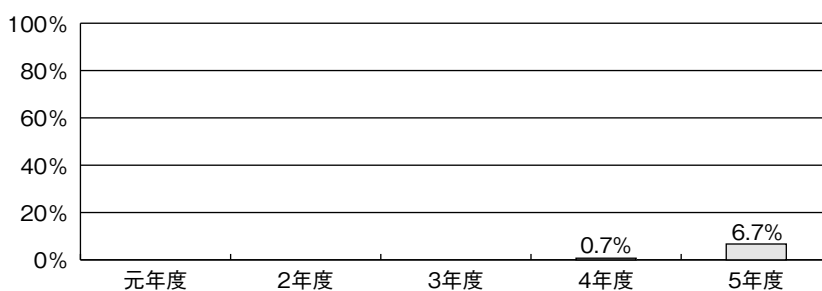
(4) 用排水施設整備事業負担金 26,645,353 円

区 分 地区名	令和4年度		令和5年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
三協排水路地区	13,750,000円	2,887,500円	126,882,637円	26,645,353円

[指 標]

指 標 名：用排水施設整備事業進捗率

指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(令和4年度～令和10年度)



- (5) 緊急農地防災事業費 31,201,500 円

地 区 名	令和 4 年度	令和 5 年度
緑 地 区	組立水路工 一式	組立水路工 一式

- (6) 農業水路等長寿命化・防災減災事業費 12,001,000 円

地 区 名	令和 4 年度	令和 5 年度
船 渡 地 区	—	実施設計 一式

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7 款 商 工 費	2,947,109,447	493,907,750	0	1,191,174,588	1,262,027,109
1 項 商 工 費	2,947,109,447	493,907,750	0	1,191,174,588	1,262,027,109
2 目 経営力強化支援費 <経営基盤の強化と人材育成への支援>	1,763,595,561	459,855,000	0	1,005,179,000	298,561,561

1 中小企業振興事業費

531,970,463 円 (産業政策課・商工業振興課)

[総括]

中小企業の経営基盤強化のため、事業承継や人材育成などの事業継続に向けた支援を行った。また、企業BCP (事業継続計画) 等の普及・啓発を目的として、策定に向けたセミナーを開催するとともに、策定に係る経費を助成した。今後も継続して中小企業の経営基盤の強化を図るとともに、業態転換などの新たなチャレンジを支援していく。

[実績及び成果]

(1) 設備投資等支援事業費 152,815,780 円

(ア) 中小企業振興助成金 152,815,780 円

助 成 金	令和4年度		令和5年度	
		158件	135,799,360円	174件

(2) 事業承継支援事業費 367,175 円

セ ミ ナ ー 受 講 者 数	令和4年度		令和5年度	
	会場受講	延 48人	会場受講	延 58人
	WE B 受講	延 41	WE B 受講	延 32

(3) 企業BCP策定支援事業費 126,000 円

(ア) 企業BCP等策定推進事業費 66,000 円

内 容	令和4年度		令和5年度	
	セミナー開催	延 76人	セミナー開催	延 127人

(イ) 企業BCP等策定支援事業費補助金 60,000 円

補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		4件	120,000円	2件

(4) 商業振興事業費 3,874,961 円

(ア) 商業団体共同事業補助金 495,000 円

補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		4団体	204,000円	4団体

(イ) 新ビジネスチャレンジ応援事業 3,379,961 円

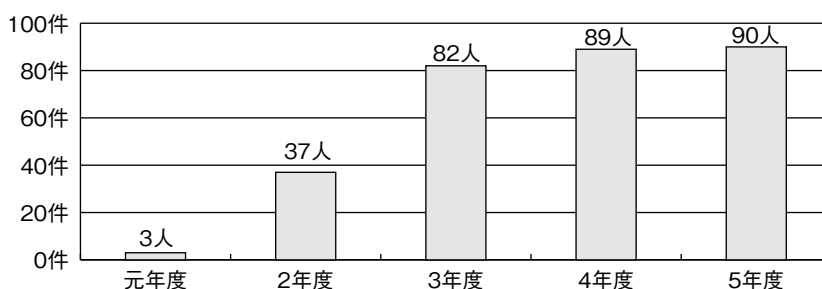
補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		11件	1,764,000円	14件

(5) マイナポイントを活用した消費活性化事業費 14,904,020 円

内 容	令和4年度		令和5年度	
	マイナポイント支援コーナーを設置 事業周知のための広報活動を実施		マイナポイント支援コーナーを設置 事業周知のための広報活動を実施	

[指 標]

指 標 名：事業承継セミナー参加者数
 指標説明：



2 制度融資事業費 1,189,443,654 円（商工業振興課）

[総 括]

中小企業に対する金融機関の融資の停滞を防ぎ、中小企業が経営基盤を安定・強化できるように、小口事業資金融資や小規模企業等振興資金融資などの原資として預託を行った。今後も融資制度の利用を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 制度融資資金預託金 1,004,000,000 円

[預託金合計]

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
預 託 額		1,036,000,000円	1,004,000,000円	△ 3.1%
融 資 枠		3,858,000,000円	3,792,000,000円	—
融 資 実 績	件数	653件	714件	9.3
	金額	2,598,321,000円	2,728,675,000円	5.0
融 資 実 績 率		67.3%	72.0%	4.7ポイント

(ア) 小口事業資金預託金 509,000,000 円

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか15金融機関	豊橋信用金庫ほか16金融機関	—
預 託 額		509,000,000円	509,000,000円	0.0%
融 資 枠		1,527,000,000円	1,527,000,000円	—
融 資 実 績	件数	66件	87件	31.8
	金額	568,970,000円	623,245,000円	9.5
融 資 実 績 率		37.3%	40.8%	3.5ポイント

(イ) 経営安定資金預託金 44,000,000 円

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
預 託 先		岡崎信用金庫ほか15金融機関	岡崎信用金庫ほか15金融機関	—
預 託 額		100,000,000円	44,000,000円	△56.0%
融 資 枠		300,000,000円	132,000,000円	—
融 資 実 績	件数	14件	4件	△71.4
	金額	68,200,000円	15,500,000円	△77.3
融 資 実 績 率		22.7%	11.7%	△11.0ポイント

(ウ) 小規模企業等振興資金預託金 260,000,000 円

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか16金融機関	豊橋信用金庫ほか16金融機関	—
預 託 額		250,000,000円	260,000,000円	4.0%
融 資 枠		1,500,000,000円	1,560,000,000円	—
融 資 実 績	件数	424件	487件	14.9
	金額	1,430,950,000円	1,615,320,000円	12.9
融 資 実 績 率		95.4%	103.5%	8.1ポイント

(エ) 中心市街地商業活性化資金預託金 15,000,000 円

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
預 託 先		豊川信用金庫ほか12金融機関	豊川信用金庫ほか12金融機関	—
預 託 額		25,000,000円	15,000,000円	△40.0%
融 資 枠		75,000,000円	45,000,000円	—
融 資 実 績	件数	0件	4件	皆増
	金額	0円	18,000,000円	皆増
融 資 実 績 率		0.0%	40.0%	40.0ポイント

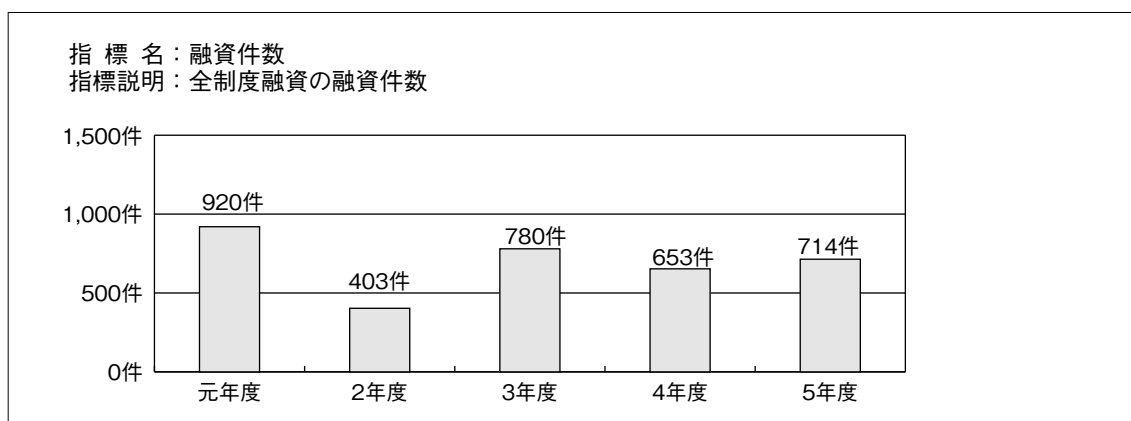
(オ) 創業支援資金預託金 160,000,000 円

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか7金融機関	豊橋信用金庫ほか8金融機関	—
預 託 額		127,000,000円	160,000,000円	26.0%
融 資 枠		381,000,000円	480,000,000円	—
融 資 実 績	件数	141件	129件	△ 8.5
	金額	506,960,000円	449,210,000円	△11.4
融 資 実 績 率		133.1%	93.6%	△39.5ポイント

(カ) 小規模事業資金預託金 16,000,000 円

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか11金融機関	豊橋信用金庫ほか11金融機関	—
預 託 額		18,000,000円	16,000,000円	△11.1%
融 資 枠		54,000,000円	48,000,000円	—
融 資 実 績	件数	8件	3件	△62.5
	金額	23,241,000円	7,400,000円	△68.2
融 資 実 績 率		43.0%	15.4%	△27.6ポイント

[指 標]



3 人材育成事業費 35,541,808円 (産業政策課・地域イノベーション推進室・商工業振興課)

[総 括]

市内企業の事業活動を支えるため、情報関連技術や経営力向上等に関する研修を実施した。また、本市をはじめ大学や金融機関など様々な機関が一体となって行う社会人向けの人材育成の取組みに対して助成したほか、南部窓口センター2階で大学生・高校生の交流スペース「ガクラボ」を運営し、学生が企業の魅力を発見し、その発信を行う講座などを開催した。今後も産業を支える人材の育成を積極的に推進していく。

[実績及び成果]

- (1) 人材育成支援事業費 25,385,871円
 (ア) 中小企業人材育成支援研修事業費 23,754,995円

セミナー受講者数	令和4年度	令和5年度
	154人	286人 (うち人材確保セミナー 110人)

※令和5年度より5款1項2目雇用定着促進啓発セミナーが人材確保セミナーとして移管

- (2) 社会人キャリアアップ支援事業補助金 3,150,000円

補助金	令和4年度	令和5年度
	3,150,000円	3,150,000円

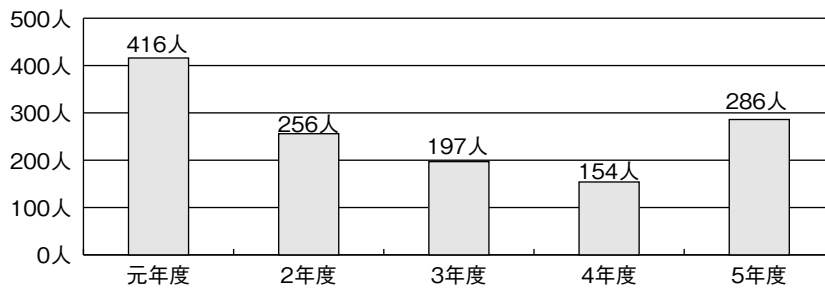
- (3) 学生の学びと交流空間運営事業費 7,005,937円

内 容	令和4年度	令和5年度
	大学生・高校生の交流スペース「ガクラボ」を運営し、学生の意欲的な自主活動を支援したほか、企業の魅力発見・発信講座を実施	大学生・高校生の交流スペース「ガクラボ」を運営し、学生の意欲的な自主活動を支援したほか、企業の魅力発見・発信講座を実施

[指 標]

指 標 名：人材育成事業参加者数

指標説明：中小企業人材育成支援研修参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 新事業創出費 〈スタートアップの促進と新たなビジネスモデルの創出支援〉	261,059,401	16,000,000	0	124,700,996	120,358,405

1 新事業創出事業費 261,059,401円 (地域イノベーション推進室・商工業振興課)

[総括]

衛星データを活用したサービス創出のための実証実験への支援、スタートアップと市職員の協働による地域課題の解決に向けた実証実験の実施、農業者・地域企業・研究者とスタートアップとの共創プロジェクトづくり、ものづくり・夢づくり支援事業による起業支援などの、新たなビジネス創出につなげる様々な取組みを行った。また、特色ある技術を持った事業者が活躍し、地域における新産業を創出するため、産学連携等による新技術または新製品開発を目指す取組みに対して助成した。今後も地域での新事業創出に向けた取組みを推進していく。

[実績及び成果]

(1) オープンデータビジネス創出事業費 14,012,300円

内 容	令和4年度	令和5年度
	データポータルサイト、デジタルサイネージ及び公共交通運行情報システムの運用管理	

(2) 衛星データ利活用促進支援事業補助金 5,501,105円

補 助 金	令和4年度	令和5年度
		6,717,952円

(3) 官民一体型新ビジネス創出事業費 8,500,000円

内 容	令和4年度	令和5年度
	スタートアップと市職員が協働して、地域や行政の抱える課題の解決に資するプロダクトの開発・実装のための実証実験を実施	

(4) 地域産業支援施設整備事業補助金 20,800,000円

補 助 金	令和4年度	令和5年度
		20,800,000円

(5) 豊橋イノベーションガーデン運営事業補助金 50,235,000円

補 助 金	令和4年度	令和5年度
		50,535,000円

(6) スタートアップ支援事業費 78,279,800円

(ア) アグリテック実証支援事業費 42,000,000円

内 容	令和4年度	令和5年度
	農業者・農業関係企業等の課題解決に資する製品開発に取り組むスタートアップとの共創プロジェクトを創出	

(イ) 共創コミュニティ創出支援事業費 18,279,800 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	スタートアップと、そのチャレンジを応援する地域事業者等からなるコミュニティをつくり、両者の共創を促進	

(ウ) 研究シーズスタートアップ支援事業補助金 18,000,000 円

補 助 金	令和4年度	令和5年度
		11,760,127円

(エ) スタートアップ創出プログラム参加支援補助金 0 円

補 助 金	令和4年度	令和5年度
		4,000円

(7) 未来産業創出事業補助金 62,421,196 円

補 助 金	令和4年度	令和5年度
		—

(8) ものづくり・夢づくり支援事業費 20,860,000 円

(ア) 知的財産権取得事業費補助金 2,100,000 円

補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		23件	2,003,000円	20件

(イ) 販路開拓支援事業費補助金 7,686,000 円

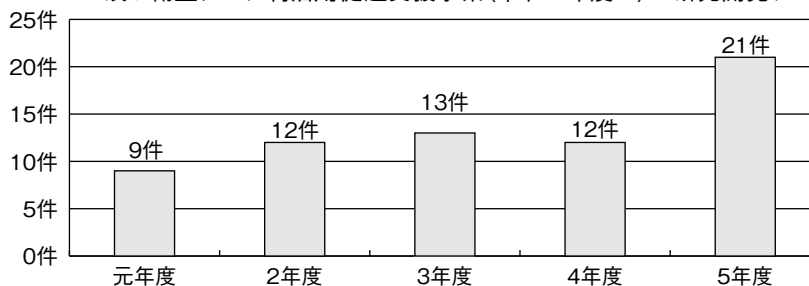
補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		27件	5,349,000円	32件

(ウ) 起業支援事業費補助金 11,074,000 円

補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		30件	6,356,000円	48件

[指 標]

指 標 名：研究開発に対する支援件数
 指標説明：未来産業創出事業(令和4年度以前はイノベーション創出等支援事業)及び衛星データ利活用促進支援事業(令和2年度～)の研究開発テーマ件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 企業誘致費 <産業集積の促進>	256,867,859	0	0	29,148,000	227,719,859

1 企業誘致推進事業費 256,867,859 円 (産業政策課)

[総括]

首都圏で開催された展示会や県主催の産業立地セミナーに参加するなど、市外、県外の企業に対し、積極的な誘致活動を行った。また、用地を必要としない企業誘致として、サテライトオフィス誘致補助金によりオフィスの誘致を進めた。さらに、市内企業のニーズ把握のため、立地企業情報交換会を行った。加えて、豊橋新城スマート I C (仮称) 開設予定地付近における新たな産業用地確保について調査を進めた。

[実績及び成果]

(1) 企業誘致活動事業費 7,210,859 円

内 容		令和4年度		令和5年度	
立地企業情報交換会	開催日	7.4	7.12	7.7	7.18
	場 所	明海地区	神野地区・御津2区	若松地区	二川地区
	出席企業数	16社	11社	10社	16社
東三河5市企業誘致 推進連絡会議	事業実績	○ものづくり博2022in東三河出展 6.17~6.18 豊橋市総合体育館 ○モノづくりフェア2022出展 10.5~10.7 マリンメッセ福岡 ○メッセナゴヤ出展 11.16~11.18 ポートメッセなごや ○テクニカルショウヨコハマ2023出展 2.1~2.3 パシフィコ横浜		○メッセナゴヤ2023出展 11.8~11.10 ポートメッセなごや ○2023“よい仕事おこし”フェア出展 11.21~11.22 東京ビッグサイト ○2023国際ロボット展出展 11.29~12.2 東京ビッグサイト	
サテライトオフィス誘致補助金		3社	965,000円	1社	1,900,000円
工場見学施設整備支援補助金		—	—	8社	3,453,000円

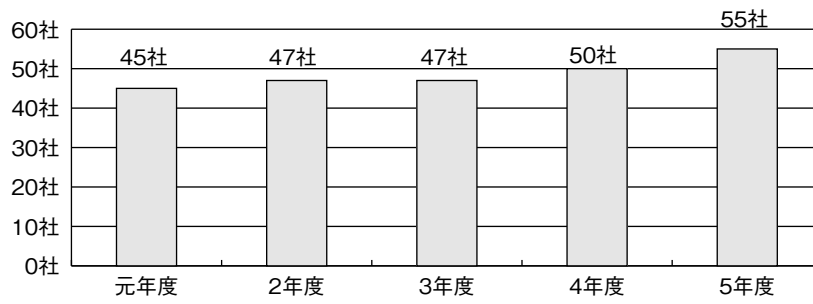
(2) 企業立地促進奨励金 249,657,000 円

奨 励 金	令和4年度		令和5年度	
		42件	257,660,000円	36件

[指 標]

指 標 名：産業用地における立地企業数(累計)

指標説明：豊橋市、愛知県企業庁及び豊橋市土地開発公社が分譲する産業用地に立地した企業の数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 まちなかにぎわい創出費 <まちなかのにぎわいの創出>	41,963,349	16,269,000	0	0	25,694,349

1 まちなかにぎわい創出事業費 15,370,410円 (まちなか活性課)

[総括]

中心市街地のにぎわい創出及び消費促進のため、歩行者天国やクリスマスマーケット、おさんぽマルシェ等を商店街や市主催の他のイベントと連携し開催した。また、リノベーションまちづくりを推進するため、空き物件の活用に向けた事業提案会を引き続き開催するとともに、これまでの取組みをまとめた冊子を作成した。今後も中心市街地で活躍する関係者や団体と連携・協力しながら、まちなかに人の流れを生み出し、魅力ある中心市街地の形成に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) まちなかにぎわい創出活動事業費 8,520,600円

内 容	令和4年度		令和5年度	
とよはしクリスマス マーケットの開催	開催期間	12.16~12.25 10日間	開催期間	12.15~12.24 10日間
	来場者数	延 31,500人	来場者数	延 34,200人
おさんぽマルシェの 開催	開催回数	2回	開催回数	3回
豊橋駅南口駅前広場、 まちなか広場使用実績	使用件数	113件	使用件数	102件
	使用日数	126日	使用日数	145日

(2) エリアプラットフォーム負担金 800,000円

負 担 金	令和4年度		令和5年度	
		800,000円		800,000円

(3) イルミネーションフェスティバル補助金 500,000円

補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		1件	500,000円	1件

(4) 歩行者天国実行委員会負担金 4,932,000円

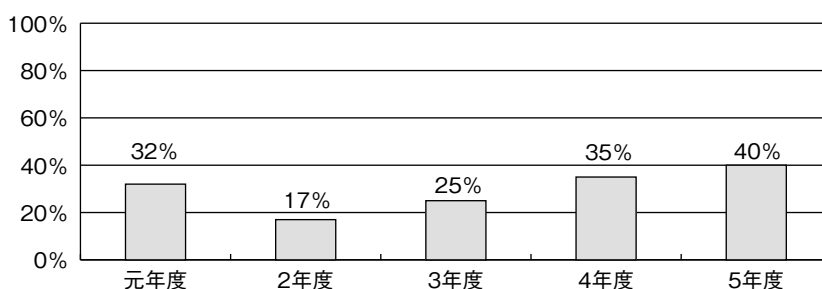
内 容	令和4年度		令和5年度	
歩行者天国の実施	実施回数	4回	実施回数	4回
	来場者数 (連携イベント含む)	延 116,000人	来場者数 (連携イベント含む)	延 121,000人

(5) リノベーションまちづくり推進事業費 617,810円

内 容	令和4年度		令和5年度	
ワークショップ等の実施	実施回数	3回	実施回数	3回
	参加者及び聴講者数	計 62人	参加者及び聴講者数	計 37人

[指 標]

指 標 名：公共空間の年間稼働率
 指標説明：豊橋駅南口駅前広場またはまちなか広場が稼働している日の年間稼働率



2 TMO支援事業費 26,592,939 円（まちなか活性課）

[総 括]

中心市街地の商業・サービス業の振興を図るため、株式会社豊橋まちなか活性化センター（TMO）が実施する共通駐車券事業やまちなかインキュベーション事業への支援を行った。また、民間活力とノウハウを活かしてにぎわいを創出するため、TMOが開催する広場でのイベントや豊橋駅東口ペDESTリアンデッキ等のイルミネーション装飾への支援を行った。今後も魅力ある商業・サービス業の集積やにぎわい創出のための取組みを支援していく。

[実績及び成果]

(1) 共通駐車券事業補助金 614,000 円

補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		1件	454,000円	1件

(2) まちなかインキュベーション事業補助金 7,005,000 円

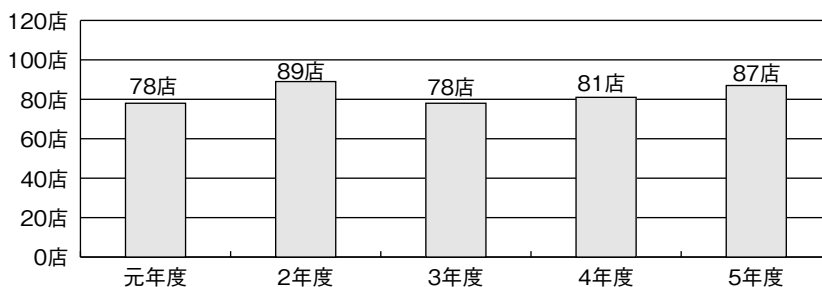
補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		20件	7,792,000円	15件

(3) 官民連携まちなかにぎわい創出事業補助金 18,973,939 円

補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		1件	18,932,405円	1件

[指 標]

指 標 名：中心市街地内の空き店舗数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 観光振興費 <観光資源の魅力づくり>	96,248,896	0	0	10,027,320	86,221,576

1 まつり・イベント支援事業費 66,600,000円 (観光プロモーション課)

[総括]

交流人口の拡大による観光振興や地域の活性化を図るため、豊橋まつり、春まつり、花しょうぶまつりの支援を行った。豊橋まつりは、新型コロナウイルス感染症による制限なく4年ぶりに通常規模で開催した。10月としては冷え込んだが2日間とも天候に恵まれ、延べ61万人と多くの人出につながった。春まつり・花しょうぶまつりについても、新型コロナウイルス感染症による制限なく開催することができたが、花しょうぶまつりは令和5年6月の台風2号接近に伴う大雨の影響で6月3日及び6月4日の2日間を中止にしたため、昨年度と同等の来場者数に留まった。今後もイベント等の魅力向上に努めながら、地域の活性化につながるよう一層の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) まつり開催費補助金 10,800,000円

行 事 内 容			令和4年度	令和5年度
春まつり	さくらまつり	期 間	4.1~4.3 3.14~3.31 (21日間)	4.1~4.9 3.20~3.31 (21日間)
		場 所	豊橋公園	豊橋公園
		来場者数	延30,000人	延35,000人
	つつじまつり	期 間	4.16~5.5 (20日間)	4.15~5.5 (21日間)
		場 所	向山緑地内向山大池周辺	向山緑地内向山大池周辺
		来場者数	延2,500人	延2,500人
	うめまつり	期 間	2.3~3.5 (31日間)	2.2~3.3 (31日間)
		場 所	向山緑地内梅林園	向山緑地内梅林園
		来場者数	延30,000人	延40,000人
補 助 金			6,209,105円	6,489,000円
花しょうぶまつり	期 間	5.25~6.7 (14日間)	5.24~6.6 (12日間)※	
	場 所	賀茂しょうぶ園	賀茂しょうぶ園	
	来場者数	延100,000人	延100,000人	
	補 助 金	4,311,000円	4,311,000円	

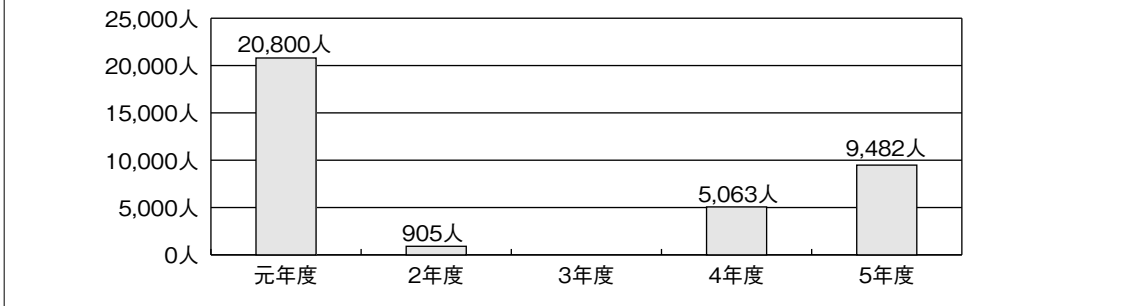
※令和5年度の花しょうぶまつりは、台風2号の影響により6.3~6.4の2日間を中止

(2) 豊橋まつり開催費補助金 55,800,000円

区 分	令和4年度	令和5年度
開 催 日	10.15~10.16 (2日間)	10.20~10.21 (2日間)
会 場 数	まちなかエリア・豊橋公園エリアなど 18会場	まちなかエリア・豊橋公園エリアなど 18会場
行 事 数	29行事	27行事
総 人 出 数	延600,000人	延610,000人
総 参 加 団 体 数	約391団体	約554団体
補 助 金	46,800,000円	55,800,000円

[指 標]

指 標 名：ええじゃないか豊橋まつり総おどり参加者数(令和2年度はオンライン総おどり)
指標説明：



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7日 観光情報発信費 <誘客につながるプロモーションの推進>	158,859,365	1,783,750	0	14,300,000	142,775,615

1 観光プロモーション推進事業費 97,642,643 円 (産業政策課・観光プロモーション課)

[総括]

本市の産業をPRするため、豊橋駅構内東西自由連絡通路にて車両等の展示を実施したほか、ふるさと寄附制度を活用し豊橋産品のPRを実施した。また、「ナショナルサイクルルートをいかした体験型観光推進プロジェクト」を推進し、自転車ガイドツアー等、新しい体験型観光の実施事業者の支援を行った。体験型観光の拠点化については、サウンディング等により民間活力による実現性の検討を進めた。また、地域ブランドの向上や今後のインバウンド誘客など地域の活性化を図るため、当地域初となるアイアンマン 70.3 東三河ジャパン in 渥美半島の開催を支援するとともに、参加者や関係者へのおもてなし事業を実施した。今後も効果を検証しながら本市の認知度向上や誘客につながるプロモーションを展開していく。

[実績及び成果]

(1) 観光プロモーション推進事業費 97,642,643 円

(ア) 推進活動費 5,731,508 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	・観光ポスター制作	
観光プロモーション実施回数 ※ () は日数	—	1回 (1日)

(イ) 豊橋駅東西自由連絡通路展示物設置事業費 3,092,753 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	車両 {ステランティスジャパン} 及びものづくり技術 {富士フィルム和光純薬株式会社} の紹介展示	車両 {ステランティスジャパン} 及びものづくり技術 {富士フィルム和光純薬株式会社} の紹介展示

(ウ) 手筒花火放揚 8,000,000 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	・炎の祭典 2回 (2日)	・炎の祭典 2回 (2日)
観光プロモーション実施回数 ※ () は日数	2 (2)	2 (2)

(エ) 訪日外国人観光客誘致 1,843,088 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾現地旅行会社に対するセールスコール ・WEBサイトページの整備等 ・台湾向け繁体字Facebookページの開設及び運営による情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾現地旅行会社に対する現地セールス ・SNS用動画の作成及び投稿 ・台湾向け繁体字Facebookページの運営による情報発信及び問合せ対応

(オ) ふるさと寄附制度を活用した豊橋産品PR事業費 57,670,295 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」、「楽天ふるさと納税」、「ANAのふるさと納税」、「auPAYふるさと納税」への掲載 返礼品件数：4,597件	

(カ) 体験型観光の推進 2,419,999 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	道の駅「とよはし」を拠点とした体験型観光を推進するため、渥美半島・浜名湖・奥三河を広域周遊するサイクリングイベントを実施 ・サイクルイベント 1回 (146日) ・サイクリストマルシェ 2 (2)	
観光プロモーション実施回数 ※ () は日数	3 (148)	2 (2)

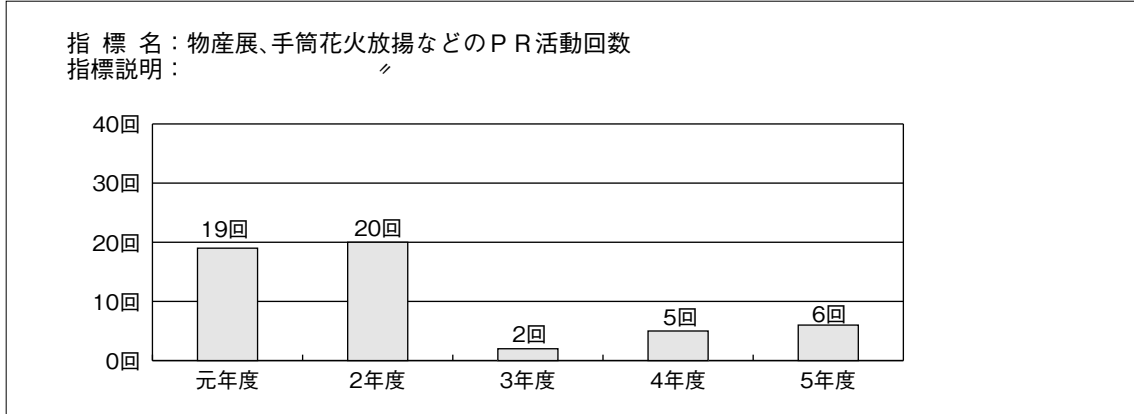
(キ) アイアンマン 70.3 東三河ジャパン in 渥美半島の開催支援等 16,885,000 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	—	
観光プロモーション実施回数 ※ () は日数	—	1回 (1日)

(ク) 商工会議所青年部東海ブロック大会豊橋大会補助金 2,000,000 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	—	第36回東海ブロック大会豊橋大会開催への支援

[指 標]



2 観光宣伝事業費 25,862,621 円（観光プロモーション課）

[総 括]

本市の観光施設等への集客を促すため、雑誌・新聞等による情報発信のほか、観光案内所や道の駅「とよはし」でのPR活動を行った。今後も国内外の人々が豊橋に興味を持ち、訪れたいくなるような効果的な情報発信、PR活動に努めていく。

[実績及び成果]

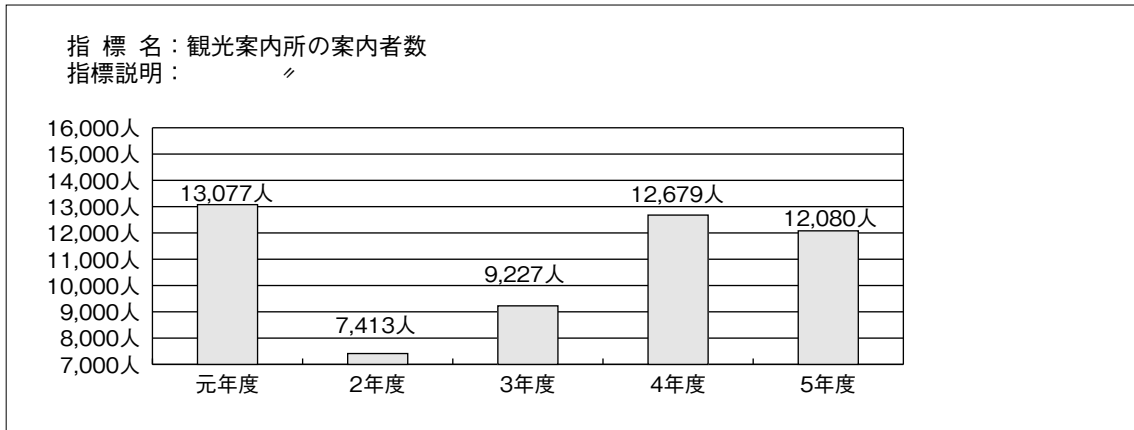
(1) 観光PR活動推進事業費 16,605,433 円

豊橋市への来訪者数	令和4年度	令和5年度	比 較
	延 4,441,526人	延 4,318,313人	△ 2.8%

(2) 観光案内所運営事業費 9,257,188 円

案 内 者 数	令和4年度	令和5年度	比 較
	延 12,679人	延 12,080人	△ 4.7%

[指 標]



3 映像作品活用誘客推進事業費

9,983,698 円（観光プロモーション課）

[総括]

大河ドラマ「どうする家康」の放送を機に、本市が徳川四天王の筆頭格酒井忠次ゆかりの地であることの認知度の向上と本市への観光誘客を図るため、「酒井忠次と徳川家康ゆかりの地デジタルスタンプラリー」を行った。また、一般社団法人とよはしフィルムコミッションへ負担金を支出し、映画やドラマ等豊橋でのロケ活動を支援することで、作品を通じた本市の魅力発信を行った。今後も映像作品を活用した本市のPRを図っていく。

[実績及び成果]

(ア) 大河ドラマ関連イベントの開催 1,396,400 円

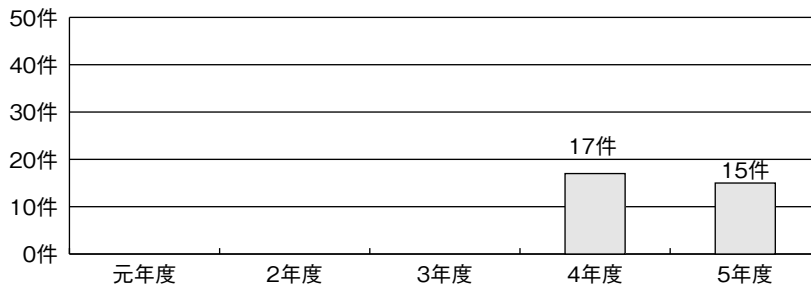
内 容	令和4年度	令和5年度
	・酒井忠次のオリジナルフレーム切手等の製作、販売(800セット製作)	・酒井忠次と徳川家康ゆかりの地デジタルスタンプラリー (参加者数 847 人)

(イ) 映像作品を活用した地域活性化事業費 8,587,298 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	・一般社団法人とよはしフィルムコミッションへの負担金の支出によるロケ支援(17件) ・豊橋まつりに合わせ、東三河と福島市の吹奏楽部の高校生による合同演奏会を実施	・一般社団法人とよはしフィルムコミッションへの負担金の支出によるロケ支援(15件)

[指標]

指標名：豊橋ロケ作品支援件数 ※令和4年度以降
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8 款 土 木 費	14,774,365,398	2,720,880,887	2,718,200,000	940,668,520	8,394,615,991
1 項 道 路 橋 梁 費	4,689,468,101	847,257,000	1,503,100,000	420,653,802	1,918,457,299
2 目 幹 線 道 路 整 備 費 < 幹 線 道 路 の 整 備 >	1,302,391,633	565,953,000	515,400,000	103,942,869	117,095,764

1 幹線道路建設促進対策事業費 311,920,027 円 (道路建設課・北部地域活性化推進室)

[総括]

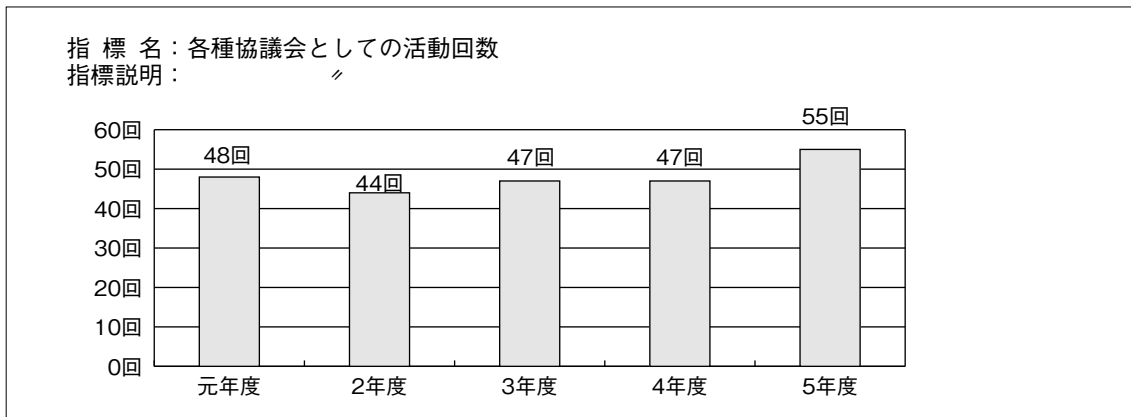
広域幹線道路の整備を促進するため、東三河縦貫道路建設促進期成同盟会及び名豊道路建設推進協議会を運営するとともに、本市が加盟する他の協議会においても、国・県に対し、継続的に要望活動等を行った。豊橋新城スマートIC（仮称）整備事業については、詳細設計や用地取得を実施するとともに、橋梁下部工事等に着手した。豊橋新城スマートIC（仮称）周辺土地利用検討事業については、「豊橋新城スマートIC（仮称）周辺土地利用構想」を策定した。今後も関係自治体や経済界との連携をより一層強化し、地域と一体となって広域幹線道路の整備の促進を図るとともに、スマートICの整備及び北部地域の活性化に向けた取組みを推進する。

[実績及び成果]

(1) 幹線道路建設促進対策事務費 1,254,342 円

内 容	令和4年度	令和5年度
東三河縦貫道路建設促進期成同盟会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動の実施
名豊道路建設推進協議会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動の実施
その他本市が加盟する協議会	総会・要望活動等への参加	総会・要望活動等への参加

[指標]



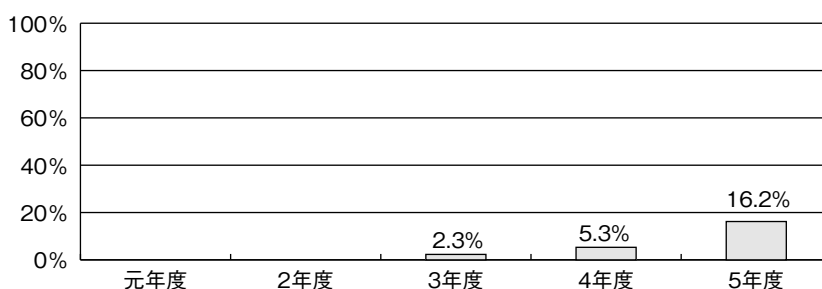
(2) 豊橋新城スマートIC（仮称）整備事業費 290,020,075 円

(国庫補助事業 205,642,000 円 市単独事業 84,378,075 円)

ス マ ー ト IC	令和4年度	令和5年度
	詳細設計 盛土材仮置場の確保 — —	詳細設計 盛土材仮置場の確保 用 地 4,687.60㎡ 補 償 立木等

[指標]

指標名：豊橋新城スマートIC(仮称)整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(令和3年度～)



※総事業費の見直しにより再計算

(3) 豊橋新城スマートIC(仮称)周辺土地利用検討事業費 20,645,610円

内 容	令和4年度	令和5年度
	豊橋新城スマートIC(仮称)周辺土地利用構想策定委託業務 住民ワークショップ開催(5回)	豊橋新城スマートIC(仮称)周辺土地利用構想策定委託業務 市民ワークショップ開催(3回)

2 幹線市道整備事業費 841,869,517円(道路建設課)

[総括]

大岩町・小松原町55号線は用地取得とともに、道路改良工事を行い、明海町・老津町28号線については、用地取得とともに、橋梁下部工事等を進めた。また、西幸町・高田町10号線ほかについては詳細設計を行った。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、道路交通の円滑化や交通安全確保のため、幹線道路の整備を推進する。

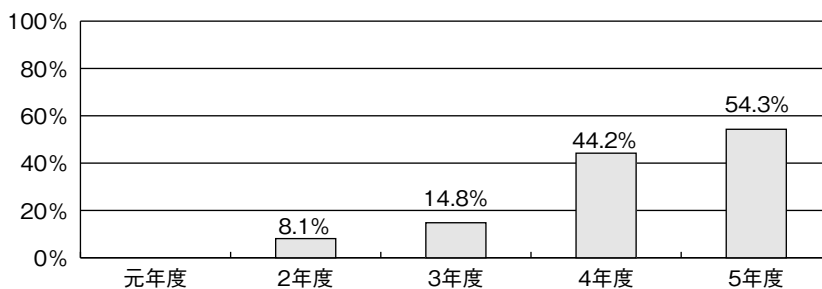
[実績及び成果]

(1) 大岩町・小松原町55号線整備事業費 77,890,280円
 (国庫補助事業 59,322,000円 市単独事業 18,568,280円)

道 路 改 良 (第4工区)	令和4年度	令和5年度
	延長 73m 用地 3,823.00㎡ 補償 建物等	延長 241m 用地 63.05㎡ 補償 工作物等

[指標]

指標名：大岩町・小松原町55号線整備事業進捗率(第4工区)
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(令和2年度～6年度)

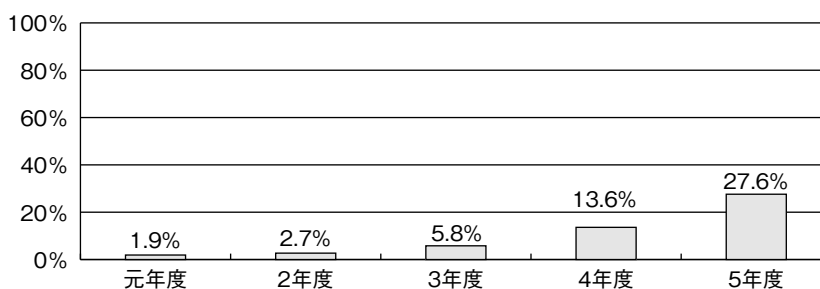


- (2) 明海町・老津町 28 号線整備事業費 706,110,437 円
 (国庫補助事業 651,974,000 円 市単独事業 54,136,437 円)

道 路 改 良	令和 4 年度	令和 5 年度
	延 長 213m 用 地 6,054.46㎡ 補 償 工作物等	延 長 43m 用 地 2,310.23㎡ 補 償 工作物等

[指 標]

指 標 名：明海町・老津町28号線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成30年度～）



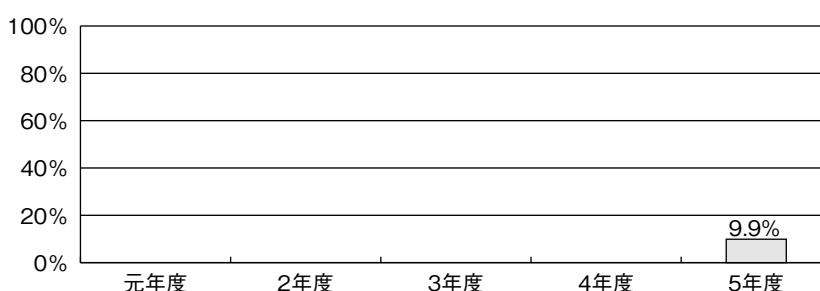
※総事業費の見直しにより再計算

- (3) 西幸町・高田町 10 号線ほか整備事業費 57,868,800 円
 (国庫補助事業 53,614,000 円 市単独事業 4,254,800 円)

道 路 改 良	令和 4 年度	令和 5 年度
	—	詳細設計

[指 標]

指 標 名：西幸町・高田町10号線ほか整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（令和4年度～）



3 都市計画道路整備事業費 148,602,089 円（道路建設課）

[総括]

都市における交通環境の改善と景観形成や防災効果向上のため、都市計画道路網の整備を推進しており、令和5年度は弥生町線の用地取得を進めた。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

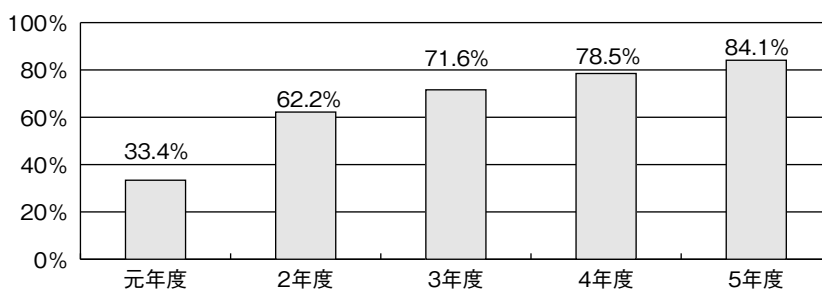
[実績及び成果]

- (1) 弥生町線整備事業費 148,602,089 円
 (国庫補助事業 146,685,455 円 市単独事業 1,916,634 円)

道 路 改 良	令和4年度	令和5年度
	延 長 174m 用 地 330.70㎡ 補 償 建物等	— 用 地 480.57㎡ 補 償 建物等

[指 標]

指 標 名：弥生町線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成28年度～令和6年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 交通環境保全費 <交通環境の保全>	2,254,349,297	263,433,000	983,100,000	128,488,537	879,327,760

1 自由連絡通路等管理事業費 188,346,285 円 (土木管理課)

[総括]

豊橋駅、二川駅及び駅周辺施設の利用者が安全かつ快適に利用できるよう自由連絡通路、ペDESTリアンデッキなどを維持管理した。施設の長寿命化計画に基づき、豊橋駅東西自由連絡通路における天井の耐震改修のための実施設計を行った。今後も施設の予防保全により、安心して利用できる快適な環境を維持していく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東西自由連絡通路等管理事業費 171,805,115 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	清掃・保守点検・修繕等 ペDESTリアンデッキ防水工事	清掃・保守点検・修繕等 天井耐震改修実施設計

(2) 二川駅南北自由連絡通路等管理事業費 16,541,170 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	清掃・保守点検・修繕等	清掃・保守点検・修繕等

2 自転車等駐車場管理運営事業費 118,073,668 円 (土木管理課)

[総括]

自転車等の駐車スペースを提供することにより、豊橋駅及び二川駅周辺の放置自転車等を防止し、安全かつ円滑な交通環境を確保した。施設の長寿命化計画に基づき、豊橋駅西口地下エリアの天井剥落防止工事等を行ったほか、豊橋駅東口地下エリア(北ゾーン)の防犯カメラシステムを取替修繕するなど、安全安心な施設づくりを行った。また、施設設備の修繕の優先度や更新時期を見直し、適切な維持管理を継続するため、長寿命化計画を改定した。今後も施設の予防保全により、安心して利用できる快適な環境を維持するとともに、進学などを機に駅を利用する人に向けた定期利用の呼び掛けを継続し、利用者の確保に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営事業費 70,258,581 円

(ア) 自転車・ミニバイク(駅前地下エリア) 収容台数 4,200 台

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
1日平均利用台数		2,417台	2,453台	1.5%
自 転 車	定期	1,992	2,020	1.4
	一時	289	297	2.8
ミニバイク	定期	102	101	△ 1.0
	一時	34	35	2.9

(イ) 自動二輪車(城海津エリア) 収容台数 14 台

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
1日平均利用台数		8台	10台	25.0%
自動二輪車	定期	1	2	2.0倍
	一時	7	8	14.3%

(2) 豊橋駅西口自転車等駐車場管理運営事業費 34,054,135 円

(ア) 自転車・ミニバイク（駅前地下エリア） 収容台数 1,300 台

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		889台	865台	△ 2.7%
自 転 車	定 期	710	688	△ 3.1
	一 時	128	135	5.5
ミニバイク	定 期	44	34	△22.7
	一 時	7	8	14.3

(イ) 自転車・ミニバイク・自動二輪車（白河エリア） 収容台数 404 台

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		263台	292台	11.0%
自 転 車	定 期	98	113	15.3
	一 時	68	80	17.6
ミニバイク	定 期	25	28	12.0
	一 時	14	15	7.1
自動二輪車 (原付2種含む)	定 期	42	42	0.0
	一 時	16	14	△12.5

(3) 二川駅南口自転車等駐車場管理運営事業費 13,760,952 円

(ア) 自転車・ミニバイク（西エリア） 収容台数 370 台

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		316台	326台	3.2%
自 転 車	定 期	241	254	5.4
	一 時	40	43	7.5
ミニバイク	定 期	27	22	△18.5
	一 時	8	7	△12.5

(イ) 自転車（東エリア） 収容台数 45 台

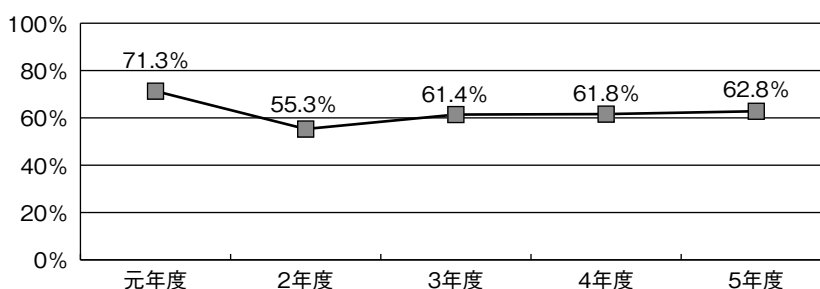
1 日 平 均 利 用 台 数	令和4年度	令和5年度	比 較
		29台	30台

(ウ) 自動車 収容台数 10 台

1 日 平 均 利 用 台 数	令和4年度	令和5年度	比 較
		7台	6台

[指標]

指標名：自転車等駐車場稼働率
 指標説明：豊橋駅東口、西口及び二川駅南口の1日平均利用台数／収容台数



3 道路施設等維持管理事業費 408,827,127 円（道路維持課）

[総括]

生活道路として通行に支障のないように、道路及び道路付属物の修繕・清掃・舗装等の維持管理を行った。また、とよはし道路通報システムを導入し、道路異常箇所への迅速な対応を可能とした。今後も道路交通に対する一層の安全に努めるとともに、老朽化が進む道路ストックについては道路分野別施設計画に基づき維持修繕を行い、道路の適正な維持管理を行う。

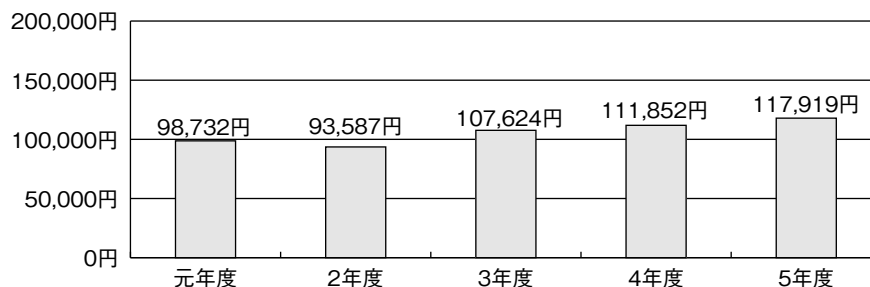
[実績及び成果]

(1) 道路施設等維持管理事業費 408,827,127 円

区分	令和4年度	令和5年度
道路清掃	63路線 延長 144.0km	57路線 延長 135.0km
道路側溝清掃	55か所 〃 3,870m	50か所 〃 3,543m
舗装道路補修	くぼみ補修工・舗装復旧工等	くぼみ補修工・舗装復旧工等
道路修繕	市内一円、側溝修繕等	市内一円、側溝修繕等
花田跨線橋擁壁補強	延長 39.47m	延長 75.94m
道路ストック点検調査	—	横断歩道橋等点検調査

[指標]

指標名：市道1km当たりの維持管理費
 指標説明：直接事業費／市道延長



4 道路等維持改良事業費 337,228,100 円（道路維持課）

[総括]

道路側溝を計画的に整備することにより排水不良の軽減を図り、また、道路改良を実施して安全で快適な通行環境を確保した。今後も地域住民の要望を把握し必要性等を考慮しながら、事業効果を高めていく。

[実績及び成果]

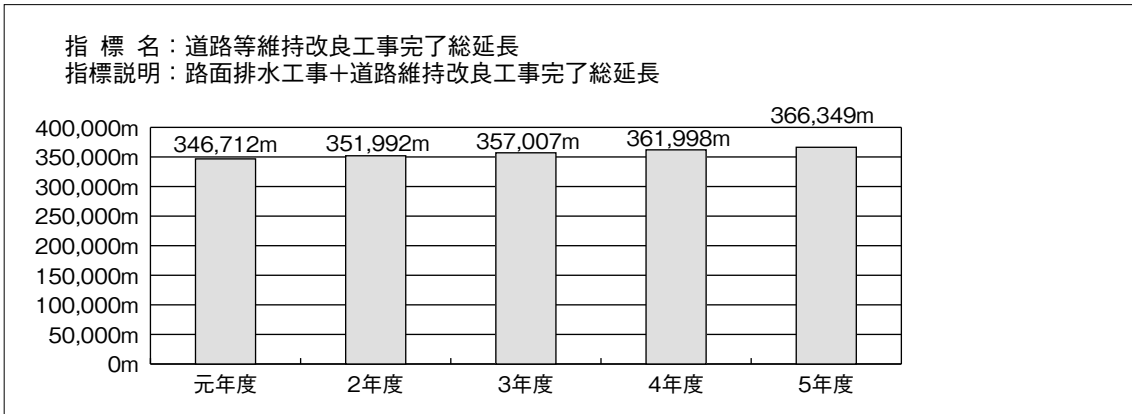
(1) 路面排水整備工事費 316,724,100 円

路面排水	令和4年度		令和5年度	
	市内一円	延長 4,445m	市内一円	延長 3,712m
	市街地	〃 500	市街地	〃 531
	雨水浸透型側溝等設置		雨水浸透型側溝等設置	

(2) 道路維持改良工事費 20,504,000 円

道路維持改良	令和4年度		令和5年度	
	1件	延長 46m	1件	延長 108m

[指標]



5 道路舗装事業費 780,848,200 円（道路維持課）

[総括]

未舗装区間の解消を図るとともに、既設の舗装道路についても、老朽化の程度、交通安全対策上の観点などから現場調査を実施し、順次改良・修繕を行った。今後も安全性や緊急性などを精査し、安全で快適な生活道路を整備していく。

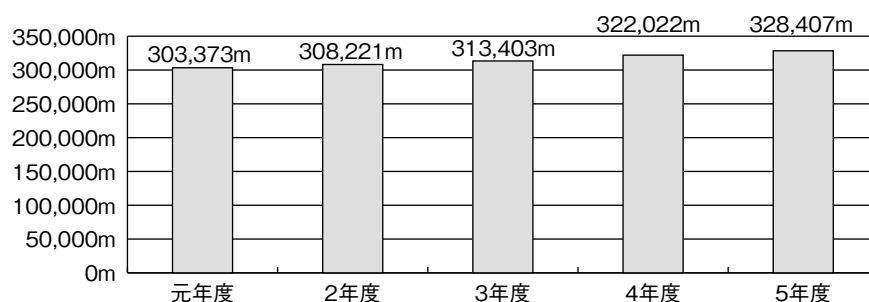
[実績及び成果]

(1) 道路舗装事業費 780,848,200 円

内 容	令和4年度		令和5年度	
	舗装新設	延長 449m	面積 894㎡	延長 255m
舗装改良	〃 8,619	〃 53,051	〃 6,385	〃 41,825
舗装修繕		〃 10,261		〃 10,334
路面性状調査	〃 55,150		—	
路面下点検調査	—		〃 219km	

[指 標]

指 標 名：舗装改良工事総延長(平成13年度以降)
 指標説明：



6 橋梁整備事業費 312,163,646 円 (道路建設課)

[総 括]

道路法で定められた定期点検を行うとともに、「豊橋市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき計画的に修繕を行った。
 今後も道路の安全安心を確保するため、国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

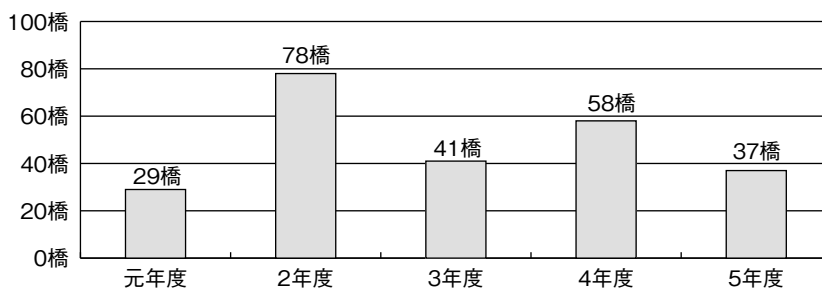
[実績及び成果]

(1) 橋梁長寿命化事業費 312,163,646 円
 (国庫補助事業 279,510,000 円 市単独事業 32,653,646 円)

内 容	令和 4 年度	令和 5 年度
定 期 点 検	榎瀬橋始め 297橋	高洲橋始め 330橋
補 修 (国 庫 補 助)	鷺田橋始め 58	下向イ橋始め 37
補 修 (市 単 独)	城下橋始め 11	城下3号橋始め 3
改 築 (国 庫 補 助)	—	道六橋 1

[指 標]

指 標 名：構造物(橋梁)保全数
 指標説明：補修(国庫補助)に係る橋梁数



7 道路環境整備事業費

6,062,100 円（道路維持課）

[総括]

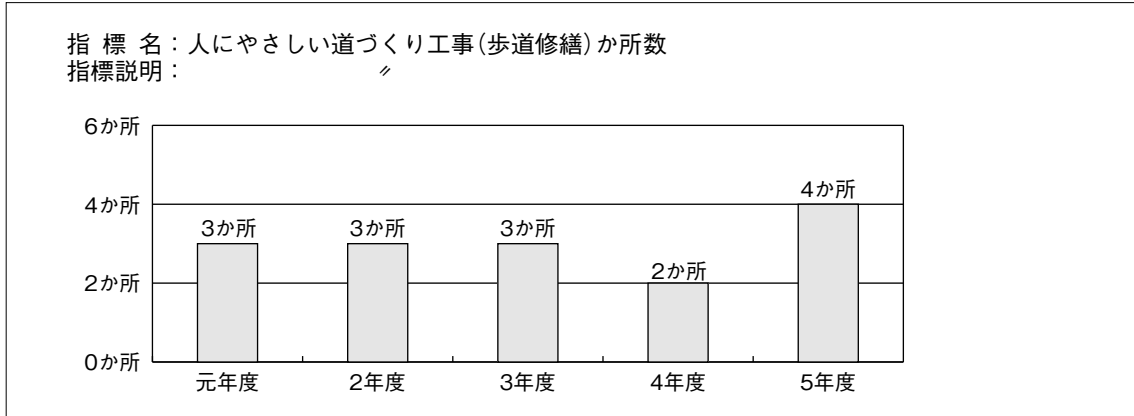
歩道修繕を行い、段差を解消した。今後も歩きやすい歩道の整備に努める。

[実績及び成果]

- (1) 人にやさしい道づくり事業費 6,062,100 円

歩道修繕	令和4年度	令和5年度
	2か所	4か所

[指標]



8 狭あい道路拡幅整備促進事業費

4,289,256 円（土木管理課）

[総括]

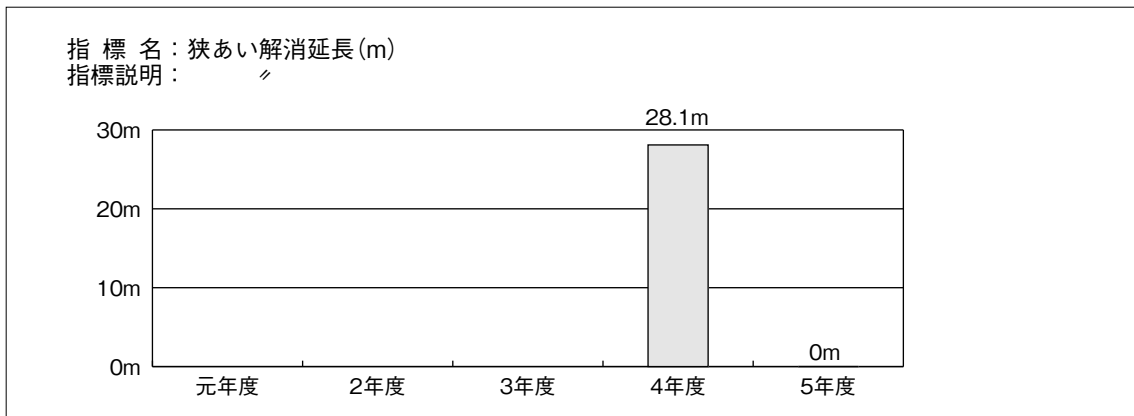
幅員4m未満である狭あい道路の拡幅のため、寄附の申し出があった後退用地に対する測量、分筆登記等を実施した。今後も国の交付金を活用しながら、災害が発生しても緊急車両が目的地へ速やかに到着できる安全安心な交通環境整備に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 狭あい道路拡幅整備促進事業費 4,289,256 円

	令和4年度	令和5年度
狭あい解消延長	28.1m	0m
拡幅工事延長	87.8	0
測量	2件	5件
登記	2	6

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 交通安全施設等整備費 <交通安全施設の整備>	359,107,582	17,871,000	4,600,000	345,700	336,290,882

1 交通安全施設整備事業費 49,057,091 円 (道路建設課)

[総括]

石巻西川町・石巻中山町1号線は用地補償を行った。自転車通行空間整備事業は、「豊橋市自転車活用推進計画」に定めた優先整備路線において自転車通行空間の整備を行った。高師町・岩屋町22号線は歩道の整備を完了した。今後も通学路などの安全を確保するため、道路状況等を考慮し、国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

[実績及び成果]

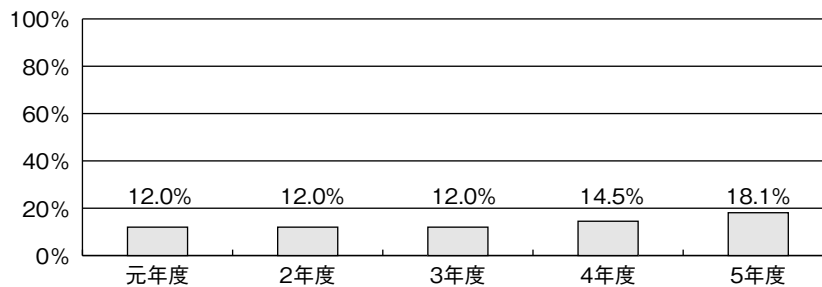
(1) 石巻西川町・石巻中山町1号線自転車道等設置事業費 12,839,591 円

(国庫補助事業 1,781,819 円 市単独事業 11,057,772 円)

自転車道等設置	令和4年度	令和5年度
	土地評価 物件調査	—
	—	補償 工作物等

[指標]

指標名：石巻西川町・石巻中山町1号線自転車道等設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費 (平成27年度～)



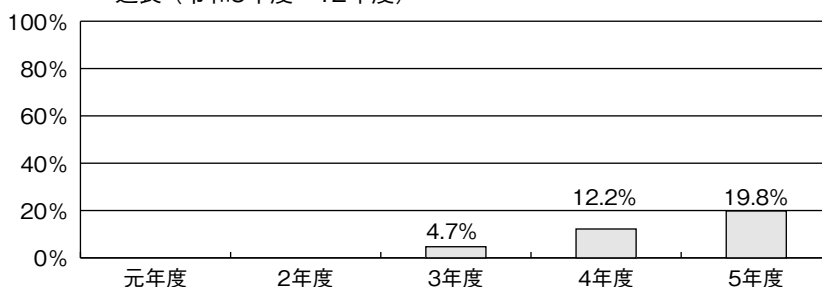
(2) 自転車通行空間整備事業費 8,345,700 円

(国庫補助事業 8,000,000 円 市単独事業 345,700 円)

内 容	令和4年度	令和5年度
路面標示等	延長 1,619m	延長 700m

[指 標]

指 標 名：自転車通行空間整備進捗率
 指標説明：整備済路線延長／令和12年度までに整備する自転車ネットワーク優先整備路線延長（令和3年度～12年度）



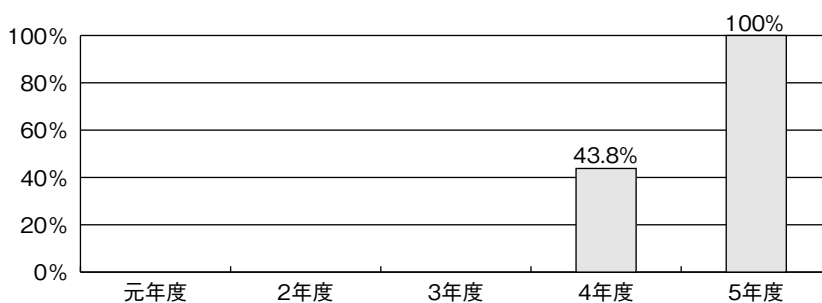
(3) 高師町・岩屋町 22 号線歩道設置事業費 27,871,800 円

(県費補助事業 24,300,000 円 市単独事業 3,571,800 円)

歩 道 設 置	令和 4 年度		令和 5 年度	
	延 長	86m	延 長	209m
用 地	121.22㎡	用 地	—	

[指 標]

指 標 名：高師町・岩屋町22号線歩道設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（令和4年度～5年度）



2 交通安全施設維持改良事業費 310,050,491 円（道路維持課）

[総括]

道路状況や地元要望等に対し、道路照明灯、防護柵、道路反射鏡などの設置・修繕により安全で快適な交通環境の確保に努めた。今後も交通安全施設が適正に機能するよう維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 交通安全施設改良事業費 191,959,900 円

内 容	令和4年度	令和5年度
道路照明柱建替	81基	76基
交差点等安全カラー標示	10か所	4か所
防護柵設置	延長 271m	延長 222m
道路反射鏡設置	71基	65基
交通安全施設改良修繕	歩車道境界ブロック等	歩車道境界ブロック等
区画線設置	延長 54,235m	延長 53,598m
横断歩道橋修繕	薄層カラー舗装 1橋	—

(2) 交通安全施設維持事業費 118,090,591 円

道路付属物塗裝修繕	令和4年度	令和5年度
	7基	11基

[指標]

指標名：交通安全施設(道路反射鏡)の総設置基数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 河 川 費	1,094,130,757	185,092,133	266,400,000	59,127,234	583,511,390
2目 水辺環境保全費 <親しまれる自然環境の保全>	367,624,546	0	94,400,000	0	273,224,546

1 河川水路等維持管理事業費 367,624,546円 (河川課)

[総括]

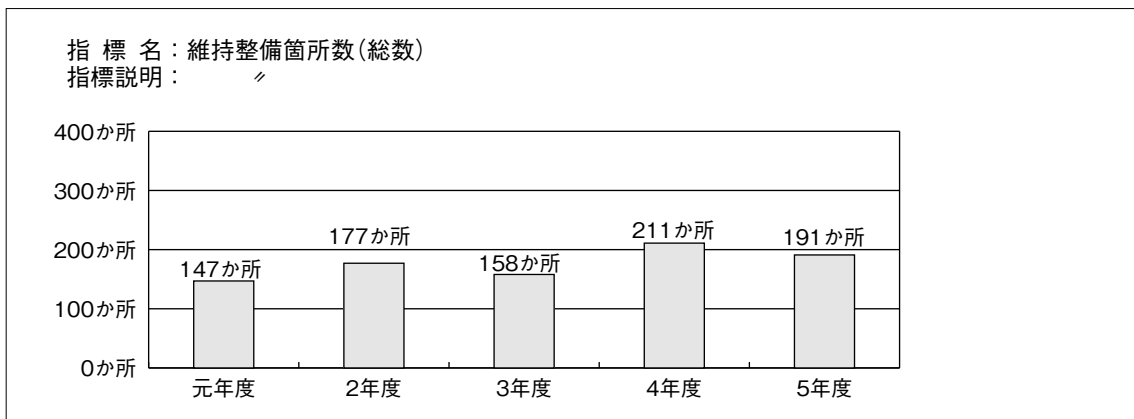
河川を市民の憩う場とし、河川環境を保全するための維持管理を行った。今後も市民や団体による河川愛護活動など、地域住民との協働により親しまれる水辺環境の保全に努めるとともに、河川水路の適切な維持管理に努める。

[実績及び成果]

(1) 維持整備事業費 367,624,546円

内 容	令和4年度		令和5年度	
	補 修	66か所		53か所
除 草	73	38,747㎡	69	27,686㎡
浚 渫	72	7,575㎡	69	7,260㎡

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 浸水・土砂災害対策費 <治山・治水対策の充実>	562,329,108	185,092,133	172,000,000	51,411,701	153,825,274

1 河川施設等維持管理事業費 245,036,815 円 (河川課)

[総括]

浸水被害の防止や軽減、正常な流水機能の維持のため、排水機場、樋門・樋管、除塵機等の河川付属施設の維持管理を行った。今後も施設が正常に機能するように維持管理に努める。

[実績及び成果]

- (1) 排水機場維持管理適正化事業費 72,385,000 円
- (2) 排水機場維持管理事業費 107,412,112 円
- (3) 樋門等操作委託事業費 4,562,797 円
- (4) 河川付属施設維持管理事業費 60,676,906 円

2 河川水路等改良事業費 125,193,771 円 (河川課)

[総括]

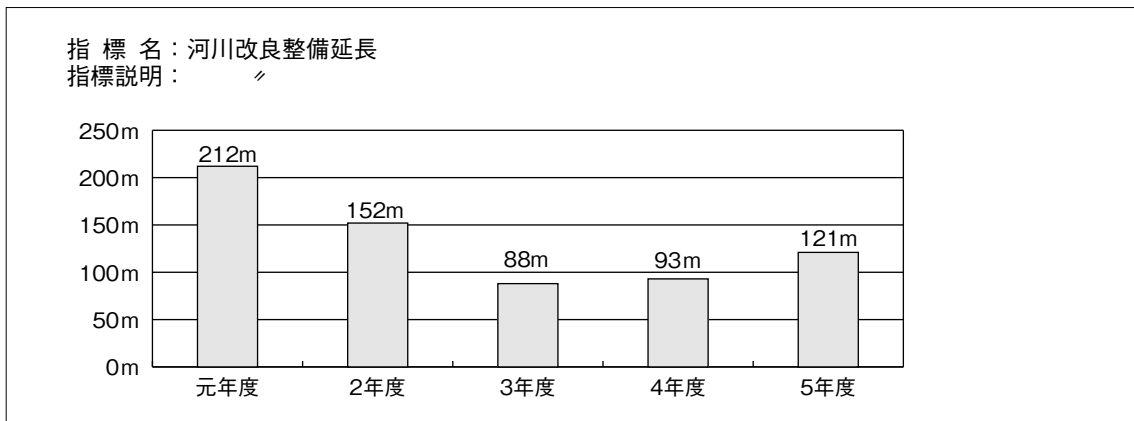
氾濫による被害を防止するため、流下能力を高めるとともに、老朽化した河川・水路の改良工事を行った。今後も改良事業の進捗を図る。

[実績及び成果]

- (1) 河川改良事業費 66,713,904 円

河 川 改 良	令和4年度		令和5年度	
	工 事	延長 93m	工 事	延長 121m

[指 標]

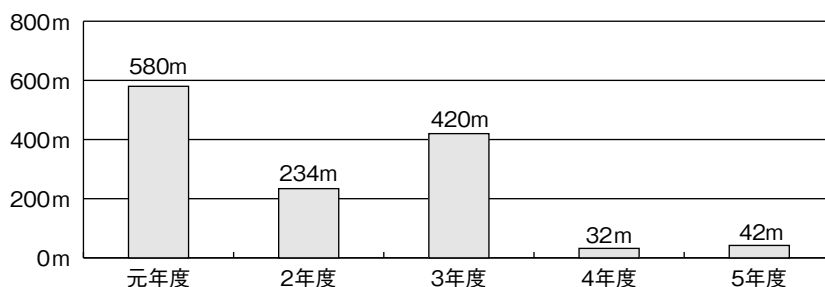


- (2) 水路改良事業費 43,096,545 円

水 路 改 良	令和4年度		令和5年度	
	工 事	延長 32m	工 事	延長 42m

[指 標]

指 標 名：水路改良整備延長
 指標説明： //



(3) 水路改良受託事業費 15,383,322 円

3 大雨浸水対策事業費 184,196,380 円 (河川課)

[総 括]

大雨や集中豪雨にともなう水路等の氾濫による浸水被害を防止するため、水路の改良や管きよの敷設などの工事を行った。今後も浸水対策事業の進捗を図る。

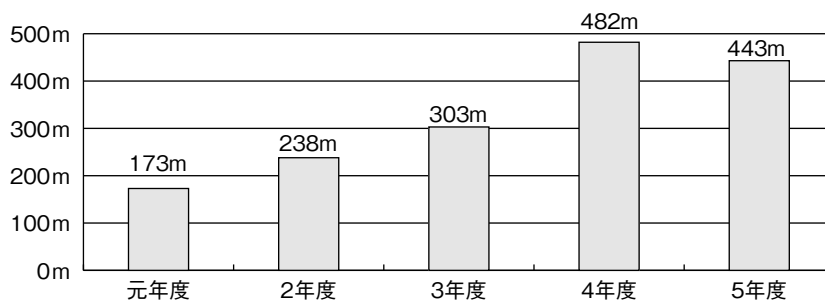
[実績及び成果]

(1) 大雨浸水対策事業費 184,196,380 円

浸 水 対 策	令和 4 年度	令和 5 年度
	工 事 延長 482m	工 事 延長 443m

[指 標]

指 標 名：大雨浸水対策整備延長
 指標説明： //



4 土砂災害対策事業費 5,136,922 円（河川課）

[総括]

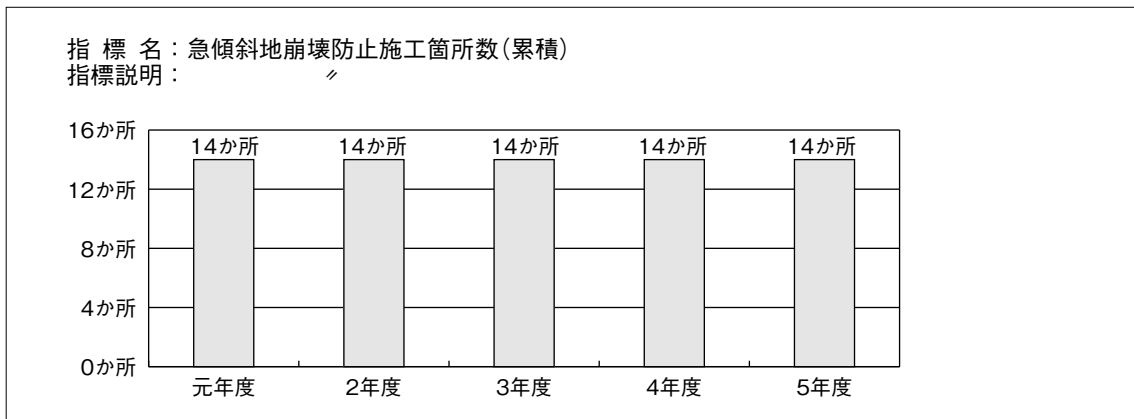
がけ崩れの危険のある区域として、愛知県が指定した急傾斜地崩壊危険区域について崩壊防止工事を実施した。今後も計画的な事業進捗に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 急傾斜地崩壊対策事業負担金 5,136,922 円

事業主体	区分 地区名	令和4年度		令和5年度	
		事業費	市負担金	事業費	市負担金
愛知県	王ヶ崎町北欠	46,392,020円	4,639,202円	45,759,226円	4,575,922円
愛知県	大崎町地下	—	—	5,610,000	561,000

[指標]



5 洪水ハザードマップ作成事業費 2,765,220 円（河川課）

[総括]

洪水浸水想定区域図等に基づき作成した豊川流域、紙田川・境川のハザードマップを印刷・配布した。今後も洪水による被害軽減のため、情報提供に努める。

[実績及び成果]

(1) 洪水ハザードマップ作成事業費 2,765,220 円

河川名	令和4年度	令和5年度
	【作成】 豊川流域 紙田川・境川	【印刷配布】 豊川流域 紙田川・境川

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 建 築 費	999,758,937	126,802,754	104,100,000	392,756,344	376,099,839
2目 人にやさしいまちづくり費 <人にやさしいまちづくりの推進>	1,000,874	0	0	0	1,000,874

1 人にやさしいまちづくり推進事業費 1,000,874円 (建築指導課)

[総括]

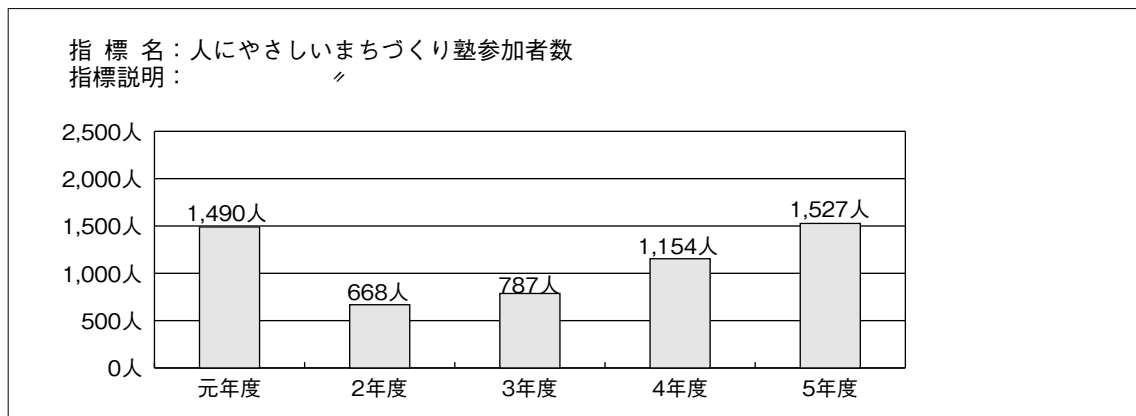
人にやさしいまちづくりを推進するため、ボランティアの協力を得て「人にやさしいまちづくり塾」を市内の小
 学校、中学校、高等学校等で開催した。小学校からの開催依頼が増えたことで、「人にやさしいまちづくり塾」の
 開催回数及び参加者数が増加した。また、ボランティアの養成にもつながる「人にやさしいまちづくり啓発講座」
 を全3回で実施した。今後も誰もが暮らしやすいまちをめざし、人にやさしいまちづくりの担い手育成やバリアフ
 リーの必要性の普及啓発を進めていく。

[実績及び成果]

(1) 人にやさしいまちづくり推進事業費 1,000,874円

啓 発 事 業 開 催 回 数	令和4年度	令和5年度	比 較
		21回	32回

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 公 営 住 宅 費 <住まいの安定確保>	569,863,646	113,448,000	104,100,000	293,796,196	58,519,450

1 住宅維持管理事業費 387,608,484 円 (住宅課)

[総括]

市営住宅の効率的かつ効果的な維持管理を行うため、計画的な工事・修繕を行った。今後も住宅の環境整備を進め、修繕コストの縮減と入居者へのサービス向上に努める。

[実績及び成果]

(1) 住宅管理事業費 339,897,748 円

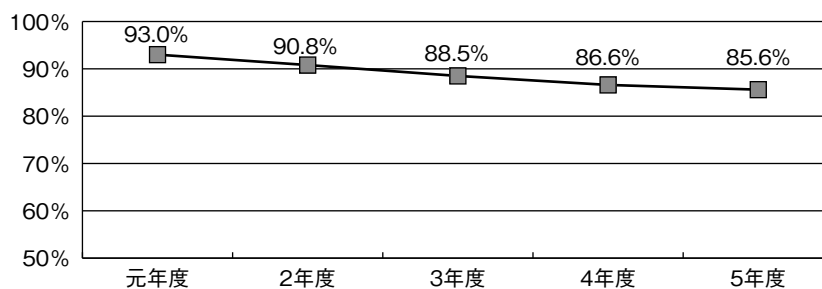
住宅管理戸数 (年度末)	令和4年度	令和5年度
		3,822戸

(2) 住宅維持補修事業費 47,710,736 円

工事内容	令和4年度	令和5年度
屋 上 防 水	中野	向山
エレベーター更新	オノ神	—
外 壁 改 修	—	オノ神
浴 室 改 修	オノ神	オノ神
遊 具 改 修	オノ神、富本、多米、忠興、 小鷹野	空池、向山
手 す り 設 置	空池	空池

[指 標]

指 標 名 : 市営住宅入居率
 指標説明 : 延入居戸数 / (延管理戸数 - 延入居停止戸数)



2 公営住宅建設事業費 179,478,650 円（住宅課）

[総括]

令和6年度に西口住宅建設工事（第3期）に着手するため、解体工事及び実施設計を行った。今後も円滑な建替事業の推進に努める。

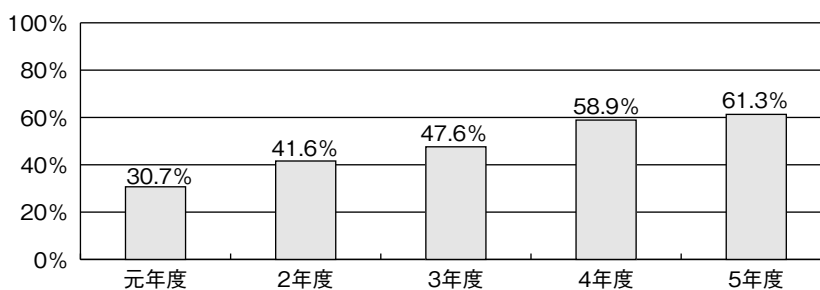
[実績及び成果]

(1) 西口住宅建替事業費 179,478,650 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	建設工事（第2期） 植栽工事 移転補償	

[指標]

指標名：西口住宅建替事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成26年度～令和9年度）



※長寿命化計画の改定により再計算

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 空家対策推進費 <空家対策の推進>	9,601,979	4,441,000	0	0	5,160,979

1 空家対策推進事業費 9,601,979円 (建築物安全推進課)

[総括]

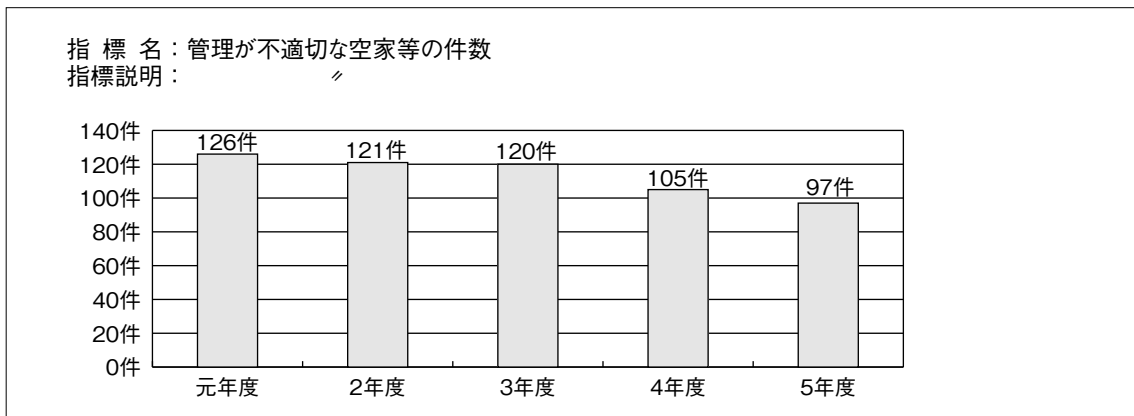
「豊橋市空家等対策計画」に基づき、管理が不適切な空家の所有者に対する助言を行うとともに、空家バンクによる空家の利活用を進めるなど、増加する空家への対策に取り組んだ。また、空家解体促進費補助金により、倒壊危険空家及び老朽空家の解体を促進した。今後も、管理不全空家の所有者への助言・指導や老朽空家等の除却支援を行うとともに、オンラインによる相談窓口の開設や財産清算人制度の活用により空家問題の解決を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 空家対策推進事業費 9,601,979円

区 分	令和4年度	令和5年度	累 計
空家バンクによる空家の利活用件数	2件	5件	50件
空家利活用改修費補助金補助件数	1	0	8
空家解体促進費補助金補助件数	53	32	283

[指 標]



※件数は、各年度末現在。

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 建築指導費	14,512,000	2,600,000	0	0	11,912,000

1 建築指導事務費 14,512,000円 (建築指導課)

[総括]

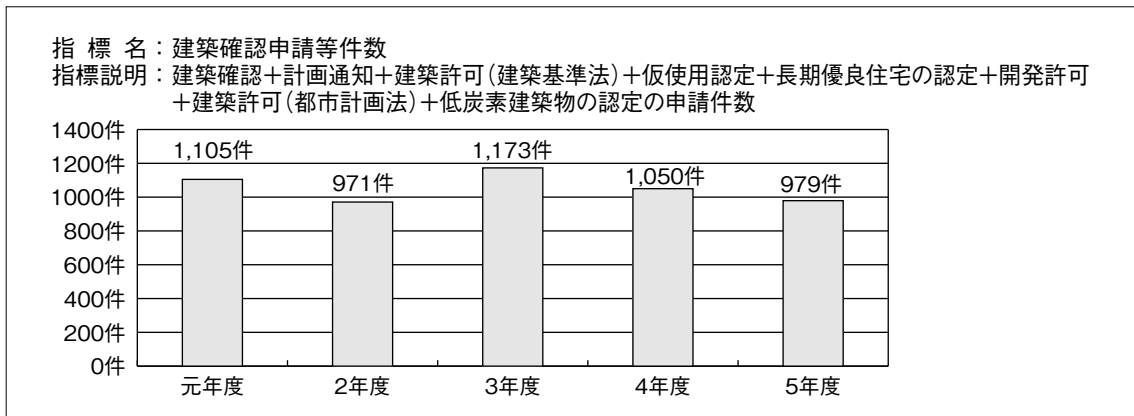
建築基準法に基づく申請のうち、民間からの「確認申請」及び「建築許可申請」は、令和4年度と比較し、令和5年度は増加した。一方、より性能が高いものとして認定される長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく「認定申請」及び都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく「認定申請」は、物価高騰などの影響により減少した。今後も各申請に対し適切な処理をすることにより、住環境の整備並びに都市の健全な発展と秩序ある市街地の形成に努める。

[実績及び成果]

(1) 建築指導事務費 14,512,000円

種 別	区 分	件 数		比 較
		令和4年度	令和5年度	
建築確認申請等	確 認 申 請	9件	16件	77.8%
	計 画 通 知	21	18	△14.3
建築基準法による許可申請等	建 築 許 可 申 請	10	19	90.0
	仮使用認定申請	1	3	3.0倍
長期優良住宅の普及の促進に関する法律	認 定 申 請	741	712	△ 3.9%
都市計画法による許可申請等	開 発 許 可 申 請	10	12	20.0
	建 築 許 可 申 請	229	181	△21.0
都市の低炭素化の促進に関する法律	認 定 申 請	29	18	△37.9

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 都市開発費	115,521,369	143,000	0	874,926	114,503,443
1目 港湾振興対策費 <ものづくり産業を支える港づくり>	90,744,470	143,000	0	40,730	90,560,740

1 港湾関連対策事業費 35,822,096 円 (みなと振興課)

[総括]

三河港振興会が主体となり、インフラ整備要望や三河港の利用促進に向けた企業ヒアリング活動を行うとともに、三河港ポートセミナーを開催し三河港のPR及び利用促進を呼びかけた。また、三河港を利用する企業に対し助成金制度を実施し、完成自動車及びコンテナ取扱量の維持・増加を図った。

令和5年の完成輸入自動車の取扱量は、平成5年以来31年連続で日本一を記録し、金額・台数ともに過去最高を記録した。

また、コンテナ取扱量は、景気回復による内貿貨物の増加に加え、コンテナ運賃がコロナ禍以前の水準に戻ったことにより、コロナ禍により落ちこんだ前年度に比べ回復傾向がみられた。

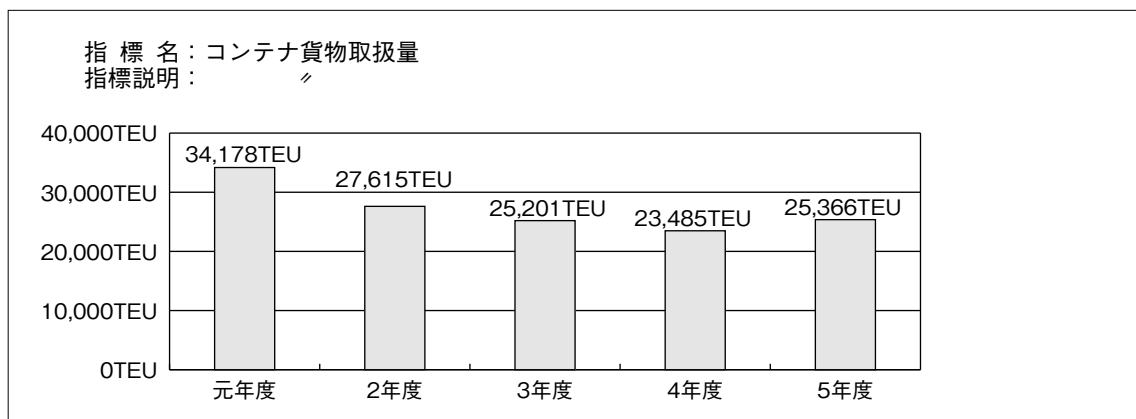
今後は、企業用地の確保や臨港地区における渋滞の解消など、三河港の物流機能の向上に向けた要望活動を行うとともに、令和5年度に行ったコンテナ物流他将来性検討調査の結果を参考に新たな助成金制度の立ち上げを検討するなど、コンテナ取扱量の増加に向けたインセンティブ制度の拡充や新たな取扱貨物の創貨に取り組んでいく。

[実績及び成果]

- (1) 港湾関連調整事務費 11,222,096 円
- (2) 三河港振興会負担金 24,600,000 円

内 容	令和4年度	令和5年度
運 営 費 負 担 金	100,000円	100,000円
コンテナ委員会負担金	8,000,000	11,000,000
自動車港湾委員会負担金	500,000	500,000
三河港自動車流通強化支援事業負担金	10,210,000	13,000,000

[指 標]



※ TEU : twenty-foot equivalent unit、20 フィートコンテナ換算

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 みなとにぎわい創出費 <港のにぎわいの創出>	24,776,899	0	0	834,196	23,942,703

1 みなとにぎわい創出事業費 311,781円 (みなと振興課)

[総括]

港の重要性や必要性を理解してもらい、港に親しみを持ってもらえる機会を提供する場として、カメメリアを拠点にイベントを実施している。令和5年度は、4年ぶりにイベントを再開し、参加者が前回(令和元年度)を大きく上回った。

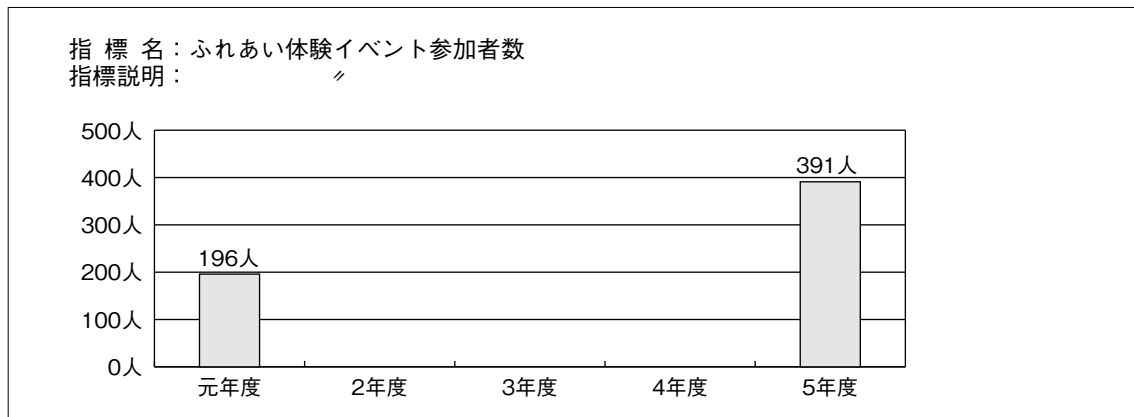
今後は、新たな工場見学先を探すとともに、コロナ禍に工場見学を中止していた企業と再開に向けての調整を行っていく。

[実績及び成果]

(1) みなとにぎわい創出活動事業費 311,781円

内 容	令和4年度	令和5年度
関係団体数	0団体	9団体
イベント参加者数	0人	391人

[指 標]



※令和2年度から令和4年度までは、新型コロナウイルス感染症予防のため中止

2 ポートインフォメーションセンター管理運営費 19,065,118円 (みなと振興課)

[総括]

この地域における三河港の重要性や必要性の理解を深めてもらうとともに、港を気軽に訪れ、親しみを持ってもらうためにポートインフォメーションセンターの適正な維持、管理に努めた。

令和5年度は、基本的な感染防止対策を維持しつつ、小学校の社会科見学の受け入れなどを行った。今後も、適切なサービスの提供や展示内容の刷新を図り、利用者に親しまれる施設にしていく。

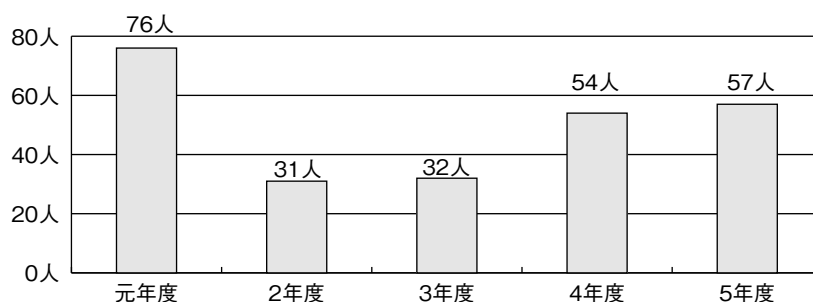
[実績及び成果]

(1) ポートインフォメーションセンター管理運営費 19,065,118円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
開 館 日 数	359日	360日	0.3%
利 用 者 数	延 19,473人	延 20,661人	6.1

[指 標]

指 標 名：ポートインフォメーションセンター 1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



3 港イベント事業費 5,400,000 円（みなと振興課）

[総 括]

三河港が地域や日本において、大切な港であることを広く理解してもらい、港への関心と親しみを高めることは三河港の振興にとって重要であるため、港を中心にフェスティバルを開催する豊橋みなとフェスティバル実行委員会へ助成した。令和5年度は三河港モーターショーを同時に開催したこともあり大いに盛り上がった。

今後も、イベント開催時期の暑さ対策を講じつつ、港湾関連団体やインポーターの協力を得ながら港の重要性について理解を深める場を継続して提供していく。

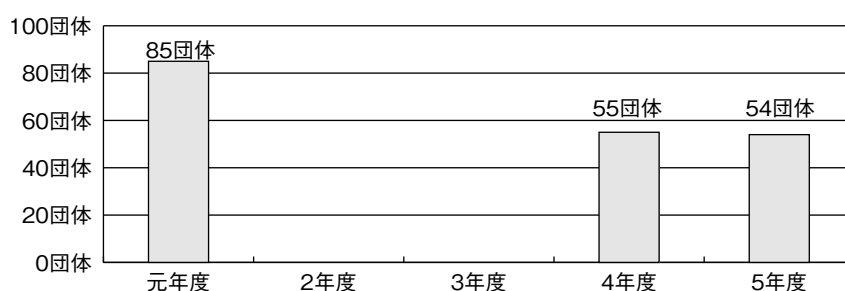
[実績及び成果]

(1) みなとフェスティバル補助金 5,400,000 円

補 助 金	令和4年度	令和5年度
	5,400,000円	5,400,000円

[指 標]

指 標 名：みなとフェスティバル参加団体数
 指標説明：〃



※令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため中止

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 都市計画費	4,879,811,008	1,432,050,000	527,800,000	53,821,814	2,866,139,194
2目 公園・緑地づくり費 <地域に根差した公園・緑地づくり>	809,376,563	101,975,000	106,400,000	21,826,842	579,174,721

1 公園施設維持管理事業費 599,689,760 円 (公園緑地課)

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を確保するため、市内 552 か所の公園・緑地・遊園・ちびっこ広場等を適正に管理するとともに、公園施設の安全点検や照明灯・遊具の更新等を行った。また、損傷や劣化の見られる吉田城址の石垣の修復を行った。今後も公園施設の維持管理を計画的・効率的に行うことによりコストの低減を図る。

[実績及び成果]

(1) 公園維持管理事業費 400,473,237 円

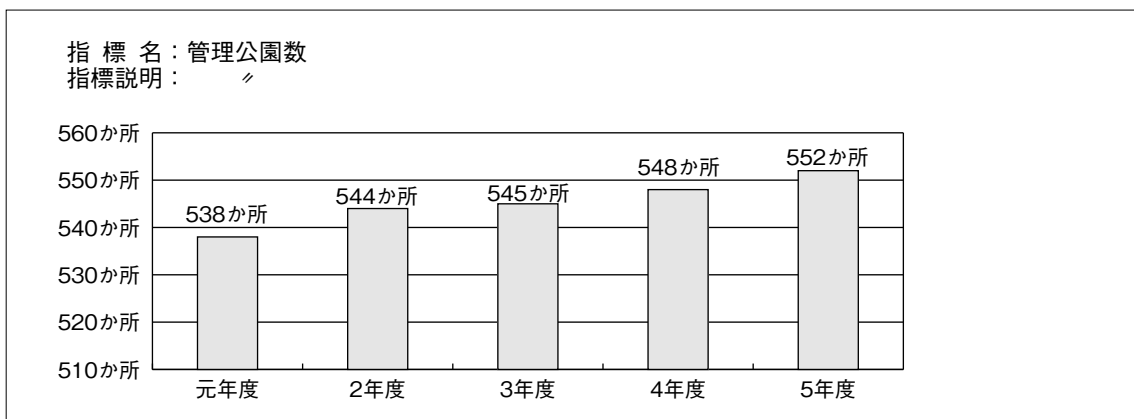
除草清掃・施設管理委託等	令和4年度	令和5年度
		高師緑地始め548か所

(2) 公園修繕事業費 199,216,523 円

(国庫補助事業 125,800,000 円 市単独事業 73,416,523 円)

内 容	令和4年度	令和5年度
照明灯修繕	豊橋公園ほか	豊橋公園ほか
遊具補修	高洲町ちびっこ広場ほか	下五井町ちびっこ広場ほか
諸施設及び塗装修繕等	岩屋緑地ほか	高師緑地ほか
外柵修繕	三本木中央公園ほか	小池公園ほか
照明灯更新	緑ヶ丘公園ほか	五反田公園ほか
遊具更新	大脇公園ほか	老津公園ほか

[指標]



2 公園緑地整備事業費 78,541,952 円（公園緑地課）

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を創出するため、三ツ山公園の再整備を行った。また、都市計画決定後、長期間未整備となっている公園や緑地の見直し方針の策定を進めた。今後も標準配置に則した公園等の整備を推進する。

[実績及び成果]

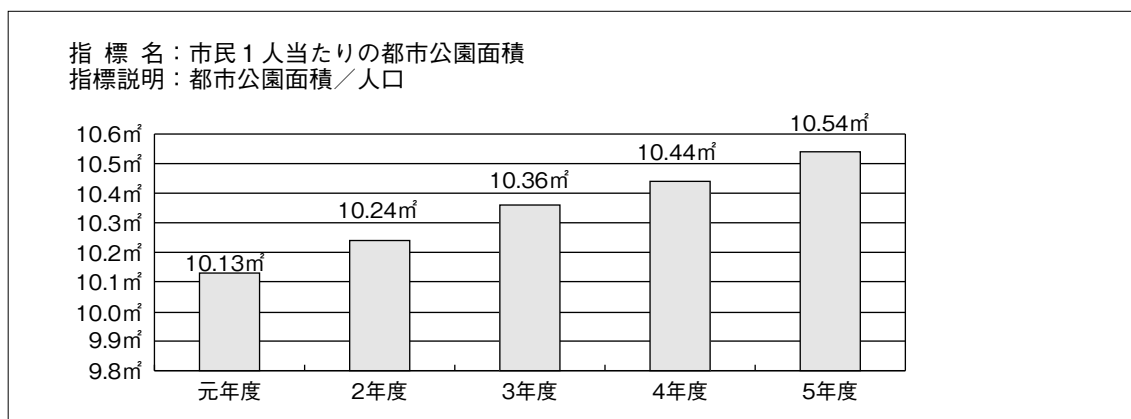
- (1) 街区公園等整備事業費 72,468,000 円
 (国庫補助事業 67,289,400 円 市単独事業 5,178,600 円)

公園名	令和4年度	令和5年度
	松島公園ほか 遊具広場整備等	三ツ山公園ほか 遊具広場整備等

- (2) 長期未整備公園見直し事業費 6,073,952 円

内容	令和4年度	令和5年度
	—	長期未整備公園見直し方針の策定

[指標]



3 総合スポーツ公園整備事業費 4,523,200 円（公園緑地課）

[総括]

豊橋総合スポーツ公園B地区への野球場整備に向け、現況測量調査を行った。

[実績及び成果]

- (1) 総合スポーツ公園整備事業費 4,523,200 円

内容	令和4年度	令和5年度
	—	現況測量調査

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 緑化・美化活動推進費 <緑化・美化活動の推進>	502,176,504	13,326,000	0	6,302,000	482,548,504

1 緑化維持管理事業費 458,642,248 円 (公園緑地課)

[総括]

緑に囲まれた良好なオープンスペースを確保するとともに、地域の景観の維持を図るため、街路樹及び公園樹の剪定、刈り込み、施肥等を行った。今後も、街路樹再生指針に基づき、街路樹の適正化を図るとともに、市民の安全に配慮した街路樹及び公園樹の維持管理を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等維持管理事業費 228,616,728 円

路 線 名	令和4年度	令和5年度
		平川本町・多米東町7号線始め280路線

(2) 公園樹等維持管理事業費 186,865,120 円

公 園 名	令和4年度	令和5年度
		高師緑地ほか

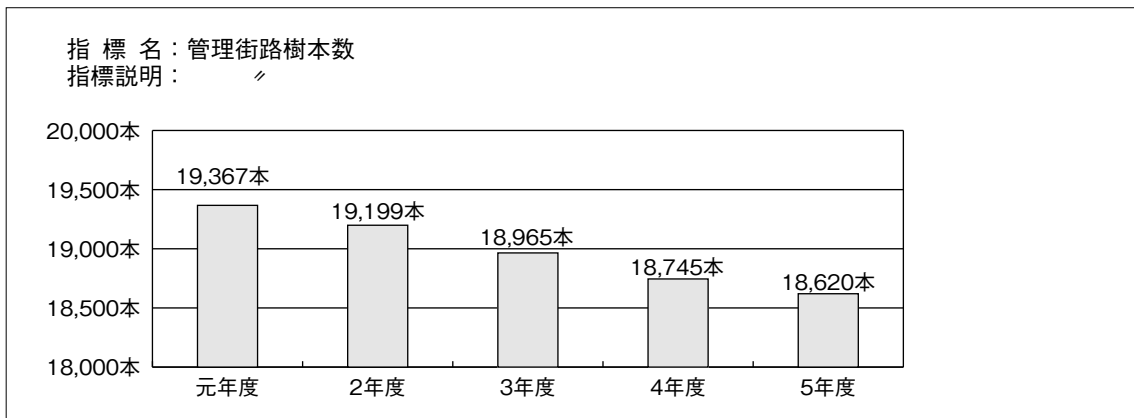
(3) 街路樹等維持補修事業費 24,084,500 円

路 線 名	令和4年度	令和5年度
		植田町・大崎町1号線ほか

(4) 軌道緑化維持管理事業費 19,075,900 円

内 容	令和4年度	令和5年度
		維持管理面積 658㎡

[指標]



2 緑化推進事業費 12,701,449 円 (公園緑地課)

[総括]

市民参加型の緑化活動を推進するため、花交流フェア、桜守講座等を開催するとともに、市民に愛着のある緑化を推進するため、街路樹等の植え替えを行い再生を図った。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等緑化推進事業費 9,659,570 円

(県費補助事業 9,659,570 円)

内 容	令和4年度		令和5年度	
		牛川通41号線		牛川通41号線
高木植栽	ヤマボウシ	13本	高木植栽	ハナミズキ
高木植栽	ハナミズキ	2		16本
	飯村北9号線			
高木植栽	カワヅザクラ	14		
	飯村南1号線			
高木植栽	カワヅザクラ	15		

(2) 公園樹等緑化推進事業費 875,879 円

(県費補助事業 865,000 円 市単独事業 10,879 円)

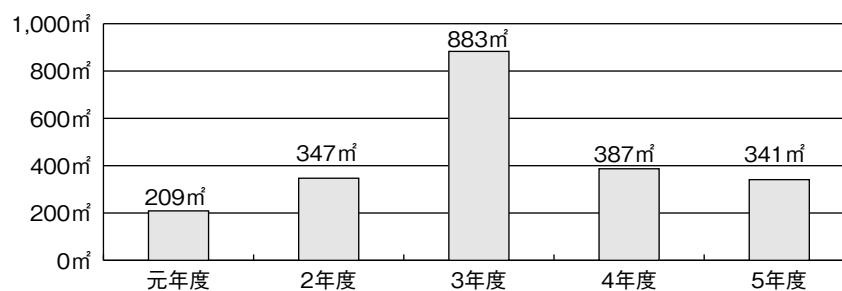
内 容	令和4年度		令和5年度	
		向山緑地		向山緑地
高木植栽	サクラ	5本	高木植栽	サクラ
				5本

(3) 民有地緑化推進事業補助金 2,156,000 円

内 容	令和4年度		令和5年度	
		2件	287.7㎡	3件

[指 標]

指 標 名：街路・公園に植栽した緑被及び花壇の面積
 指標説明： //



3 公園等維持管理事業費

29,679,790 円（公園緑地課）

[総括]

市民の公園及び街路樹への愛着心や美化意識の向上を図るため、市民協働で公園や街路樹周辺の美化活動を行った。緑のアダプト制度の登録数や公園管理自治会数も順調に伸びており、今後も市民、事業者、行政の協働によって美化活動を推進する。

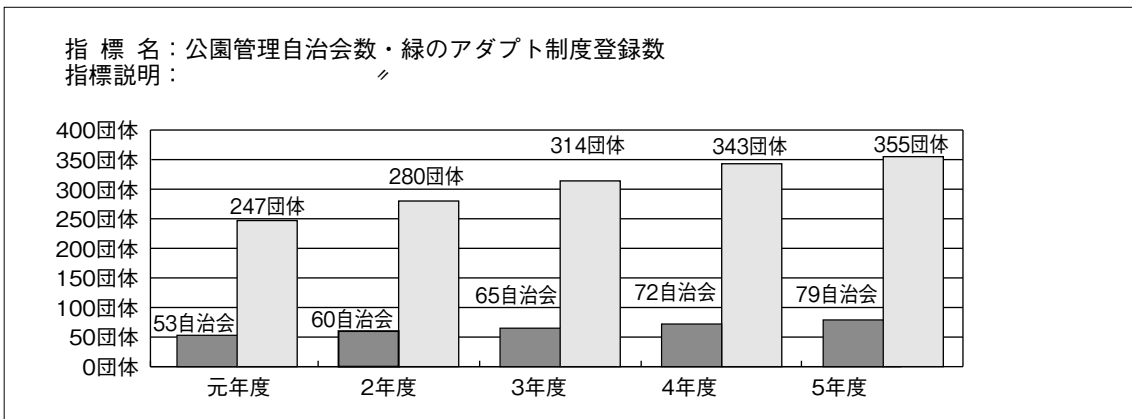
[実績及び成果]

(1) 公園等美化活動事業費

29,679,790 円

区 分	令和4年度	令和5年度
公園管理自治会数	72自治会	79自治会
緑のアダプト制度登録数	343団体	355団体

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 まとまりのある都市構造形成費 <まとまりのあるまちの形成>	180,570,213	20,248,000	0	0	160,322,213

1 まとまりのある都市構造推進事業費 180,570,213 円 (都市計画課)

[総括]

「豊橋市立地適正化計画」の評価・検証を行い、その結果を踏まえ改定するとともに、同計画に基づき、歩いて暮らせるまち区域定住促進補助金等の居住誘導策を行った。また、まちづくりにおけるDXの推進のため、3D都市モデルを整備し、オープンデータ化するとともに、活用を推進した。

[実績及び成果]

(1) 都市計画事務費 48,028,100 円

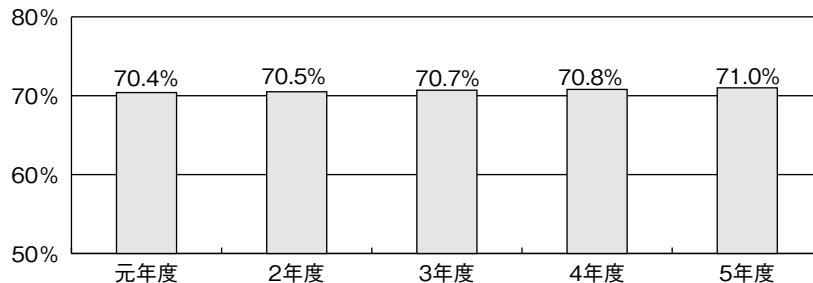
内 容	令和4年度		令和5年度	
	豊橋市立地適正化計画の推進 豊橋市立地適正化計画改定業務 市街化調整区域内既存集落の現状調査・分析			豊橋市立地適正化計画の評価・検証、改定 3D都市モデルの整備・オープンデータ化・活用

(2) 歩いて暮らせるまち区域定住促進補助金 72,532,000 円

補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		395件	54,841,000円	615件

[指 標]

指 標 名：全人口に占める居住誘導区域内人口の割合
指標説明：
〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5日 まちなか整備費 <魅力あるまちなかの整備>	1,744,612,614	1,225,809,000	421,400,000	1,132,476	96,271,138

1 再開発推進事業費 298,828 円 (まちなか活性課)

[総括]

豊橋駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業及び豊橋花園商店街地区優良建築物等整備事業において、施行者に対する指導・助言を行った。また、豊橋広小路一丁目北地区において、再開発を推進する準備組合に助言等を行った。今後もこれら事業の進捗を図るほか、老朽化した街区の更新を検討している地区に対して、事業化に向けた調整を行っていく。

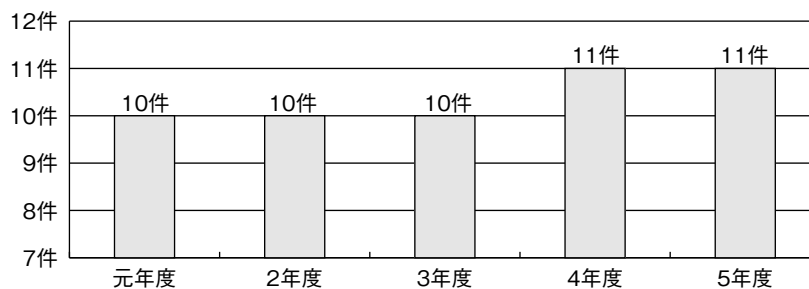
[実績及び成果]

(1) 再開発推進事務費 298,828 円

事業費	令和4年度	令和5年度
		318,290円

[指標]

指標名：事業化実施数
指標説明：再開発事業着手の累計地区数



2 市街地再開発等事業費 1,711,900,000 円 (まちなか活性課)

[総括]

都心居住の促進や集客施設の整備を図り、中心市街地の活性化に繋げるため、豊橋駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業及び豊橋花園商店街地区優良建築物等整備事業の施行者に対して助成を行った。また、再開発事業の初動期支援のため、豊橋広小路一丁目北地区の再開発準備組合に対して助成を行った。

[実績及び成果]

(1) 駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業費 1,634,600,000 円

内 容	令和4年度	令和5年度
		西棟建築工事等

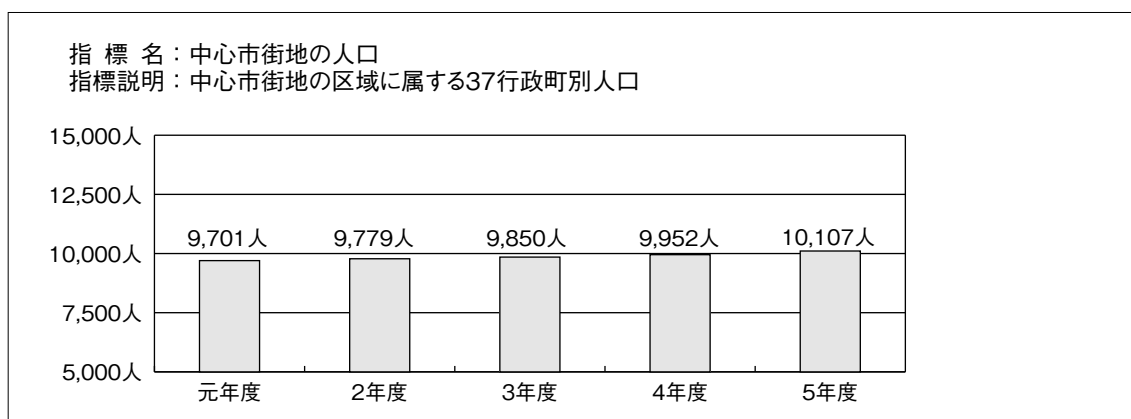
(2) 豊橋花園商店街地区優良建築物等整備事業費 52,800,000 円

内 容	令和4年度	令和5年度
		調査設計、建築物解体工事等

(3) 豊橋駅周辺地区再開発推進事業費 24,500,000 円

内 容	令和4年度	令和5年度
		豊橋広小路一丁目北地区 コーディネート委託業務

[指 標]



3 中心市街地環境整備事業費 12,252,226 円（まちなか活性課）

[総 括]

豊橋駅西口駅前地区において、駅前広場の再整備に向けた関係者へのヒアリング調査や事業手法の調査検討などを行った。また、駅前大通りを誰もが滞留しやすく、歩いて楽しい通りとするため、豊橋まちなか未来会議と連携して、歩道空間を活用した実証実験を行うとともに、めざす姿を描いた基本計画を作成した。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅西口駅前地区活性化推進事業費 98,226 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	豊橋駅西口駅前地区活性化に向けた関係者との調整等	豊橋駅西口駅前地区活性化に向けた関係者との調整等

(2) 居心地が良く歩きたくなる空間形成事業費 12,154,000 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	—	歩道空間を活用した実証実験の実施及び基本計画の作成

4 中心市街地活性化推進事務費 1,497,848 円（まちなか活性課）

[総 括]

「中心市街地活性化基本計画」の事業効果を継続的に確認するために通行量調査を実施した。今後も、中心市街地の活性化に向けた取組みを着実に推進していく。

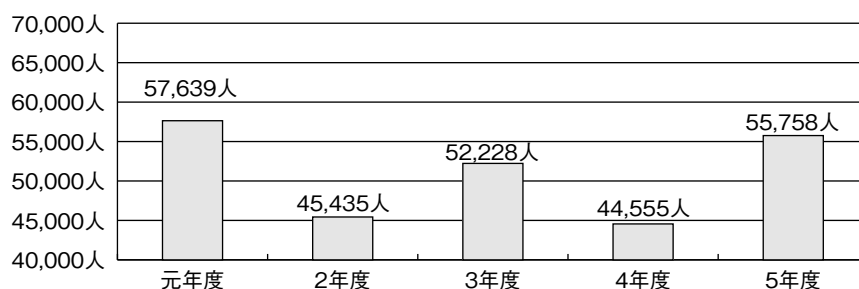
[実績及び成果]

(1) 中心市街地活性化推進事務費 1,497,848 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	中心市街地通行量調査	中心市街地通行量調査

[指 標]

指 標 名：中心市街地の休日歩行者通行量
 指標説明：中心市街地内7地点の休日歩行者通行者数の合計



5 まちなか広場管理事業費 6,859,331 円 (まちなか活性課)

[総 括]

まちなか広場を快適に利用し、滞在することができる空間となるよう維持管理を実施した。

[実績及び成果]

(1) まちなか広場管理事業費 6,859,331 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	植栽管理・清掃委託等	植栽管理・清掃委託等

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 まちづくり景観形成費 <地域らしくこちよい景観の形成>	3,154,097	0	0	1,074,260	2,079,837

1 まちづくり景観推進事業費 3,154,097円 (都市計画課)

[総括]

景観法に基づく「豊橋市景観計画」に沿って、地域の景観に調和した建築行為等の規制・誘導を行った。また、二川宿景観形成地区において、景観に配慮した建築行為等に対する助成を行い、歴史的なまち並み景観形成を推進した。

[実績及び成果]

(1) 都市景観推進事業費 1,564,837円

内 容	令和4年度		令和5年度	
	景観計画に沿った規制・誘導 景観重要建造物の指定	3件		2件

(2) まちづくり景観形成助成金 515,000円

(ア) まちづくり景観形成整備事業助成金 515,000円

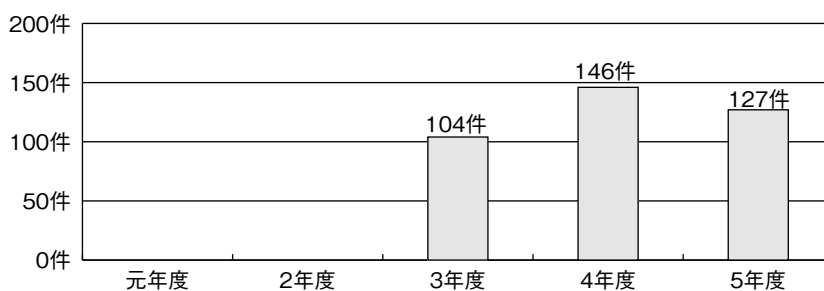
助 成 金	令和4年度		令和5年度	
		2件	2,416,000円	3件

(3) 屋外広告物対策事業費 1,074,260円

区 分	令和4年度	令和5年度
許 可 件 数	2,277件	1,939件
違反広告物撤去件数	42	14

[指 標]

指 標 名：良好な景観形成の助言件数
 指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 公共交通維持活性化費 <公共交通の維持と活性化>	307,172,210	70,114,000	0	4,299,575	232,758,635

1 公共交通活性化事業費 24,325,410円 (都市交通課)

[総括]

「豊橋市都市交通計画 2016-2025」の基本理念である「多様な交通手段を誰もが使い、過度に自家用車に頼ることなく生活・交流ができる都市交通体系の構築」をめざすため、高齢者や子育て世代等も利用しやすいユニバーサルデザインタクシー導入への補助や路線バスのICカード導入に対し助成したほか、路線バス等運転士確保支援事業を行った。今後も市民等の公共交通に対する意識変革を促すとともに、誰もが安心・安全で快適に移動できる環境を整え、公共交通の利便性の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 公共交通活性化事業費 24,325,410円

(ア) ユニバーサルデザインタクシー導入補助金 1,200,000円

導 入 台 数	令和4年度		令和5年度	
		2台		8台

(イ) MaaS環境整備事業費補助金 576,000円

補 助 金	令和4年度		令和5年度	
		1事業者	417,500円	1事業者

(ウ) モビリティマネジメント推進費等 2,455,410円

[路線バス等運転士確保支援事業]

内 容	令和4年度	令和5年度
説明会参加者数	9人	4人
採用者数	1	2

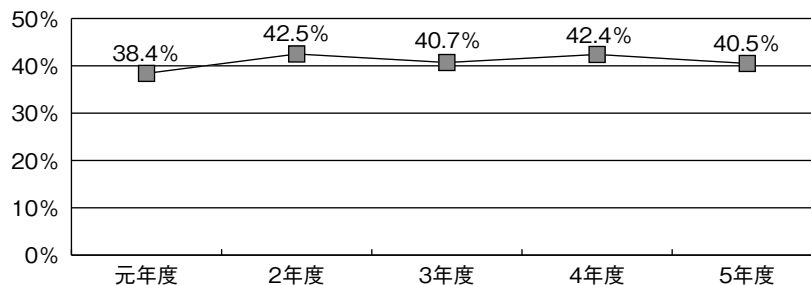
(エ) 交通系ICカード導入支援事業費補助金 20,094,000円

内 容	令和4年度	令和5年度
	—	運賃箱、運賃表示器等の取付

[指 標]

指 標 名：「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



2 公共交通対策事業費

279,304,249 円（都市交通課）

[総括]

市民生活の重要な移動手段である公共交通を維持確保するため、鉄軌道事業者の施設改修や路線バスの運行に対し支援を行ったほか、地域住民が主体のコミュニティバス（「地域生活」バス・タクシー）の本格運行事業を5地区で実施した。また、県境地域の新たな移動手段を確保するため、湖西市・株式会社デンソーと連携し、企業シャトルバスを活用した社会実験を実施した。今後も公共交通の安全・安心な運行の確保維持を支援するとともに、利用を促す取組みを実施していく。

[実績及び成果]

(1) 公共交通対策事業費 279,304,249 円

(ア) 市内線単路部軌道敷改修事業費補助金 17,666,666 円

実施箇所	令和4年度		令和5年度	
		単路部（東田～競輪場前間）		単路部（東田～競輪場前間）

(イ) 鉄軌道施設安全対策事業費補助金 55,232,995 円

補助金	令和4年度		令和5年度	
		1事業者	26,299,691円	1事業者

(ウ) バス運行対策費補助金 89,000,000 円

補助路線数	令和4年度		令和5年度	
		13路線		12路線

(エ) 企業シャトル BaaS 社会実験事業負担金 944,614 円

企業シャトルバスの 延べ利用者数 (豊橋市)	令和4年度		令和5年度	
		147人		229人

(オ) 「地域生活」バス・タクシー運行事業補助金 34,536,410 円

本格運行地区	令和4年度		令和5年度	
		東部地区、北部地区、南部地区、 前芝地区、川北地区		東部地区、北部地区、南部地区、 前芝地区、川北地区

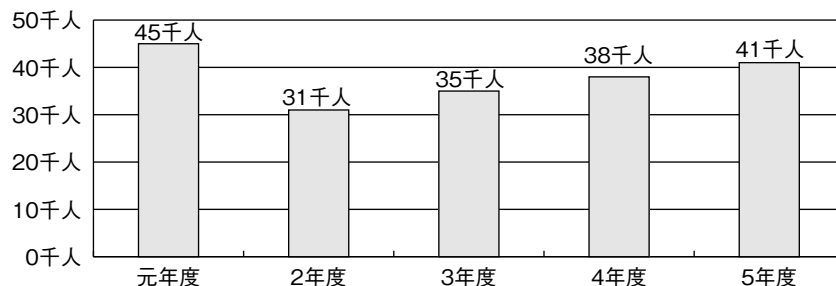
(カ) 「地域生活」バス・タクシー運営経費補助金 1,236,958 円

運営団体数	令和4年度		令和5年度	
		7団体		7団体

(キ) 公共交通利用促進費等 1,059,606 円

[指標]

指標名：公共交通の1日当たりの利用者数
 指標説明：渥美線、路面電車、路線バス、「地域生活」バス・タクシーの利用者数／運行日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 自転車活用推進費 ＜自転車活用の推進＞	947,805	0	0	0	947,805

1 自転車活用推進事業費 947,805 円 (都市交通課)

[総括]

自転車利用者の誘客による地域振興及び日常的な自転車利用を促進するための取組みとして、デジタルサイクリングマップを活用したサイクルラリーイベントを実施し、サイクルトレインやナショナルサイクルルートの魅力を発信した。今後も市民や関係団体と連携・協働し、自転車の利用環境の整備や利用啓発活動等の取組みを進める。

[実績及び成果]

(1) 自転車活用推進事業費 947,805 円

(ア) 自転車活用環境整備事業費 868,050 円

イベント参加人数	令和4年度	令和5年度
		37人(2日間)

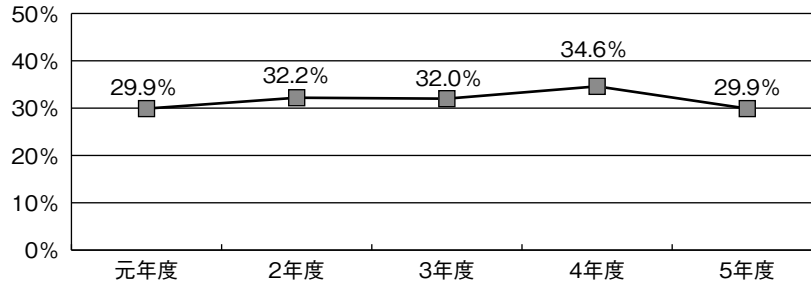
(イ) 自転車活用推進費 79,755 円

内 容	令和4年度	令和5年度
		自転車活用推進委員会等の開催

[指標]

指標名：「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 区 画 整 理 費	908,973,635	129,536,000	316,800,000	13,434,400	449,203,235
2目 市 街 地 整 備 費 <まとまりのあるまちの形成>	773,582,389	129,536,000	316,800,000	13,406,000	313,840,389

1 牟呂坂津土地区画整理事業費 100,781,889 円 (区画整理課)

[総 括]

令和7年度の換地処分に向け、換地計画図書や公共施設引継図書を作成した。今後も地権者の理解を得ながら、引き続き事業推進を図る。

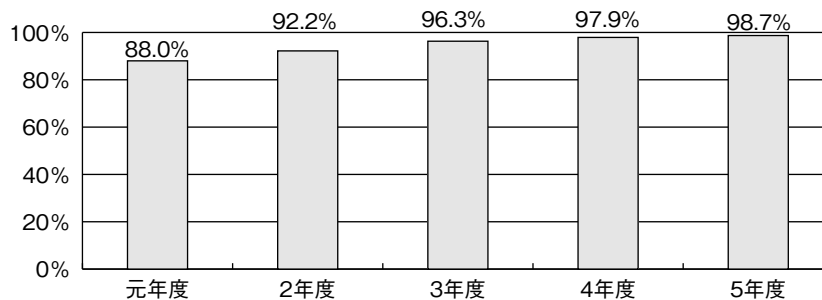
[実績及び成果]

- (1) 牟呂坂津土地区画整理事業費 100,781,889 円
(国庫補助事業 12,900,000 円 市単独事業 87,881,889 円)

内 容	令和4年度	令和5年度
	道路築造 延長 335m 宅地造成 面積 5,704㎡ 補 償 電柱、水道管移設 89m	

[指 標]

指 標 名：牟呂坂津土地区画整理事業進捗率
指 標 説 明：累積直接事業費 / 全体直接事業費 (平成13年度～令和12年度)



2 組合土地区画整理推進事業費 664,088,500 円 (区画整理課)

[総 括]

土地区画整理事業の円滑な推進を図るため、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合に対し指導・監督を行うとともに、補助金を支出した。また、牛川西部及び柳生川南部土地区画整理組合が行った事業に対し負担金を支出した。今後も各組合に対して指導等を行い、早期に事業が完了するよう努める。

[実績及び成果]

- (1) 牛川西部土地区画整理推進事業費 269,949,000 円
(ア) 土地区画整理事業補助金 267,061,000 円

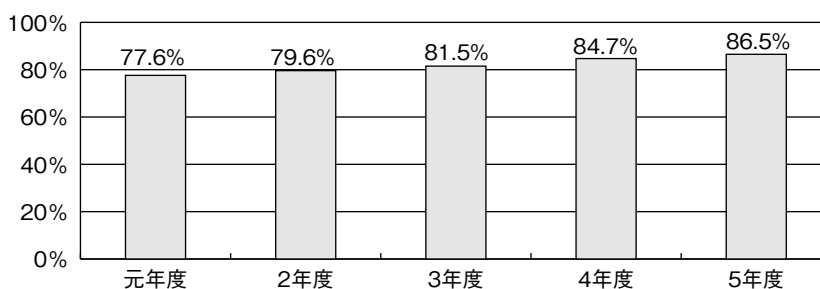
補 助 金	令和4年度	令和5年度
	406,738,000円	267,061,000円

(1) 土地区画整理事業負担金 2,888,000 円

負 担 金	令和 4 年度	令和 5 年度
	7,875,000円	2,888,000円

[指 標]

指 標 名：牛川西部土地区画整理事業進捗率
 指標説明：累積事業費／全体事業費(平成7年度～令和16年度)



(2) 柳生川南部土地区画整理推進事業費 394,139,500 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 308,647,000 円

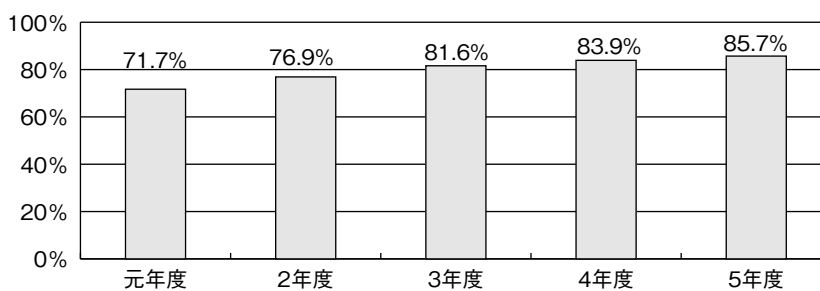
補 助 金	令和 4 年度	令和 5 年度
	426,877,000円	308,647,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 85,492,500 円

負 担 金	令和 4 年度	令和 5 年度
	8,737,000円	85,492,500円

[指 標]

指 標 名：柳生川南部土地区画整理事業進捗率
 指標説明：累積事業費／全体事業費(平成14年度～令和11年度)



3 長期未着手区画整理区域におけるまちづくり推進事業費 8,712,000 円（区画整理課）

[総括]

長期未着手となっている区画整理区域において現況調査を実施し、都市基盤施設の課題や整備の必要性等の整理を行った。今後も地域住民とともに、都市基盤施設に関する課題解消に向けたまちづくりの検討を行う。

[実績及び成果]

(1) 長期未着手区画整理区域におけるまちづくり推進事業費 8,712,000 円

内 容	令和4年度	令和5年度
		—

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9 款 消 防 費	3,385,493,446	19,686,880	68,900,000	127,180,619	3,169,725,947
1 項 消 防 費	3,385,493,446	19,686,880	68,900,000	127,180,619	3,169,725,947
2 目 消 防 費 < 消防体制の充実 >	560,181,974	16,703,880	68,900,000	73,035,509	401,542,585

1 消防署所施設管理事業費 121,035,533 円 ((消) 総務課)

[総括]

消防防災活動の拠点となる消防庁舎の長寿命化及び機能強化を図るため、建設後 50 年を経過する南消防署大清水出張所の大規模改修工事を実施するとともに、大規模災害に対応するため、市南西部において緊急車両や災害対応車両等の給油を可能とする自家用給油取扱所を設置した。今後も、計画的な施設保全に努めるとともに、必要に応じた機能強化を行うことで、消防体制の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 消防署所施設管理事業費 121,035,533 円

(ア) 南消防署大清水出張所大規模改修工事

3 か年継続事業の 2 年度 総事業費 236,000,000 円

構 造	内 容	延 床 面 積
鉄筋コンクリート造・ 鉄骨鉄筋コンクリート造 2階建	屋上防水改修、外壁改修、 内装改修	933.10㎡

(イ) 南消防署大清水出張所自家用給油取扱所設置工事 46,476,100 円

[消防署自家用給油取扱所車両用燃料備蓄数量]

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度
ガ ソ リ ン	22,500 ℓ	32,500 ℓ
軽 油	12,500	17,500

2 通信指令事業費 92,647,675 円 (通信指令課)

[総括]

迅速かつ的確な出動指令により、災害による被害の軽減を図るとともに、救急事案における緊急度判定基準に基づく口頭指導を実施し、傷病者の重症化防止を図った。

今後も、的確な出動指令により、市民の生命、身体及び財産を守るため、東三河各市消防本部と連携し通信指令体制の強化を図っていく。

[実績及び成果]

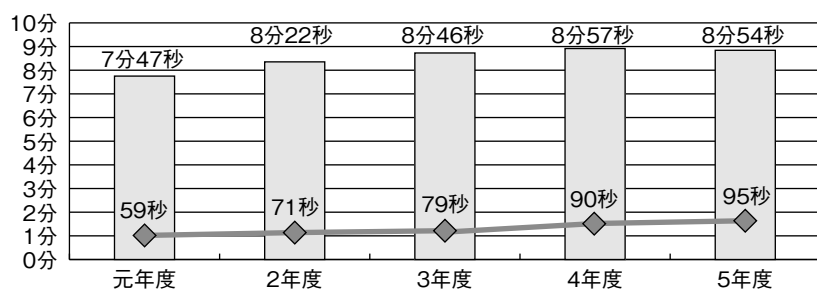
(1) 通信指令事業費 92,647,675 円

[受信内訳]

内 容	令和 4 年度	令和 5 年度	比 較
119 番 通 報 件 数	22,995件	24,681件	7.3%
固 定 電 話	5,605	5,160	△ 7.9
携 帯 電 話	12,866	14,644	13.8
I P 電 話	4,524	4,877	7.8

[指標]

指標名：119番(火災・救急・救助)受信から現場到着までに要した時間(平均)
 指標説明：所要時間/件数



※折れ線部分は受信から指令までに要した時間(平均)

3 警防活動費 15,630,964 円 (消防救急課)

[総括]

市民の生命、身体及び財産を火災から守り、被害を最小限に抑えるため、消防機械器具の整備や消防隊員の知識、技術の向上に努めた。今後も、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、東三河各市消防本部や警察等の関係機関とも連携し、大規模火災を想定した訓練等を実施するなど、災害対応力の強化を図っていく。

[実績及び成果]

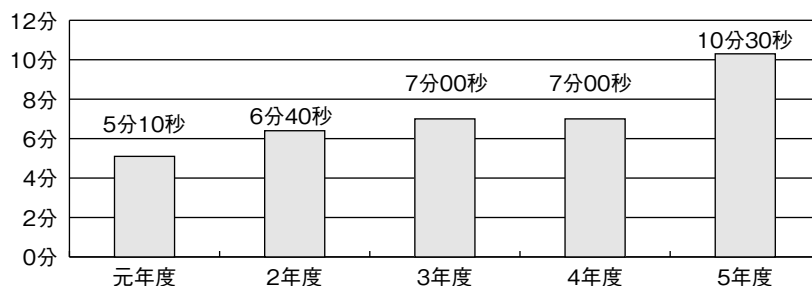
(1) 警防活動費 15,630,964 円

[火災発生状況]

区分	令和4年度	令和5年度	比較
出火件数	121件	97件	△19.8%
り災棟数	68棟	62棟	△ 8.8
り災世帯	41世帯	28世帯	△31.7
り災人員	93人	58人	△37.6
焼損面積(建物)	1,122㎡	1,144㎡	2.0
損害額	58,679千円	138,510千円	2.4倍

[指標]

指標名：火災出動から放水開始までの時間(市街地の木造一般住宅火災)(平均)
 指標説明：火災出動から先着隊の放水開始までの時間



4 消防団活動事業費

171,356,445 円 ((消) 総務課)

[総括]

消防団員の安全確保のための装備品と活動用資機材の充実を図るとともに、消防団員募集ポスターの作成や SNS を活用した情報発信など、消防団 PR 事業を行い消防団員の確保に努めた。

また、消防団員の処遇改善のため、国の定める基準に合わせ報酬の改定を行った。

さらに、令和 4 年度に開催した豊橋市消防団組織等改善協議会で取りまとめられた意見書を踏まえ、地域、行政など消防団に関わるすべての人とともに、めざすべき将来像の実現に向けた「豊橋市消防団ビジョン」を策定した。

今後も、市民の期待に応え続ける持続可能な消防団組織の構築と、地域防災力の向上を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 消防団員管理事業費 163,167,245 円

[災害・警戒出動、訓練・式典等の参加人数]

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	比 較
災 害 ・ 警 戒 出 動	2,263人	2,016人	△10.9%
訓 練 ・ 式 典 等	6,215	4,091	△34.2

(2) 消防団交付金 8,189,200 円

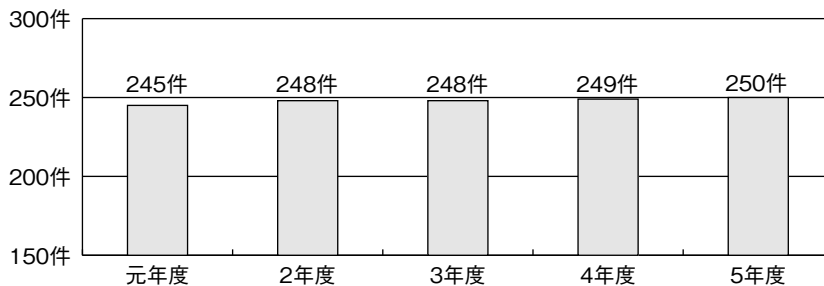
[交付金内訳]

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度
消 防 団 交 付 金	800,000円	800,000円
方 面 隊 交 付 金	688,000	688,000
分 団 交 付 金	6,754,400	6,701,200
計	8,242,400	8,189,200

[指 標]

指 標 名 : 「ほの国消防団・消防団応援事業所」の登録件数

指標説明 :



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 救 急 救 命 費 <救急救命体制の充実>	53,900,879	2,684,000	0	32,823,388	18,393,491

1 救急事業費 51,167,799 円 (消防救急課)

[総括]

救急救命士や各種資格者の養成を進めたほか、救急需要の増加に伴い、ICTを活用した救急需要予測システムの実証を行うとともに、救急車の最適配置を含む救急救命体制の効率的な運用の検討を行った。また、安定した救急活動を提供するため、感染防止資器材の計画的な整備を図るとともに、電動ストレッチャーを導入するなど救急体制の維持に努めた。応急手当の普及啓発については、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、救命入門、普通救命の講習を積極的に実施したことにより、受講者数が大幅に増加した。今後も、救急高度化や応急手当の普及啓発などの推進に努め、救急救命体制の充実強化を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 救急高度化事業費 50,302,888 円

研修派遣内訳		令和4年度	令和5年度
救 急 救 命 士	救急救命士養成	2人	1人
	包括運用教育講習	4	3
	気管挿管運用試験	2	2
	薬剤投与運用試験	4	3
	処置範囲拡大追加講習	5	5
救急隊員資格取得		9	9

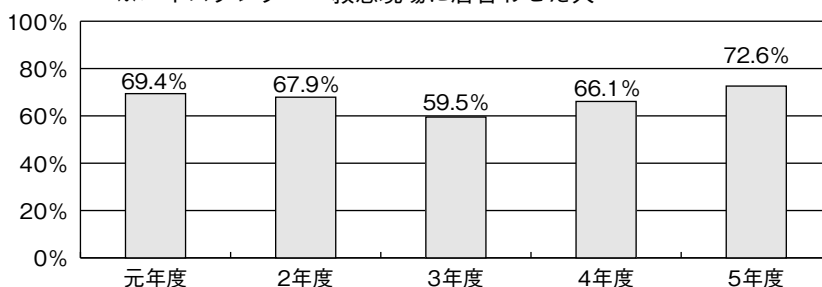
救急発生状況内訳		令和4年度	令和5年度	比較
急	病	12,369件	12,702件	2.7%
一	般 負 傷	2,320	2,444	5.3
交	通 事 故	991	1,045	5.4
労	働 災 害	176	161	△ 8.5
運	動 競 技	121	140	15.7
加	害	34	31	△ 8.8
そ	の 他	1,851	1,910	3.2
計		17,862	18,433	3.2
(内：コロナ陽性者搬送)		(796)	(578)	(△27.4)

(2) 応急手当普及啓発事業費 864,911 円

救命講習内訳		令和4年度	令和5年度	比較
応急手当指導員		35人	51人	45.7%
応急手当普及員		67	61	△ 9.0
普通救命		1,218	2,435	99.9
上級救命		78	69	△11.5
その他の講習		335	469	40.0
救命入門コース		5,458	8,353	53.0
計		7,191	11,438	59.1

[指 標]

指 標 名：心肺停止傷病者に対するバイスタンダーの処置率(胸骨圧迫)
 指標説明：一般市民が目撃した心原性心肺停止の傷病者に対し応急処置を実施したバイスタンダーの割合
 ※バイスタンダー…救急現場に居合わせた人



※対象とする心肺停止の傷病者を総務省消防庁の統計に準じ、心原性心肺停止の傷病者数に変更したため、元年度～4年度指標を再計算

2 救助事業費 2,733,080 円 (消防救急課)

[総 括]

市民の生命、身体及び財産を災害から守るため、救助隊員の知識、技術の向上に努めるとともに、水上オートバイを活用する特殊水難救助隊を発足し、水難救助体制の強化を図った。また、緊急消防援助隊として能登半島地震に派遣し、救助活動に努めた。今後は、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、救助隊員の育成と救助活動の充実強化を図っていく。

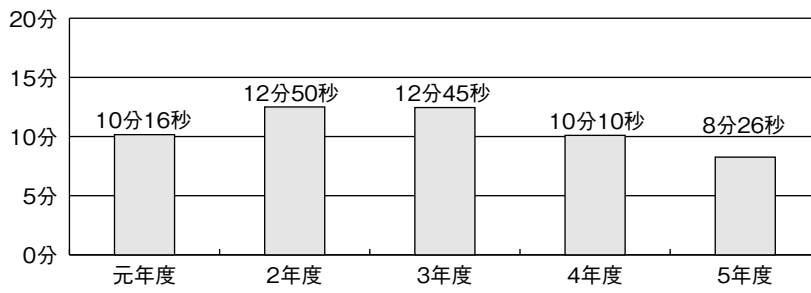
[実績及び成果]

(1) 救助事業費 2,733,080 円

救助発生状況内訳		令和4年度	令和5年度	比 較
火 災	建 物 火 災	37件	34件	△ 8.1%
	建 物 火 災 以 外	8	6	△25.0
火 災 以 外 の 事 故	交 通 事 故	45	53	17.8
	水 難 事 故	6	3	△50.0
	自 然 災 害	1	26	26.0倍
	機 械 に よ る 事 故	7	5	△28.6%
	建 物 等 に よ る 事 故	87	97	11.5
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	2	4	2.0倍
	破 裂 事 故	0	0	0.0%
	そ の 他 の 事 故	79	104	31.6
計		272	332	22.1

[指 標]

指 標 名：現場到着から生存者の救助完了までの時間(平均)
指標説明：救助隊の現場到着から生存者の救助完了までの時間



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 火災予防費 <火災予防対策の強化>	8,694,070	0	0	398,375	8,295,695

1 火災予防対策事業費 8,694,070円 (予防課)

[総括]

住宅火災での高齢者の犠牲者を低減させるため、解体する市営住宅の住宅用火災警報器を活用し、高齢者宅へ設置するリユース事業を継続実施するとともに、高齢者向けの防火冊子を活用し、戸別訪問や防火教室において啓発を行った。また、火災による被害を最小限に抑えるため、小学校や事業所などへ火災予防対策に関する出前講座を実施するとともに、各種イベントを通じて、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の促進に努めた。

今後も引き続き、住宅火災や火災による高齢者の人的被害の低減を図るため、火災予防対策を推進するとともに、街頭消火器の設置等促進による初期消火体制の強化及び消防法違反対象物の是正指導を行っていく。

[実績及び成果]

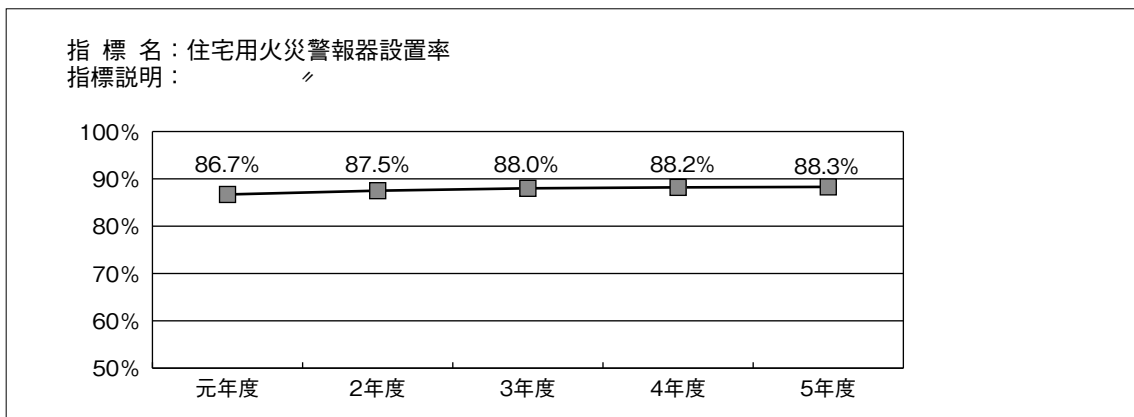
(1) 火災予防啓発事業費 4,126,320円

啓 発 区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
啓 発 イ ベ ン ト	10回	5回	△50.0%
講 習 会	9	9	0.0
老人クラブ防火教室等	8	11	37.5
女性防火クラブ研修等	9	12	33.3
少年消防クラブ防火教室等	29	24	△17.2

(2) 街頭消火器設置費等補助金 4,567,750円

補 助 内 訳	令和4年度	令和5年度	比 較
消 火 器 更 新	771本	783本	1.6%
収 納 箱 更 新	103か所	97か所	△ 5.8
薬 剤 更 新	4本	3本	△25.0
消 火 器 新 規 設 置	25か所	18か所	△28.0
火災使用薬剤詰替(街頭消火器)	6本	8本	33.3
火災使用薬剤詰替(一般消火器)	6	12	2.0倍

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10款 教 育 費	18,317,647,363	3,175,522,640	3,809,600,000	2,123,012,172	9,209,512,551
1項 教 育 総 務 費	2,565,430,178	177,485,140	25,800,000	104,787,560	2,257,357,478
3目 豊かな学び推進費 <豊かな学びの推進>	724,234,854	34,651,000	0	14,266,129	675,317,725

1 教育諸活動支援事業費 104,697,374 円 (学校教育課)

[総括]

次代を担う子どもたちの感性を磨き、豊かな心を醸成するため、創造力や豊かな感性・表現力を高める活動、子どもたちの科学技術に対する夢と情熱を育む活動、体力・競技力の向上を図る活動など、様々な教育活動の支援を行ったほか、子どもたちが郷土を心のよりどころと感じ、誇りをもって語るができるよう、郷土学習を進めた。また、新入学児童・発達障害児童生徒のいる学校に支援員を配置することによって、子どもたちがスムーズな学校生活を送れるよう、学級担任をサポートしていく体制づくりを行った。今後も子どもたちがいきいきと学ぶことができるよう、各事業内容の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 行事開催事業費 4,633,584 円

区 分		令和4年度	令和5年度
子ども造形パラダイス補助金	開催日	10.15～10.16	10.21～10.22
	補助金	3,539,550円	3,584,008円
子どものための科学展開催費補助金	開催日	11.1～11.30	11.1～11.30
	来場者数	14,608人	11,586人
	補助金	977,273円	699,670円
小柴記念賞補助金	応募点数	1,898点	2,042点
	補助金	467,368円	349,906円

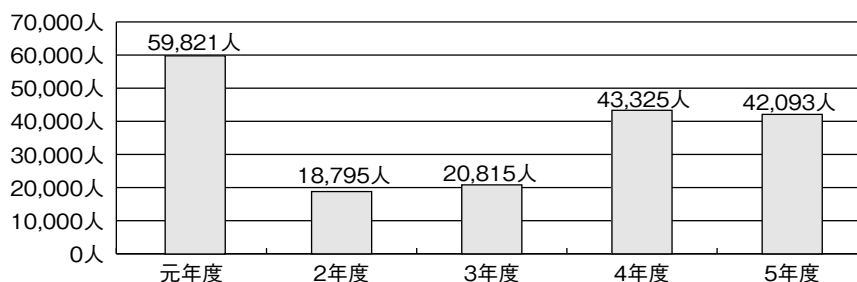
(2) 教育活動支援事業費 100,063,790 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
新入学児童学級対応等支援事業費	支援員	67人	支援員	64人
体育的部活動支援事業費		12,588,756円		10,334,247円
学校体育連盟補助金	1団体	10,536,836	1団体	8,020,707
中学校東海・全国大会出場補助金	16校(133人)	2,051,920	17校(150人)	2,313,540
文化的活動支援事業費	37	4,874,680	46	4,473,855
少年少女発明クラブ補助金	クラブ員 83人	400,000	クラブ員 81人	400,000
文化芸術体験推進事業費	参加児童生徒1,110	1,614,400	参加児童生徒1,710	3,002,250
中学校部活動指導者派遣事業費	部活動指導者 9	1,962,080	部活動指導者 10	2,357,440

[指 標]

指 標 名：教育諸活動支援事業参加者数

指標説明：子ども造形パラダイス出品児童生徒数+子どものための科学展来場者数+小柴記念賞応募点数
+市内体育大会参加児童生徒数+中学校東海・全国大会出場者数+文化的部活動の大会参加児童生徒数
+豊橋少年少女発明クラブ員数+文化芸術体験推進事業参加児童生徒数



2 生徒指導対策事業費

3,264,770 円（学校教育課）

[総 括]

生徒指導担当者の情報交換会や管理職対象の研修会において、いじめを見逃さず、早期に対応するために、教職員一人ひとりがいじめを認知していくことと、いじめを一つひとつ解消していく組織的な対応の重要性について啓発を行った。進路指導では、キャリア教育と連携しながら、生徒が将来の目標を定め、最適な進路選択ができるよう支援を行った。今後もいじめ、不登校、暴力行為等の問題行動を未然に防ぐため、自己存在感や自己有用感を高め、共感的人間関係を育むための支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生徒指導対策事業費

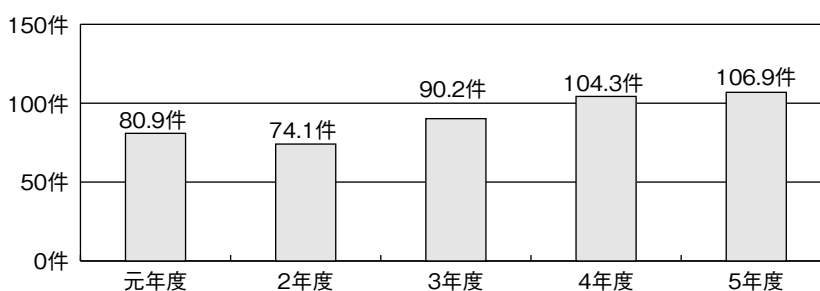
3,238,230 円

区 分	令和4年度	令和5年度
生 徒 指 導	夏季教員研修会 8月 1回	夏季教員研修会 8月 1回
	夏季生徒会研修会 8 1	夏季生徒会研修会 8 1
進 路 指 導	進路のてびきをデータにて全中学校へ配布	進路のてびきをデータにて全中学校へ配布

[指 標]

指 標 名：1校当たりのいじめ、暴力行為等の認知件数

指標説明：いじめ、暴力行為等の認知件数/小中学校数(74校)



3 授業・学習支援事業費

28,847,700 円（学校教育課）

[総括]

子どもたちへの効果的な学習支援を行うため、「授業・学習支援センター」において、コーディネーター1名と選書スタッフ2名が連携し、子どもの調べ学習や教員の授業づくりの支援を行った。また、28名の学校図書館司書を小中学校へ配置するとともに、学校図書館司書への研修を実施し、学校図書館機能の充実に努めた。今後も子どもたちの豊かな学習環境の充実のため、教員のニーズを把握し、センターの機能を有効に活用できるように努める。

[実績及び成果]

- (1) 授業・学習支援センター推進事業費 4,954,591 円

学校貸出冊数	令和4年度	令和5年度
	7,701冊	8,879冊

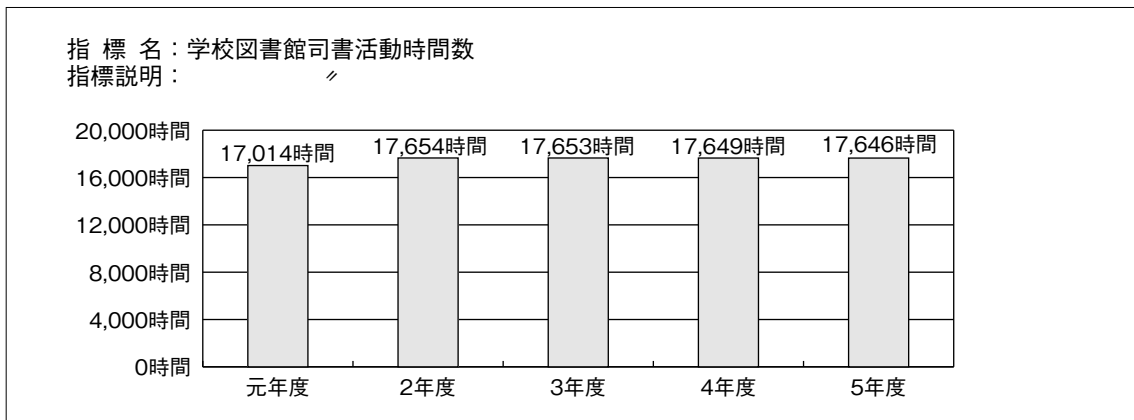
- (2) 学校図書館活動推進事業費 23,734,680 円

司書配置	令和4年度	令和5年度
	28名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当18名、2校担当10名)	28名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当18名、2校担当10名)

- (3) 小・中学校読書活動推進事業費 158,429 円

図書購入	令和4年度	令和5年度
	50冊	66冊

[指標]



4 学力・体力向上推進事業費

13,553,205 円（学校教育課）

[総括]

義務教育9年間におけるつながりのある一貫した教育を行うため、小学校の高学年において教科担任制を実施し、子どもの発達段階に応じ、専門性を活用したより質の高い授業を提供した。また、スポーツトレーナーを小学校に派遣し、体育の授業において、健康的な体づくりやスポーツにおける正しい動きづくりのアドバイスを行った。

[実績及び成果]

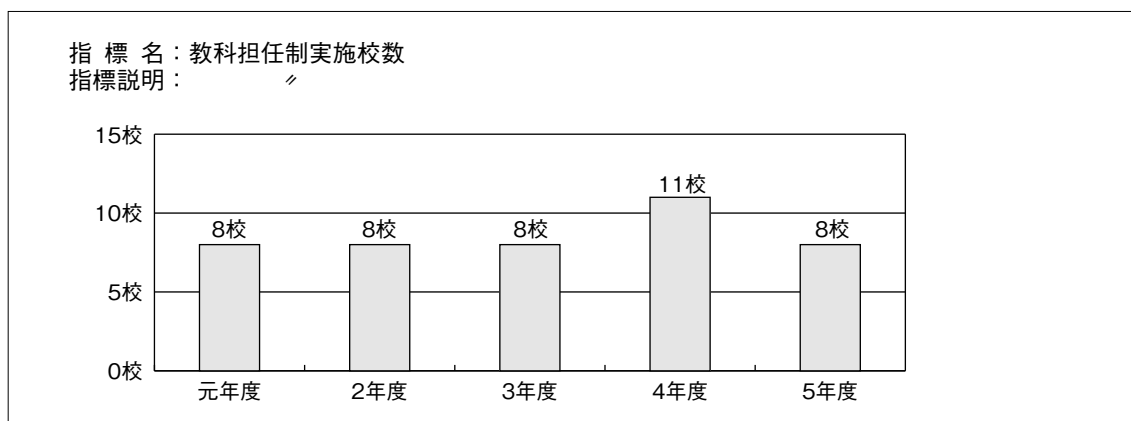
- (1) 学力向上支援事業費 12,767,665 円

教科担任の非常勤講師人数	令和4年度	令和5年度
	6人	5人

(2) 体力向上支援事業費 785,540 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	スポーツトレーナーを小学校(25校)に派遣 体育の授業や体力テスト練習時における健康的な体づくりや正しい動きづくりへの指導の実施 「学校保健委員会」での講話の実施	スポーツトレーナーを小学校(22校)に派遣 体育の授業や体力テスト練習時における健康的な体づくりや正しい動きづくりへの指導の実施 「学校保健委員会」での講話の実施

[指 標]



5 学びの連携推進事業費 69,680 円 (教育政策課・学校教育課)

[総 括]

子どもたちの「生きる力」を育むため、幼児期から高等学校までの校種を越えたつながりを意識した教育活動ができるよう、小中一貫教育や小中高特連携教育、幼児期教育を推進した。

令和5年度は新たに2校区で小中一貫教育を導入し、ねらいやめざす子ども像を共有し、それを達成するための手だてを小中学校で考えることで、子どもたちが話し合いに積極的に参加したり、考えたことを実践したりするなどの力が生まれ、各中学校区で特色のある教育活動を行うことができた。

[実績及び成果]

(1) 学びの連携推進事業費 69,680 円

(ア) 小中一貫教育推進事業費

小中一貫教育を導入した中学校区数	令和4年度	令和5年度
	4校	6校

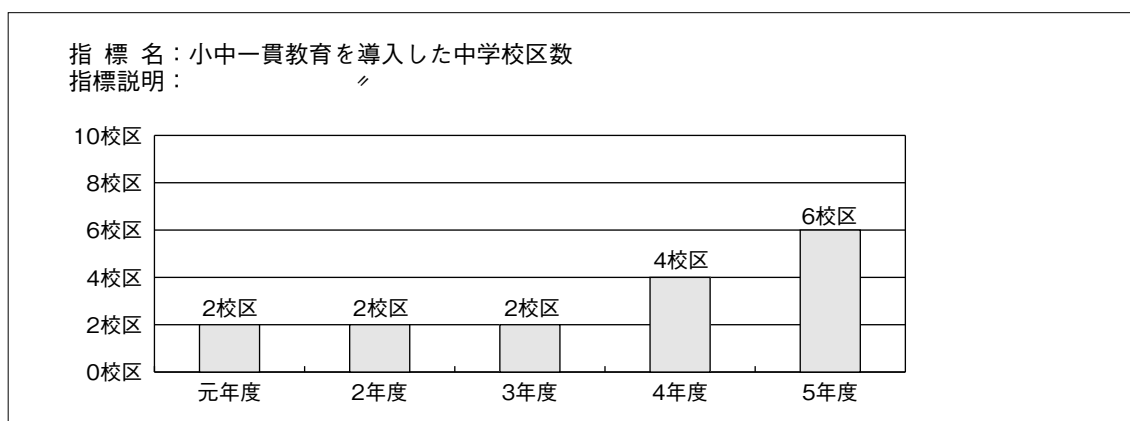
(イ) 小中高特連携教育推進事業費

内 容	令和4年度	令和5年度
	小中高特連携教育推進協議会(2回) 英語教育分科会(5回) 理科学教育分科会(4回) 特別支援教育分科会(4回) 言語能力分科会(3回)	小中高特連携教育推進協議会(2回) 英語教育分科会(4回) 理科学教育分科会(5回) 特別支援教育分科会(4回) 言語能力分科会(4回)

(ウ) 幼年期教育研究事業費

内 容	令和4年度	令和5年度
	幼年期教育「園参観と語る会」開催 幼年期だよりの発行（4回） 年長児就学先調査の実施	幼年期教育「園参観と語る会」開催 幼児期教育「学習会」開催 幼年期だよりの発行（4回） 幼年期教育の手引きダイジェスト版の発行（1回） 年長児就学先調査の実施

[指 標]



6 国際理解教育推進事業費 129,053,546 円（学校教育課）

[総 括]

「英語」及び「外国語活動」の授業への人的支援として、英語スクールアシスタント（SA）や外国人英語指導員（ALT）を派遣した。小学校では学級ごとに、3・4年生にはSAと年間20時間、5・6年生にはALTと年間35時間の協働授業を行った。中学校では学級ごとに、ALTと年間30時間協働授業を行い、子どもたちの英語への関心・意欲を高めることができた。八町小学校の「イメージ教育コース」では、日本人教員と外国人指導員によるチーム・ティーチングにより、英語を用いたコミュニケーション能力の育成を図った。今後も引き続き英語教育の充実を図るため、小・中学校での連携を進める。

[実績及び成果]

(1) 英会話のできる豊橋っ子育て事業費 129,053,546 円

(ア) 小・中学校外国人英語指導員活動費

外国人英語指導員 コーディネーター及び 外国人英語指導員の配置	令和4年度		令和5年度	
	74校	24人	74校	25人

(イ) 小学校英語スクールアシスタント

内 容	令和4年度		令和5年度	
	52校 延	4,813時間	52校 延	4,676時間

(ウ) 夏休み小学生英語活動費

内 容	令和4年度		令和5年度	
	2日間	69人	2日間	230人

(エ) 夏休み中学生英語活動費

内 容	令和4年度		令和5年度	
		3日間	35人	3日間

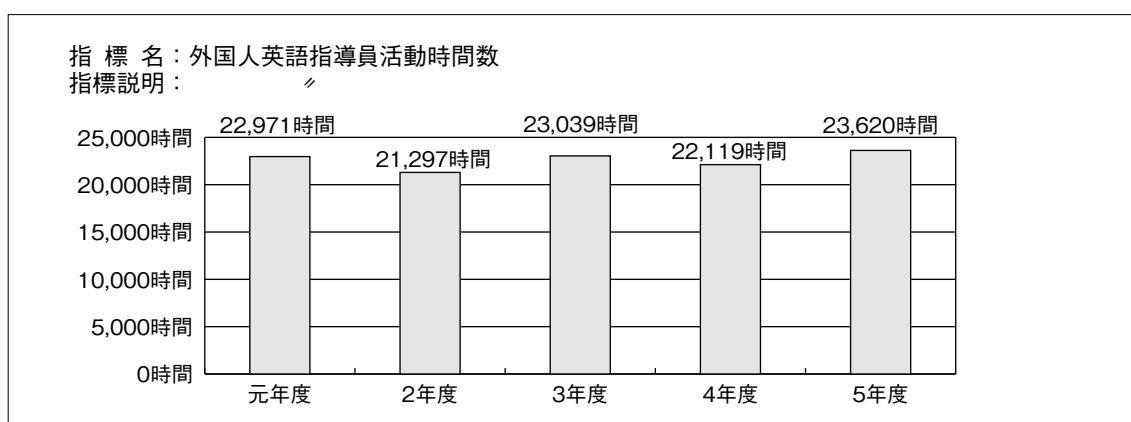
(オ) スーパー英語チャレンジ費

内 容	令和4年度		令和5年度	
		2日間	144人	2日間

(カ) イマージョン教育推進費

内 容	令和4年度		令和5年度	
		1校	143人	1校

[指 標]



7 情報教育推進事業費 325,496,559 円 (学校教育課)

[総 括]

タブレットを活用した多様な学習活動を実施するため、令和4年度に設置した「GIGA サポートセンター」のICT 支援員による学習支援を行った。また、オンラインの出前講座を実施し、延べ17,265 人の子どもたちがオンライン授業に参加した。さらに、「とよはし版 GIGA スクール」を推進するため、ネットワーク環境の改善を行い、タブレットを活用した多様な学習活動を実施できる環境を整えた。今後も教育の情報化に対応した実践を進める。

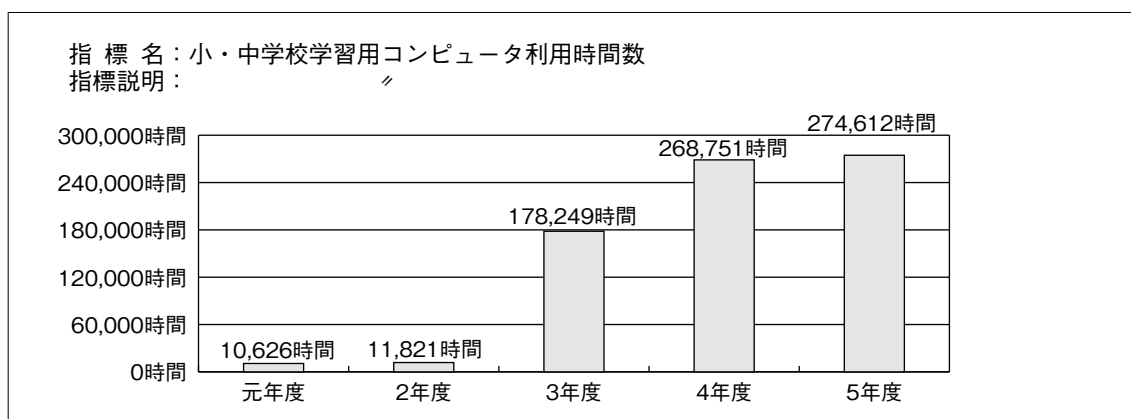
[実績及び成果]

(1) コンピュータ活用事業費 325,496,559 円

(ア) 小・中学校コンピュータ活用事業費 325,496,559 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
	学習用コンピュータ・タブレット費 (小)	24,777台	171,712,882円	24,777台
学習用コンピュータ・タブレット費 (中)	12,589	72,346,557	11,295	59,874,471
コンピュータネットワークシステム費		60,212,475		71,960,010
学校図書館管理用コンピュータ費 (小)	52台	6,061,332	52台	6,061,332
学校図書館管理用コンピュータ費 (中)	22	2,516,028	22	2,516,028
GIGAサポートセンター運営費	2人	6,905,991	2人	11,161,720

[指 標]



8 体育施設等有効活用事業費 85,605,960 円 (教育政策課)

[総 括]

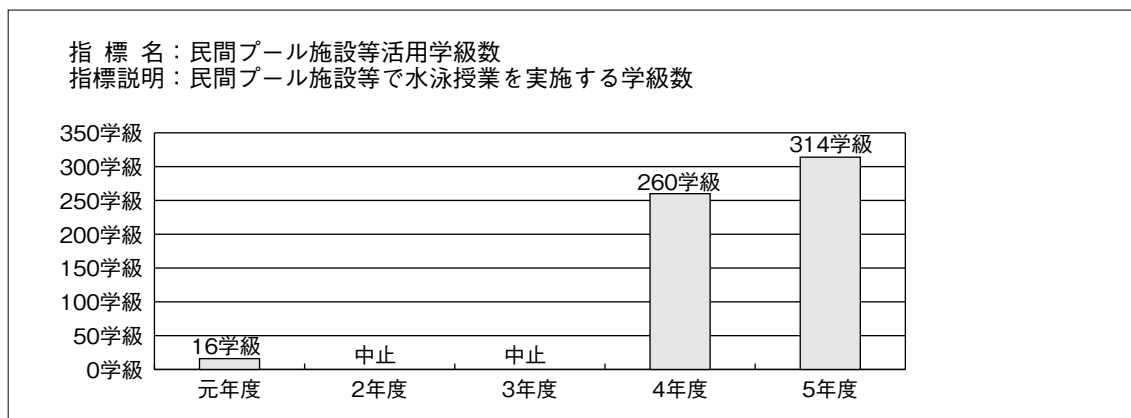
児童数の減少及び施設の老朽化における学校プールのあり方を検討する中で、民間プール施設等を活用した水泳授業のモデル校を拡大し、インストラクターと教員が協力して指導にあたることにより、水泳授業の質の向上を図った。今後もモデル校を拡大し、民間プール施設等の活用による水泳授業の実施可能性について検証を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 民間プール等活用モデル事業費 85,605,960 円

実施学校数(学級数)	令和4年度	令和5年度
	19校(260学級)	20校(314学級)

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 教育環境充実費 <教育環境の充実>	274,509,565	60,622,869	0	7,103,500	206,783,196

1 私学振興事業費 34,830,011 円 (教育政策課)

[総括]

私立学校等の運営の円滑化及び教育環境の向上をめざし、学校規模に応じた運営費の補助を行った。また、私立高等学校等に通う生徒の就学を支援するため、国、県の授業料に対する支援に市独自に上乗せして補助することで家庭の教育費のさらなる負担軽減を図った。今後も国、県の動向を踏まえ、私立学校の教育的意義などを考慮した施策を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 私学運営費補助金 8,092,000 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
私立高等学校(3校)	3,315人	6,315,000円	3,366人	5,748,000円
外国人学校(2校)	324	2,324,000	344	2,344,000
計	3,639	8,639,000	3,710	8,092,000

(2) 私立高等学校等支援事業費 26,738,011 円

(ア) 私立高等学校授業料補助金 25,736,980 円

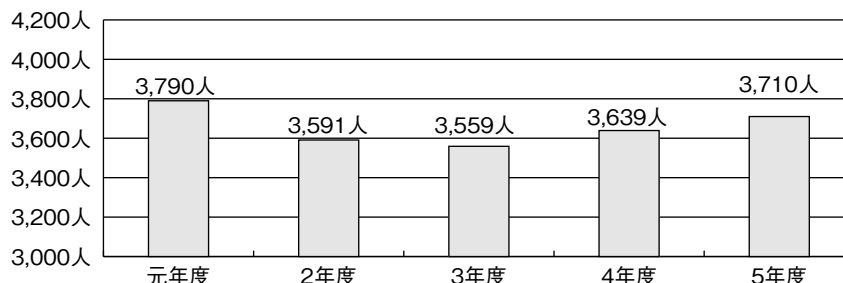
内 容	令和4年度		令和5年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	1,595人	20,741,540円	1,683人	25,736,980円

(イ) 私立専修学校等授業料補助金 786,000 円

内 容	令和4年度		令和5年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	47人	824,400円	43人	786,000円

[指標]

指標名：私立高等学校、外国人学校在籍者数
 指標説明：〃



2 奨学支援事業費

12,713,291 円（教育政策課）

[総括]

経済的に困難を抱えながらも夢の実現に向けて努力する学生を応援するため、返済不要の奨学金「豊橋市未来応援奨学金」を、42 人に対して給付し、将来を担う若者の進学を後押しした。今後も国の奨学金制度の動向などを踏まえながら、必要な支援を行っていく。

[実績及び成果]

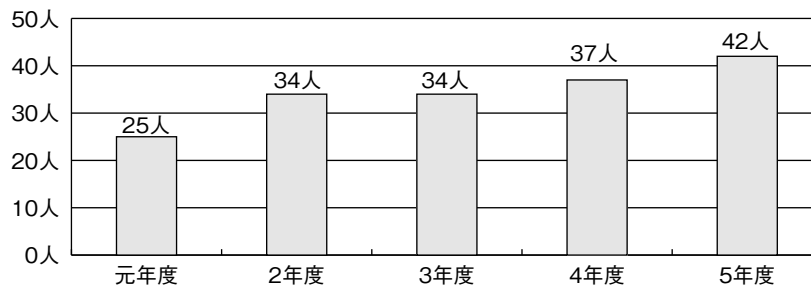
(1) 奨学金給付事業費

12,713,291 円

受給者数	令和4年度	令和5年度
	37人	42人

[指標]

指標名：豊橋市未来応援奨学金の受給者数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5日 教職員研修費 <教職員の力量向上>	97,997,881	0	0	0	97,997,881

1 現職研修事業費 2,960,775 円 (学校教育課)

[総括]

小中学校における今日的課題や将来にわたる課題の解決に向けて研究し、成果を公開発表する研究指定校や、各校それぞれの課題について組織的・計画的に実施する現職研修に対して支援を行い、教育活動に活用するとともに、教職員の力量向上を図った。今後もより良い教育活動の展開のため、研究や研修への支援を行っていく。

[実績及び成果]

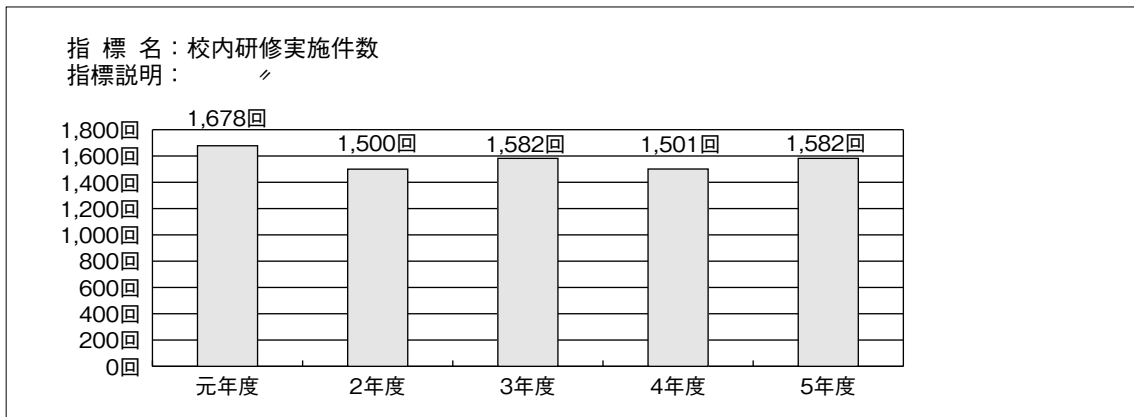
(1) 指定校研究費補助金 1,198,142 円

区 分	令和4年度	令和5年度
指 定 校	9校	9校
補 助 金	1,194,391円	1,198,142円

(2) 現職研修委員会補助金 1,762,633 円

区 分	令和4年度	令和5年度
ブ ロ ッ ク 研 修	12ブロック	12ブロック
研 究 部 等 研 修	38研究部	38研究部
基 本 研 修	8,481人	9,067人
補 助 金	2,019,425円	1,762,633円

[指標]



2 教育会館管理運営事業費 95,037,106 円 (学校教育課)

[総括]

教職員の研修、教育情報の収集、教育機器・教材の提供及び情報教育の場としての機能を果たすとともに、教育相談や就学相談を行い、学校や家庭での問題に対応した。また、教員免許状更新制の発展的解消を受け、効果的な研修体制の構築を目的とし、基本研修・職務研修等の各種研修の内容を充実させ教員の資質の向上を図った。今後も教職員のニーズを的確に把握し、施設を有効に利用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理等運営事業費 13,658,190 円

[利用状況]

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
開 館 日 数	359日	359日	0.0%
教 職 員 施 設 利 用 者 数	延 7,448人	延 12,658人	70.0
一 般 施 設 利 用 者 数	延 5,379	延 5,314	△ 1.2
計	延 12,827	延 17,972	40.1

[各種活動]

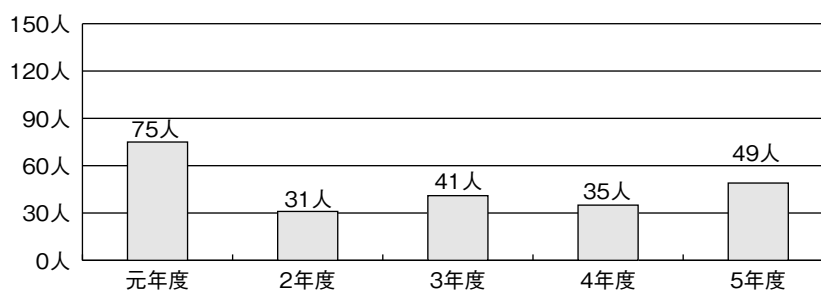
区 分	令和4年度	令和5年度
コ ン ピ ュ ー タ 研 修	66時間 参加人員 679人	66時間 参加人員 817人
視 聴 覚 教 育 研 究	研究活動、教材・資料の作成	研究活動、教材・資料の作成
教 材 等 貸 出 利 用	映像教材貸出 450本	映像教材貸出 451本

(2) 教職員研修事業費 5,775,150 円

区 分	令和4年度	令和5年度
基 本 研 修	94回 参加人員 2,326人	94回 参加人員 2,364人
職 務 研 修	61 〃 2,328	61 〃 1,798
課 題 ・ 専 門 研 修	33 〃 3,410	33 〃 3,880
社 会 連 携 研 修	1 〃 88	1 〃 66

[指 標]

指 標 名：教育会館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 特色ある学校推進費 <特色ある学校づくり>	4,644,647	13,000	0	0	4,631,647

1 学校づくり推進事業費 4,407,237 円 (学校教育課)

[総括]

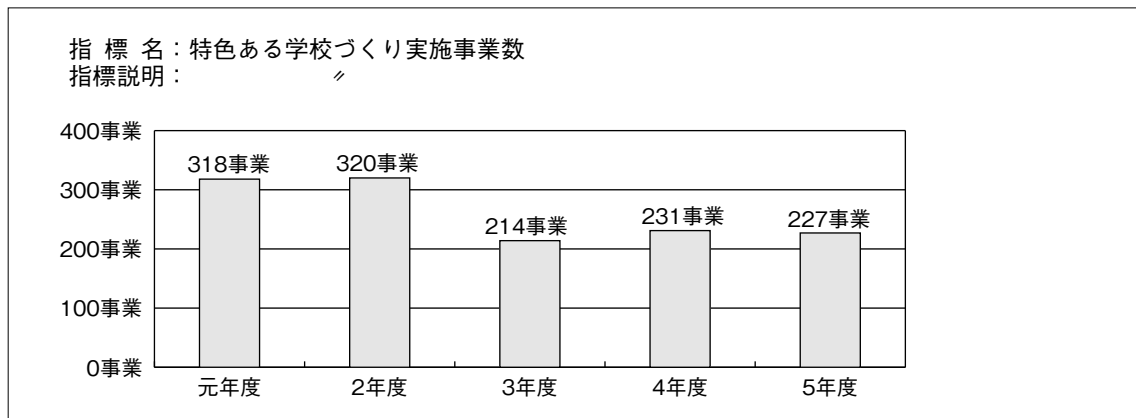
「生きる力」を育む特色ある学校づくりを主体的に推進し、豊かな心と実践力のある子どもたちを育成するため、学校行事や総合的な学習の時間等への支援を行った。今後も各学校において、環境、福祉、国際、平和などをテーマに地域に根ざした学びを展開し、SDGs、ESDの推進を図るとともに、補助金を活用して特色ある教育活動の充実につなげていく。

[実績及び成果]

(1) 学校づくり推進事業費 4,407,237 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
母なる豊川活用事業費	参加校	33校	参加校	33校
特色ある学校づくり推進事業費補助金	74校	4,429,629円	74校	4,407,237円

[指標]



2 コミュニティ・スクール推進事業費 235,000 円 (教育政策課)

[総括]

学校・家庭・地域が一体となって学校運営や課題解決に取り組むコミュニティ・スクールを小学校4校で導入し、特色ある学校づくりを行った。今後も、将来を担う子どもたちを地域全体で育む「地域とともにある学校づくり」を推進していく。

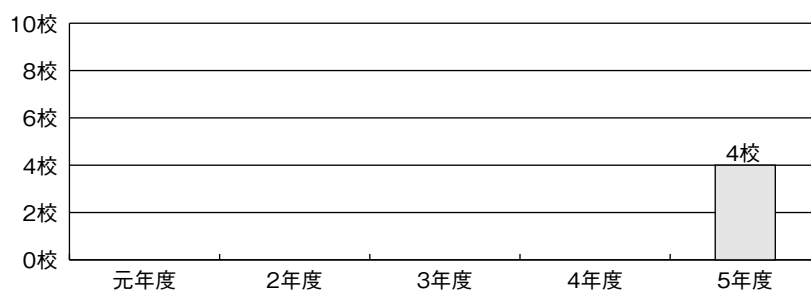
[実績及び成果]

(1) コミュニティ・スクール推進事業費 235,000 円

区 分	令和4年度	令和5年度
コミュニティ・スクール導入校	—	4校

[指 標]

指 標 名：コミュニティ・スクール導入校
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 教育活動支援費 〈個の特性に寄り添った教育の推進〉	242,782,424	51,851,000	0	0	190,931,424

1 教育相談事業費 216,396,117円 (学校教育課)

[総括]

外国人児童生徒教育相談員等による教育相談や学校生活適応指導に加え、日本語指導が必要な児童生徒の適応支援や初期日本語集中指導を実施するなど、外国人児童生徒や保護者に対する支援の充実に努めた。また、児童生徒の教育にかかわる問題について、教育相談員や臨床心理士等がそれぞれの専門的立場で連携して教育相談を実施するとともに、スクールソーシャルワーカーが関係機関や関係者と連携し、児童生徒や保護者が置かれた環境に働きかけた。その他、心理判定員による発達検査に基づいた就学相談を実施するとともに、生活サポート非常勤講師の配置や市内に3か所開設しているほっとプラザの運営を通して、不登校傾向にある児童生徒への対応及び学校復帰に向けた支援を行った。さらに、学校へ行きづらさを感じる子どもが安心して活動できる居場所として、「エールーム」を市内2か所の中学校に新設し、市内全小中学校の児童生徒を対象とした支援・受入体制を整備した。今後も学校や関係機関と連携をとりながら、児童生徒の支援のため効果的な教育相談活動に努める。

[実績及び成果]

(1) 外国人児童生徒教育相談事業費 115,900,464円

区 分	令和4年度	令和5年度
外国人児童生徒教育相談コーナー	相談件数 2,676件	相談件数 2,830件
外国人児童生徒教育相談員	学校常駐 13人 学校巡回 14	学校常駐 13人 学校巡回 14
外国人児童生徒対応スクールアシスタント	派遣時間 延 4,748時間	派遣時間 延 4,711時間
登録バイリンガルボランティア	〃 延 1,796	〃 延 1,844.5

(2) 教育相談活動事業費 40,664,014円

区 分	令和4年度	令和5年度
スクールソーシャルワーカー	相談件数 2,786件	相談件数 4,715件
教 育 相 談 員 (学校訪問、にじの子相談等)	〃 6,431	〃 9,381
心 理 カ ウ ン セ ラ ー	〃 802	〃 832
心 理 判 定 員	〃 488	〃 520
メンタルフレンド	派遣回数 186回	派遣回数 135回

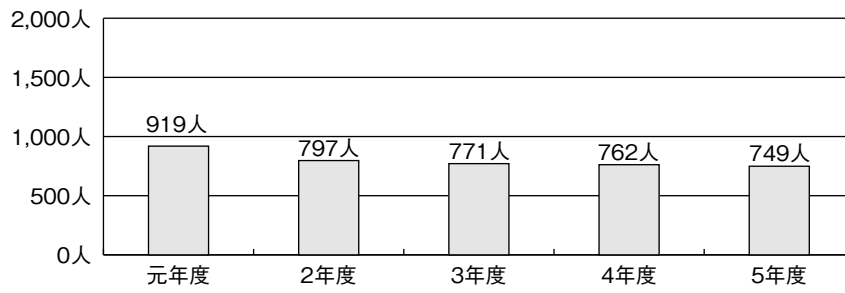
(3) 不登校対策支援事業費 59,831,639円

区 分	令和4年度	令和5年度
とよはしほっとプラザ活動事業費	3か所 189日 延 3,388人	3か所 189日 延 4,105人
生活サポート支援事業費	非常勤講師 15	非常勤講師 17
不登校対策推進協議会運営費	担当者学習会 4・8・10月 3回	担当者学習会 5・9・1月 3回
	補助金 53,990円	運営費 25,240円
エールーム活動事業費	—	2か所 196日～197日 延3,284人

[指 標]

指 標 名：教育相談員 1 人当たりの児童生徒数

指標説明：市立小中学校児童生徒数 / (外国人児童生徒教育相談員数 + 教育相談員数)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 市立学校教育活動推進費 〈個の特性に寄り添った教育の推進〉	434,007,309	30,333,271	21,500,000	55,856,617	326,317,421

1 くすのき特別支援学校教育推進事業費 198,852,757円 (教育政策課)

[総括]

児童生徒一人ひとりの個性を踏まえた指導・支援により可能性を引き出し、たくましく生きる力を育成する教育活動を展開した。就労支援においては、関係諸機関・企業との連携を強化するとともに、学校内にある農業実習施設での農作業実習や企業等での体験学習など、就労支援体制の充実を図ったことにより、多数の産業科の卒業生が一般就労することができた。また、豊橋市・田原市における特別支援教育のセンター的機能として設置した「くすのき相談センター」では、関係機関と連携しながら相談事業を進めているほか、校内では、心理カウンセラーを配置し、児童、生徒、保護者の問題解決の手助けを行った。今後も、すべての子どもたちが自立し、地域社会でたくましく生きることができるよう、教育環境の向上とともに、就労支援に重点を置いた学校づくりを推進する。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 122,184,848円 (5月1日現在)

区 分	令和4年度	令和5年度
学 級 数	52学級	54学級
児 童 ・ 生 徒 数	288人	300人

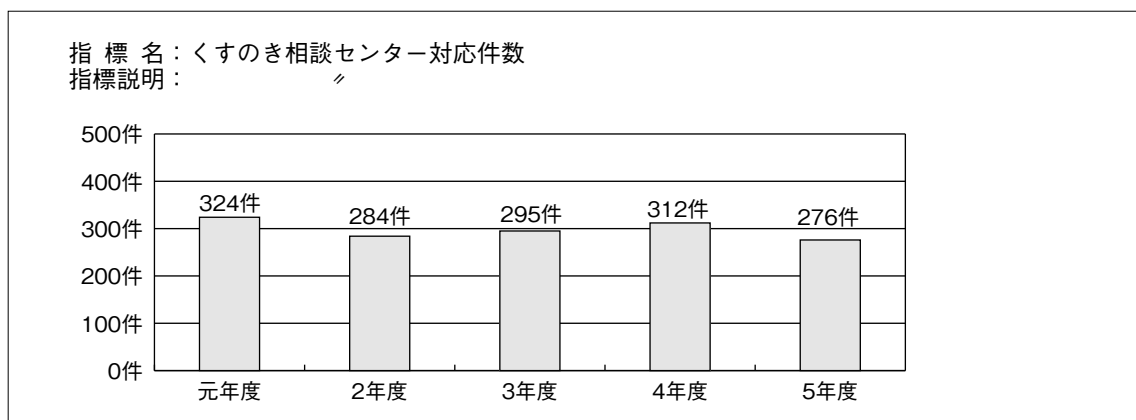
[施設整備]

内 容	令和4年度	令和5年度
	一般補修工事	

(2) 教育活動事業費 66,523,889円

区 分	令和4年度		令和5年度	
学 校 図 書 館 蔵 書 数	2,047冊		2,114冊	
校務・学習・図書管理用コンピュータ費	132台	8,767,110円	132台	8,869,080円
企業向け学校見学会実施回数	1回		1回	
専門分野における高等学校との共同学習実施回数	2		4	
就労支援におけるサテライト実習実施回数	11		11	

[指 標]



2 市立高等学校教育推進事業費 127,797,584 円（教育政策課）

〔総括〕

定時制高校として、多様な生徒が学ぶことができる環境づくりを進めた。特にキャリア教育に関しては、地元新聞社とともに、進路説明会を実施し、生徒の進学や就職に対する意識を高めることができた。また、入試に当たり Web 出願及び入学検定料のキャッシュレス決済を導入し、受験生や保護者の利便性の向上・負担軽減に努めた。今後も、生徒一人ひとりの特性を伸ばし、自ら学ぶ主体性を確立させるなど、特色ある教育内容の充実を図り、東三河の定時制高校の中心的役割を果たしていく。

〔実績及び成果〕

(1) 管理事業費 24,953,566 円 (5月1日現在)

区 分	令和4年度	令和5年度
学 級 数	22学級	22学級
生 徒 数	627人	605人

〔施設整備〕

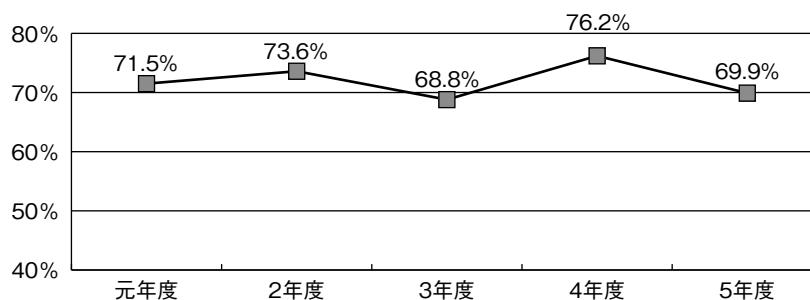
内 容	令和4年度	令和5年度
	一般補修工事	一般補修工事

(2) 教育活動事業費 63,986,905 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
学校図書館蔵書数	6,160冊		4,646冊	
定時制教育教科書給与費	14人	69,171円	11人	52,526円
学習用コンピュータ費	42台	2,078,340	42台	3,145,560
心理カウンセラー相談開催日数	59日		75日	
キャリア教育実施回数	12回		15回	
外国人生徒教育支援日数	237日		230日	

〔指 標〕

指 標 名：市立高等学校卒業資格取得率
 指標説明：卒業生数／入学者数



3 家政高等専修学校教育推進事業費 83,328,568 円（教育政策課）

[総括]

服飾・調理に関する専門的な知識・技能の習得や、生涯を通じて必要となる教養を深めることをめざした教育活動を展開した。進路指導においては、生徒一人ひとりの個性や将来に対する夢を尊重したきめ細かな支援を行い、就職・進学率の向上を図った。とりわけ、キャリア教育研修においては、講師を招いた実践的な講座に力を入れた。また、心理カウンセラーを活用した専門的な見地からの支援を行い、学校生活や進路選択での不安や悩みへの対処のみならず、自己理解やコミュニケーションスキルの向上に取り組んだ。今後も次代を担う人材育成のため、教育環境の向上や教育内容の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 3,932,396 円 (5月1日現在)

区 分	令和4年度	令和5年度
学 級 数	3学級	3学級
生 徒 数	95人	100人

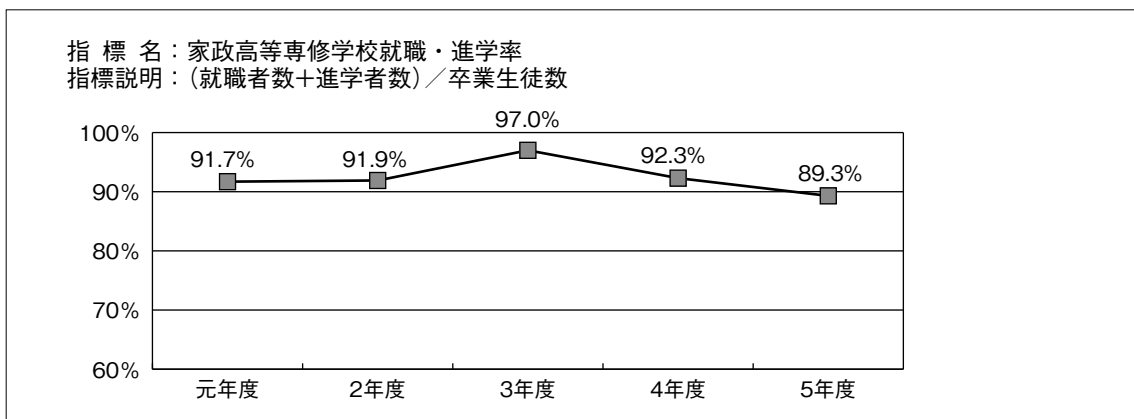
[施設整備]

内 容	令和4年度	令和5年度
	一般補修工事	一般補修工事

(2) 教育活動事業費 24,887,082 円

区 分	令和4年度	令和5年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	2,756冊	2,776冊
学 習 用 コ ン ピ ュ ー タ 費	41台 2,290,200円	41台 2,290,200円
心 理 カ ウ ン セ ラ ー 相 談 開 催 日 数	24日	24日
キ ャ リ ア 教 育 実 施 回 数	13回	13回

[指 標]



4 市立高等学校整備事業費 24,028,400 円（教育政策課）

[総括]

豊橋高等学校の生徒が安心して学習できる環境を整備するため、長寿命化改良工事に係る実施設計を行った。

[実績及び成果]

(1) 市立高等学校整備事業費 24,028,400 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	高架水槽取替工事	長寿命化改良事業実施設計

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 自然史博物館費 ＜自然史博物館の充実＞	206,330,114	0	4,300,000	21,501,896	180,528,218

1 自然史博物館事業費 148,771,234 円 (自然史博物館)

[総括]

自然についての正しい知識を深め、大切にすることを目的に、自然科学に関する常設展示に加え、資料収集、調査研究活動に取り組んだ。大型映像では「恐竜超世界」等の上映、特別企画展では「カイジウ博 2023 -海で暮らす仲間たち-」の開催のほか、ワークショップ、解説会等の教育普及活動を実施するとともに、日本動物分類学会を開催した。今後も博物館としての魅力向上につながる事業を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 教育普及活動事業費 33,107,839 円

区 分	令和4年度	令和5年度
ワークショップ等	50回 参加人員 1,077人	85回 参加人員 1,136人
出前授業等	63 〃 1,713	34 〃 897
大型映像	630 観覧者数 27,763	925 観覧者数 30,868
企 画 展	「新蔵資料 / 学芸員の研究成果紹介展」 会期中の入館者数 109,234人 4.9～5.8 (30日間) 「表浜の自然」 〃 60,533 5.14～6.12 (30日間) 「切手になった昆虫」 〃 31,717 6.18～7.17 (30日間) 「Iron-Dinos:鉄の恐竜展」 〃 89,723 9.6～10.10 (35日間) 「第18回自然史博物館自由研究展」 〃 30,260 11.12～12.4 (23日間) 「干支展 卵」 〃 56,231 12.17～1.22 (37日間)	「新蔵資料 / 学芸員の研究成果紹介展」 会期中の入館者数 83,437人 4.15～5.14 (30日間) 「汐川干潟のウナギ展」 〃 56,904 5.20～6.25 (37日間) 「第19回自然史博物館自由研究展」 〃 55,598 11.3～11.26 (21日間) 「干支展 竜」 〃 47,233 12.16～1.21 (37日間)

(2) 調査研究活動事業費 10,319,874 円

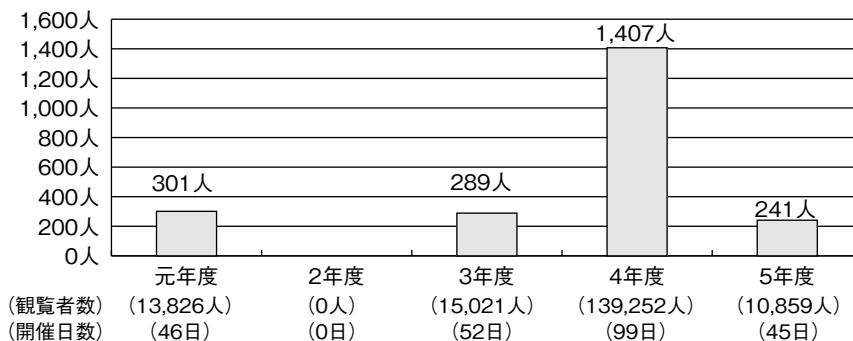
区 分	令和4年度	令和5年度
博物館資料	製作委託 剥製骨格標本製作 9点	剥製骨格標本製作 1点
	採集・寄贈 1,532点 (総数 587,251点)	1,876点 (総数 589,127点)
	図書等 742冊 (総数 47,070冊)	700冊 (総数 47,770冊)
研究発表(調査研究)	37件	46件

(3) 特別企画展開催事業費 11,838,835 円

区 分	令和4年度	令和5年度
特 別 企 画 展	「ポケモン化石博物館」	「カイジユウ博2023-海で暮らす仲間たち-」
	7.16~11.6 (99日間)	7.14~9.3 (45日間)
	展示数170点 観覧者数139,252人	展示数250点 観覧者数 10,859人
関 連 行 事	1. 記念講演会①『「ポケモン化石博物館」で学ぶ最新古生物学』 参加人員 60人 2. 記念講演会②「化石化のメカニズムをさぐる」 ♪ 52 3. 記念講演会③「小さな化石の最新研究」 ♪ 30 4. ワークショップ「化石クリーニング体験」(2回) ♪ 13 5. 「ポケモン化石博物館」開催記念プレミア解説会(3回) ♪ 410 6. 「ポケモン化石博物館」展示解説(11回) ♪ 1,450 7. オンライン授業『「ポケモン化石博物館」で化石を学ぼう!』 ♪ 15,000	1. 記念講演会①「渥美半島表浜の漂着物」 参加人員 50人 2. 記念講演会②「海岸に打ち上がるくじらからのメッセージ」 ♪ 74 3. ワークショップ「砂の中から微小貝を探そう」 ♪ 31 4. ワークショップ「チリモン探し体験」 ♪ 54 5. ワークショップ「クジラの骨を洗おう」(2回) ♪ 20 6. トークショー「ココロコ田中さんと学ぶ!豊橋のくじら~海洋プラスチックから海を守ろう~」 ♪ 60 7. 「カイジユウ博2023」展示解説(10回) ♪ 447 8. オンライン授業「カイジユウ博2023」 ♪ 2,783

[指 標]

指 標 名：特別企画展1日当たりの観覧者数
 指標説明：観覧者数/開催日数



2 自然史博物館施設管理事業費 56,761,094 円（自然史博物館）

[総括]

施設保全のため、特別企画展示室ロビー屋上防水改修工事を行った。また、館内の標本などを適正に管理・保管するため、古生代展示室照明LED化修繕、中生代展示室パソコン機器等修繕及び野外恐竜模型の修繕などを行った。今後も入館者サービス向上のため、設備・展示物等の更新を含め適正な施設管理を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 56,761,094 円

[利用状況]

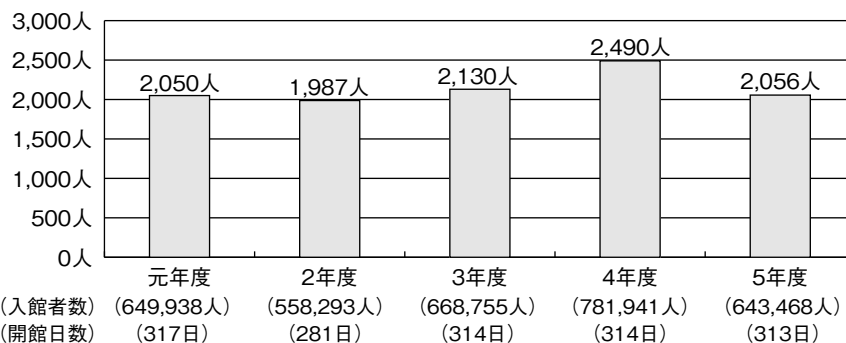
区 分	令和4年度	令和5年度	比較
開館日数	314日	313日	△0.3%
入館者数	延 781,941人	延 643,468人	△17.7

[施設整備]

内 容	令和4年度	令和5年度
	無線LAN整備、自然史博物館会議室等空調修繕、野外恐竜模型（イグアノドン・デイノニクス・パキケファロサウルス）修繕	特別企画展示室ロビー屋上防水改修工事、古生代展示室照明LED化修繕、中生代展示室パソコン機器等修繕、野外恐竜模型（トリケラトプス・アンキロサウルス）修繕

[指標]

指標名：自然史博物館1日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



3 石巻自然科学資料館運営事業費 797,786 円（自然史博物館）

[総括]

石巻山周辺の自然を観察するためのビジターセンターとして、この地域で観察できる地質と動植物等を紹介している。また、天井雨漏り補修修繕を行ったほか、「石巻山自然観察路マップ」を配布し、利用者の利便性の向上を図った。今後も広範囲な利用者の確保と施設のPR活動に努めていく。

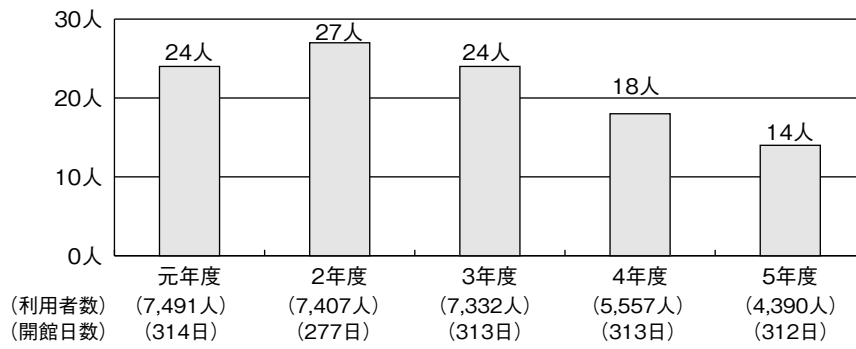
[実績及び成果]

(1) 石巻自然科学資料館運営事業費 797,786 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比較
開館日数	313日	312日	△0.3%
利用者数	延 5,557人	延 4,390人	△21.0

[指 標]

指 標 名：石巻自然科学資料館 1日当たりの利用者数
指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 科学教育センター費 <科学教育センターの充実>	89,380,569	14,000	0	5,615,118	83,751,451

1 科学教育センター事業費 60,141,752 円 (科学教育センター)

[総括]

視聴覚教育センター・地下資源館では、大人向け科学講座として昨年度に引き続き「夜空に奏でる歌物語ジャズ & プラネ」や「大人のための天体望遠鏡実験」などを開催するとともに、新たにプラネタリウムと落語をコラボレーションした「ほしぞら落語」を開催し、科学教育イベントへの参加者層の拡大を図った。

また、企画展「宇宙をさわる」では、宇宙を身近に感じてもらうため、星空写真や、惑星や望遠鏡の立体模型展示、宇宙飛行士テストなどを活用しながら星空の世界を目で見たり、手で触ったり、体を使った様々な体験的な企画を提供し、子どもから大人まで宇宙に関する科学教育の振興を図った。

今後もサイエンス・ボランティア等と協働し、子どもから大人まで楽しめる魅力ある行事を通して、科学を学ぶ機会の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 視聴覚教育センター事業費 22,677,878 円

[各種活動]

区 分	令和4年度		令和5年度	
わくわく体験活動(小学校4年生)	5月～11月	参加人員 3,571人	5月～10月	参加人員 3,374人
プラネタリウム投映	837回	観覧者数 25,702	853回	観覧者数 28,697
学 習 教 室	4月～3月(101回)	参加人員 2,288	4月～3月(576回)	参加人員 12,008
星 空 観 望 会	5月～11月(6)	〃 978	6月～3月(10)	〃 807
企 画 展	—		1月～2月	入場者数 7,519
展 示 会	4月～3月(9回)	入場者数 95,053人	4月～3月(8回)	〃 109,110

(2) 地下資源館事業費 710,225 円

[各種活動]

区 分	令和4年度		令和5年度	
学 習 教 室	4月～3月(393回)	参加人員 9,847人	4月～2月(63回)	参加人員 1,772人
小 学 生 サ イ エ ン ス ア イ デ ア 作 品 展	10.1～11.30(52日間) 展示点数466点 入場者数19,137		9.30～11.30(53日間) 展示点数372点 入場者数18,536	
企 画 展	10月～11月	〃 13,693	—	
展 示 会	10月～3月(1回)	〃 35,725	11月～3月(1回)	入場者数34,961人

[指標]

指標名：実験・講座等参加者数
指標説明：学習教室と星空観望会の参加者数



2 科学教育センター施設管理事業費 29,238,817 円（科学教育センター）

〔総括〕

プラネタリウム室に総本革張りリクライニングシートの「プレミアムシート」を3脚、4畳分の畳敷きエリアの「お座敷シート」を1席設置し、大人が魅力を感じる極上の体験を提供できる環境を整備することで、プラネタリウムドームの活用の幅を広げ、大人をメインターゲットにした事業をより効果的に推進した。

今後も教育環境の計画的な整備を行い、視聴覚教育センター・地下資源館の利用促進を図っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 視聴覚教育センター施設管理事業費 14,622,154 円

〔利用状況〕

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
開 館 日 数	310日	309日	△ 0.3%
入 館 者 数	延 84,911人	延 89,545人	5.5

〔施設整備〕

内 容	令和4年度	令和5年度
	進相コンデンサー取替修繕、プラネタリウム案内看板等設置	プラネタリウム環境改善修繕（リクライニングシート3脚、お座敷シート1席設置）

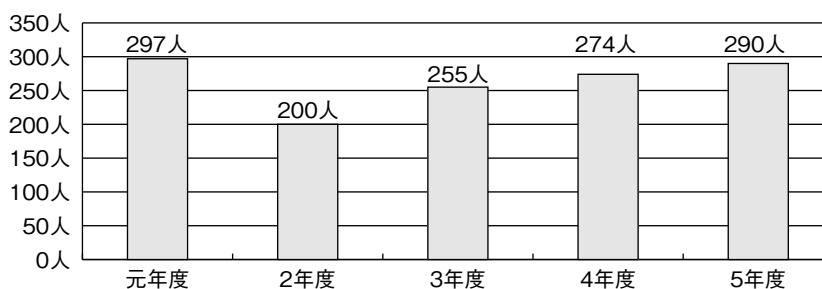
(2) 地下資源館施設管理事業費 14,616,663 円

〔施設整備〕

内 容	令和4年度	令和5年度
	進相コンデンサー取替修繕、空調用温水ボイラー修繕、パネル展示修繕	電気自動車の購入

〔指 標〕

指 標 名：1日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 小 学 校 費	5,202,961,080	752,455,000	2,049,400,000	903,778,121	1,497,327,959
1目 教育環境整備費 <教育環境の充実>	5,202,961,080	752,455,000	2,049,400,000	903,778,121	1,497,327,959

1 小学校管理事業費 458,904,230 円 (教育政策課)

[総括]

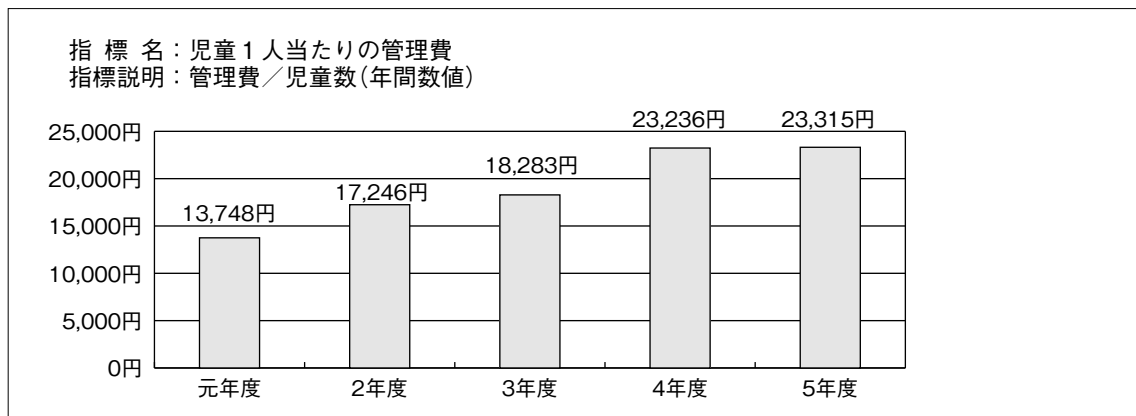
小学校を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算に導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、予算の有効活用を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 458,904,230 円 (5月1日現在)

区 分	令和4年度	令和5年度
学 校 数	52校	52校
学 級 数	848学級	860学級
児 童 数	20,049人	19,683人

[指標]



2 小学校教育推進事業費 298,646,098 円 (教育政策課・学校教育課)

[総括]

児童の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の4市により共同で実施し、教員が児童と向き合う時間の確保を図った。また、国の補助制度を活用し、感染症の影響を抑えるための換気対策に係る備品等を整備した。今後もさらなる教育環境の向上に向けて取り組みを進めていく。

[実績及び成果]

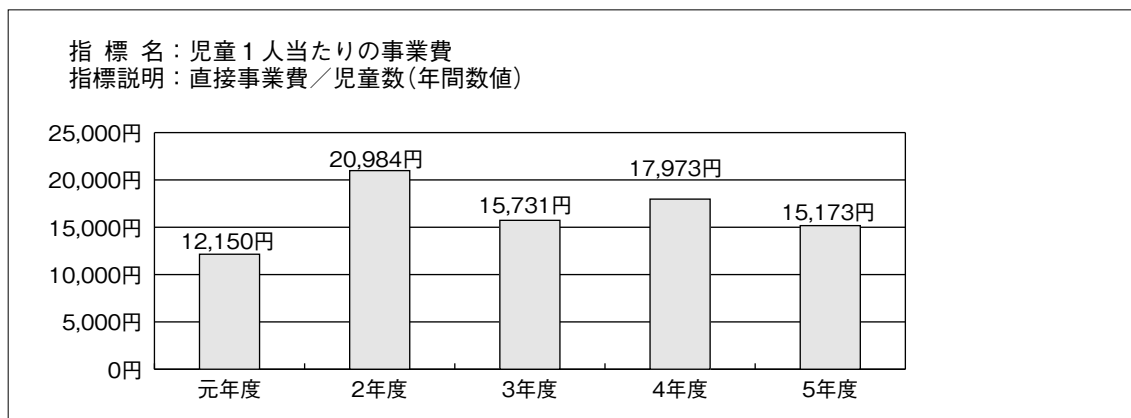
(1) 教育活動事業費 212,980,950 円

区 分	令和4年度	令和5年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	488,052冊	488,686冊
理科教育設備整備事業実施校数	17校	17校

(2) 情報管理システム管理運営事業費 85,665,148 円

区 分	令和 4 年度		令和 5 年度	
校務用コンピュータ費	1,308台	44,791,224円	1,308台	44,329,539円
校務支援システム費	1,308	41,335,609	1,308	41,335,609

[指 標]



3 小学校校舎等長寿命化改良事業費 3,372,876,500 円 (教育政策課)

[総 括]

児童が安心して学習できる環境づくりのため、東田小学校をはじめ 11 校の校舎及び体育館で施設の耐久性を高める工事を実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 東田小学校校舎改良事業費 309,645,094 円
 (ア) 仮設校舎の賃借 15,895,000 円
 (イ) 南校舎長寿命化改良工事 293,750,094 円
 3 か年継続事業の最終年度 総事業費 477,285,094 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造 3 階建	2,371㎡	外部・内部改修

- (2) 幸小学校校舎改良事業費 629,769,985 円
 (ア) 仮設校舎の賃借 42,532,600 円
 (イ) 南校舎長寿命化改良工事 276,346,585 円
 3 か年継続事業の最終年度 総事業費 459,546,417 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造 3 階建	2,924㎡	外部・内部改修

- (ウ) 北校舎長寿命化改良工事 310,890,800 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造 3 階建	1,602㎡	外部・内部改修

- (3) 向山小学校校舎改良事業費 162,264,530 円
 (ア) 仮設校舎の賃借 21,065,000 円
 (イ) 西校舎長寿命化改良工事 141,199,530 円
 3か年継続事業の最終年度 総事業費 225,909,530 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造2階建	1,001㎡	外部・内部改修

- (4) 大清水小学校校舎改良事業費 337,193,450 円
 (ア) 仮設校舎の賃借 30,470,000 円
 (イ) 南校舎長寿命化改良工事 306,723,450 円
 3か年継続事業の最終年度 総事業費 490,379,175 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	2,396㎡	外部・内部改修

- (5) 豊小学校校舎改良事業費 213,493,000 円
 (ア) 南校舎長寿命化改良工事等 213,493,000 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 557,600,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	2,113㎡	外部・内部改修

- (6) 花田小学校校舎改良事業費 267,565,830 円
 (ア) 仮設校舎の賃借 49,599,000 円
 (イ) 南校舎長寿命化改良工事等 217,966,830 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 574,800,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	2,459㎡	外部・内部改修

- (7) 磯辺小学校校舎改良事業費 193,517,750 円
 (ア) 仮設校舎の賃借 54,253,100 円
 (イ) 南校舎長寿命化改良工事等 139,264,650 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 346,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	1,142㎡	外部・内部改修

- (8) 飯村小学校屋内運動場改良事業費 245,726,448 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建	935㎡	外部・内部改修

- (9) 岩西小学校校舎改良事業費 362,700,613 円
 (ア) 北・中校舎長寿命化改良工事 362,700,613 円
 4 か年継続事業の最終年度 総事業費 973,355,075 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎	
	鉄筋コンクリート造3階建(北校舎)	2,066㎡	外部・内部改修
	鉄筋コンクリート造3階建(中校舎)	2,432㎡	

- (10) 多米小学校校舎改良事業費 454,187,800 円
 (ア) 中・南校舎長寿命化改良工事 454,187,800 円
 4 か年継続事業の3年度 総事業費 1,011,000,000 円

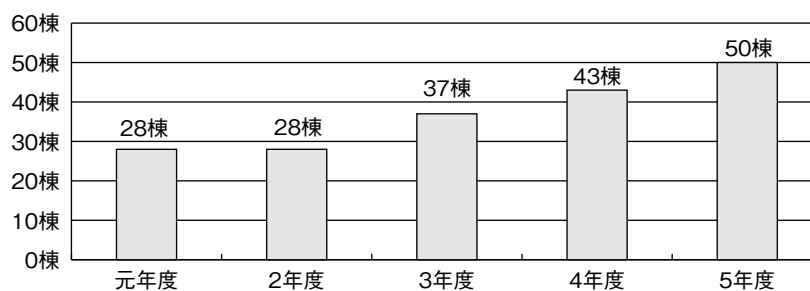
内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎	
	鉄筋コンクリート造3階建(中校舎)	1,996㎡	外部・内部改修
	鉄筋コンクリート造3階建(南校舎)	1,874㎡	

- (11) 栄小学校校舎改良事業費 196,812,000 円
 (ア) 北・南校舎長寿命化改良工事 196,812,000 円
 4 か年継続事業の2年度 総事業費 1,196,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎	
	鉄筋コンクリート造3階建(北校舎)	2,184㎡	外部・内部改修
	鉄筋コンクリート造3階建(南校舎)	2,145㎡	

[指 標]

指 標 名：長寿命化改良工事実施延棟数
 指標説明：〃



4 小学校環境整備事業費 674,120,669 円（教育政策課）

[総括]

学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、2校で校舎外壁等改修工事を実施したほか、5校においてトイレ大規模改造工事を行った。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

区 分	令和4年度	令和5年度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	545,453,952円		
電気設備改修工事	8校	9校	二川、松山、西郷、牟呂、前芝、野依、福岡、富士見、中野
トイレ大規模改造工事	4	5	羽根井、高師、前芝、富士見、杉山
校舎外壁等改修工事	7	2	つつじが丘、杉山
屋内運動場外壁等改修工事	—	1	野依
非常階段更新工事	—	1	石巻
(2) 運動場等整備事業費	66,498,740円		
木製遊具設置工事	—	1	富士見
運動場整備工事	1	1	旭
(3) 一般補修事業費	62,167,977円		
	52校	52校	全校

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 中 学 校 費	2,000,288,650	260,999,000	752,800,000	212,335,898	774,153,752
1目 教育環境整備費 <教育環境の充実>	2,000,288,650	260,999,000	752,800,000	212,335,898	774,153,752

1 中学校管理事業費 290,299,385 円 (教育政策課)

[総括]

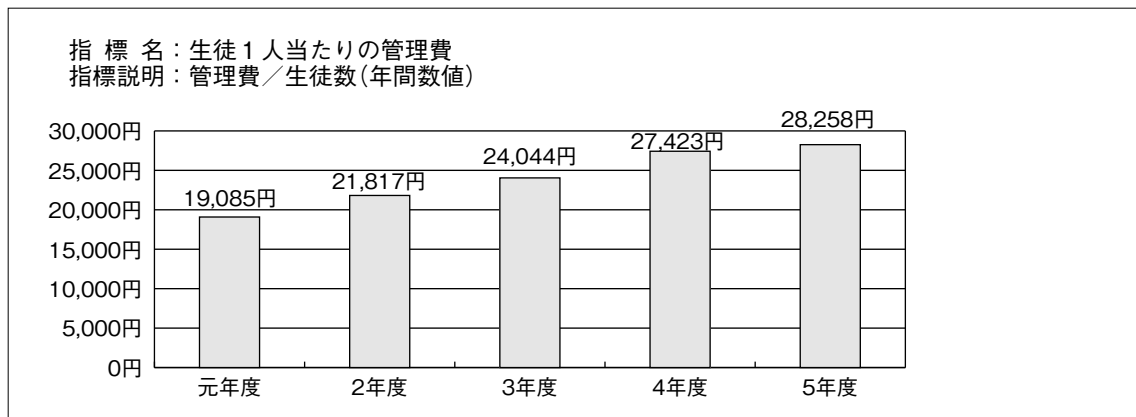
中学校を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。また、「楽器寄附ふさと納税」により、家庭等で使用されなくなった楽器の寄附を受け入れ、中学校の音楽活動に活用した。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算に導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 290,299,385 円 (5月1日現在)

区 分	令和4年度	令和5年度
学 校 数	22校	22校
学 級 数	369学級	363学級
生 徒 数	10,433人	10,273人

[指標]



2 中学校教育推進事業費 173,147,067 円 (教育政策課・学校教育課)

[総括]

生徒の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の4市により共同で実施し、教員が生徒と向き合う時間の確保を図った。また、国の補助制度を活用し、感染症の影響を抑えるための換気対策に係る備品等を整備した。今後もさらなる教育環境の向上に向けて取り組みを進めていく。

[実績及び成果]

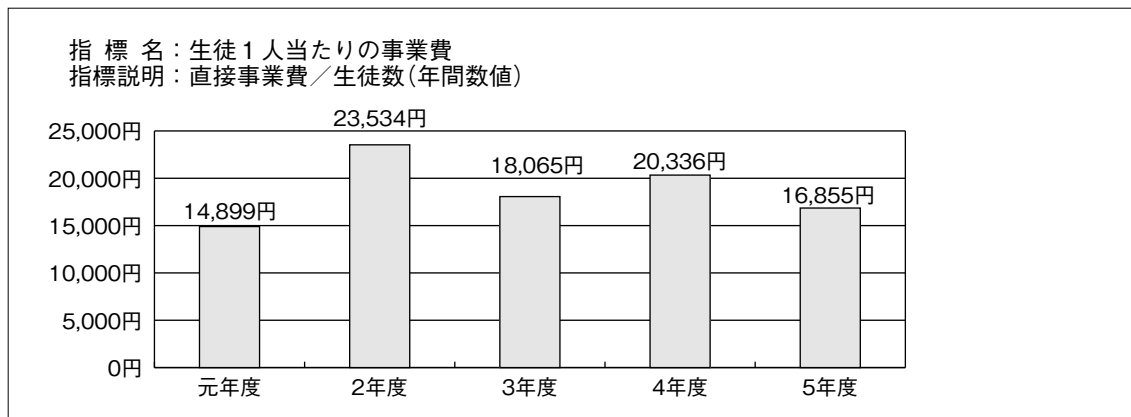
(1) 教育活動事業費 131,195,352 円

区 分	令和4年度	令和5年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	320,889冊	319,059冊
理科教育設備整備事業実施校数	11校	11校

(2) 情報管理システム管理運営事業費 41,951,715 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
校務用コンピュータ費	758台	24,659,856円	758台	24,464,535円
校務支援システム費	758	17,487,180	758	17,487,180

[指 標]



3 中学校校舎等長寿命化改良事業費 1,127,328,124 円 (教育政策課)

[総 括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、東部中学校校舎及び豊岡中学校はじめ3校の体育館で施設の耐久性を高める工事を実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 東部中学校校舎改良事業費 621,033,325 円
- (ア) 仮設校舎の賃借 64,350,000 円
 - (イ) 校舎長寿命化改良工事 556,683,325 円
- 4か年継続事業の2年度 総事業費 1,638,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造4階建	6,822㎡	外部・内部改修

- (2) 豊岡中学校屋内運動場改良事業費 141,314,694 円
- (ア) 屋内運動場長寿命化改良工事等 141,314,694 円
- 3か年継続事業の最終年度 総事業費 237,034,490 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,071㎡	外部・内部改修

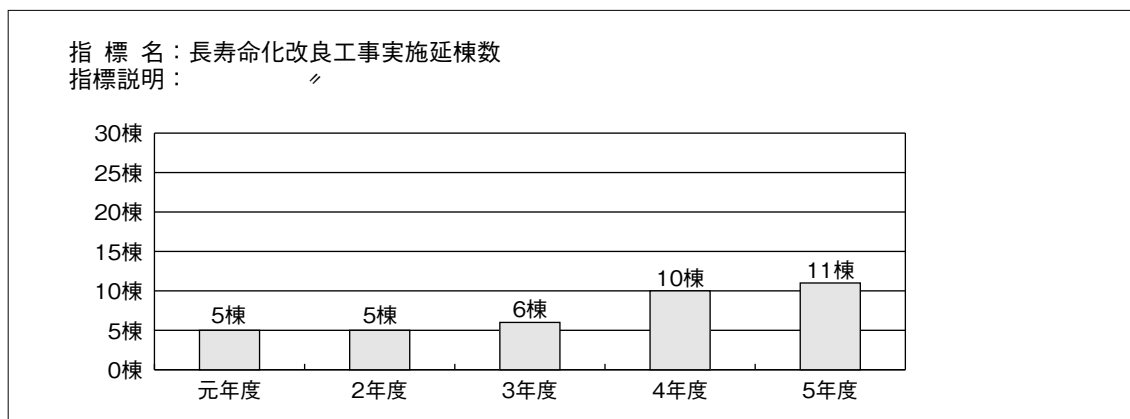
- (3) 中部中学校屋内運動場改良事業費 190,447,901 円
- (ア) 屋内運動場長寿命化改良工事等 190,447,901 円
- 3か年継続事業の最終年度 総事業費 307,789,559 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,306㎡	外部・内部改修

- (4) 豊城中学校屋内運動場改良事業費 174,532,204 円
 (ア) 屋内運動場長寿命化改良工事等 174,532,204 円
 3 年継続事業の最終年度 総事業費 280,442,800 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,302㎡	外部・内部改修

[指 標]



4 中学校環境整備事業費 232,695,021 円（教育政策課）

[総 括]

学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、東陵中学校校舎外壁等改修工事などを実施した。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

区 分	令和4年度	令和5年度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費		136,884,330円	
長寿命化改良事業実施設計	—	1校	豊城
電気設備改修工事	6校	4	牟呂、豊岡、東陽、章南
校舎外壁等改修工事	1	1	東陵
バリアフリー工事	—	1	牟呂
(2) 運動場等整備事業費		36,082,200円	
フェンス等設置工事	—	1	牟呂
屋外活動施設改修工事	—	1	高師台
(3) 一般補修事業費		59,728,491円	
	22校	22校	全校

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 社会教育費	4,389,814,221	654,681,500	904,700,000	432,099,152	2,398,333,569
2目 生涯学習機会充実費 <多様な学習機会の充実>	438,036,892	4,678,500	28,900,000	35,846,123	368,612,269

1 生涯学習推進事業費 8,196,297 円 (生涯学習課)

[総括]

多様化する市民の学習ニーズに対応するため、市内3大学や東三河市町と連携した講座を開催するとともに、地域の課題解決に向け、防災などをテーマとした講座を開催した。また、生涯学習情報紙の発行などを通して、生涯学習の普及・啓発を図るとともに、活動者の発表機会を設けるなど、生涯学習活動の振興に努めた。今後も、多様な学習機会の提供に向けた取組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生涯学習市民大学事業費 7,471,069 円

区 分	令和4年度			令和5年度			
	事業数	参加者	回数	事業数	参加者	回数	開催場所
一 般 コ ー ス	35	977人	170回	35	1,396人	172回	地区市民館ほか
専 門 コ ー ス	22	390	28	24	506	34	〃
高 齢 者 コ ー ス	22	977	134	25	1,152	161	〃
企 業 連 携 講 座	25	483	69	22	432	65	〃

(2) 生涯学習活動事業費 725,228 円

(ア) 生涯学習情報紙等発行事業費 448,000 円

発 行 部 数	令和4年度	令和5年度
		年2回 (公共施設等配布) 延 20,000部

(イ) 大清水まなび交流館活動発表等 141,900 円

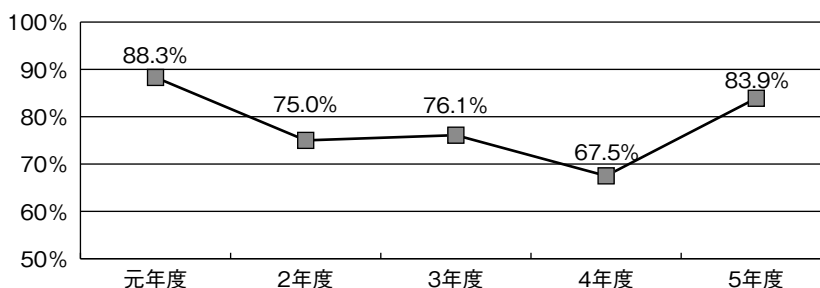
参 加 者	令和4年度	令和5年度
		1,800人

(ウ) 生涯学習活動推進大会開催事業費 135,328 円

参 加 者	令和4年度	令和5年度
		200人

[指 標]

指 標 名：生涯学習市民大学定員充足率
 指標説明：参加者数／募集定員



2 地区市民館管理運営事業費 302,669,389 円（生涯学習課）

〔総括〕

市民の生涯学習施設として利用されている地区市民館を指定管理者とともに、適切に管理・運営し、利用促進に努めた。今後も市民ニーズを把握しながら施設や設備等の充実を図っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 地区市民館管理運営事業費（22 館） 302,669,389 円

〔利用状況〕

区 分	令和4年度			令和5年度			比 較 (延利用人員)
	延件数	延利用人員	延図書貸出	延件数	延利用人員	延図書貸出	
二川地区市民館	件 1,846	人 77,854	冊 40,797	件 1,827	人 78,369	冊 41,215	% 0.7
豊岡 〃	984	21,637	1,955	1,054	21,812	1,888	0.8
東陽 〃	1,378	27,714	4,174	1,436	30,265	3,550	9.2
南稜 〃	2,143	56,937	—	2,182	63,053	—	10.7
青陵 〃	2,053	74,950	51,352	2,431	108,748	53,577	45.1
杉山 〃	104	2,157	19	658	14,176	1,414	6.6倍
石巻 〃	1,211	48,059	16,557	1,147	48,563	17,077	1.0
羽根井 〃	1,122	19,827	264	1,058	20,843	368	5.1
吉田方 〃	1,463	27,649	614	1,640	30,551	485	10.5
五並 〃	543	9,038	652	498	9,176	773	1.5
牟呂 〃	1,508	38,937	10,045	1,871	42,699	10,802	9.7
高豊 〃	709	20,980	212	534	17,716	157	△15.6
北部 〃	1,054	21,636	6,236	938	20,535	5,728	△ 5.1
南部 〃	1,475	61,922	26,420	1,778	65,238	25,258	5.4
豊城 〃	2,144	39,710	822	2,244	38,967	903	△ 1.9
中部 〃	1,339	21,892	865	1,386	22,649	620	3.5
高師台 〃	1,592	30,499	2,462	1,436	28,926	2,809	△ 5.2
東部 〃	883	18,441	1,175	1,061	22,810	1,079	23.7
東部地区市民館飯村分館	2,557	50,348	1,679	2,800	57,116	2,023	13.4
南陽地区市民館	1,349	23,193	489	1,399	24,421	550	5.3
本郷 〃	1,726	33,480	670	1,861	37,589	696	12.3
東陵 〃	1,490	35,551	2,024	1,667	37,863	2,256	6.5
計	30,673	762,411	169,483	32,906	842,085	173,228	10.5

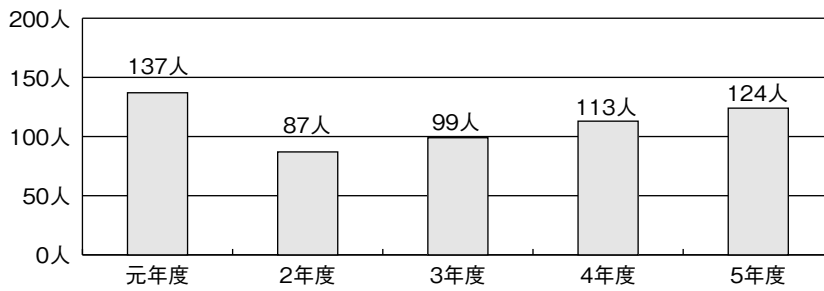
※杉山地区市民館は、施設の大規模改修工事に伴い、令和4年6月から令和5年3月まで休館

〔施設整備〕

内 容	令和4年度	令和5年度
		冷暖房機取替（二川・青陵・石巻・五並・北部・南部・南陽）

[指 標]

指 標 名：地区市民館1館1日当たりの利用者数
指標説明：利用者数／(開館日数×地区市民館数)



3 地区市民館整備事業費 33,423,029 円 (生涯学習課)

[総 括]

施設の長寿命化や安全で快適な施設利用を図るため、東陽地区市民館及び高師台地区市民館の改修に伴う実施設計を行った。また、牟呂地区市民館において予防保全工事を行った。今後も計画的に環境整備を行い、施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

- | | |
|---------------------|--------------|
| (1) 地区市民館整備事業費 | 33,423,029 円 |
| (ア) 特定天井改修実施設計 (東陽) | 3,592,129 円 |
| (イ) 大規模改修実施設計 (高師台) | 8,800,000 円 |
| (ウ) 改修工事 (牟呂) | 21,030,900 円 |

4 青少年教育施設管理運営事業費 93,748,177 円（生涯学習課）

〔総括〕

青少年センターでは指定管理者による適正な管理運営のもと、青年講座や四季の行事教室、ジュニアチャレンジ講座など自主事業を実施した。少年自然の家と野外教育センターでは、老朽設備の補修により利用者の安全確保を図るとともに、野外教育センター休館時には、少年自然の家で利用者の受入れ対応を行うなど、野外活動の場の確保に努めた。引き続き、青少年団体等の活動拠点として、施設の利用促進に向けた取組みを行っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 青少年センター管理運営事業費 43,286,682 円

〔利用状況〕

区 分	令和4年度	令和5年度	比較
研 修 棟	延 9,723人	延 11,888人	22.3%
宿 泊 棟	延 193	延 197	2.1
運 動 広 場	延 3,733	延 5,998	60.7
体 育 室	延 16,288	延 17,006	4.4
音 楽 室	延 2,665	延 2,888	8.4
大 研 修 室	延 7,400	延 7,384	△ 0.2
多 目 的 室	延 1,771	延 1,926	8.8
そ の 他	延 6,671	延 6,088	△ 8.7
計	48,444	53,375	10.2

〔施設整備〕

内 容	令和4年度	令和5年度
	研修棟空調機取替修繕及び トイレ洋式化	

(2) 少年自然の家管理運営事業費 18,837,844 円

〔利用状況〕

区 分	令和4年度	令和5年度	比較
管 理 棟（日帰り）	延 3,437人	延 6,446人	87.5%
宿 泊 棟	延 1,586	延 1,410	△11.1
キ ャ ン プ 場	延 128	延 109	△14.8
計	5,151	7,965	54.6

〔施設整備〕

内 容	令和4年度	令和5年度
	創作活動室空調設備等修繕	

(3) 野外教育センター管理運営事業費 16,832,041 円

〔利用状況〕

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
本 館（日 帰 り）	延 6,066人	延 2,304人	△62.0%
宿 泊 室	延 3,880	延 1,037	△73.3
計	9,946	3,341	△66.4

※野外教育センターは、令和5年6月の大雨の影響により、令和6年3月まで休館。

〔施設整備〕

内 容	令和4年度	令和5年度
	本館トイレ洋式化及び 集会所トイレ屋根等修繕	

(4) 神田ふれあいセンター管理運営事業費 3,483,610 円

〔利用状況〕

内 容	令和4年度	令和5年度	比 較
利 用 者 数	延 1,506人	延 1,899人	26.1%

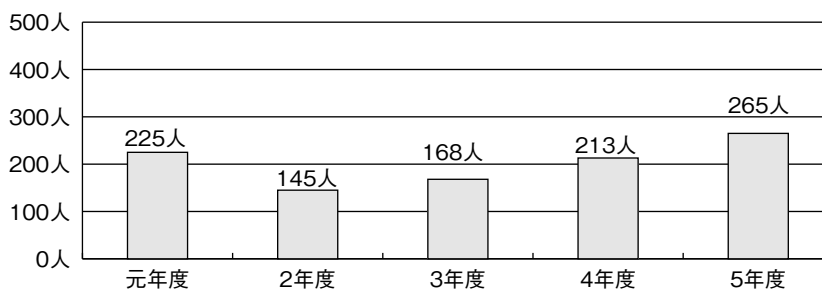
(5) 江比間野外活動センター管理負担金 11,308,000 円

〔利用状況〕

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
宿 泊 利 用	延 887人	延 1,157人	30.4%
日 帰 研 修	延 3,216	延 3,507	9.0
キ ャ ン プ 利 用	延 525	延 485	△ 7.6
計	4,628	5,149	11.3
内 豊 橋 市 利 用 人 数	延 753	延 1,242	64.9

〔指 標〕

指 標 名：青少年教育施設1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 地域教育・家庭教育等推進費 <地域・学校・家庭の協働の推進>	20,048,422	1,999,000	0	84,700	17,964,722

1 地域教育推進事業費 12,232,678円 (生涯学習課)

[総括]

地域の大人を講師として子ども向けに多様な体験活動等を行う講座を開催するなど、市民が自ら学んだ成果を地域での様々な教育活動に還元する機会を提供した。今後も学校や地域と連携して、新たな講師の発掘を行うとともに、活動内容の充実を図りながら地域教育の推進に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 地域教育活動事業費 5,657,407円

(ア) 生涯学習推進セミナー事業費 250,000円

内 容	令和4年度		令和5年度		
	延参加者	回数	延参加者	回数	開催場所
生涯学習推進セミナー	379人	12回	997人	23回	校区市民館ほか

(イ) 地域いきいき子育て促進事業費 333,000円

内 容	令和4年度			令和5年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
地域いきいき子育て促進事業	17	1,767人	107回	12	1,374人	82回	校区市民館ほか

(ウ) 地域未来塾ステップ推進事業費 502,407円

内 容	令和4年度			令和5年度			
	会場数	延参加者	回数	会場数	延参加者	回数	開催場所
地域未来塾ステップ推進事業	1	209人	22回	1	178人	22回	青少年センター

(エ) トヨッキースクール推進事業費 4,572,000円

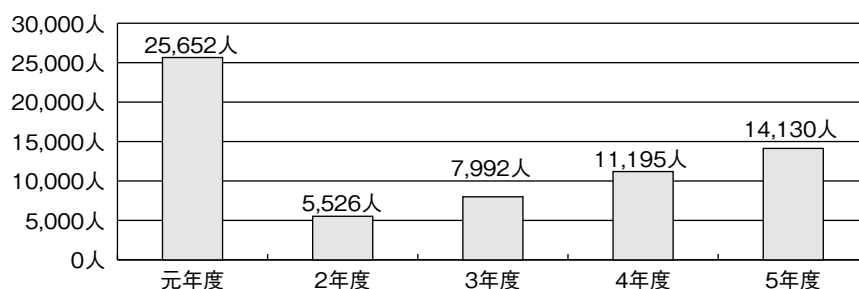
内 容	令和4年度			令和5年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
トヨッキースクール推進事業	35	8,840人	471回	40	11,581人	686回	校区市民館ほか

(2) 二十歳の集い開催事業費 6,575,271円

内 容	令和4年度			令和5年度			
	校 区	参加者	開催か所	校 区	参加者	開催か所	開催場所
二十歳の集い	51	3,431人	46か所	51	3,251人	46か所	小学校ほか

[指 標]

指 標 名：地域教育活動事業参加者数
 指標説明：



2 家庭教育事業費 885,454 円（生涯学習課）

[総 括]

家庭教育に関する学習支援を充実させるため、家庭教育セミナー及び明るい家庭づくり推進大会等を実施するとともに、学校、地域と連携した子育て学習講座を開催した。今後も学校や家庭、地域との連携を図り、地域ぐるみで子どもを育てる活動を支援するなど、保護者への効果的な学習機会を提供していく。

[実績及び成果]

(1) 家庭教育講座事業費 885,454 円

内 容	令和4年度			令和5年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
家庭教育セミナー	16	364人	16回	25	531人	28回	地区市民館ほか
子育てお悩み解決塾	9	165	9	10	163	10	地区市民館ほか
子育て学習講座	29	1,523	29	32	2,149	32	小学校
思春期家庭教育講座	0	0	0	0	0	0	中学校

3 青少年交流活動促進事業費 353,290 円（生涯学習課）

[総括]

親子や家族の交流、自然体験活動の充実を図るため「自然体験プログラム」や「くろしおチャレンジプログラム」を実施した。今後も青少年の体験活動機会を充実し、交流活動の促進を図っていく。

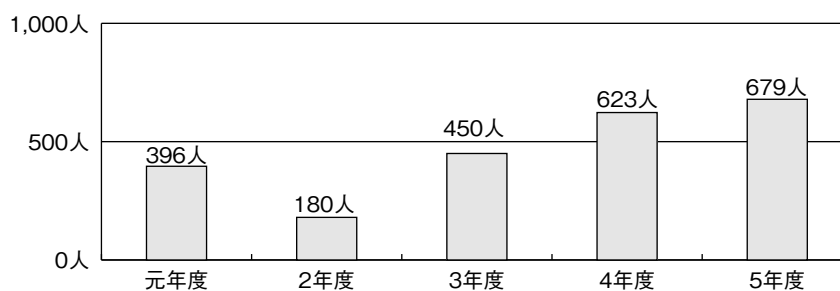
[実績及び成果]

(1) 青少年交流活動促進事業費 353,290 円

内 容	令和4年度		令和5年度		
	回 数	参加者	回 数	参加者	開催場所
自然体験プログラム遊びイベント21	15回	507人	16回	585人	少年自然の家 野外教育センター
くろしおチャレンジプログラム	3	46	3	59	少年自然の家
自然体験指導者養成プログラム	5	70	3	35	少年自然の家

[指 標]

指 標 名：青少年交流活動促進事業への参加者数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 青少年健全育成費 <青少年の健全育成>	11,118,670	0	0	0	11,118,670

1 子ども・若者健全育成事業費 3,169,412円 (生涯学習課)

[総括]

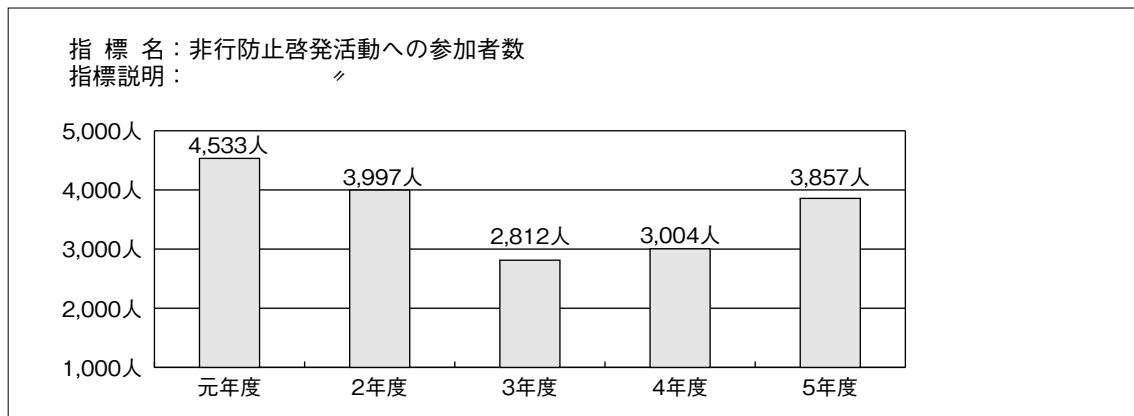
青少年の非行・被害防止に取り組む市民運動をはじめとした啓発活動や、各小中学校区青少年健全育成会と情報共有を図るとともに、小中学生への健全育成活動を積極的に実施した。また、今後も引き続き青少年健全育成のつどいを開催し、地域で活躍する青少年や青少年育成団体の紹介を行うことによって健全育成に対する意識啓発を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 子ども・若者育成事業費 3,169,412円

区 分	令和4年度	令和5年度
青少年問題協議会開催数	1回	1回
青少年健全育成会	22中学校区 52小学校区	22中学校区 52小学校区

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 放課後児童対策費 <放課後の学びと交流機会の充実>	1,141,974,208	584,284,000	2,600,000	169,227,800	385,862,408

1 放課後児童対策事業費 1,141,974,208円 (生涯学習課)

[総括]

放課後児童クラブの利用者ニーズに応えるため、公営児童クラブを新たに2か所開設したほか、民営児童クラブ1か所の施設整備に対する助成を行うとともに、夏休み期間の利用に限定した児童クラブを7か所開設した。また、児童クラブに従事する職員の処遇改善及び人材確保のため、3%程度の賃金引上げに係る費用の助成を行った。さらに放課後の新たな学びの場として、多彩な学びや交流機会を提供する「のびるん de スクール」を市内全小学校で通年実施した。今後も学校や地域が連携して、新たな講師やスタッフ人材の発掘を行うとともに、活動内容の充実を図りながら地域教育の推進に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 公営児童クラブ運営事業費 493,321,741円

区 分	令和4年度		令和5年度	
事業費	58クラブ	474,374,329円	60クラブ	493,321,741円
年間利用者数	延 20,985人		延 21,376人	

(2) 民営児童クラブ運営事業費 439,545,600円

区 分	令和4年度		令和5年度	
民営児童クラブ運営費補助金等	40クラブ	411,855,990円	40クラブ	404,083,600円
民営児童クラブ施設整備費補助金	2	684,000	1	22,379,000
民営児童クラブ利用料助成費	延 734人	13,308,194	延 783人	13,083,000

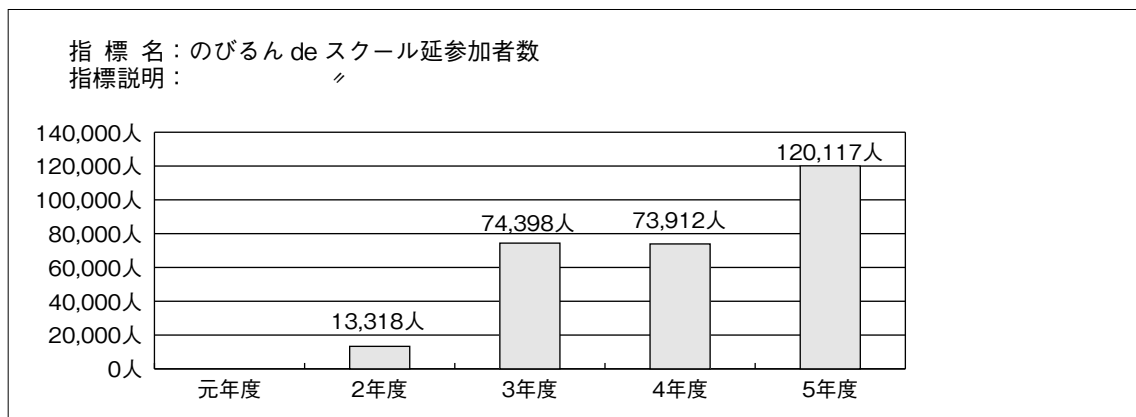
(3) 放課後子ども教室運営事業費 10,535,975円

内 容	令和4年度		令和5年度	
		6教室の開設		6教室の開設

(4) のびるん de スクール運営事業費 198,570,892円

内 容	令和4年度			令和5年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
のびるん de スクール	52	73,912人	2,291回	52	120,117人	3,203回	小学校ほか

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 図書館費 < 図書館の充実 >	746,794,387	833,000	0	2,057,588	743,903,799

1 中央図書館事業費 401,890,524 円 (図書館)

[総括]

豊橋市図書館開館111周年・田原市制20周年を記念した事業として、豊橋・田原にゆかりのある個人・団体が、好きなテーマで作った「おすすめ本の本棚」をそれぞれの図書館で展示することにより、幅広い世代の方が新たな本と出会い、地域を知るきっかけとなる機会を提供した。また、デジタル化した貴重な歴史的資料や郷土図書などをインターネットで検索・閲覧できる「とよはしアーカイブ」の掲載資料を増やすなど、ICTを活用したサービスの拡充を図った。

今後も「知の拠点」として、誰もが安全かつ快適に中央図書館を利用できるよう、施設・設備のリニューアルに向けて準備を進めるほか、利用者にとって魅力ある図書館サービスの提供に努める。

[実績及び成果]

- | | |
|------------------|--------------|
| (1) 児童図書業務費 | 11,488,818 円 |
| (2) 一般図書業務費 | 31,469,079 円 |
| (3) レファレンス業務費 | 1,429,528 円 |
| (4) 郷土・司文庫等図書業務費 | 5,414,026 円 |
| (5) AV・CD電子図書業務費 | 667,687 円 |

[利用状況等]

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
開 館 日 数	289日	286日	△ 1.0%
入 館 者 数	延 245,147人	延 241,829人	△ 1.4
館 外 貸 出 人 数	延 359,013	延 371,702	3.5
館 外 貸 出 冊 数	延 855,562冊	延 838,671冊	△ 2.0
館外貸出人数(CD)	延 7,534人	延 7,339人	△ 2.6
館外貸出点数(CD)	延 13,481点	延 12,981点	△ 3.7
蔵 書 冊 数	697,161冊	698,558冊	0.2
()内は司文庫で再掲	(35,542)	(35,682)	(0.4)
視聴覚資料所蔵数	6,266点	6,324点	0.9

※ Web から貸出延長した人数と冊数に関しては、全て中央図書館に計上した。

[資料購入状況]

区 分	内 容	令和4年度	令和5年度	比 較
図 書	一 般	7,096冊	6,073冊	△14.4%
	児 童	3,151	2,714	△13.9
	参 考	168	171	1.8
	郷 土	163	105	△35.6
	司 文 庫	102	140	37.3
	計	10,680	9,203	△13.8
逐次刊行物	雑 誌 等	242種	238種	△ 1.7
	新 聞	24	24	0.0
	追 録	8	8	0.0
視聴覚資料	C D、 D V D	86点	101点	17.4

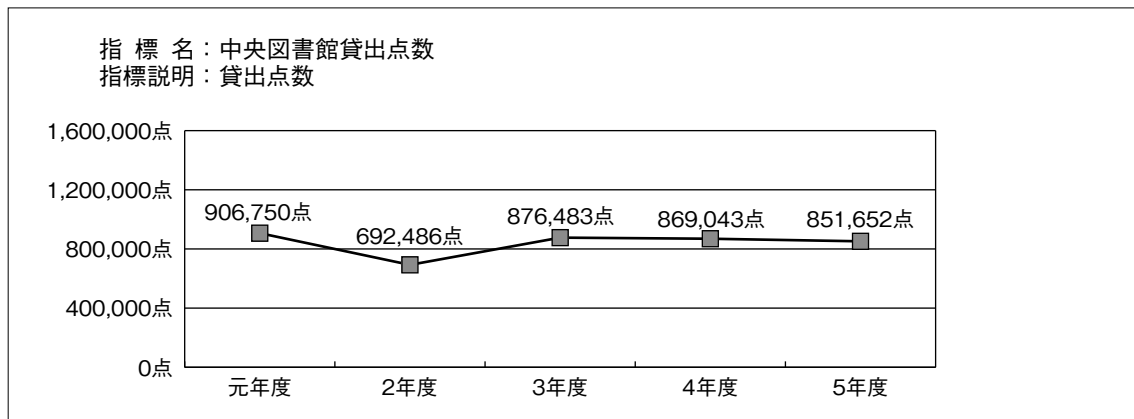
(6) 行事開催業務費

8,534,183 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
資 料 展 覧 (司文庫展、「平和を求めて」展等)	6回	延 17,994人	6回	延 18,896人
資 料 展 関 連 行 事	6	延 337	8	延 371
市 民 向 け 講 座	10講座	延 145	10講座	延 165
ボランティア等育成講座、研修	5	延 166	4	延 275
図書館子どもフェスタ		延 599		延 1,721
夏休み子どもフェスティバル		延 155		延 200
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート)	40回	配布人数 2,416 (絵本等)	40回	配布人数 2,340 (絵本等)
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート) 赤ちゃん広場	30	延 2,248	31	延 1,770
おはなしのへや	219	延 2,668	222	延 2,810
調べ学習コンクール	37校	277	45校	291
情報発信コーナー展示	18回		10回	
外部連携展示等	5		11	
出 前 講 座	2	53	5	286
図書館開館110周年記念事業 (うち再掲)	34 (16	延 13,268 延 11,297)		—

※図書館開館110周年記念事業に関しては、全て中央図書館に計上した。

[指 標]



2 向山図書館事業費

39,126,433 円（図書館）

[総括]

市民からの読書相談等に迅速に対応するとともに、インターネットによる図書資料などの検索や予約の周知を行い、図書館サービスの充実を図った。また、分室利用者のニーズに応じた配本業務に取り組むとともに、ネットワーク館（図書館システム設置分室）に特設コーナーを設置するなど、図書室の利用促進を図った。

今後も配本機能の充実を図り、広範な市域の利用者への充実した図書館サービスの提供に努める。

[実績及び成果]

(1) 配本業務費

33,946,320 円

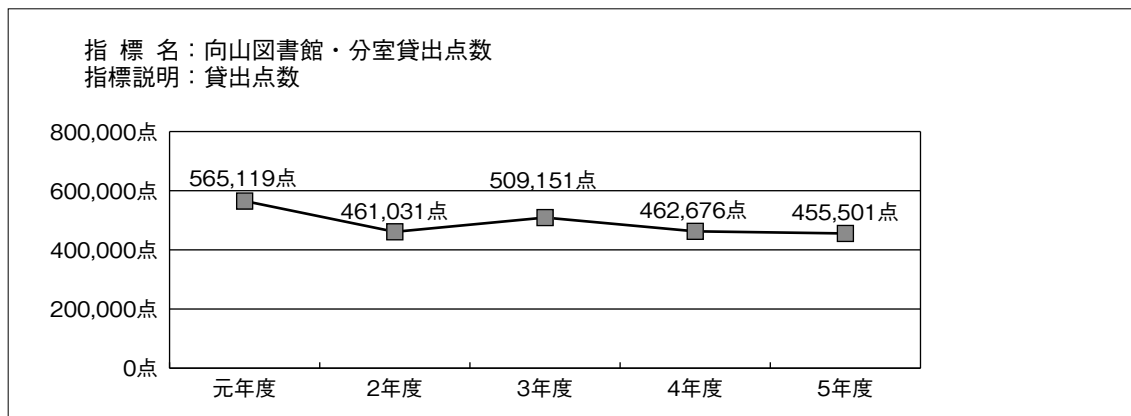
[利用状況等]

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
開 館 日 数		289日	290日	0.3%
入 館 者 数		延 99,413人	延 109,394人	10.0
館外貸出人数	向 山 図 書 館	延 66,605	延 65,257	△ 2.0
	分 室	延 82,887	延 83,147	0.3
	計	延 149,492	延 148,404	△ 0.7
館外貸出冊数	向 山 図 書 館	延 222,655冊	延 214,999冊	△ 3.4
	分 室	延 240,021	延 240,502	0.2
	計	延 462,676	延 455,501	△ 1.6
蔵 書 冊 数		256,197	254,903	△ 0.5

[資料購入状況]

区 分	内 容	令和4年度	令和5年度	比 較
図 書	一 般	3,139冊	3,332冊	6.1%
	児 童	4,447	3,825	△14.0
	参 考	1	0	皆減
	郷 土	7	3	△57.1%
	計	7,594	7,160	△ 5.7
逐次刊行物	雑 誌	48種	51種	6.3
	新 聞	10	10	0.0

[指 標]



3 大清水図書館事業費

36,282,800 円（図書館）

〔総括〕

市民の読書への関心を高めるため、読み聞かせや本に触れるきっかけとなるような講座を行うとともに、ティーンズルームにおける展示や高校の部活動を紹介する企画展等を開催することにより、若年層の図書館利用の促進を図った。また、5月から第3日曜日に「日曜シネマ」を開催し、館内での視聴覚資料の利用促進を図った。

今後も利用者ニーズに沿った図書資料を提供し、図書館サービスの充実に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 図書業務費 9,828,200 円

〔利用状況等〕

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
開 館 日 数	289日	289日	0.0%
入 館 者 数	延 221,403人	延 204,907人	△ 7.5
館 外 貸 出 人 数	延 51,111	延 51,017	△ 0.2
館 外 貸 出 冊 数	延 226,304冊	延 227,127冊	0.4
館 外 貸 出 人 数 (C D)	延 815人	延 724人	△11.2
館 外 貸 出 点 数 (C D)	延 1,386点	延 1,232点	△11.1
蔵 書 冊 数	80,735冊	84,055冊	4.1
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	839点	883点	5.2

※大清水図書館の入館者数は、令和5年11月15日～11月24日の間、機械故障のため測定不可。

〔資料購入状況〕

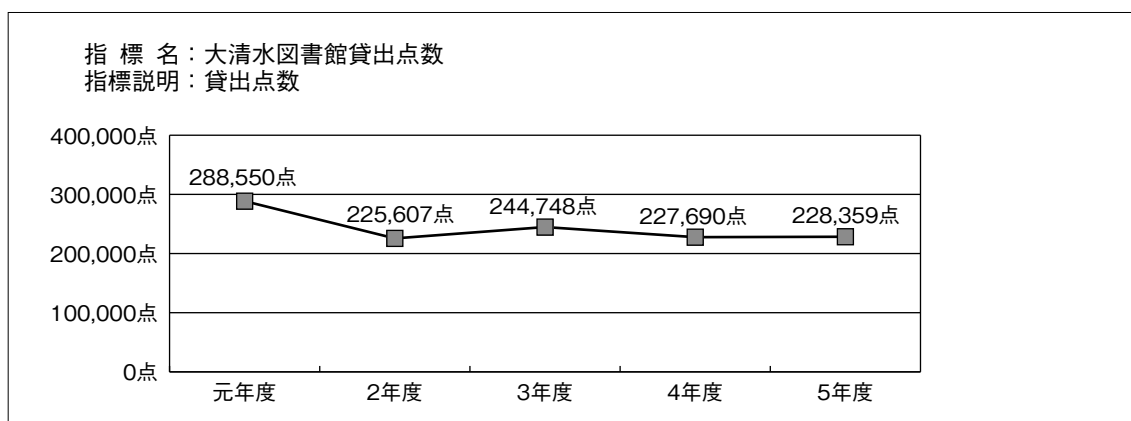
区 分	内 容	令和4年度	令和5年度	比 較
図 書	一 般	2,080冊	2,873冊	38.1%
	児 童	1,742	1,686	△ 3.2
	郷 土	10	4	△60.0
	計	3,832	4,563	19.1
逐次刊行物	雑 誌 等	116種	107種	△ 7.8
	新 聞	11	11	0.0
視聴覚資料	C D、 D V D	55点	44点	△20.0

(2) 行事開催業務費 49,658 円

区 分	令和4年度	令和5年度
ミ ナ ク ル ま つ り	延 354人	延 155人
お は な し の へ や	84回 延 921	75回 延 1,047
出 前 講 座	2 延 166	2 延 72
外 部 連 携 展 示 等	10	10
日 曜 シ ネ マ	—	11 延 215

※ミナクルまつりの参加人数は令和5年度よりカウント方法を変更した。

[指 標]



4 まちなか図書館事業費 203,200,637 円（図書館）

[総 括]

8月に来館者100万人を達成し、11月に開館2周年を迎えた。まちなか図書館独自のテーマ配架や特集コーナーを充実させるとともに、外部との連携によるワークショップや企画展示などを開催し、人と人との交流によって生み出される知識や情報、体験などを共有する機会を提供した。

今後も「交流・創造拠点」として、さらなる図書館サービスの充実に努める。

[実績及び成果]

(1) 図書業務費 18,246,782 円

[利用状況等]

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
開 館 日 数	339日	340日	0.3%
入 館 者 数	延 586,703人	延 582,927人	△ 0.6
館 外 貸 出 人 数	延 135,095	延 132,161	△ 2.2
館 外 貸 出 冊 数	延 471,769冊	延 474,620冊	0.6
蔵 書 冊 数	71,107	76,991	8.3
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	121点	166点	37.2

[資料購入状況]

区 分	内 容	令和4年度	令和5年度	比 較
図 書	一 般	4,435冊	4,389冊	△ 1.0%
	児 童	1,686	1,597	△ 5.3
	計	6,121	5,986	△ 2.2
逐次刊行物	雑 誌 等	313種	305種	△ 2.6
	新 聞	16	16	0.0
視聴覚資料	D V D	31点	45点	45.2

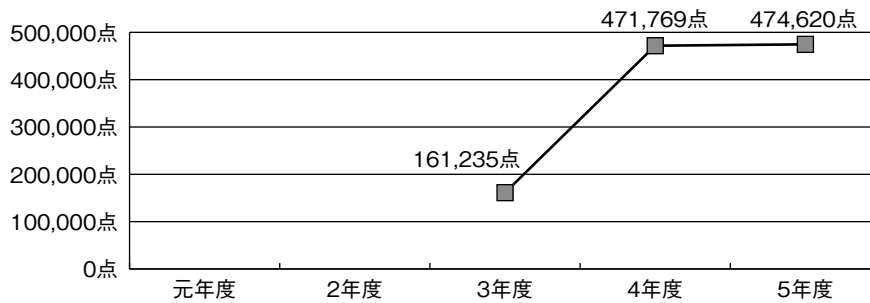
(2) 行事開催業務費

757,437 円

区 分	令和4年度	令和5年度
資 料 展	18回	22回
資 料 展 関 連 行 事	13 延 635人	17 延 440人
映 画 上 映 会	67 延 1,121	33 延 897
お は な し の へ や	97 延 2,459	81 延 2,245
まちなか図書館主催イベント	132 延 1,796	76 延 883
外 部 連 携	323 延 5,114	259 延 4,996
出 前 講 座	1 28	—

[指 標]

指 標 名：まちなか図書館貸出点数
 指標説明：貸出点数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 美術博物館費 ＜美術博物館の充実＞	1,363,085,766	15,619,000	812,500,000	209,470,535	325,496,231

1 美術博物館事業費 405,880,008 円 (美術博物館)

[総括]

改修工事のため2月まで休館していたが、休館中はコレクションを二川宿本陣資料館で出張展示する「びはく移動展Ⅲ」、「びはく移動展Ⅳ」を前年度に引き続き開催したほか、市内小中学校を対象とする出前授業のプログラム数を増やすなど、アウトリーチ活動に重点を置いた。また、美術・歴史の魅力発信を推進するため、収蔵品データベースのホームページ公開に向けて準備を行い、3月のリニューアルオープンと同時に公開を行った。

リニューアル後は、記念展として「ブルターニュの光と風」を開催したほか、2階を歴史エリアとして再編し、通史展示「とよはしの歴史」およびテーマ展示で歴史資料の紹介を行い、スマートフォンアプリによる展示品解説サービスを開始した。また、中庭の彫刻もこの機会に入替を行い、新たに国島征二の石彫3点を設置して「光庭」として公開した。そのほか、リニューアルに伴い新たにキッズスペースを設置したことを記念し、幼児・保護者向けのイベントを行った。

リニューアルを記念する1か月間は、さまざまなイベントを行うことで衆目を集めたが、次年度以降も来館者数やイベント参加者数を維持するため、新鮮で魅力的な事業を提供していく。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 48,809,082 円

[利用状況]

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
開 館 日 数	106日	31日	△ 70.8%
企 画 展	3件 延 38,321人	2件 延 18,544人	△ 51.6
共 催 展	2 延 2,967	— 延 0	皆減
一 般 展	10 延 9,964	— 延 0	皆減
テ ー マ 展 示	— 延 0	— 延 0	—
公 開 講 座 等	15 延 5,990	19 延 724	△ 87.9%
計	57,242	19,268	△ 66.3

(2) 展覧会事業費 195,181,273 円

(ア) 展覧会開催事業費 25,064,273 円

令和4年度		令和5年度		入場者数 比較
展覧会名	延入場者数	展覧会名	延入場者数	
—	0人	リニューアルオープン記念展 「ブルターニュの光と風」	8,092人 (5回359人)	皆増
第44回豊橋美術展	4,114	—	0	皆減
豊橋ハリストス正教会 山下りん作のイコン(聖画像)等展示	5,124	—	0	—
びはく クロージング・イベント	8,949 (5回2,880人)	—	0	—
びはく移動展Ⅰ 「こわい絵 in HONJIN」 ※二川宿本陣資料館	4,469 (3回208人)	びはく移動展Ⅲ 「末広五十三次」 ※二川宿本陣資料館	2,122	△52.5%
びはく移動展Ⅱ 「Life is Journey」 ※二川宿本陣資料館	2,066	びはく移動展Ⅳ 「浮き世を描く」 ※二川宿本陣資料館	2,407	16.5
常設展	20,134	コレクション展示	10,452	△48.1
延224日	44,856 (8回3,088人)	延93日	23,073 (5回359人)	△48.6

※ () は記念講演会等の開催回数及び参加人数で外書き

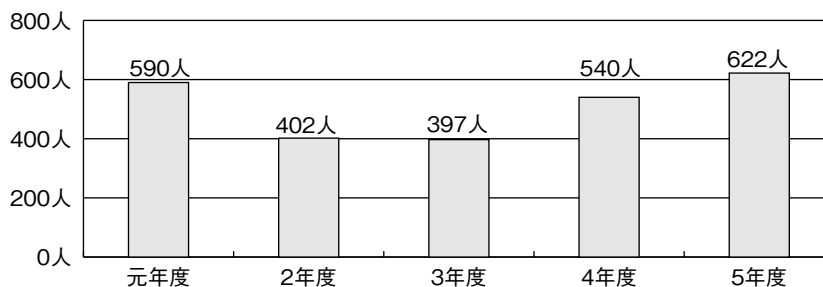
※豊橋市民展は、美術博物館大規模改修工事のため未実施

(3) 資料収集事業費 15,852,020 円

区分	令和4年度	令和5年度
美術資料	—	彫刻 国島征二 《Untitled》等 3点
歴史資料	—	長尾華陽粉本類等 11件

[指標]

指標名：美術博物館1日当たりの利用者数
指標説明：利用者数／開館日数



2 民俗資料収蔵室運営事業費 3,624,728 円（美術博物館）

[総括]

民俗資料収蔵室として活用する旧多米小学校は、昭和19年に木造校舎として建てられ、当時のたたずまいを思い起こさせる歴史的な価値を備えており、平成28年には収蔵室本棟、西棟が国登録有形文化財に登録された。建設当時の趣を残す市内に唯一の木造校舎として魅力の発信、建物の有効活用に努めており、民俗資料を活用した小学生の体験教室にも利用されている。令和5年度はこれまでの普及活動とともに、地域と連携した夏休み宿題教室等の積極的な実施、校区行事との連携により個人、団体利用ともに増加している。今後も、将来に向けての保存及び活用方法を検討し、利用者の拡大を図る。

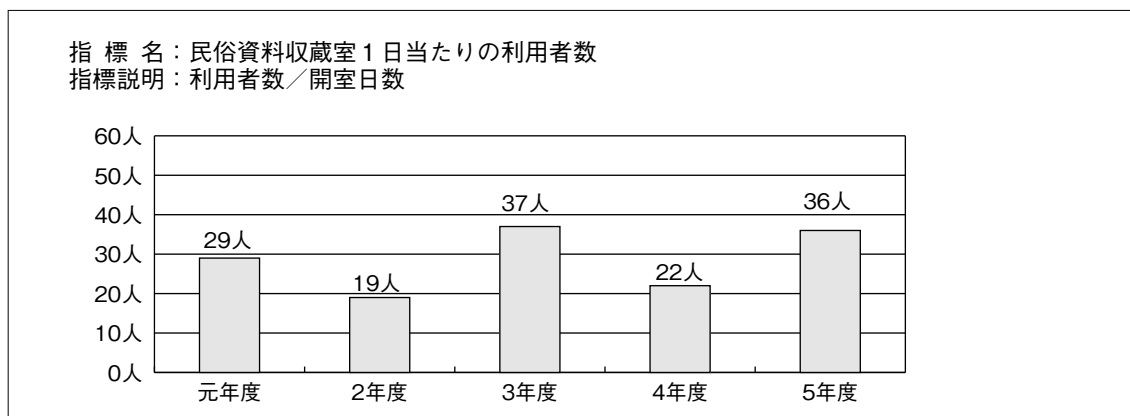
[実績及び成果]

(1) 民俗資料収蔵室運営事業費 3,624,728 円

[利用状況]

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
開 室 日 数	136日	137日	0.7%
延 入 室 者 数	3,041人	4,872人	60.2

[指 標]



3 美術博物館整備事業費 949,159,969 円（美術博物館）

[総括]

施設の長寿命化を図り、美術館・博物館資料の展示・保管に最適な施設として利用者が快適に利用できるよう、設計施工一括発注方式を採用した大規模改修整備工事を行った。令和5年度は、改修工事を計画的に進めしゅん工となり、資料の保存環境、来館者の鑑賞環境及び利便性の向上に努めた。

[実績及び成果]

(1) 美術博物館整備事業費 949,159,969 円

(ア) 美術博物館大規模改修工事 918,370,000 円

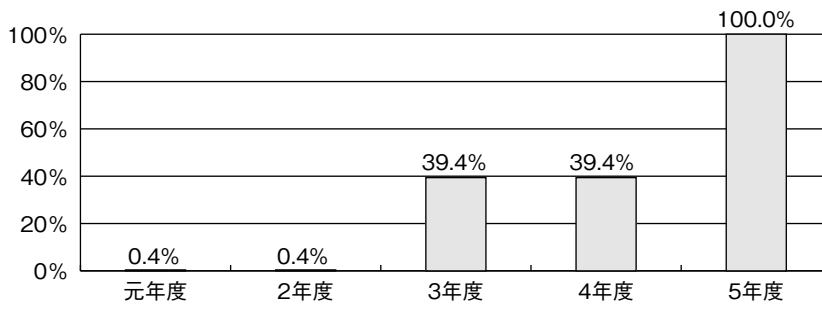
3か年継続事業の最終年度 総事業費 1,505,570,000 円

構 造	内 容	延床面積
鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建	空調設備更新、来館者用エレベーター 新設、内装改修	5,409㎡

[指 標]

指 標 名：美術博物館整備事業進捗率

指標説明：実施事業費／総事業費(令和元年度～令和5年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 歴史資源保存活用費 <文化財の保護と次世代への継承>	162,344,185	329,000	53,700,000	5,696,943	102,618,242

1 二川宿本陣資料館事業費 77,962,213 円 (美術博物館)

[総括]

東海道を中心とした江戸時代の交通、地域の歴史や文化を紹介するため、常設展示をはじめ、豊橋と新城に残る狂言装束を一堂に展覧した「大たん可愛い 東三河の狂言装束」、江戸時代の情報メディアであった瓦版や当時の人々の興味関心を反映した番付を展示した「瓦版展」などの特別展のほか、「五月人形展」をはじめとする季節のイベントや各種講座を開催した。また、展示資料収集、調査研究活動に取り組んだ。令和6年1月より資料館の大規模改修工事に着手し、資料の展示保存状況、来館者の見学環境の改善に取り組んでいる。

大規模改修工事を計画的に進め、再開館後は地道な活動に基づいて、集客を見込める魅力のある展覧会を開催するとともに、イベント等開催にあたって地域住民との連携に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 28,843,481 円

[利用状況]

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
開 館 日 数	312日	241日	△22.8%
延 入 館 者 数	26,845人	20,521人	△23.6

※大規模改修工事に伴い、令和6年1月9日から11月2日まで休館

(2) 展覧会事業費 6,082,758 円

(ア) 展覧会開催事業費 4,406,545 円

令 和 4 年 度		令 和 5 年 度	
展 覧 会 名	延入館者数	展 覧 会 名	延入館者数
ええじゃないか	2,952人	大たん可愛い 東三河の狂言装束	2,863人
高師の山の須恵づくり	1,002	—	—
甦る名城 香川元太郎城郭原画展	3,002	瓦版展	8,907
おひなさまと武者人形 柴田コレクション	9,235	—	—
記念講演会等 2回	51	記念講演会等 1回	21
計	16,242	計	11,791

(イ) 五節句行事開催等事業費 352,463 円

令和4年度		令和5年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 2,271人	五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 2,110人
本陣体験講座 「土人形絵付け体験(招き猫)」	参加者 18	本陣体験講座 「土人形絵付け体験(招き猫)」	参加者 43
琴のしらべ	24	琴のしらべ	20
ほんじん講座	受講者 13	ほんじん講座	受講者 3
本陣古文書講座(初級)	61	本陣古文書講座(初級)	112
七夕の節句	会期中入館者 949	七夕の節句	会期中入館者 880
—	—	夏休みカブト作り教室	参加者 7
夏の夜の本陣体験 「本陣のおばけ屋敷」	参加者 83	夏の夜の本陣体験 「本陣のおばけ屋敷」	参加者 74
本陣体験講座 「和本を作ろう」	11	本陣体験講座 「和本を作ろう」	14
菊の節句－重陽－	会期中入館者 470	菊の節句－重陽－	会期中入館者 351
本陣古文書講座(中級)	受講者 72	本陣古文書講座(中級)	受講者 100
本陣体験講座 「風呂敷ラッピング講座」	13	本陣体験講座 「風呂敷ラッピング講座」	15
本陣体験講座 「つるし飾り作り講座」	11	本陣体験講座 「つるし飾り作り講座」	20
本陣体験講座 「土人形絵付け体験(干支・雛人形)」	23	本陣体験講座 「土人形絵付け体験(干支・雛人形)」	27
春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 739	春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 739
ひなまつり	9,235	—	—
本陣句会	応募者 136	本陣句会	応募者 55

(3) 資料収集事業費 970,000 円

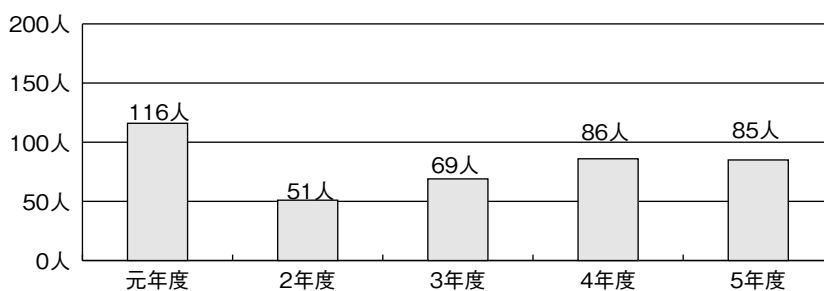
内 容	令和4年度	令和5年度
	増訂琉球入貢紀略等	7点

(4) 二川宿本陣まつり(大名行列)開催事業補助金 4,500,000 円

補 助 金	令和4年度	令和5年度
	570,000円	4,500,000円

[指 標]

指 標 名：二川宿本陣資料館 1 日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



2 二川宿本陣資料館整備事業費 62,844,224 円（美術博物館）

[総 括]

施設の長寿命化を図り、収蔵資料の展示・保管状況を最適化し、来館者の見学環境及び利便性を向上させるため、大規模改修工事に着手した。

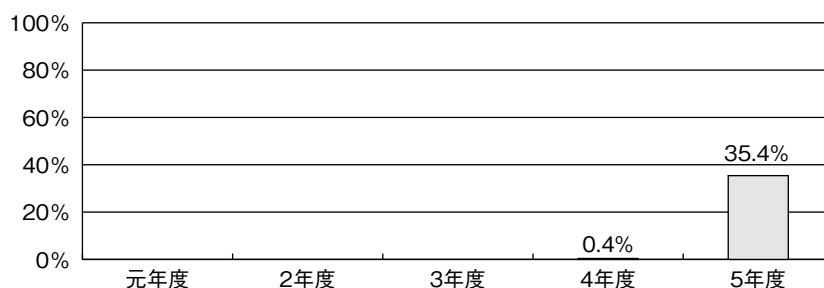
[実績及び成果]

- (1) 二川宿本陣資料館整備事業費 62,844,224 円
- (ア) 二川宿本陣資料館大規模改修工事 59,760,000 円
- 2 か年継続事業の初年度 総事業費 194,900,000 円

構 造	内 容	延床面積
鉄筋コンクリート造 2階建	空調設備更新、エレベーター更新、 照明LED化	1,039㎡

[指 標]

指 標 名：二川宿本陣資料館整備事業進捗率
 指標説明：実施事業費／総事業費(令和4年度～令和6年度)



3 商家「駒屋」事業費

21,537,748 円（美術博物館）

〔総括〕

地域の交流、生涯学習、観光の拠点となる体験型施設として、様々なワークショップが体験できる「駒屋であそびん」や「和み塾」、煎茶体験や和菓子作り、季節の行事「新春演奏会」や「福よせ雛」などの各種イベントを定期的に開催した。また、カフェでの飲食提供や、ショップでの手作り小物や駄菓子、土産物などの物品販売を行い、地域住民や観光客の集客に努めるとともに、地元アーティストの作品を展示する「駒屋・三ツ田屋アートプロジェクト 2023」を開催した。今後も、地域資源を活用し、住民と行政が協働して魅力ある施設として入館者増に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 施設管理事業費

21,537,748 円

〔利用状況〕

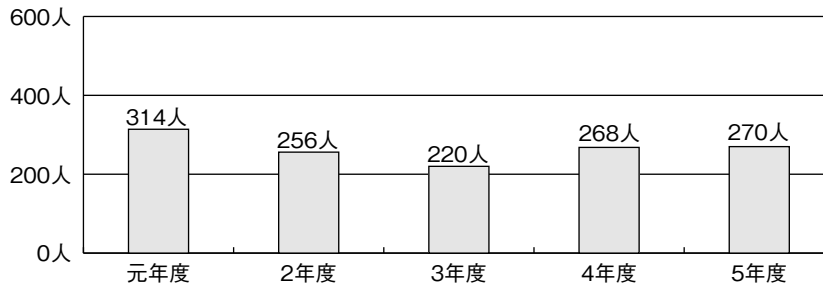
区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
開 館 日 数	312日	312日	0.0%
延 入 館 者 数	83,531人	84,378人	1.0

〔主なイベント開催状況〕

令和4年度		令和5年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
駒屋の夜店	500人	駒屋の夜店	1,000人
駒屋横丁	4,540	駒屋横丁	6,302
ひなまつり	会期中入館者 18,961	福よせ雛	会期中入館者 14,614

〔指 標〕

指 標 名：商家「駒屋」1日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 文化財保護活動費 <文化財の保護と次世代への継承>	346,051,425	46,939,000	7,000,000	9,715,463	282,396,962

1 文化財保護事業費 346,051,425 円 (美術博物館)

[総括]

市内に所在する埋蔵文化財の発掘調査や、指定文化財の修理費等に対する助成や普及・活用のための事業を行った。また、指定・登録文化財に関する各種調査や保護活動のほか、文化財を活用した展示や講座の開催、国史跡・瓜郷遺跡の用地購入、市史跡・吉田城址の石垣解体修理に伴う確認緊急調査を実施するとともに、豊橋市における文化財の保存と活用の基本方針を示す「豊橋市文化財保存活用地域計画」の作成作業を開始した。

今後も、発掘調査事業や指定文化財の修理等に適切に対応し、文化財保護活動を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 文化財調査事業費 330,448,901 円

(ア) 市内遺跡発掘調査

内 容	令和4年度	令和5年度
	三ツ山古墳の確認調査	

(イ) 牛川西部地区緊急発掘調査

内 容	令和4年度	令和5年度
	西側北遺跡の発掘調査	

(ウ) 牟呂坂津地区緊急発掘調査

内 容	令和4年度	令和5年度
	境松遺跡の発掘調査	

(エ) 吉田城址確認緊急調査

内 容	令和4年度	令和5年度
	吉田城址(千貫櫓台石垣)の確認緊急調査	

(オ) 報告書作成業務

内 容	令和4年度	令和5年度
	埋蔵文化財調査報告書第158・159・160集の作成	

(カ) 埋蔵文化財緊急発掘調査

内 容	令和4年度	令和5年度
	南台遺跡・吉田城址ほかの試掘確認調査	

(キ) 指定天然記念物植生調査

内 容	令和4年度	令和5年度
	葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ自生地の植生調査や回復作業	

(ク) 史跡瓜郷遺跡公園整備用地購入費

内 容	令和4年度	令和5年度
	史跡瓜郷遺跡の指定地内の用地の購入	史跡瓜郷遺跡の指定地内の用地の購入

(ケ) 文化財保存活用地域計画策定準備

内 容	令和4年度	令和5年度
	計画作成に向けた文化財所有者アンケートの実施	協議会を設置し、計画作成を開始

(コ) 吉田城址保存活用計画策定

内 容	令和4年度	令和5年度
	市史跡吉田城址について保存活用計画を策定	—

(2) 文化財保存事業補助金 5,055,000 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	豊橋ハリストス正教会聖堂保存修理 野依八幡社のシダレザクラ樹勢回復作業	豊橋ハリストス正教会聖堂保存修理 木造愛染明王坐像(赤岩寺)保存修理 東観音寺多宝塔防災設備修理

(3) 文化財活用事業費 10,547,524 円

(ア) 文化財展示公開等事業費

内 容	令和4年度	令和5年度
	「石巻の縄文遺跡・玉川変電所遺跡と採集資料展」を開催	「豊橋平野に眠る縄文遺跡・大蚊里貝塚展」を開催

(イ) とよはし歴史探訪等開催事業費

内 容	令和4年度	令和5年度
	現地見学(戦争遺跡めぐり・文化財めぐり)、勾玉づくりなど体験講座を開催	現地見学(戦争遺跡めぐり・文化財めぐり)、勾玉づくりなど体験講座を開催

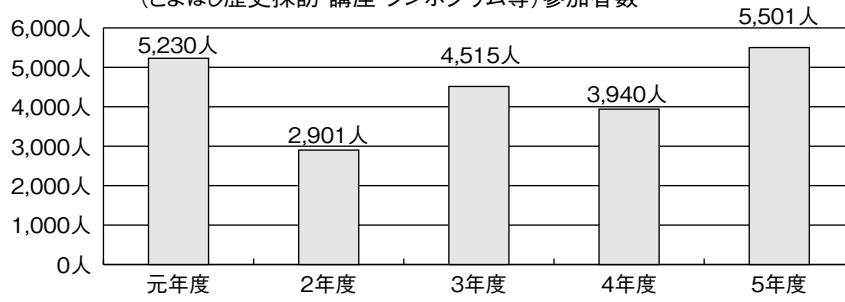
(ウ) 埋蔵文化財活用事業費

内 容	令和4年度	令和5年度
	吉田城址市史跡指定記念講演会、とよはしシンポジウム「石垣を守る・直す・魅せる!」を開催 埋蔵文化財説明看板の設置	とよはしシンポジウム「徳川の城・吉田城」を開催 埋蔵文化財説明看板の設置

[指 標]

指 標 名：文化財保護事業参加者数

指標説明：文化財調査事業(発掘調査現地説明会等)参加者+文化財保存活用事業
(とよはし歴史探訪・講座・シンポジウム等)参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 保 健 給 食 費	4,159,153,234	1,329,902,000	76,900,000	470,011,441	2,282,339,793
2目 子どもの心と体の育成費 <健やかな心と体の育成>	4,072,867,563	1,329,902,000	76,900,000	470,011,441	2,196,054,122

1 学校保健事業費 174,862,236 円 (保健給食課)

[総括]

児童生徒及び教職員の健康状態を把握し、疾病の早期発見に努めるとともに、児童生徒が安全かつ健康的な学校生活を送れるよう学校環境の衛生管理を行った。今後も各学校や関係機関と連携し、効率的・効果的な健康診断の実施や、学校環境衛生検査の基準超過校への事後措置の徹底を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校健康診断事業費 138,415,995 円

(ア) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師報酬 99,874,940 円

区 分		人 員	
		令和4年度	令和5年度
学 校 医	内 科	78人	76人
	耳 鼻 科	10	10
	眼 科	13	14
学 校 歯 科 医		84	84
学 校 薬 剤 師		39	39
計		224	223

(イ) 健康診断費 38,541,055 円

区 分	対 象	令和4年度	令和5年度	比 較
検 尿	児 童 生 徒	32,627人	31,484人	△ 3.5%
心 電 図 検 査	小中高各1年・小4年・その他	10,334	9,962	△ 3.6
就 学 時 健 診	入 学 予 定 児	2,989	2,855	△ 4.5
教 職 員 健 診	全 員	5,705	5,958	4.4

(2) 学校保健推進事業費 3,803,556 円

(ア) 学校保健会補助金 599,772 円

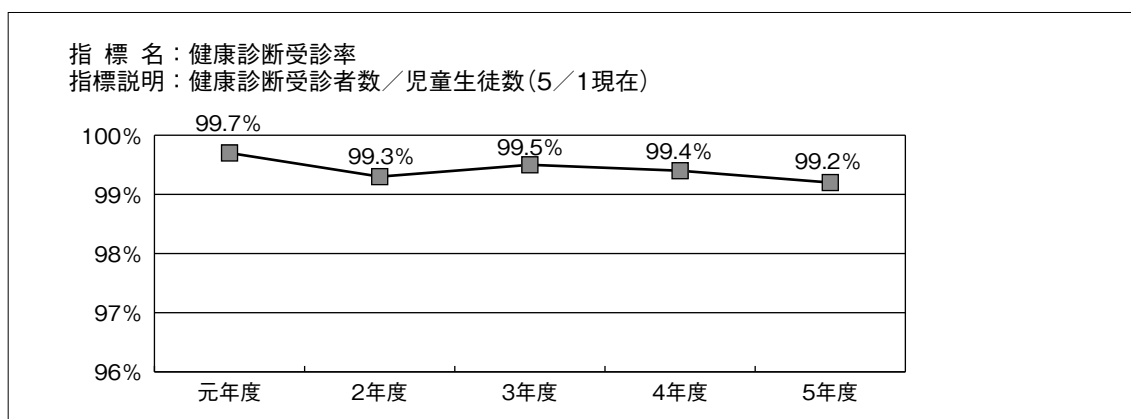
(3) 学校事故災害給付金等請求事業費 29,929,700 円

(ア) 日本スポーツ振興センター共済掛金負担金 29,261,950 円

(4) 学校結核予防事業費 2,712,985 円

区 分	児 童 生 徒			教 職 員		
	令和4年度	令和5年度	比 較	令和4年度	令和5年度	比 較
胸部エックス線撮影	518人	458人	△11.6%	1,897人	2,040人	7.5%
事 後 措 置	0	0	0.0	0	0	0.0

[指標]



2 学校給食センター運営事業費 1,690,645,605 円（保健給食課）

[総括]

小学校 52 校、中学校 22 校、特別支援学校 1 校の児童生徒に安全な給食を提供するため、衛生管理に十分配慮した調理を行うとともに、施設設備の充実改善に努めた。令和 5 年度は、西部学校給食共同調理場の廃止に伴い、昨年度に引き続き解体工事を行った。今後も給食物資について、生産者の顔が見える安全・安心で新鮮な地場産物の活用を推進するとともに、栄養価を考慮しながらおいしい給食を提供するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 南部学校給食センター 245,998,123 円

令和 4 年度			令和 5 年度			食数比較
小学校	9校	5,120人	小学校	9校	5,048人	
中学校	5	2,440	中学校	5	2,431	
延1,338,400食			延1,314,414食			

(2) 北部学校給食センター 563,804,708 円

令和 4 年度			令和 5 年度			食数比較
小学校	17校	6,392人	小学校	17校	6,316人	
中学校	7	3,366	中学校	7	3,348	
延1,724,541食			延1,693,809食			

(3) 東部学校給食センター 125,524,086 円

令和 4 年度			令和 5 年度			食数比較
小学校	7校	2,783人	小学校	7校	2,731人	
中学校	3	1,507	中学校	3	1,512	
延 755,685食			延 741,527食			

(4) 曙学校給食センター 571,590,101 円

令和 4 年度			令和 5 年度			食数比較
小学校	19校	7,250人	小学校	19校	7,097人	
中学校	7	3,880	中学校	7	3,738	
特別支援学校	1	420	特別支援学校	1	440	
延2,034,594食			延1,984,109食			

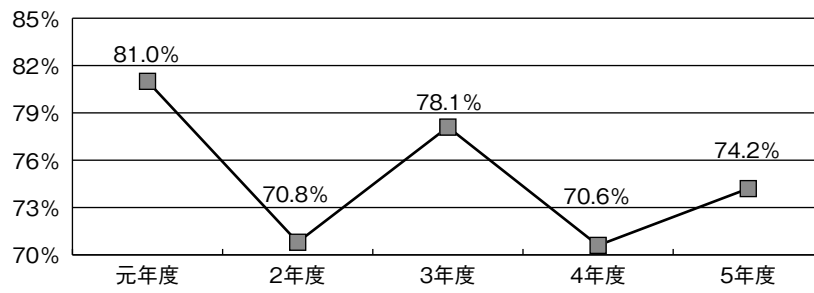
(5) 旧西部学校給食共同調理場の解体 89,690,700 円

内 容	令和 4 年度	令和 5 年度
	仮設工事	

[指 標]

指 標 名：学校給食の豊橋産食材使用率

指標説明：豊橋産食材使用日数／給食実施日数



科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11款	災 害 復 旧 費	459,880,671	74,057,923	225,400,000	4,790,640	155,632,108
1項	土 木 施 設 災 害 復 旧 費	264,766,037	35,103,373	128,200,000	0	101,462,664
1目	道 路 橋 梁 災 害 復 旧 費	119,112,637	33,420,373	40,700,000	0	44,992,264

1 道路橋梁災害応急復旧費 119,112,637 円 (土木管理課・道路維持課・道路建設課)

[総括]

令和5年6月の大雨により通行不可能となった市道牛川町・大村町244号線(牛川の渡し)において、早期の運行再開に努めたほか、冠水により道路上で立ち往生した車両に対し、災害対策基本法に基づき緊急通行車両の通行確保のための移動措置を行った。また、市内各地において損壊した道路及び橋梁等について迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 道路橋梁災害応急復旧費 119,112,637 円

内 容	令和4年度	令和5年度
	道路損壊復旧 2か所	

科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目	河川災害復旧費	145,653,400	1,683,000	87,500,000	0	56,470,400

1 河川災害応急復旧費 145,653,400 円 (河川課)

[総括]

令和5年6月の大雨により、河川・水路等の破損や土砂の堆積による通水断面の阻害が確認された箇所の迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 河川災害応急復旧費 145,653,400 円

内 容	令和4年度	令和5年度
		—

科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項	農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	80,288,560	38,005,550	35,500,000	3,805,550	2,977,460
1目	農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	80,288,560	38,005,550	35,500,000	3,805,550	2,977,460

1 農業用施設災害応急復旧費 3,012,460円 (河川課)

[総括]

令和5年6月の大雨により、ため池施設の破損やのり面の崩れ等が発生した箇所の迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 農業用施設災害応急復旧費 3,012,460円

内 容	令和4年度	令和5年度
		—

2 漁港海岸施設災害応急復旧費 77,276,100円 (農業支援課)

[総括]

令和4年9月に発生した台風15号の影響とみられる大量の流木や木くず等が、高豊・二川漁港海岸に漂着したため、漁港としての機能維持のため迅速な復旧に努めた。

また、令和5年6月の大雨により二川漁港海岸の管理用道路が崩壊・洗掘したため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 漁港海岸施設災害応急復旧費 77,276,100円

内 容	令和4年度	令和5年度
		通路整備工・流木処理工

科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項	そ の 他 施 設 費	114,826,074	949,000	61,700,000	985,090	51,191,984
1目	そ の 他 施 設 費	114,826,074	949,000	61,700,000	985,090	51,191,984

1 諸施設災害応急復旧費 114,826,074 円 (市民協働推進課始め 17 課)

[総括]

令和5年6月の大雨や、8月の台風7号及び落雷により、学校をはじめとした公共施設に多大な被害を受けたため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 諸施設災害応急復旧費 114,826,074 円

内 容	令和4年度		令和5年度	
	公園緑地課 教育政策課	公共施設等復旧	高師緑地 東田小学校ほか	市民協働推進課 「文化のまち」づくり課 「スポーツのまち」づくり課 福祉政策課 障害福祉課 保 育 課 収集業務課 資源化センター 観光プロモーション課 みなの振興課 道路維持課 住 宅 課 公園緑地課 消防本部総務課 教育政策課 生涯学習課 美術博物館
				市民協働推進課 公共施設等復旧 高山校区市民館ほか アイプラザ豊橋 豊橋市民球場ほか 大崎町墓地ほか 豊橋市障害者福祉会館 高山学園 東部環境センター 中央操作室 葦毛湿原 防潮ネット ダンプトラック 西口住宅 下地緑地ほか 消防団植田分団 器具庫・詰所ほか 青陵中学校ほか 牟呂地区市民館ほか 商家「駒屋」

Ⅲ 特 別 会 計

競輪事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
競 輪 事 業	26,643,614,280	0	0	357,084,579	26,286,529,701

1 競輪開催事業費 5,632,968,721 円 (競輪事務所)

[総括]

昭和24年からスタートした競輪事業は、市民の身近な娯楽として親しまれているほか、公益財団法人JKAへの交付金等を通じて、機械工業の振興、体育事業をはじめとした公益の増進に寄与している。

令和5年度は、「豊橋競輪場施設等整備計画」の改定に取り組み、施設・設備の老朽化の状況を調査した上で、計画的な整備に向け、緊急性や重要度等を考慮した対策の優先順位について整理を行った。

普通競輪の売上は、モーニング競輪の売上の増加などにより前年度より増加したが、記念競輪の売上においては減少し、年間売上は前年度比で約1億3千万円の減となった。単年度収支については、約14億3千万円を確保することができ、6億円を一般会計に繰り出した。

競輪業界では、中期基本方針に沿って競輪の持続的発展による社会還元(①機械振興、②公益増進、③地方財政の健全化)の最大化を図るための取組みを進めている。豊橋競輪場においても、令和6年度のGI全日本選抜競輪の開催に向け、来場者や全国の競輪ファンにとって魅力のある競輪場となるよう施設整備を推進するとともに、キャッシュレス投票の導入等の施策に取り組み、本場開催及び場外発売を公正、安全に実施し、収益の確保に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 市営競輪開催成績

区 分		令和4年度			令和5年度			比 較		
開 催 回 数 日	普通競輪	12回	20節	60日	12回	20節	60日	0.0%	0.0%	0.0%
	記念競輪	1	1	4	1	1	4	0.0	0.0	0.0
	計	13	21	64	13	21	64	0.0	0.0	0.0
入 場 者 数	普通競輪	23,296人			24,584人			5.5%		
	記念競輪	7,797			7,467			△ 4.2		
	計	31,093			32,051			3.1		
売 上 高	普通競輪	20,347,942,700円			20,750,351,000円			2.0%		
	記念競輪	5,585,697,100			5,054,908,800			△ 9.5		
	計	25,933,639,800			25,805,259,800			△ 0.5		

(2) 施設整備費 367,495,504 円

区 分	令和4年度	令和5年度
主 な 内 容	ナイター照明増設工事 メインスタンド空気調和機全熱交換器修繕	競輪場施設等整備計画改定業務 ナイター照明増設工事 メインスタンド空気調和機吸収式冷温水機取替修繕 駐車場舗装修繕工事

競輪事業施設等整備基金残高

単位：千円

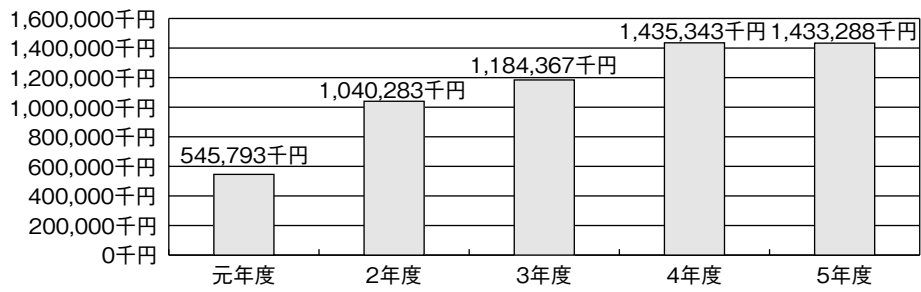
令和5年度当初	積立額	取崩し額	令和5年度末残高
2,867,314	1,055,888	349,827	3,573,375

[指 標]

指 標 名：単年度収支

指標説明：(歳入総額－歳出総額)－前年度実質収支

※利子以外の財政調整基金収入は歳入に含まず、一般会計繰出金及び利子以外の基金積立金は歳出に含まない



国民健康保険事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
国民健康保険事業 <公的医療保険制度の円滑な運営、 疾病の予防対策の推進>	32,617,446,185	22,080,632,349	0	4,370,800	10,532,443,036

1 国民健康保険給付事業費 21,761,960,453 円 (国保年金課)

[総括]

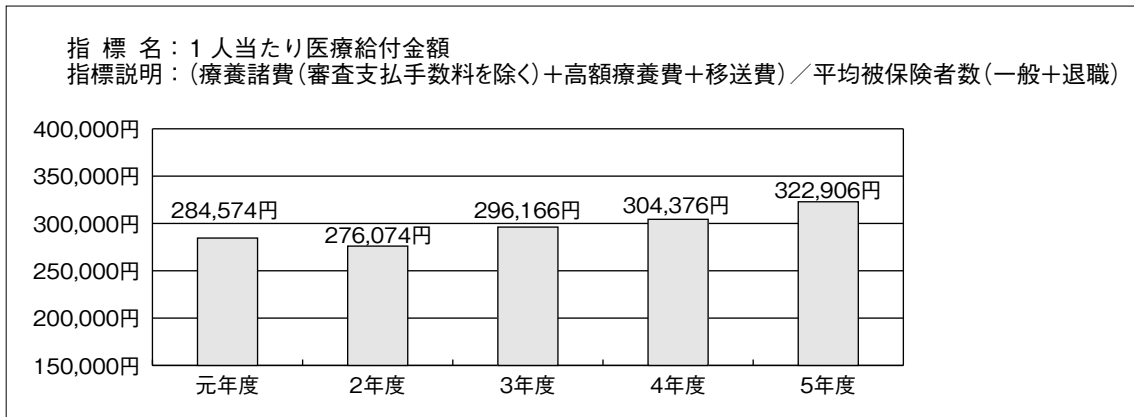
少子化や後期高齢者医療制度への移行等により被保険者数は減少したが、高齢化の進展、医療の高度化等により1人当たり医療給付金額は増加した。また、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、新型コロナウイルス感染症対策として実施した傷病手当金支給事業の申請件数及び支給金額が大幅に減少した。今後も医療費の適正化に努めるとともに、国、県、国民健康保険団体連合会等関係機関と協力し、適切な保険給付事業の推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 保険給付費 21,761,960,453 円

区 分	令和4年度		令和5年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額
医 療 給 付	1,235,076件	21,522,455,197円	1,203,086件	21,597,588,497円
出産育児一時金給付	205	87,411,650	230	88,704,110
葬 祭 費 給 付	447	20,800,000	387	19,350,000
傷 病 手 当 金	480	10,762,602	24	373,078
審査支払手数料等	—	57,583,212	—	55,944,768
平均被保険者数	70,710人		66,885人	

[指 標]



2 国保税納税事務費 378,555 円 (納税課)

[総括]

納期内納付の徹底と滞納者及び滞納金額の減少を目的として、効果的な啓発事業及び口座振替加入促進、的確迅速な収納整理、法に基づいた厳正な滞納整理に努めた。また、出産する予定又は出産した被保険者の産前産後期間にかかる保険税所得割額及び均等割額の軽減を行った。

[実績及び成果]

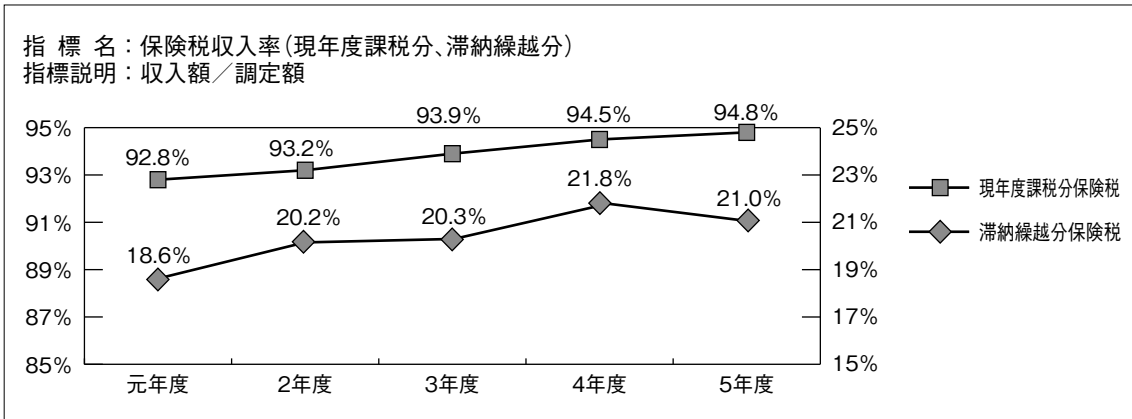
(1) 国保税収納整理事務費 309,120 円

現年度課税分保険税	令和4年度		令和5年度	
	調 定 額	収 入 額	調 定 額	収 入 額
	7,200,787,800円	6,801,633,585円	6,707,920,900円	6,358,461,278円

(2) 国保税滞納整理事務費 69,435 円

滞納繰越分保険税	令和4年度		令和5年度	
	調定額	収入額	調定額	収入額
	2,164,756,399円	471,220,722円	1,945,071,923円	407,746,275円

[指標]



3 特定健康診査等事業費 232,950,200 円 (健康増進課)

[総括]

特定健康診査では、受診率の向上に向け、AIを活用し、受診履歴に基づいた傾向で対象者を分け、その特徴に応じたはがきやSMSによる未受診者勧奨を3回実施するとともに、若い世代に向けたYouTubeのバンパー広告による啓発を行った。また、特定保健指導では、40～60歳の特定保健指導該当者全てに、検査値の順位付けや発症確率予測等を掲載した冊子を送付し、特定保健指導の受講をすすめ、対象者の行動変容を促すよう努めた。今後も引き続き特定健康診査受診率向上及び特定保健指導利用者数の増加等に努め、糖尿病等の生活習慣病予防に向けた保健事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 特定健康診査事業費 228,229,465 円

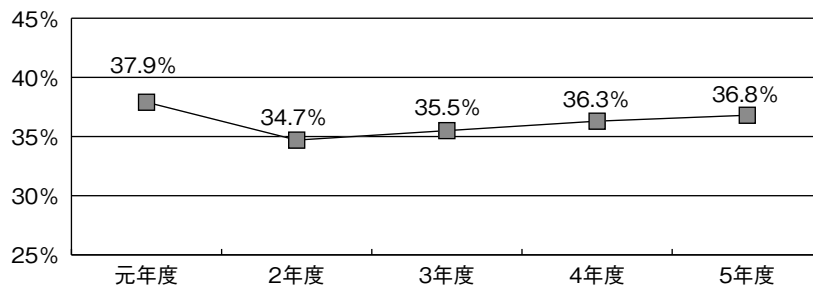
特定健康診査	令和4年度		令和5年度	
	受診券発送者数	受診者数	受診券発送者数	受診者数
	54,781人	19,880人	52,047人	19,161人

(2) 特定保健指導事業費 4,720,735 円

区分		令和4年度	令和5年度
初回面接 利用者数	動機付け支援	304人	263人
	積極的支援	62	56

[指 標]

指 標 名：特定健康診査受診率
指 標 説 明：受診者数／受診券発送者数



総合動植物公園事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
総合動植物公園事業 <のんほいパークの魅力向上>	1,892,290,849	52,947,000	244,600,000	20,646,406	1,574,097,443

1 総合動植物公園管理運営事業費 1,142,760,399 円 (動植物園)

[総括]

総合動植物公園の快適な園内空間の創出と利便性向上のため、休憩所兼講義室「ひだまり交流館」の新築、西門常設駐車場拡張実施設計、園内の公衆フリーWi-Fi環境整備、入園券のウェブチケット導入等に取り組むとともに、動物の展示効果と飼育環境の向上及び繁殖を目的にサーバル舎を新築した。

また、希少野生生物の保全事業では本園の専門的知識・技術を活用し、絶滅危惧種である「アカモズ」(鳥類)の人工ふ化・人工育雛に世界で初めて成功した。

入園者については、自然史博物館の特別企画展『ポケモン化石博物館』が行われた令和4年度と比較して減少したものの、夏の夜間開園イベント「ナイトZOO」の入園者数が過去最多を記録するなど大変盛況であったこともあり、平成4年の開園以来、歴代3番目に多い入園者数を記録した。

今後も園の魅力向上とプロモーション活動を通じて集客に努めるとともに、生物多様性の保全や教育普及など園の存在価値を高める活動に取り組み、持続的かつ発展的な運営に向けた経営改革を進めていく。

[実績及び成果]

〔動植物公園入園状況〕

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
開 園 日 数	316日	313日	△ 0.9%
入 園 者 数 (うちナイトZOO)	延 1,134,939人 (延 104,853人)	延 966,789人 (延 136,558人)	△14.8 (30.2)
動 物 の 展 示	140種	139種	△ 0.7
	818点	830点	1.5
植 物 の 展 示	2,728種	2,593種	△ 4.9
遊 具 設 置 数	14機	14機	0.0
遊 具 利 用 者 数	延 1,286,461人	延 1,129,755人	△12.2

〔施設整備〕

内 容	令和4年度	令和5年度
	オーストラリア園・カンガルーデッキ改修工事 展望塔エレベーター等改修工事 休憩施設兼講義室実施設計 トイレ洋式化工事	サーバル舎整備工事 休憩所兼講義室整備工事 園内Wi-Fi整備 西門常設駐車場拡張実施設計

(1) イベント企画運営事業費 47,832,717 円

(ア) ナイト ZOO の開催

内 容	令和 4 年度	令和 5 年度
	開催日 (7.22~7.24、7.29~7.31、8.5~8.7、8.9 ~8.11、8.14、8.15、8.19~8.21、8.26~ 8.28、9.3、9.4、9.10、9.11、9.24、9.25) 計26日	開催日 (7.21~7.23、7.28~7.30、8.4、8.5、8.11 ~8.13、8.16~8.20、8.25~8.27、9.2、 9.3、9.9、9.10、9.16~9.18、9.23、9.24、 9.30、10.1) 計30日

(イ) 四季イベント等の開催

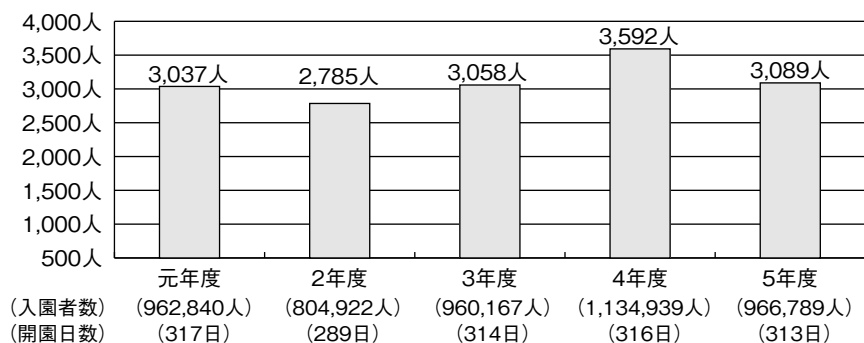
内 容	令和 4 年度	令和 5 年度
	○季節のイベント ・ゴールデンウィークイベント (4.29~5.8) ・秋のイベント (10.8~11.27) ・クリスマス、新春イベント (12.17~2.26) ・年間入園者数100万人達成イベント (2.11) ・春のイベント (3.18~3.31) ○企業、団体コラボイベント ・地元企業とのイベント (7.16~7.18、11.26、12.25)	○季節のイベント ・ゴールデンウィークイベント (4.29~5.7) ・秋のイベント (10.14~11.26) ・クリスマス、新春イベント (12.16~2.25) ・春のイベント (3.16~3.31) ・夜のゆうえんち (5.20、5.21、5.27、5.28、11.4、 11.11、11.18、11.25) ○企業、団体コラボイベント ・地元企業とのイベント (11.18、12.23) ・大型商業施設とのイベント (8.1~20、9.4~17、11.23~26、 3.29~31)

(ウ) シティプロモーションの推進

	令和4年度	令和5年度
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中日新聞（東三河版・遠州版・長野版）PR広告 (4.29、7.23、8.26、2.24、3.17) ○ 豊橋商工会議所 会報誌「ニューボイス」への広告掲載 (8.1) ○ 新聞折込チラシ（東三河、西三河一部、浜松） (8.4) ○ 豊橋駅東西自由連絡通路でのPRフラッグ設置 (7.22～9.25) ○ PTA新聞「愛知のPTA」（西三河地区） (4.1、7.1) ○ インターネット広告 (7.15～7.31) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中日新聞（東三河版・遠州版・長野版）PR広告 (4.29、7.21、8.25、2.17、3.30) ○ 豊橋商工会議所 会報誌「ニューボイス」への広告掲載 (8.1) ○ 新聞折込チラシ（東三河、西三河一部、浜松） (8.10) ○ 豊橋駅東西自由連絡通路でのPRフラッグ設置 (7.15～8.31) ○ 豊橋駅東西自由連絡通路でのデジタルサイネージ (9.1～9.30) ○ PTA新聞「愛知のPTA」（西三河地区） (4.1、7.1) ○ インターネット広告 (7.14～8.4)

[指 標]

指 標 名：総合動植物公園1日当たりの入園者数
 指標説明：入園者数／開園日数



公共駐車場事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
公共駐車場事業 <交通環境の保全>	104,601,888	0	0	619,430	103,982,458

1 公共駐車場管理運営事業費 91,596,888 円 (土木管理課)

[総括]

中心市街地における駐車環境を整えることで、路上駐車解消や歩行者の交通安全確保を図っている。令和5年度は施設の長寿命化計画に沿って、駅前大通公共駐車場(第1)において防排煙制御盤の更新などを行ったほか、インボイス制度の開始に対応するため、駅前大通公共駐車場(第1)、(第2)及び松葉公園地下駐車場において、精算機などの改修作業を実施した。今後も安全で快適な駐車場をめざし、質の高いサービスの提供と効率的な管理運営を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 公共駐車場管理運営事業費 91,596,888 円

区 分	令和4年度	令和5年度
施設管理費	36,683,705円	17,261,888円
指定管理料	74,335,000	74,335,000
施設整備費	0	0

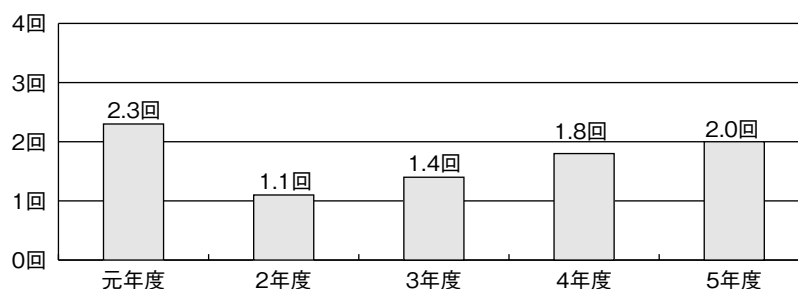
[利用状況]

区 分	令和4年度			令和5年度		
	年間 利用総台数	1日平均 利用台数	1台あたり平均 普通駐車時間	年間 利用総台数	1日平均 利用台数	1台あたり平均 普通駐車時間
駅前第1公共駐車場	86,781台	238台	41分	99,646台	272台	40分
駅前第2公共駐車場	170,558	467	87	170,196	465	92
松葉公園地下駐車場	58,526	160	118	69,325	189	126

※普通駐車は夜間駐車、打ち切り料金及び定期利用を除く

[指 標]

指 標 名：公共駐車場1日平均回転率
 指標説明：1日平均利用台数/駐車場収容台数



母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
母子父子寡婦福祉資金貸付事業 <ひとり親家庭等への支援の充実>	16,913,284	0	0	10,023,146	6,890,138

1 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 16,913,284 円 (子育て支援課)

[総括]

母子父子寡婦福祉資金貸付制度は、母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、ひとり親家庭等の福祉増進を目的として、「現に20歳未満の児童を扶養している、配偶者のない女子または男子」、「かつて配偶者のない女子として児童を扶養していたことのある、配偶者のない女子」及び「父母のいない20歳未満の児童」等に対して貸付を行うものであり、貸付金の種類としては修学資金、就学支度資金、修業資金等がある。

今後も、ひとり親家庭等の経済的自立や生活の向上を図るため、貸付制度の周知を図り、活用を促していく。

[実績及び成果]

(1) 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 16,913,284 円

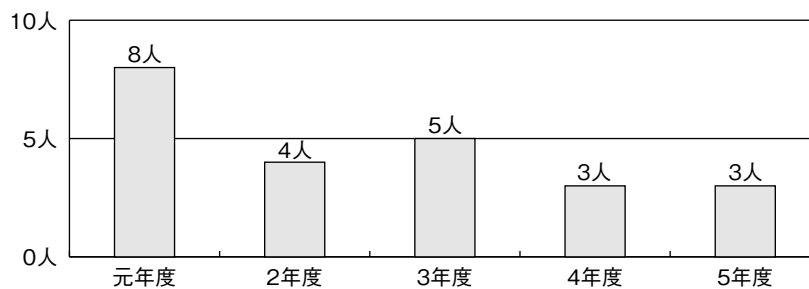
[貸付状況]

区 分	令和4年度	令和5年度
母子福祉資金貸付件数	3件	3件
父子福祉資金貸付件数	0	0
寡婦福祉資金貸付件数	0	0
計	3	3
母子福祉資金貸付金額	1,908,000円	1,650,000円
父子福祉資金貸付金額	0	0
寡婦福祉資金貸付金額	0	0
計	1,908,000	1,650,000

[指標]

指標名：母子父子寡婦福祉資金貸付事業借入者数

指標説明：〃



後期高齢者医療特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
後期高齢者医療 <公的医療保険制度の円滑な運営、 疾病の予防対策の推進>	9,772,242,459	0	0	312,556,064	9,459,686,395

1 後期高齢者医療事務費 71,690,316 円 (国保年金課)

[総括]

愛知県後期高齢者医療広域連合とともに、適正な資格管理、保険給付を行った。また、保険料未納者へ催告や臨戸訪問を行うとともに、必要に応じ滞納整理を行い、収入率の向上につなげた。今後も後期高齢者医療制度の安定運営に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 窓口事務費 58,276,104 円

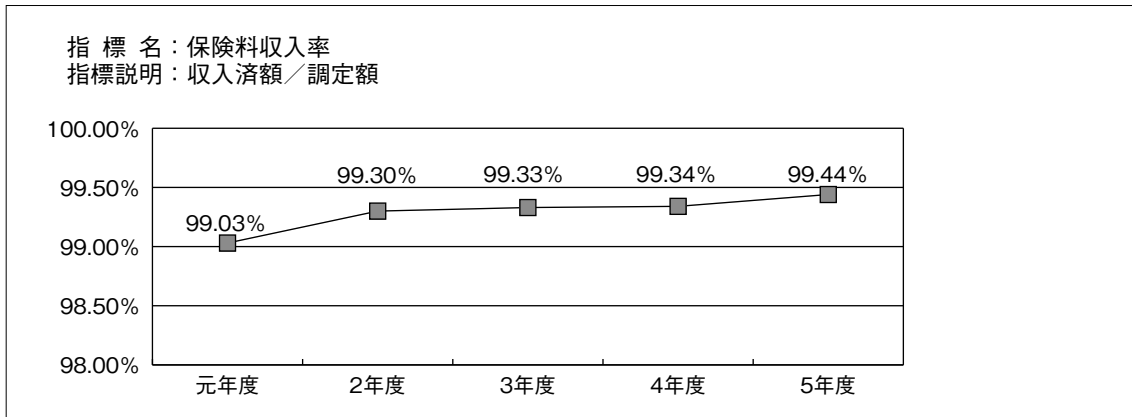
被 保 険 者 数	令和4年度	令和5年度	比 較
		52,962人	54,976人

※豊橋市が後期高齢者医療被保険者証の引き渡しをしている数

(2) 徴収事務費 13,414,212 円

区 分		令和4年度	令和5年度	比 較
保険料徴収対象 年間実員	特別徴収	40,239人	42,533人	5.7%
	普通徴収	12,723	12,443	△ 2.2
督促状発付件数		5,508件	5,042件	△ 8.5
口座振替利用者数(普通徴収)		7,864人	7,410人	△ 5.8

[指標]



2 保健事業費

197,896,581 円（国保年金課・健康増進課）

[総括]

病気の予防及び早期発見のため、健康診査を実施するとともに、集団健診会場において、フレイル予防や野菜摂取量について生活習慣病予防のための個別健康教室を行った。また、高齢者の口腔機能の維持・向上によりフレイル予防を図るため、76歳を対象として歯科健康診査を行った。

[実績及び成果]

(1) 健康診査事業費 189,949,217 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
受 診 者 数	16,230人	16,843人	3.8%

(2) 歯科健康診査事業費 5,214,430 円

区 分	令和4年度	令和5年度	比 較
受 診 者 数	635人	873人	37.5%

[指 標]

